令和８年度 第４回文京区アカデミー推進本部 次第

（日時）令和８年 11 月４日(水)
午前９時 30 分から
（会場）庁議室

１　開　会

２　議　題

（１）次期文京区アカデミー推進計画の素案について

（２）令和７年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について（報告）

（３）その他

３　閉　会

【配付資料】

資料第１号	文京区アカデミー推進計画（令和９年度～令和 13 年度）素案
資料第２号	令和７年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について（報告）
資料第３号	令和７年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価（案）

資料第1号

文京区アカデミー推進計画
（令和９年度～令和 13 年度）

素案

はじめに

目 次

第１章　計画の目的と位置付け 7

１．策定の背景と経緯 8
２．計画の目的 9
３．計画の位置付け 9
４．計画の期間 10
５．国・都等の動向 10
６．本区の取組 11

第２章　計画に関する実態調査結果の概要 13

１．調査の概要 14
２．調査結果のまとめ 15
（１）学習活動分野 15
（２）スポーツ分野 15
（３）文化芸術分野 16
（４）観光分野 16
（５）国内・国際交流分野 17
（６）若者向け調査 18

第３章　基本理念と４つの視点 23

１．基本理念 24
２．計画の推進にあたって重視する４つの視点 24

第４章　各分野の施策 27

１．５分野の関わり 28
２．学習活動分野 30
（１）学習活動とは 30
（２）基本方針 31
（３）施策 31
３．スポーツ分野 42
（１）スポーツとは 42
（２）基本方針 43
（３）施策 43

４．文化芸術分野 54
（１）文化芸術とは 54
（２）基本方針 55
（３）施策 55
５．観光分野 66
（１）観光とは 66
（２）基本方針 67
（３）施策 67
６．国内・国際交流分野 76
（１）国内・国際交流とは 76
（２）基本方針 77
（３）施策 77

第５章　計画の推進体制と役割 87

１．計画の推進体制と役割 88
２．計画の進行管理 89
（１）計画期間を通して毎年実施する点検・評価 89
（２）計画全体の総合評価 90

資料編 91

１．用語解説 93
２．文京区アカデミー推進計画　検討経過 94
（１）文京区アカデミー推進協議会経過 94
（２）文京区アカデミー推進協議会分科会経過 94
（３）文京区アカデミー推進本部経過 96
３．文京区アカデミー推進協議会　名簿 97
４．文京区アカデミー推進協議会設置要綱 98
５．文京区アカデミー推進本部設置要綱 100
６．文京アカデミー構想（抜粋） 103

第1章

計画の目的と位置付け

１．策定の背景と経緯

「文京区アカデミー推進計画」の前身は、平成４年に策定した「文京区生涯学習推進基本構想」です。そこで、本計画の基本理念に継承している「文京区全域を生涯学習のキャンパスに」という考え方を示しています。

本区では、平成 17 年に策定した「文京アカデミー構想」において、生涯学習にとどまらず、スポーツや文化芸術、さらには観光や国際交流の分野との連携も視野に入れ、基本理念を「区内まるごとキャンパスに」としました。こうした取組を総合的に展開するため、平成 18 年には生涯学習・スポーツ・文化芸術を教育委員会から区長部局に移管し、平成 21 年には観光・国際交流を加えた５分野を主に所管するアカデミー推進部を設置しました。

平成 22 年の「文京区基本構想」策定を契機として、５分野の施策を総合的に推進する新たな計画として「文京区アカデミー推進計画（平成 23 年度～平成 27 年度）」を策定しました。以降、多様な事業を展開しながら２度の更新を経て、令和８年度に「文京区アカデミー推進計画（令和９年度～令和 13 年度）」（以下「本計画」という。）を策定しました。

本計画は、昨今の社会情勢の変化や国・都の政策動向、令和７年度に実施した実態調査の結果等を踏まえたものです。

「文京区アカデミー推進計画」の策定経緯

時期	経緯
平成４年	「文京区生涯学習推進基本構想」策定 ～「文京区全域を生涯学習のキャンパスに」～
平成６年	「文京区生涯学習推進計画」策定（以降２度改定）
平成 13 年	「文京区基本構想」策定（「文の京」の明日を創る）
平成 17 年	「文京アカデミー構想」策定　～「区内まるごとキャンパスに」～
平成 18 年	生涯学習の所管を区長部局に移管 文京区アカデミー推進協議会設置
平成 21 年	アカデミー推進部発足
平成 22 年	「文京区基本構想」策定 （歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京」）
平成 23 年	「文京区アカデミー推進計画（平成 23 年度～平成 27 年度）」策定 ～「区内まるごとキャンパスに ―「文の京」、豊かな学びと交流を楽しむまち― 」～
平成 28 年	「文京区アカデミー推進計画（平成 28 年度～令和２年度）」策定 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により令和３年度まで期間を延長
令和４年	「文京区アカデミー推進計画（令和４年度～令和８年度）」策定

２．計画の目的

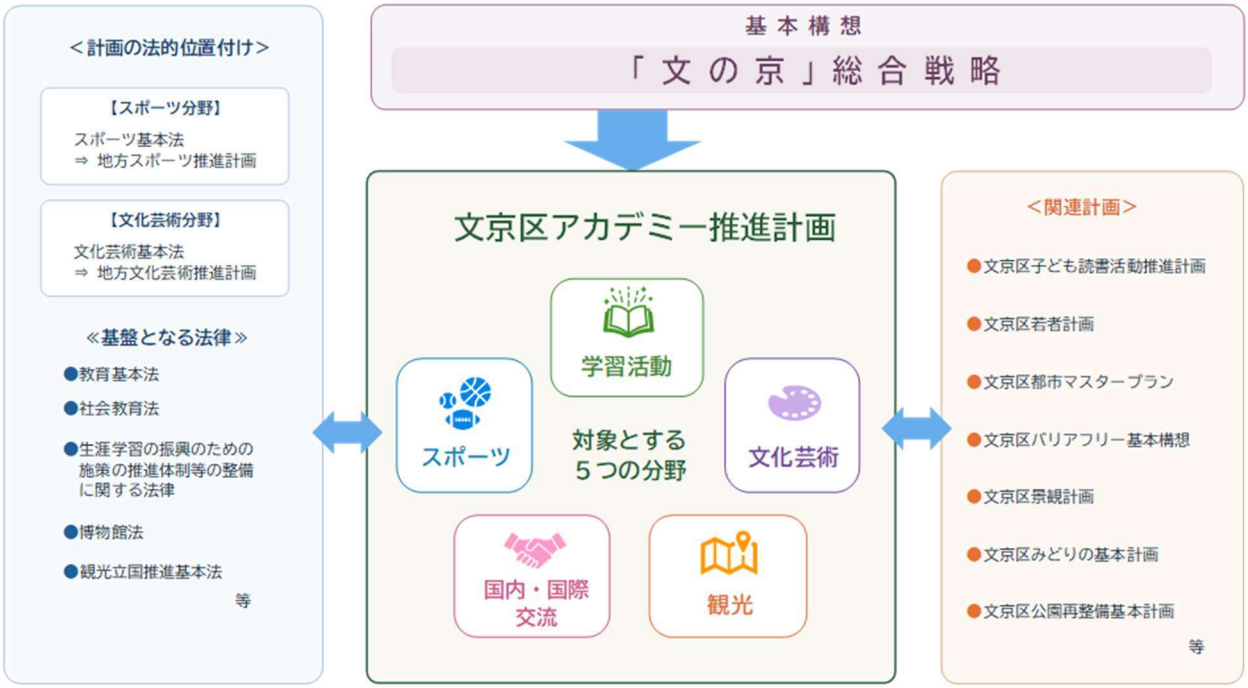
本計画の目的は、区民をはじめ、本区に仕事、学業や観光で一時的に訪れる人や、ゆかりや関係のある人等の多様な人々が、様々な環境の中で、本区の有する豊かな資源にふれ、学び、交流することで、人と人のつながりや心の豊かさを獲得し、うるおいのある暮らしを送ることができるようにするものです。

３．計画の位置付け

本計画は、令和５年度に策定された「文の京」総合戦略（令和６年度～９年度）において掲げられている将来都市像「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」の実現に向けて、学習活動、スポーツ、文化芸術、観光、国内・国際交流の５分野において、施策を体系的に展開するための事業計画です。

また、教育基本法や社会教育法、生涯学習振興法が定める生涯学習の基本理念を基盤としつつ、スポーツ分野に関しては、スポーツ基本法第 10 条に基づく「地方スポーツ推進計画」に、文化芸術分野に関しては、文化芸術基本法第７条の２に基づく「地方文化芸術推進基本計画」にそれぞれ位置付けるとともに、観光分野に関しては、観光立国推進基本法を背景として策定しています。

文京区アカデミー推進計画の位置付け



４．計画の期間

計画の期間は、令和９年度から令和 13 年度までの５年間とします。

５．国・都等の動向

(1)国の動向

学習活動分野においては、令和５年６月、だれもが取り残されることなく、生涯を通じて意欲的に楽しく学び続ける社会を目指し、「第４期教育振興基本計画」が閣議決定されています。

スポーツ分野においては、令和４年３月、年齢や障害の有無などにかかわらず、だれもが自分に合った形でスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、「第３期スポーツ基本計画」が策定されましたが、スポーツ基本法の成立から 10 年以上経過し、スポーツを取り巻く社会環境が大きく変化する中、令和７年９月に基本理念を含めた大幅な同法改正が行われました。

文化芸術分野では、令和５年３月、心豊かで活力ある社会を形成するため、文化芸術と経済の好循環を実現すべく「文化芸術推進基本計画（第２期)」が閣議決定されています。また、令和５年４月の博物館法改正では、社会教育法に加えて文化芸術基本法の精神に基づくことを定め、博物館資料のデジタル・アーカイブ化を追加するとともに、他の博物館等との連携や地域の多様な主体との連携・協力による文化観光などの活動を図り地域の活力向上に取り組むことが求められています。

ほかにも、戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光を 2030 年の目指すべき姿として、令和８年３月「観光立国推進基本計画（第５次)」が閣議決定されています。

(2)東京都の動向

東京オリンピック・パラリンピックが終了し、持続・共生社会へのシフト、デジタル化の進展など、社会環境が大きく変化しているタイミングを捉え、2030 年度までの文化行政の方向性や重点的に取り組む施策を示した「東京文化戦略 2030～芸術文化で躍動する都市東京を目指して～」を令和４年３月に取りまとめました。

また、令和７年３月には、東京オリンピック・パラリンピックで得た多様なレガシーに加え、少子高齢化や気候変動、デジタル化の進展など、スポーツを取り巻く環境も日々変わっていく中においても、その変化を捉え「東京都スポーツ推進総合計画」を改定しています。

加えて、観光産業振興では、江戸から続く伝統や最先端の文化、食や豊かな自然など、東京の多彩な魅力をさらに磨き上げると同時に、人材不足などの喫緊の課題にも対策を講じ、観光都市としての国際競争力を強化すべく「PRIME 観光都市・東

京 東京都観光産業振興実行プラン 2024-2026」を令和６年２月に策定し、取組を進めています。

６．本区の取組

本区は、「アカデミー推進計画」の名称の由来である数多くの教育施設・教育機関のある文教の地として知られています。また、森鷗外や夏目漱石、樋口一葉など近代文学を築いた多くの文人ゆかりの地であり、小石川後楽園、六義園、肥後細川庭園や歴史ある文化施設などの観光資源が集積しています。

これまで、本区は、区内に有する多彩で豊かな文化・歴史・学びに関する資源を保存・活用して、だれもが学び、交流することを目指し、「文の京」としての価値の継承と新たな価値を創造する様々な取組を実施してきました。

P13

第2章

計画に関する実態調査結果の概要

１．調査の概要

■調査目的

令和８年度に予定する「文京区アカデミー推進計画（令和９年度～13 年度)」の策定に向け、学習活動、スポーツ、文化芸術、観光、国内・国際交流に関する区民の意識、活動の状況及び要望等を把握するため、実態調査を行いました。

■調査対象者及び調査方法

調査名称		調査対象	調査方法
区民向け		満 18 歳以上の区民 2,000 人 （住民基本台帳から無作為抽出）	郵送配付、郵送及び WEB フォームによる回答
若者向け	小学生・中学生	区立小学校（４～６年生)、 区立中学校に通う児童・生徒	学校経由で調査依頼、 WEB フォームによる回答
	高校生・大学生	区内にある高校、大学に通う 生徒・学生	
事業参加者向け		事業参加者、施設利用者	事業等で調査依頼、 WEB フォームによる回答

■調査実施時期

調査名称		期間
区民向け		令和７年９月 19 日（金）～10 月 15 日（水）
若者向け	小学生・中学生	令和７年 10 月１日（水）～11 月 30 日（日）
	高校生・大学生	
事業参加者向け		令和７年９月１日（月）～11 月 30 日（日）

■回収数

調査		有効回答数	回答率	配付数
区民向け		824 件 （郵送 329 件、WEB495 件）	41.2%	2,000 件
若者向け	小学生・中学生	422 件		
	高校生・大学生	820 件		
事業参加者向け		397 件		

※若者向け及び事業参加者向け調査は、不特定多数に調査協力を依頼しているため有効回答数のみ掲載しています。

２．調査結果のまとめ

（１）学習活動分野

1年間に学習活動を行った人の割合　　75.7%

〇学んだ分野は教養（文学・自然科学・文化芸術、歴史等）が 31.6%、仕事に関係する知識の習得や資格取得等が 27.3%と多く、年代別に見るとその傾向が異なります。
〇学んだ理由について、18～59 歳では仕事に活かすため、60 歳以上では人生を豊かにするための割合が高く、年代によって学びに求める目的が異なっています。

〈課題〉
・学びの体験型プログラムの充実
・オンライン学習と対面学習を選択可能な学びの機会の充実
・学習ニーズに合った講座の提供

（２）スポーツ分野

週1日以上のスポーツ実施率　　58.3%

スポーツ観戦率（直接観戦）　　23.7%

スポーツボランティアの参加率　　12.0%

〇実施したスポーツや運動は、「ウォーキング・散歩」が 67.5%で最も多くなっています。
〇区民が観戦したプロスポーツ大会や世界大会等の試合は、「テレビやインターネットなどの動画を一人で観た」が 43.1%で最も多くなっています。
〇障害者スポーツ等に「関心がある」、「やや関心がある」は 35.7%となっています。

〈課題〉
・初心者やひとりでも、スポーツや運動に取り組みやすいきっかけづくり
・「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツや運動をできる環境づくりのさらなる促進
・スポーツをみる・ささえる機会の創出と多様な参加機会の提供

（３）文化芸術分野

１年間に文化芸術を鑑賞した人の割合　　88.1%

１年間に文化芸術活動をした人の割合　　34.6%

〇この１年間に鑑賞した文化芸術の分野は、映像作品、美術、音楽で半数を超え、高い傾向です。
〇鑑賞以外の文化芸術活動に参加しやすくなる取組として、「身近な場所で誰もが気軽に活動できる」、「土日祝日や夜間などにも活動が行われる」、「初心者向けの活動が提供される」、「魅力ある内容で楽しく学べる活動が行われる」ことが求められています。
〇障害者アートに「関心がある」、「やや関心がある」は 43.7%となっています。

〈課題〉
・文化芸術をみる（鑑賞）・する（活動）・ささえる（普及）機会の創出と環境づくり
・地域にある文化芸術資源の有効活用と区内施設での鑑賞者誘客の強化

（４）観光分野

観光への関心度　　80.0%

〇「観光」への関心度を性別でみると、「男性」と「女性」がほぼ同様で、年齢別では「40～49 歳」（86.4%）が最も高く、40～69 歳の世代が高くなっています。
〇訪問者へのまちの紹介意向は 71.3%で、性別では女性が高くなっています。

〈課題〉
・地域資源を活かした体験プログラムの充実と区内での回遊性の強化
・観光振興と住環境の保全

（５）国内・国際交流分野

国内･国際交流への関心度　　54.6%

○「国内・国際交流」への関心度を性別でみると、「女性」の方が「男性」より高く、年齢別では、「40～49 歳」（67.7%）が最も高くなっています。
○国内交流の推進に向け、より力を入れるべき取組として、「物産展の開催」（46.4%）、「大規模災害発生時の協力体制の構築」（41.1%）、「歴史や文化をゆかりとした文化事業（講演会等）の開催」（32.6%）が上位に挙げられています。
○外国人（訪日・在住問わず）との交流の推進に向け、より力を入れるべき取組として、「情報を、わかりやすく提供する」（49.6%）、「地域イベントに外国人が参加しやすい環境を作る（通訳をつける等）」（27.2%）が上位に挙げられています。

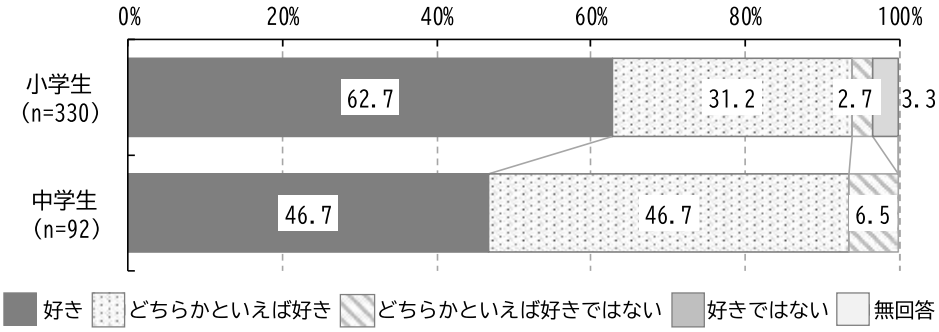
〈課題〉
・国内及び国際交流に関するわかりやすい情報発信と関心喚起
・物産展に偏らない多様な交流機会の創出

（６）若者向け調査

実態調査では、若者向け調査として「小学生・中学生」（ｎ＝422)、「高校生・大学生」（ｎ＝820）を対象とした調査を実施しました。

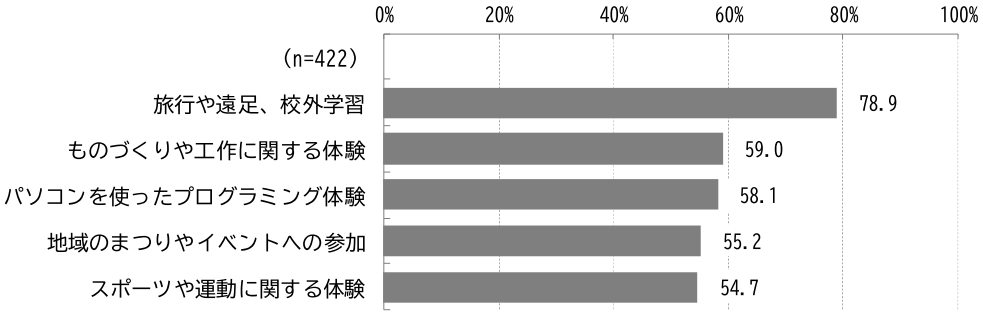
【小学生・中学生】

①文京区のことが好きか



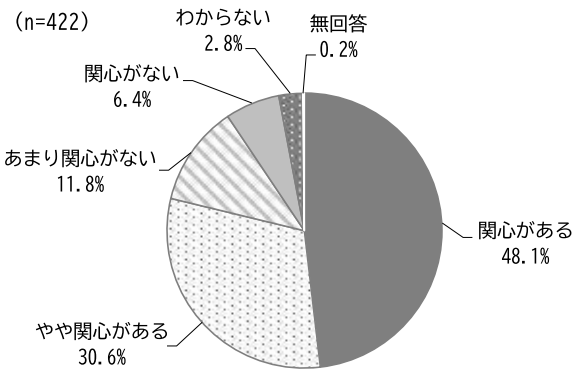
②学習活動

この1年間に経験したこと※上位5項目

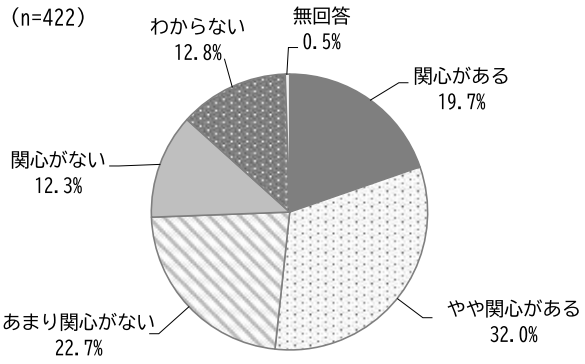


③スポーツ

スポーツへの関心度

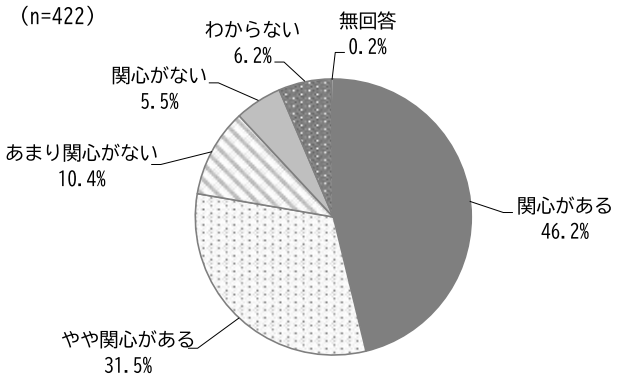


「パラスポーツ、障害者スポーツ、インクルーシブスポーツ」への関心度

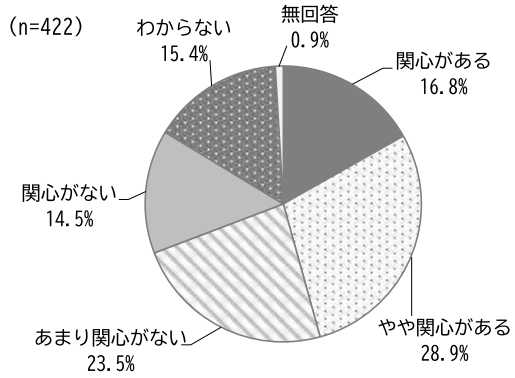


④文化芸術

「文化芸術活動」への関心度

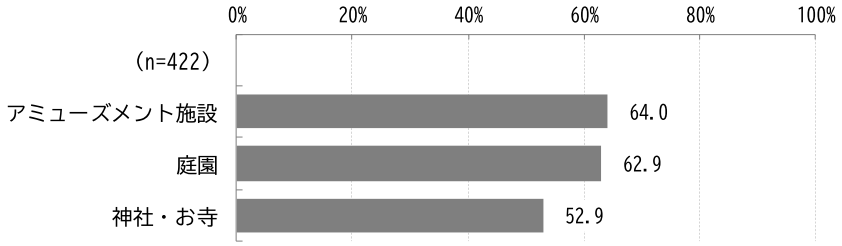


「障害者アート」への関心度



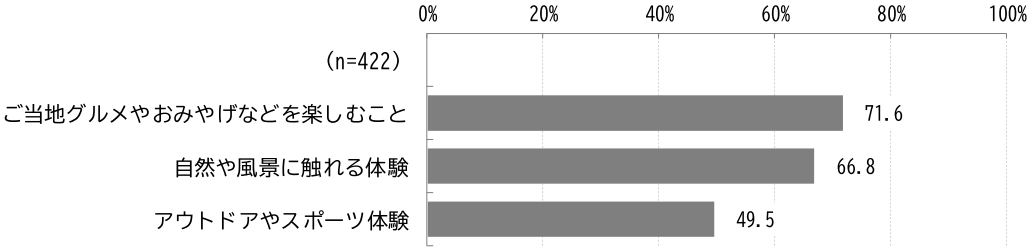
⑤観光

文京区に遊びに来てくれた人に紹介したいところ ※上位3項目

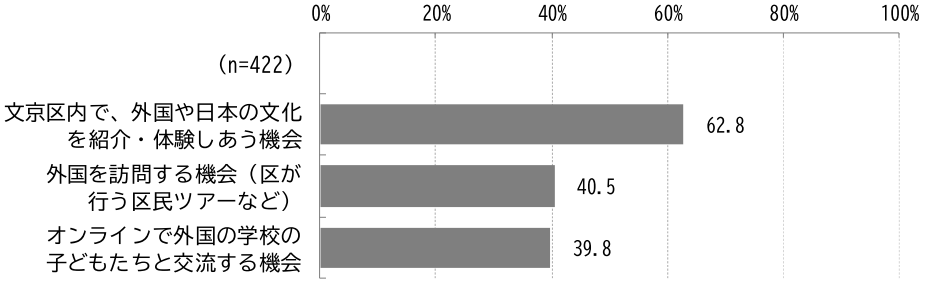


⑥国内・国際交流

日本国内の様々な地域について興味のある点 ※上位3項目

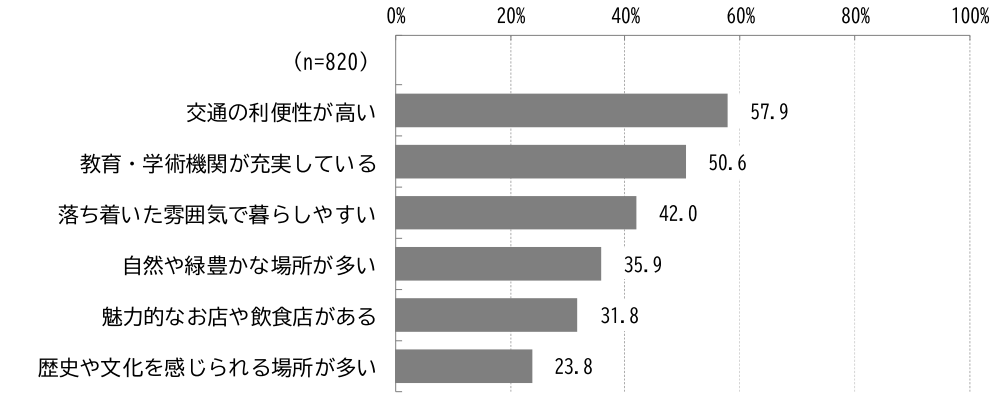


外国の子どもたちと話したり遊んだりする機会としてあるといい方法 ※上位3項目

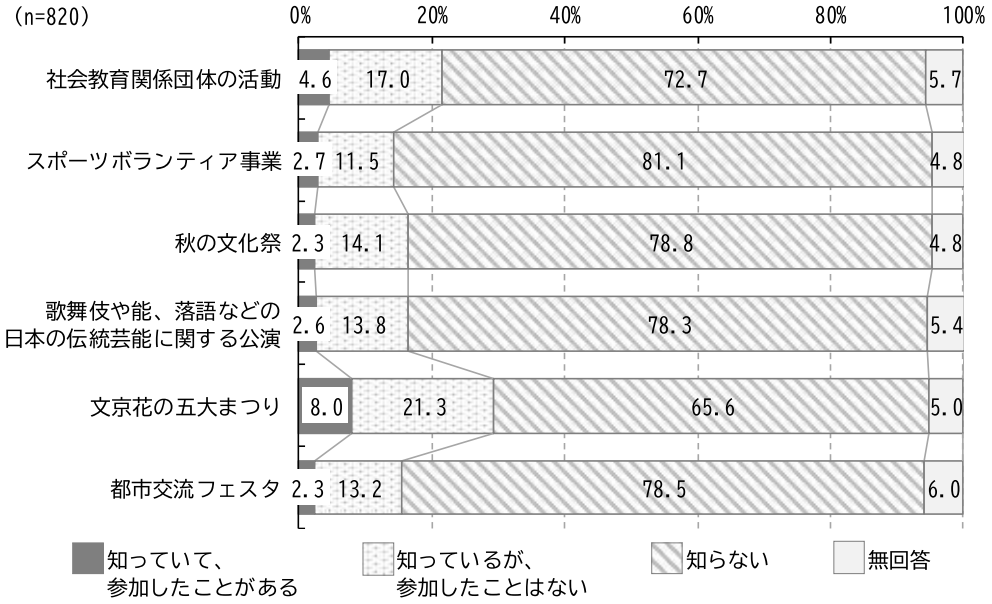


【高校生・大学生】

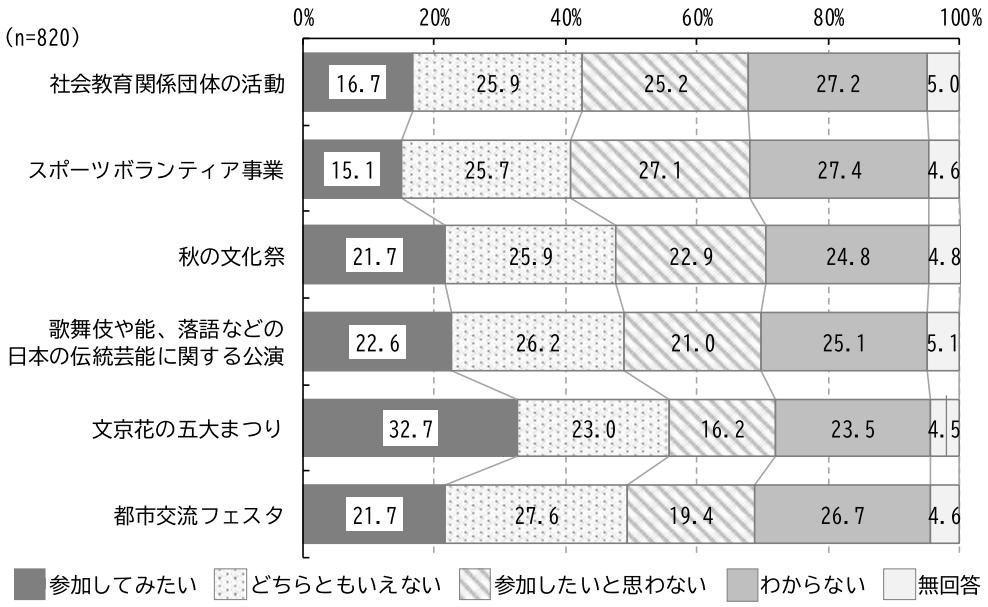
①文京区の特徴だと感じるもの　※上位６項目



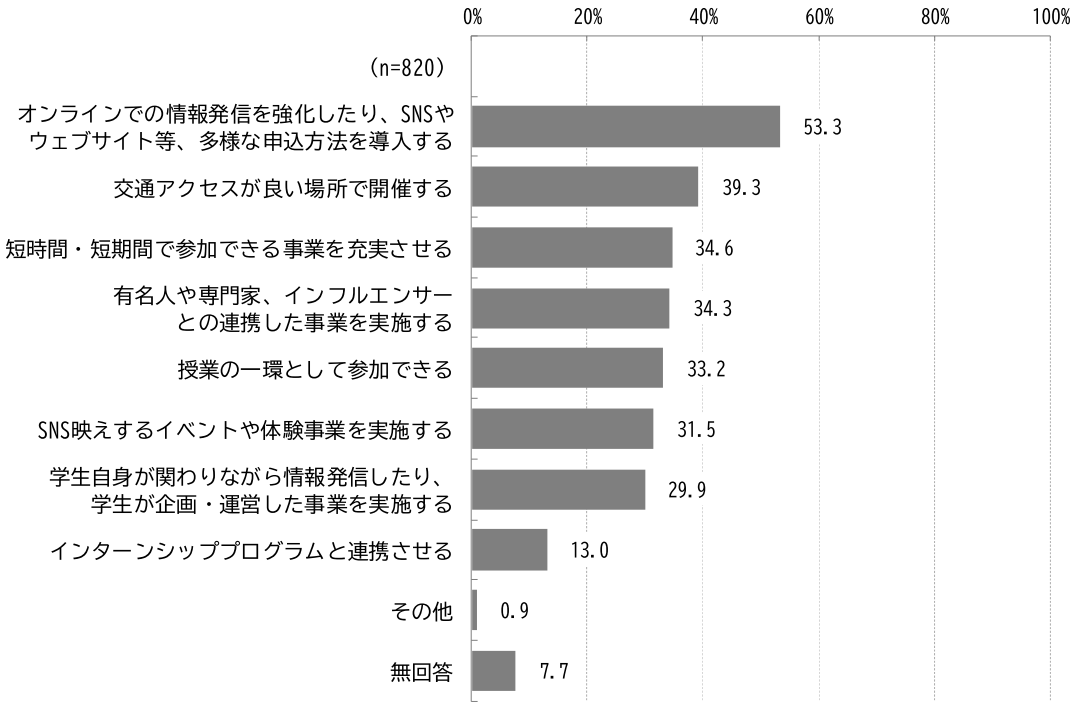
②文京区の５分野（学習活動、スポーツ、文化芸術、観光、国内・国際交流）における事業の認知度



③それぞれの事業への参加意向



④今後、学生をはじめとした若い世代により参加してもらうために必要な工夫



第3章

基本理念と4つの視点

１．基本理念

区内まるごとキャンパスに

「文の京」、人とのつながりと心の豊かさを育みながら、
一人ひとりの多様性を活かし、新たな価値を創造するまち

本計画では、「学習活動」「スポーツ」「文化芸術」「観光」「国内・国際交流」の５分野の取組について、多様な地域課題に対応するとともに、主役となる一人ひとりが、いきいきと楽しく自分らしく学び、交流することのできるまちを創り上げます。

だれもが将来にわたって、人と人のつながりや心の豊かさを獲得し、うるおいのある暮らしを送るためには、「区内まるごとキャンパスに」の考え方を踏襲し、著しく変化する社会情勢に柔軟に適応しながら、一人ひとりの多様性を活かし、これまでの価値を継承するとともに、新たな価値の創造を目指す必要があります。

２．計画の推進にあたって重視する４つの視点

基本理念である「区内まるごとキャンパスに」を実現するために、本区の地域性や豊かな資源を基盤とし、「だれでも」・「いつでも」・「どこでも」・「つながり」 の４つの視点を重視して計画を推進します。

■だれでも

性別や年齢等の違い、働いている人や子育て中の人といったライフスタイルの違い、興味・関心や能力の違いがあっても、だれもが各分野の活動を楽しみ交流できる取組を推進します。

「だれでも」には、国内旅行者や訪日外国人などの交流人口だけではなく、区や区民と様々な方法で継続的に関わる「関係人口」も含みます。

■いつでも

ライフスタイルの多様化が進み、望む時に様々なことに取り組め、生涯を通じて学び、活動できる環境が求められています。

区内のスポーツ施設、文化施設、教育施設などを利用した参加型の取組を継続するとともに、ICT を活用したオンライン形式の取組等、常に利用しやすい環境づくりを推進します。

■どこでも

ICT が浸透するなか、特定の場所にとらわれることなく、どこにいても手続きや参加が可能なオンラインの仕組みを充実させ、各分野の活動に取り組みやすい環境の整備を推進します。

■つながり

区民の心をより豊かなものとするため、５分野間の連携・横断による活動領域の拡がりと深まりを促します。また、他の都市・地域との連携や交流が人と人とのつながりを生み、次の新たな活動へと展開します。



第4章

各分野の施策

1. 5分野の関わり


Would you like me to take your picture?
Please refrain from taking photos.
学習活動
パブリックビューイング
スポーツ



P30

2. 学習活動分野

（1）学習活動とは

趣味や生きがい、キャリアアップのために、自由に選択して行う学習など、生涯にわたって行うあらゆるものを学習活動ととらえます。この中には学びで得た知識や経験を人や地域のために活かすことや、その場に参加することも含まれます。



【毎年点検・評価する指標】

分野	指標
学習活動	講座の受講者数とその満足度

（２）基本方針

①だれもが気軽に参加しやすい環境の構築

多様な媒体を活用したわかりやすい情報発信に努めるとともに、だれもが安心して参加できる環境を整えます。

②多様な学ぶ機会の提供と活動継続のための支援

大学などの地域資源を活かした取組を推進するとともに、学びを通じた交流やつながりを生み出し、継続的な学習活動につなげます。

③学びを活かせる環境づくりと地域への展開

学習の成果を発揮できる機会を充実させるとともに、地域の学びをささえる人材が育ち、地域で活躍することで、新たな学びや人とのつながりが生まれる地域づくりを推進します。

（３）施策

学習活動分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
学習活動	① だれもが気軽に参加しやすい環境の構築	
		ア わかりやすく効果的な情報の発信
		イ ひとりでも参加しやすい環境の充実
		ウ 学びのきっかけづくり
	② 多様な学ぶ機会の提供と活動継続のための支援	
		ア 区民ニーズを踏まえた学習機会の拡充
		イ 地域資源を活かした学びの推進
		ウ 学びから生まれる交流とつながりづくり
	③ 学びを活かせる環境づくりと地域への展開	
		ア 学びの成果を発揮できる機会の充実
		イ 地域の学びをささえる人材の育成
		ウ 学びの人材から拡がる地域づくり

①だれもが気軽に参加しやすい環境の構築

ア　わかりやすく効果的な情報の発信

学習活動への参加を促すためには、一人ひとりの年代や関心、ライフスタイルに応じて、必要な情報をわかりやすく届けることが重要です。

幅広い世代に届く効果的な情報発信に努めるとともに、学習相談等や図書館サービスの充実により、区民が自分にあった学びを見つけ、次につながる環境を整えます。

取組の例

■効果的な情報発信

これまで情報が届きにくかった層への周知を工夫します。また、区報・チラシやホームページ、SNS などの特性を活かし、対象や目的に応じて使い分け、講座等の学習活動に関する情報をわかりやすく届けます。

■学習相談・紹介機能の充実

区民一人ひとりの関心や目的に応じた学びを見つけられるよう、講座や活動などの情報提供の手段を充実させます。何から始めればよいか迷う人にも、関連する学びや活動を案内し、参加につなげます。

■図書館サービスの充実

図書館を身近な学びの場として活用できるよう、レファレンスサービスの充実を図るとともに、関連する講座や地域の学びにつながる情報を提供し、区民の学びをささえます。

イ　ひとりでも参加しやすい環境の充実

仕事や子育てなど、時間や場所の制約により学習活動が難しい人や、初めてひとりで参加することに不安を感じる人も、気軽に始められる環境を整えることが重要です。

参加方法も含め、学習機会の充実を図るとともに、初心者向け講座や体験型プログラムを通じて、ひとりでも安心して参加できる場を提供します。

取組の例

■ICT を活用した学習支援、オンライン・ハイブリッド型学習の機会充実

ICT を活用した学習支援やオンライン、ハイブリッド型講座の充実により、時間や場所にとらわれずに学べる機会を提供します。対面型を含め、講座内容やライフスタイル、ICT の利用状況に応じて、学び方を選べる環境づくりを進めます。

■初心者向け講座、体験型プログラムの充実

初めて参加する人や不安を感じる人も気軽に参加できるよう、初心者向け講座や体験型プログラムを充実させます。その参加から、次の講座やサークル活動などの継続的な学びにつながるよう工夫します。

ウ　学びのきっかけづくり

学習活動への関心を参加につなげるためには、興味を持った人が参加しやすく、身近な場所で気軽に学べる環境を整えることが重要です。

施設利用手続きの DX 化や利用環境の改善など、だれもが施設や講座等のイベントを利用しやすくする取組を進め、学びのきっかけを広げます。

取組の例

■効果的な学習参加促進イベント

講座やイベントなどの情報の取得から申込み、参加までの流れをわかりやすくするとともに、気軽に参加できる体験イベントなどを実施します。初めて参加する人が、次の学びを見つけやすい案内に努め、継続的な参加につなげます。

■利用者ニーズを踏まえた施設利便性の向上

施設利用手続きの DX 化を進め、利用・案内方法を常に見直すとともに、年齢や利用状況に関わらず、施設を利用しやすい環境を整え、区民が身近な場所で学習活動に取り組めるようにします。

②多様な学ぶ機会の提供と活動継続のための支援

ア　区民ニーズを踏まえた学習機会の拡充

区民一人ひとりの興味や関心、学ぶ目的が多様化する中、それぞれのニーズに応じ、選べる機会を充実させることが重要です。

趣味や教養を深める機会に加え、リカレント教育やリスキリングなど、仕事やキャリア、ライフステージの変化に応じた学びにも対応し、多様な学習ニーズに応えていきます。

取組の例

■講座内容の充実

大学などの教育機関と連携し、専門的な知識や最新の内容にふれる講座を実施します。入門的な内容から関心を深める内容まで、知的好奇心に応じて学び続けられる機会を提供します。

■リカレント教育・リスキリングの機会充実

仕事やキャリア、ライフステージの変化に応じて、必要となる知識やスキルを学び直す機会を提供し、幅広い世代の学び直しや新たな挑戦を支援します。

■趣味・教養講座の充実

区民の興味や関心に応じて、文化、芸術、健康、生活など幅広いテーマを学べる講座を実施します。初めて学ぶ人から、知識を深めたい人まで、それぞれの関心に応じた学びの機会を提供します。

イ　地域資源を活かした学びの推進

大学などの教育機関や地域活動団体が持つ専門的な知識、人材などの地域資源を学びに活かし、区民の学習機会の充実を図ります。

大学と地域をテーマやニーズでつなぎ、学生や地域住民が学習活動や地域活動に参加できる機会を広げることで、学びを通じた地域とのつながりを育みます。

取組の例

■大学など教育機関や地域活動団体との連携

区内大学などの教育機関や地域活動団体が持つ専門的な知識、人材、活動のノウハウを活かし、講座や地域活動などでの連携を進めます。大学と地域が互いのニーズや取組を知る意見交換などの機会も活用し、新たな学びや協働につなげます。

■教育機関への学習プログラムなどの提供

大学などの教育機関と連携し、区の特色や地域資源を活かした学習プログラムなどを提供します。学生が地域を知り、人とのつながりや実践的な学びを得ながら、自らの知識や発想を活かせる機会につなげます。

ウ　学びから生まれる交流とつながりづくり

学びをきっかけとして人と人がつながることは、学習を続ける力となり、地域での活動へと広がる可能性があります。参加者同士の関係や地域との交流を次の学びにつなげることが重要です。

サークル・団体活動への支援や学ぶ者同士のコミュニティ形成を促進するとともに、学びを通じた交流機会を創出します。

取組の例

■サークル・団体活動支援、コミュニティの形成促進

サークルや学習団体などの活動を支援するとともに、講座等を通じて知りあった者が交流を続け、自主的なサークルや活動へ移行できるよう、情報提供や活動の場とのつながりづくりを支援します。

■学びを通じた新たな交流機会の形成

世代や分野の垣根を越えて、多様な人が学びを通じて交流できる講座やイベントなどを実施します。学習活動を地域の活動へ展開し、新たなつながりや活動が生まれるきっかけをつくります。

③学びを活かせる環境づくりと地域への展開

ア　学びの成果を発揮できる機会の充実

学んだことを振り返り、発表したり、人に伝えたりすることは、学習成果を実感し、次の学びへの意欲を高めることにつながります。学びで得た知識や技能を地域の社会活動につなげ、学びを活かす機会を広げることも重要です。成果を共有する機会と、学びを地域で生かせる機会の創出を充実させます。

取組の例

■学習成果を振り返り実感できる機会づくり

成果の発表や展示、イベント、仲間同士での共有などを通じて、学んだことや身につけた知識・技能を振り返り、成果を実感できる機会をつくります。人に伝えることも学習成果を感じる機会であり、その活力を、次の学びや活動につなげます。

■学習成果を活かせるボランティアの機会形成と参加へのマッチング支援

学んだ知識や技能、資格、経験を地域や社会で活かせるよう、ボランティアなどの活動機会を充実させます。学生を含む若い世代から豊富な経験を持つシニアまで、学びで得た知識や技能の活用を希望する者と地域団体・施設などのニーズをつなぐマッチングを支援します。

イ　地域の学びをささえる人材の育成

地域における学びを継続的・発展的にささえていくためには、学んだ知識や経験を活かし、自身の学びも深められる環境が重要です。

学習支援者や区民講師の育成・活用を進め、資格や専門性、経験を持つ人材の希望と地域における学びのニーズをつなぎ、学びから支援者、講師へと、本人が望む形で役割を広げられるよう支援します。

取組の例

■学習支援者・区民講師の育成と活用

地域の学びをささえる人材を育成するとともに、資格や専門的な知識、経験を持つ区民が、本人の希望に応じて講師や学習支援者などとして関われる機会を充実させます。登録・紹介などの仕組みも活用し、人材と活動の場をつなげます。

■学びから学習支援者・講師への移行支援

学びで得た知識や経験を次代へと還元し、自身の学びも深められるよう、学習支援者や講師として必要な知識・スキルを学ぶ機会を提供します。ボランティアなどの身近な役割から、自分にあった形で始め、続けられる機会を設けます。

ウ　学びの人材から拡がる地域づくり

知識や経験を地域の活動に活かすことは、学びを深め、新たな人とつながる機会を生むとともに、学習成果を地域に還元することにもつながります。地域の特性や課題を踏まえた学習プログラムを提供するとともに、学習成果を地域活動に活かす機会につなげます。

取組の例

■地域学習プログラムの作成・提供

地域の歴史、文化、暮らしなどをテーマとした学習プログラムを、大学、地域団体、学校などと連携して作成し、提供します。他分野の取組や地域資源とつなぎ、地域について学び、関わる機会を広げます。

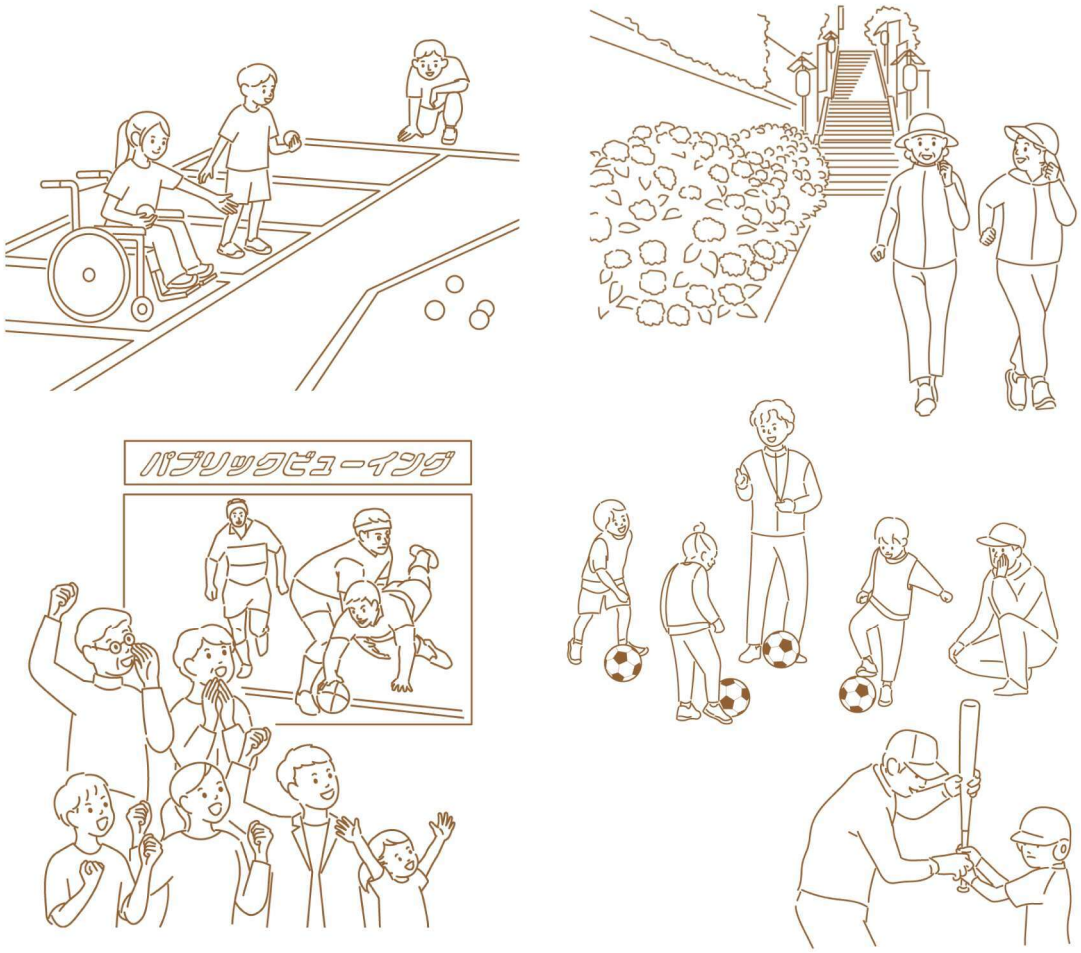
■学習成果やプロセスの地域課題解決への活用

学習を通じて得られた知識や成果だけでなく、学習の過程で生まれた気づきやアイデアを、自身が関心を持つ地域活動、教育などの場で実践できる機会をつくります。地域活動センターや図書館、町会・商店街などの身近な場とつなぎ、実践を通じて新たな学びや人とのつながりが生まれ、その成果が地域に還元される循環を育みます。

3. スポーツ分野

（1）スポーツとは

一定のルールが定められた競技スポーツだけではなく、ウォーキングやレクリエーションなど、気軽に楽しむことができる活動等もスポーツととらえます。



【毎年点検・評価する指標】

分野	指標
スポーツ	区主催のスポーツ事業における参加者数、満足度
	ユニバーサルスポーツ等の参加者数

（２）基本方針

①だれもが気軽に取り組めるきっかけづくり

生涯にわたって心身ともに健康な生活を送れるよう、年齢、性別、国籍、障害の有無、ライフスタイルや興味・関心の度合い等に関わらず、だれもが気軽に取り組めるきっかけをつくります。

②みる・ささえる機会の提供

区民一人ひとりの生活がより健康で豊かなものとなるよう、プロスポーツ団体やアスリートの競技種目等を観戦する「みる」、指導者やスポーツボランティアとして参画する「ささえる」を推進します。

③スポーツを通した地域の活性化

スポーツのつながりから地域を活性化していくとともに、スポーツ団体等との連携・協働に加え、他分野との連携にも取り組みます。

（３）施策

スポーツ分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
スポーツ	① だれもが気軽に取り組めるきっかけづくり	
		ア 効果的な情報発信と相談体制の充実
		イ 始めやすく続けやすい環境づくり
		ウ ユニバーサルスポーツ等のさらなる普及促進
	② みる・ささえる機会の提供	
		ア 観戦のきっかけづくりと機会拡充
		イ ボランティア人材の育成と活動支援
		ウ 継続した指導者育成による技術の向上
	③ スポーツを通した地域の活性化	
		ア スポーツをきっかけにつながる地域づくり
		イ 団体等との連携による持続可能な協働の推進
		ウ 分野間の連携による地域力の強化

①だれもが気軽に取り組めるきっかけづくり

ア　効果的な情報発信と相談体制の充実

スポーツを始めるきっかけにつなげるためには、必要な人に必要な情報が届き、自分にあった活動を見つけられることが重要です。

いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができるよう、区報等の紙媒体と各種デジタル媒体などの多様な手法を使い分け、適切な情報提供と案内機能の充実に努めます。

取組の例

■スポーツに関する情報の発信

区報、ホームページ、SNS、学校・地域団体等を通じた周知等、多様な媒体・経路を対象や内容に応じて使い分けます。参加者の声や活動の様子を発信し、スポーツの楽しさや参加後のイメージが伝わる情報の提供に努めます。

■スポーツに関する相談体制の整備

年齢、性別、体力、興味・関心、障害の有無、参加したい頻度や個人・団体といった希望に応じて、自分にあった教室、活動、施設等を見つけられるよう、相談・案内機能を充実させます。各種スポーツ団体やスポーツ推進委員等とも連携し、初めの一歩から継続的な活動につなげます。

イ　始めやすく続けやすい環境づくり

スポーツを始めるきっかけだけでなく、その人にあった形で続けられることが重要です。

身近な場所で気軽にスポーツを始め、継続することができるよう屋内・屋外施設の維持・管理・運営、区立学校、区内大学等と連携した環境の整備・活用の促進に取り組みます。

取組の例

■区民が気軽にスポーツを体験できる機会の提供

地域イベント等の来場者にとって身近な場所を活用し、一人でも参加しやすい体験機会を提供します。興味・関心や体力に応じて選べる内容とし、スポーツの楽しさを知るきっかけをつくります。

■主体的にスポーツを楽しむ区民に向けた機会の提供

初心者向け教室等で関心をもった人が継続して参加できる場や、地域団体・サークル等の活動につなげます。自分のペースや目的に応じて、無理なく続けられる選択肢を案内します。

■ICT（デジタル）を活用した情報提供の充実

ICT を活用し、教室・イベントや施設利用等の利便性を高めます。場所や時間の制約がある人でも、動画等を通じて身近な場所で身体を動かすきっかけを提供することで、スポーツにふれ、続けられる選択肢を広げます。

ウ　ユニバーサルスポーツ等のさらなる普及促進

ユニバーサルスポーツ等の普及に加え、参加する人それぞれが楽しさや達成感、人とのつながりを感じられる機会を広げることが重要です。

ユニバーサルスポーツ等に接する機会の充実を図ることで、年齢や障害の有無等に関わらず、一緒にスポーツをする機会を増やし、理解を育みます。

取組の例

■ユニバーサル、インクルーシブスポーツを体験する機会の提供

ボッチャ、モルック等をはじめ、年齢や障害の有無等に関わらず、一緒に楽しめるスポーツを、地域の施設やイベント等で体験できる機会を充実させます。参加者同士が自然に交流し、それぞれの楽しみ方を見つけられる場づくりを進めます。

■ICT（デジタル）を活用した、競技イメージが伝わる情報発信の充実

ホームページや SNS、動画等を活用し、ユニバーサルスポーツ等のルールや楽しみ方、参加機会を発信します。未体験の人にも伝わる情報の発信により、関心から実際の参加につなげます。

②みる・ささえる機会の提供

ア　観戦のきっかけづくりと機会拡充

身近な場所で観戦できる機会を広げ、実際に観て、応援する楽しさを実感できる環境をつくることが重要です。

地域のスポーツ団体、大学、企業等と連携し、身近な環境でスポーツを観戦する機会の拡充に努めます。

取組の例

■身近な場所でスポーツを観戦・応援する楽しさを実感する機会の提供

地域のスポーツ団体や大学等と連携し、身近な場所で多様な競技を観戦・応援できる機会を広げます。競技の見どころや参加方法等をわかりやすく示すなど、初めて観戦する人が会場に足を運びやすい環境づくりを進めます。

イ　ボランティア人材の育成と活動支援

競技やイベントに関わる人を、一方的に「担い手」として求めるのではなく、個人の希望する関わり方と活動側が求める役割を丁寧につなぐことが重要です。

スポーツ活動をささえるボランティア等の人材育成に努めるとともに、組織間の連携・協働を進め、スポーツをささえる区民活動を支援します。

取組の例

■「ささえるスポーツ」の担い手の育成

大会・イベント等の運営補助や情報発信など、スポーツをささえる多様な関わり方をわかりやすく紹介します。本人の希望、経験、参加できる時間等と活動内容をすり合わせ、初めての人も自分にあった役割から参加し、楽しさや人とのつながりを感じられるよう支援します。

■障害者スポーツを「ささえる」人材の育成

運営やサポート等に関心のある人が、自分にあった形で関われるよう、障害者スポーツの競技特性や必要な配慮を学ぶ機会を設けます。障害の有無にかかわらず、ともにスポーツを楽しむ場でのささえる経験を通じ、継続的な交流や理解につなげます。

ウ　継続した指導者育成による技術の向上

スポーツを始め、楽しく続けていくためには、競技技術だけでなく、参加者の年齢、体力、目的や経験に応じて関わることができる指導者等の存在が重要です。

スポーツ推進委員、スポーツリーダー等をはじめとする指導者の確保・育成と継続的な学びを支援し、指導技術向上の取組を推進します。

取組の例

■スポーツ指導者等の育成

スポーツ推進委員、スポーツリーダー等をはじめ、スポーツを指導・支援する人材の育成を進めます。競技に関する知識・技能に加え、安全面や多様な参加者への配慮、コミュニケーション等を学ぶ機会を充実し、若い世代など新たな人材がスポーツへの関心や経験を活かして関われるきっかけを広げます。

■スポーツをささえる人材への活躍の場と機会の提供

指導や運営等に関心があり、学んだ知識や経験を活かしたい人が、本人の希望や得意分野に応じて活動できる場を見つけられるよう、地域の団体やイベント等とのつながりを支援します。情報交換や学び直しの機会を設け、「ささえる」が継続できる環境を整えます。

■指導者の技術向上による区民のスポーツ参加促進

指導者が、参加者の年齢、体力、経験、目標に応じた指導方法を学ぶことで、区民のだれもが安全に楽しみながら技術を習得できる環境を整えます。技術の向上を目指す人だけでなく、健康づくりや楽しさを重視する人にも応じた指導につなげます。

③スポーツを通した地域の活性化

ア　スポーツをきっかけにつながる地域づくり

イベント等に参加する人自身が楽しみ、その結果として交流や地域への親しみが生まれる場を広げることが重要です。

年齢や障害の有無、国籍等に関わらず、多様な人と人とのつながりや結びつきを育み、スポーツを通じて地域がより魅力的になる取組を推進します。

取組の例

■スポーツを通じた地域間交流の機会の提供

地域や世代の異なる人が一緒にスポーツを楽しめる体験会、交流事業等を通じて、新たな出会いと交流の機会をつくります。スポーツ推進委員・ボランティアや町会等とも連携しながら、継続的な地域の関係づくりにつなげます。

イ　団体等との連携による持続可能な協働の推進

スポーツを継続的に楽しむには、区だけでなく、スポーツ団体等がそれぞれの強みを持ち寄り、無理なく続けられる形で協働することが重要です。

多様な主体との連携により、スポーツの魅力を知り、関心を持ち、楽しむ区民を増やしていくことで、持続可能な協働の体制を構築していきます。

取組の例

■アスリート等との連携強化

競技団体やアスリート等と連携し、競技の魅力を感じる観戦・交流・体験等の機会を充実します。参加者が目標や憧れを持ったり、これまで知らなかった競技に関心を広げたりするきっかけにつなげます。

■地域団体等と連携したスポーツに関する情報の展開

スポーツ団体、スポーツ推進委員、町会・地域団体、学校・大学等と情報を共有し、それぞれが持つ広報手段やネットワークを活かして、教室、イベント、活動等の情報を届けます。地域で実際に活動する人の声を活かし、受け手に伝わる発信を進めます。

■地域団体等と連携したスポーツを楽しむ機会の提供

地域の祭りやイベント等と連携し、気軽に身体を動かせる体験など、スポーツに関心が低い人も参加しやすい環境づくりを進めます。多様な世代が楽しめる内容にすることで、地域の新たな交流や継続的な活動につなげます。

ウ　分野間の連携による地域力の強化

参加者の興味・関心から他分野の活動へと広げていけるような連携が重要です。

学習活動、文化芸術、観光、国内・国際交流の取組とスポーツを組み合わせ、多様なスポーツ資源や人材がつながることで、地域への愛着や新たな活動につなげます。

取組の例

■他分野と連携した事業の実施

学習活動、文化芸術、観光、国内・国際交流の各分野と連携し、スポーツを入口として他分野への興味・関心につながる事業を展開します。参加者が他分野の楽しさや魅力にふれることで、分野を越えた継続的な参加や交流につなげます。

4. 文化芸術分野

（１）文化芸術とは

年齢や障害の有無等に関わらず、だれもが親しみをもち、多岐にわたる「みる(鑑賞・観覧等)」、「する(活動・参加等)」、「ささえる(普及・継承・指導等)」行動を文化芸術ととらえます。



【毎年点検･評価する指標】

分野	指標
文化芸術	文化芸術に関する事業の参加者数、満足度
	インクルーシブアートに関する事業の参加者数、出展数

（２）基本方針

①だれもが楽しめる機会の創出

文化芸術を身近に感じ、だれもがそれぞれの興味や関心に応じて楽しむことができるよう、広く情報発信に努めるとともに、多様な文化芸術にふれる機会の充実と参加しやすい環境づくりを進めます。

②文化芸術をささえる人材育成と環境整備

文化芸術活動を将来にわたって継承していくため、次代を担う世代が文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、担い手の育成や多様な主体との連携・協働により、活動を継続できる環境づくりに取り組みます。

③文化資源を活かした取組の強化

多彩な文化資源の魅力を広く発信し、資源を活かした体験や交流、地域団体等との連携を進めるとともに、関連する分野と連携し、地域への愛着につながる活用を図ります。

（３）施策

文化芸術分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
文化芸術	① だれもが楽しめる機会の創出	
		ア だれもがふれる機会の拡充
		イ 幅広い情報発信による参加しやすい環境づくり
		ウ 多様な価値観に寄り添う文化芸術活動の推進
	② 文化芸術をささえる人材育成と環境整備	
		ア 次代を担う世代の活動機会の充実
		イ 活動を継承する担い手育成
		ウ 多様な協働の創出と活動環境の拡充
	③ 文化資源を活かした取組の強化	
		ア さらなる文化資源の魅力の発信
		イ 資源の有効活用による体験・交流の推進
		ウ 分野間で連携した文化資源の活用

①だれもが楽しめる機会の創出

ア　だれもがふれる機会の拡充

文化芸術を身近に感じ、その魅力や楽しさを知るためには、日頃から気軽にふれる機会が重要です。

区民が優れた文化芸術を鑑賞できるコンサートや企画展等を「みる」だけでなく、区民参加型の文化芸術活動の実施により「する」を推進します。

取組の例

■多様な文化芸術にふれる機会の充実

コンサートや企画展、能楽鑑賞会等を通じて、区民が多様な文化芸術を身近に鑑賞し、その魅力や楽しさにふれる機会を充実させます。また、街なかのオープンスペース等の活用により、身近な場所で文化芸術にふれられる機会づくりを進めます。

■区民参加型の文化芸術イベントの継続実施、参加者層の拡大

秋の文化祭や各種大会等を継続して開催するとともに、幅広い世代の区民が参加し、日頃の文化芸術活動の成果を発表できる機会の充実を図ります。特に、若い世代の参加を促し、継続的な文化芸術活動への参加や世代を越えたつながりにつなげます。

■文化施設を気軽に楽しむ機会の充実

公演前のリハーサル公開やロビーコンサート、制作過程の紹介など、完成した作品を鑑賞するだけでなく、文化芸術の現場やその魅力に気軽にふれられる機会を充実します。

これらの取組により、これまで文化施設を利用する機会の少なかったこどもや、若い世代が足を運ぶきっかけづくりを進めます。

イ　幅広い情報発信による参加しやすい環境づくり

文化芸術への関心を実際の鑑賞や活動につなげるためには、それぞれの世代や関心に応じた情報が重要です。

SNS 等の多様な媒体を活用し、幅広い世代に効果的に情報を届けることで、文化芸術にふれ、気軽に参加するきっかけをつくります。

取組の例

■多世代に届く効果的な情報発信

文化芸術に関する事業やイベント、活動等について、紙媒体とデジタル媒体それぞれの特性を活かしながら、対象となる世代や興味・関心に応じてわかりやすく情報を発信し、鑑賞や活動への参加につなげます。

区報をはじめとした広報紙、文化施設等での情報提供機会を積極的に活用し、多世代に情報が届く環境を整えます。

■SNS 等の活用

SNS 等の多様な媒体を活用し、若い世代をはじめとする幅広い世代に、文化芸術の魅力や関係者の声等を効果的・継続的に発信し、関心を引き出し参加につなげます。また、公演・展示の開催情報に加えて、出演者・制作者・参加者の声、制作過程やリハーサルの様子など、文化芸術を身近に感じられる情報の発信を進めます。

■大学等との連携による情報発信

大学等との連携を通じて、こどもや若い世代に文化芸術に関する情報を届けます。学校を通じた情報提供に加え、既存のネットワークを活用し、鑑賞や活動への参加につながる接点を広げます。

ウ　多様な価値観に寄り添う文化芸術活動の推進

年齢や障害の有無、国籍や文化的背景等に関わらず、だれもが文化芸術を楽しむためには、それぞれの状況やニーズに応じて参加できる機会や環境が必要です。

文化芸術に参加・発表できる機会を充実させるとともに、オンライン等も活用し、多様な形で文化芸術にふれ、楽しめる環境を整えます。

取組の例

■区民の発表機会や活動の場の提供

区民が日頃の文化芸術活動の成果を発表し、活動を継続できるよう、発表機会や活動の場を提供します。中でも、次代を担う若い世代の参加拡大に向けて、区内大学等の文化芸術系サークルとのつながりを活かした参加機会の充実に努めます。

■こども向け文化芸術体験プログラムの実施

こどもが様々な文化芸術にふれ、その魅力や楽しさを体験できるプログラムを実施し、継続して文化芸術に親しみ、活動するきっかけをつくります。体験を一過性のものとせず、年代や関心に応じて関連する講座や地域の文化芸術活動へつなげ、こどもの頃から継続して文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。

推進にあたっては、学習活動や子育て支援事業等との連携を図ります。

■障害の有無等に配慮した鑑賞・参加機会の充実

だれもが文化芸術を楽しめるよう、多様なニーズに配慮し、鑑賞・参加の機会を生活の身近な場所に広げていきます。また、一人ひとりの個性や多様な表現にふれ、互いに楽しみ合える機会の充実を図ります。

設備面での対応に加え、対話やワークショップ形式による作品鑑賞の取組、音声ガイドや触図資料の提供、オンラインの活用等を積極的に取り入れ、推進していきます。高齢者が安心して鑑賞・参加できる環境づくりも引き続き推進します。

また、様々な事情から外出が難しい層に対するアウトリーチ

事業を強化し、福祉施設、病院、学校等へ出向いて、文化芸術とふれあう機会づくりを推進します。

■オンライン等も活用した文化芸術の発信・鑑賞機会の提供

オンライン等の活用により、場所や状況に関わらず、文化芸術にふれられる環境を整えます。デジタル上で文化芸術にふれた人が、実際の鑑賞や参加へとつながるきっかけづくりにも取り組みます。

②文化芸術をささえる人材育成と環境整備

ア　次代を担う世代の活動機会の充実

文化芸術を次の世代へつないでいくためには、若い世代が早い段階からその魅力にふれ、継続して関わるきっかけをつくることが重要です。

本区の文化資源を活かし、文化芸術団体等との連携を進めることで、能やかるた等の伝統文化をはじめとした文化芸術を体験し親しむ機会を充実させます。

取組の例

■能、かるた等の伝統文化に親しむ機会の提供

能やかるた等、区にゆかりのある伝統文化を鑑賞・体験する機会を提供し、こどもや若い世代がその魅力に親しみ、次代へ受け継ぐことへの関心を育むきっかけをつくります。

■学校や関係団体と連携した文化芸術体験の実施

学校や文化芸術団体等と連携することで、こどもや若い世代が多様な文化芸術にふれる機会を増やすとともに、地域の文化芸術に関わる団体・人との交流の場を充実させます。

また、関係部課との情報共有・連携を図りながら、地域で文化芸術活動を継続できる機会の充実につなげます。

■体験から継続的な活動につなげる仕組みづくり

文化芸術体験を一度限りで終わらせず、参加者の年代や興味・関心に応じて、関連する講座やイベント、地域の文化芸術団体等の活動へつなげます。特に、高校生や大学生が、成長に伴って文化芸術活動から離れることなく、自分に合った形で継続して関われる機会を広げます。

イ　活動を継承する担い手育成

文化芸術活動を継続・発展させていくためには、活動する人だけでなく、指導や運営等、様々な形でささえる人材を育てていくことが重要です。

文化芸術団体等と連携し、活動や運営ノウハウの継承を進めるとともに、文化芸術活動を担い、ささえる人材の育成を推進します。

取組の例

■文化芸術団体との協働による担い手育成事業の実施

文化芸術団体等との協働を通じて、活動や運営に関する知識・ノウハウの継承を図るとともに、指導者やボランティア等、文化芸術活動を担い、ささえる人材を育成し、継続して活動できる環境づくりにつなげます。特に、実際に活動する若手・中堅の担い手との交流を通じて、若い世代が文化芸術の魅力や活動の面白さにふれ、自らの関心や得意分野に応じた関わり方を見つけるきっかけづくりに取り組みます。

■文化芸術活動をささえる人材の確保・育成支援

文化芸術活動をささえる指導者、運営スタッフ、ボランティア、サポーター等の人材確保・育成のための取組を支援します。

文化芸術団体等との連携により、活動したい人材と、人材を必要とする団体とをつなぐ仕組みづくりを支援します。

■若い担い手や活動をささえる人材の活動の可視化

文化芸術活動に継続的に取り組む若い世代や、運営・ボランティア等として活動をささえる人材の取組を紹介し、活動を通じて得られる学びややりがい、人とのつながりも含めてその魅力を発信することで、新たな参加や次代への継承につなげます。

ウ　多様な協働の創出と活動環境の拡充

文化芸術活動を継続し、新たな活動へと広げていくためには、多様な主体がそれぞれの強みを活かしてささえ合うことが重要です。

大学や文化芸術団体、地域団体等との連携・協働を進め、文化芸術活動を継続するために、多様な主体のつながりから新たな活動が生まれる環境を整えます。

さらに、文京アカデミーを多様な人や活動がつながる基盤として活かし、新たな参加者、特に若い世代が継続して関われる環境づくりを進めます。

取組の例

■大学、文化芸術団体等との連携

区内大学や文化芸術団体等が持つ専門性や特色を活かし、学校や地域等とのつながりを広げながら、連携した文化芸術事業を展開します。特に、若い世代の関心、学びたいこと、得意分野と事業者側のニーズをつなぎ、企画・運営・広報等を実践的に経験できる機会を広げます。

■区民・団体との協働による文化芸術事業の推進

区民や地域の文化芸術団体等との協働により、それぞれの経験や知識を活かすとともに、個人や団体同士の新たなつながりや交流を生み出す文化芸術事業を推進します。

■文化芸術活動を継続するための支援

区民や文化芸術団体等が継続的に活動できるよう、活動や発表機会の提供に加えて、団体の運営や連携等も含め、活動の継続につながる支援を進めます。助成制度や寄付、企業などとの連携等、多様な支援の活用も図ります。

■文化芸術活動への新たな参加・交流の促進

これまで参加機会の少なかった区民や若い世代が新たに加わるきっかけをつくるとともに、既存の参加者や活動団体との交流を促進します。

情報発信や相談機能の充実、活動する個人、団体相互のつながりづくり等を通じて、新たな参加者が継続して活動できる環境を整え、活動の広がりと活性化、次代への継承につなげます。

P62

③文化資源を活かした取組の強化

ア　さらなる文化資源の魅力の発信

区内に受け継がれてきた文化資源を未来へとつなぐためには、その価値や魅力を知り、関心を持つ人を増やしていくことが重要です。

歴史や文学、文化財等をテーマとした企画展等により、文京区ならではの多彩な文化資源の魅力を広く伝えます。

取組の例

■歴史・文学・文化財等の魅力発信

企画展等を通じて、文京区にゆかりのある様々な文化資源を紹介します。紙媒体とデジタル媒体を効果的に活用し、まだあまり知られていない文化資源を含めて、その価値や魅力を広く発信し、その理解を深め、次代への継承につなげます。

■若い世代の視点を活かした文化資源の魅力発信

学生をはじめとする若い世代が、自らの関心や学びとの結びつきから文化資源の魅力を発見し、企画や情報発信等を実践的に経験できる取組を支援します。若い世代にとって新たな学びや地域とのつながりとなるように、その視点や発想を活かし、これまで文化資源に関心の薄かった層にも魅力を届けます。

この推進にあたっては、区内の大学等と連携を図っていきます。

P63

イ　資源の有効活用による体験・交流の推進

文化資源への理解や愛着を深めるためには、実際に見て、ふれ、体験する機会が重要です。

文化資源を活かしたイベントや体験プログラムにより文化資源を通じた交流を促すことで、地域への理解と愛着を育みます。

取組の例

■文化財や地域資源を活用したイベントの実施

区内の文化財や地域に受け継がれてきた文化資源を活かし、気軽に参加できるイベント等を通じて、その魅力を身近に感じられる機会を提供します。屋外会場や飲食等を取り入れるなど企画も工夫し、特に次代を担う若い世代の参加を促します。

■地域資源を活用した体験プログラムの充実

歴史や文化、伝統等の地域資源について、実際に見て、ふれ、学ぶことのできる体験プログラムを充実し、文化資源への関心を次の学びや活動につなげます。能楽堂等の地域の文化資源を巡るまち歩きと鑑賞・体験を組み合わせるなど、区の文化資源を活かした特徴ある内容を展開します。

学習活動分野の取組や学校等との連携を進め、継続的な体験を通じて文化資源への理解や愛着が次の学びや地域とのつながりへと広がる仕組みづくりを進めます。

■地域への愛着につながる文化芸術事業の展開

身近な文化資源を知り、体験する事業を通じて、地域の歴史や文化への理解を深め、区への愛着を育みます。また、地域の歴史や文化、伝統等の知識や経験を持つ人と、こどもや若い世代がともに学び、体験し、交流する機会をつくり、世代間のつながりと次代への継承につなげます。

P64

ウ　分野間で連携した文化資源の活用

多彩な文化資源の価値をさらに高めるためには、様々な分野や主体とのつながりが重要です。

学習活動やスポーツ、観光、国内・国際交流の他分野との連携事業を進めるとともに、文化資源を多面的に活かす取組を推進します。また、必要に応じて教育・福祉等の関連領域との連携も図ります。

取組の例

■他分野との連携事業

学習活動やスポーツ、観光、国内・国際交流の他分野と連携し、それぞれの特色を活かしながら、文化資源にふれ、学び、地域を訪れるきっかけとなる取組を進めます。

■地域団体等と連携した文化資源の活用

地域団体や関係機関等と連携し、それぞれが持つ知識や資源を活かしながら、相互のつながりも意識した活用・発信を進めていきます。

■共通テーマを軸とした分野横断型プログラムの展開

文学、歴史、文化財等の文化資源を共通テーマとして、講座、まち歩き、鑑賞・体験、交流等を組み合わせ、複数の分野からその魅力を楽しめる企画を展開します。

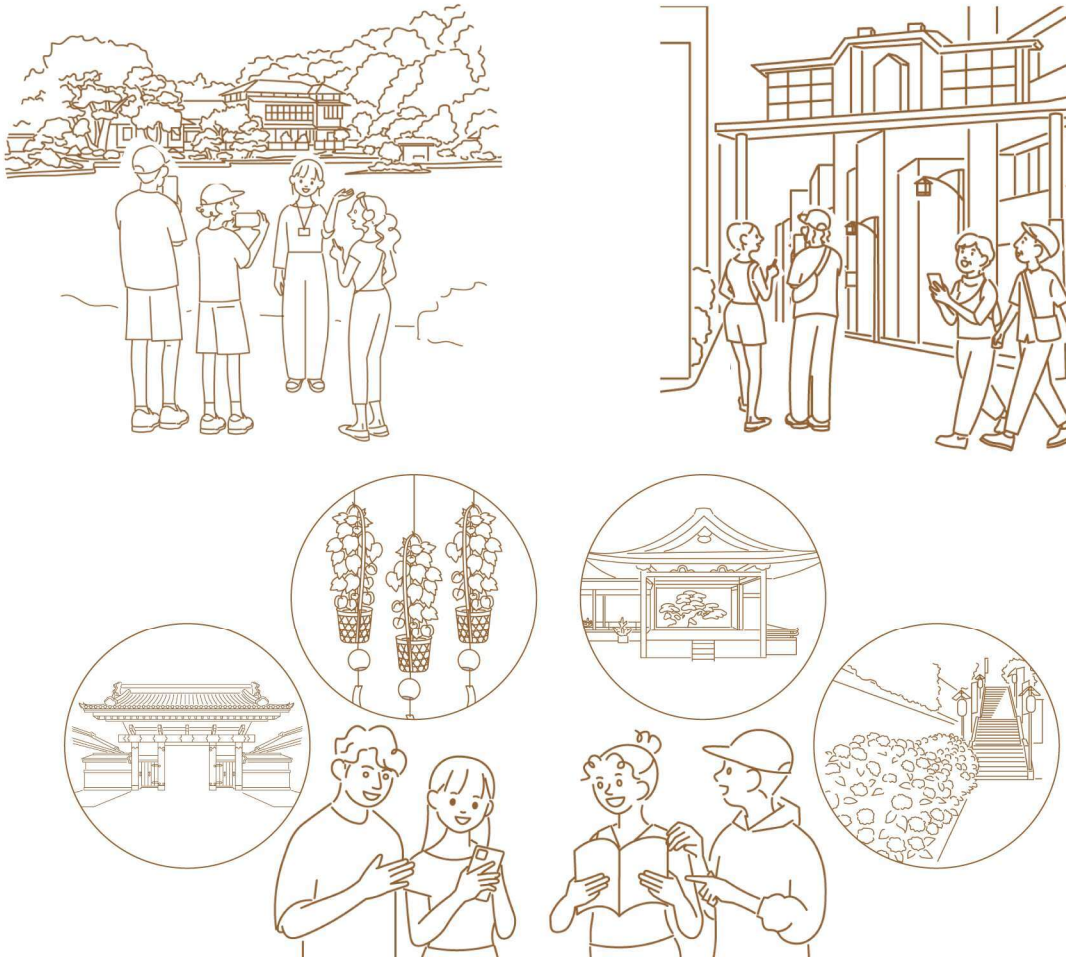
大学等との連携を通じて、若い世代が自らの関心や学びを活かしながら、企画や実施を経験できる機会づくりにも取り組みます。

P65

5. 観光分野

（1）観光とは

旅先の風景や観光スポット等を見るだけでなく、「ふれあい」「学び」「遊ぶ」ことなどを目的とし、趣味や健康等をテーマとした旅行も観光ととらえます。



【毎年点検･評価する指標】

分野	指標
観光	観光ガイドツアーの参加者数、満足度

（２）基本方針

①地域資源を活かした区内周遊の強化

身近な観光資源を育み、連携させることで新たな魅力を生み、区内周遊を促します。

②観光による地域の環境づくりと活性化

地域資源の魅力をとらえた情報を発信し、区内周遊を日常的に楽しめる、安全・安心な環境を整備します。

③区民とのつながりを通した相互理解の促進

多様な連携に加え、ガイド等の担い手人材の育成を図り、地域住民と来訪者等との交流を通じた相互理解と来訪者の満足度向上につなげます。

（３）施策

観光分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
観光	① 地域資源を活かした区内周遊の強化	
		ア 身近な観光資源の開拓によるさらなる魅力発掘
		イ 新たな魅力の創出と周遊性の向上
	② 観光による地域の環境づくりと活性化	
		ア 地域資源の魅力をとらえた情報の発信
		イ 安全・安心な基盤の整備による地域の活性化
	③ 区民とのつながりを通した相互理解の促進	
		ア 多様な連携による観光の拡充
		イ 担い手の育成とその人材を活かした地域づくり
		ウ 観光資源を通した区民とのふれあいによる理解促進

①地域資源を活かした区内周遊の強化

ア　身近な観光資源の開拓によるさらなる魅力発掘

本区の多彩な観光資源を継承するとともに、区に関わる人材の多様な視点を取り入れながら、新たな魅力を発掘します。

学習や文化芸術活動等とも連携し、新たな切り口を活用することで、日常の中にある発見や楽しみ方の間口を広げ、潜在的な来訪者層との接点を生み出します。

取組の例

■さらなる魅力を発掘するためのイベントの実施

区内在住・在勤・在学者、若い世代、外国人などを問わず、それぞれの視点で地域の魅力を発見・共有できるまち歩きや参加型イベント等を実施し、新たな観光資源の発掘につなげます。

■ICT を活用したまち歩き観光の推進

デジタルマップや AI コンシェルジュ等の ICT を活用し、歴史や文化、創作作品などをきっかけとして、手軽に楽しめるまち歩きの仕掛けを充実させます。

イ　新たな魅力の創出と周遊性の向上

区内に点在する観光資源や施設を、エリアやジャンルごとにつなぐことで、来訪者の関心に応じた巡りやすい周遊の仕組みを整えることが重要です。

コミュニティバス等の交通手段と、施設間連携やガイドツアー等を組み合わせ、スポーツや文化芸術など他分野の要素も取り入れることにより、周遊性の向上と地域の活性化につなげます。

取組の例

■移動手段ごとの周遊提案

現場のニーズを踏まえ、テーマや季節に応じて、徒歩・自転車・バスなどによる周遊ルートを提案・発信し、興味や目的に応じて選びやすい情報提供に努めます。

■徒歩・自転車での回遊を促す環境整備

案内表示や休憩場所等、まちを徒歩や自転車で巡りやすい環境を整えるとともに、安全面や暑さへの配慮など、快適に周遊できる環境づくりを進めます。

■施設間の連携等

博物館・美術館、庭園等の施設間における情報共有や相互案内、共同企画等を促すとともに、近隣自治体とも連携し、エリアとしての魅力向上と周遊の広がりにつなげます。

②観光による地域の環境づくりと活性化

ア　地域資源の魅力をとらえた情報の発信

安心して利用できる信頼性の高い情報を、必要な人にわかりやすく届ける環境整備が重要です。

多言語対応を進めるとともに、デジタルと紙のそれぞれの特長を活かしながら、旅マエ・旅ナカ・旅アトの各場面で役立つ情報発信を充実させます。

取組の例

■観光情報の多言語対応の充実

観光ガイドブックやデジタルマップ、観光案内等の多言語対応を充実させ、海外からの来訪者をはじめ、だれもが必要な情報を得やすい環境を整えます。区内在住・在学等の外国人の視点も活かし、伝わりやすく効果的な情報発信につなげます。

■観光協会ホームページや SNS のコンテンツ充実

区・観光協会のホームページや SNS について、動画を含む魅力的なコンテンツの充実を図ります。区民、来訪者等の自発的な情報発信を促すことにより、区の観光情報の発信力を底上げします。

イ　安全・安心な基盤の整備による地域の活性化

観光客の利便性だけでなく、地域住民の生活環境にも配慮し、観光振興と住環境の保全を両立することが重要です。

各施設や関係機関等との連携により、必要な情報や課題を把握し、訪れる人・住む人の双方にとって安全・安心な環境づくりを進めます。

取組の例

■だれもが安全・安心して訪れることができる環境整備

地域の施設や関係機関等と連携し、休憩場所や暑さ対策、案内環境等を充実させるとともに、危険や不安につながる情報を早期に把握し、だれもが安心して訪れることができる環境を整えます。

■スムーズで快適な観光体験の提供

多言語による案内、施設利用時のルール・マナーに関する情報提供などを充実させ、来訪者が不安を感じにくく、スムーズで快適な観光体験につなげます。

③区民とのつながりを通した相互理解の促進

ア　多様な連携による観光の拡充

観光をきっかけに新たな人や地域との接点を生み出すため、他分野と連携し、多様な関心から文京区を訪れ、楽しめる取組を展開します。

協定等締結自治体などとの連携を進め、イベント等を通した区民と来訪者との交流により相互理解を深めることで、交流人口の増加や地域の活性化につなげます。

取組の例

■分野横断的取組の展開

学習活動、スポーツ、文化芸術、国内・国際交流と連携し、それぞれの分野への興味・関心を観光の入口としたイベントやまち歩き等を展開することにより、潜在的な来訪者層との接点を生み出します。

■他自治体との相互観光 PR・連携事業の実施

協定等締結自治体や近隣自治体等と、相互の観光 PR や連携イベント、共同企画等を行い、それぞれの地域の魅力を知り、行き来するきっかけをつくります。

イ　担い手の育成とその人材を活かした地域づくり

多様な人材が、自らの関心や学び、得意分野に応じて観光に関わることのできる環境を整えます。参加することで得られる学びや交流、地域とのつながり等を発信することで、担い手として関わる魅力を伝えます。

取組の例

■新たな観光活性化の担い手発掘

「まちを紹介したい」という区民等の意欲を活かし、学生、外国人、シニア層や地域の事業者等が、それぞれの関心や得意分野に応じて観光と接点を持つ機会を創出します。

■観光ガイドの育成

多様な人材によるボランティアガイドの育成を推進することで、日本語及び英語でのまち歩きツアーの充実を図ります。様々な経験を有するボランティアガイドの創意工夫を活かした多彩なツアーを展開し、参加者の興味・関心を高め、区の魅力を効果的に発信します。

P74

ウ　観光資源を通した区民とのふれあいによる理解促進

区の観光資源は、来訪者にとって魅力的なだけでなく、区民の暮らしと結びついた大切な地域資源です。

来訪者と区民がその価値をともに知り、ふれあいながら、地域資源への理解と愛着を次の世代へつなげます。

取組の例

■サステナブル・ツーリズムの体験型・参加型の保全プログラムの展開

文化財、歴史的建造物、庭園等の管理者や専門家から学びながら、地域資源を「守る」ための体験等を展開し、観光を通じて資源の価値への理解を深めます。

■来訪者と共有する地域資源の保全・継承

大学や地域団体等と連携し、若い世代の関心や学び・体験のニーズと、地域資源の案内・発信等の活動を結びつけ、自らの興味や得意分野を活かしながら地域資源に関われる機会をつくります。区民と来訪者が地域資源の価値を共有し、ともに保全・継承をささえていくつながりを育みます。

6. 国内･国際交流分野

（１）国内・国際交流とは

協定等の締結にとらわれず、様々な分野にわたる住民・団体同士のつながりに関わるものを交流ととらえ、「国内」と「国際」を分けて整理します。



（２）基本方針

①分野間の連携による住民相互の交流機会促進

多様なテーマから交流都市とつながり、住民相互の興味・関心を広げ、区の魅力の再発見を目指します。

②わかりやすい情報発信と交流の機会づくり

交流をさらに充実させるため、区民へのわかりやすい情報発信、交流機会の創出を推進します。

③外国人との交流の場の創出による国際理解の醸成

区内在住・在学・在勤の外国人との交流を促進し、交流の場を通して国際理解の醸成を図ります。

（３）施策

国内・国際交流分野の施策体系は以下のとおりです。

分野	基本方針	施策
国内・国際交流	①　分野間の連携による住民相互の交流機会促進	
		ア　多様なテーマ設定による興味・関心の広がり
		イ　区ではできない体験のきっかけづくり
		ウ　都市とのつながりを通しての区の魅力の再発見
	②　わかりやすい情報発信と交流の機会づくり	
		ア　ターゲットへ的確に伝わるわかりやすい情報発信
		イ　つながりのある都市との魅力の相互発信
		ウ　行政間連携による地域資源を活かした交流機会の充実
	③　外国人との交流の場の創出による国際理解の醸成	
		ア　外国人との交流機会の充実
		イ　交流を通じた国際理解の促進

①分野間の連携による住民相互の交流機会促進

ア　多様なテーマ設定による興味・関心の広がり

他分野への関心や参加意向を踏まえ、国内・国際交流事業の魅力化を図り、広げていくことが重要です。

身近な社会課題をテーマとしたイベント等により、国内・国際交流への機運醸成を図ります。

取組の例

■他分野との連携による交流テーマの多様化・魅力化

球技や武道等のスポーツ、文学や古典芸能等の文化芸術、観光、学習活動等をきっかけとして、他分野との連携により交流事業のテーマを広げます。

国内・国際交流そのものへの関心の度合いに関わらず、身近な興味・関心から参加できるきっかけをつくり、住民同士の交流につなげます。

■社会課題をテーマとする取組を通じた交流支援

防災・平和学習等、地域に共通する社会課題をテーマとして、文京区や交流都市の学校・地域団体等によるネットワークを活かした交流を進めます。

こどもや若い世代が地域間での違いや共通点を学び、将来につながる経験を得られる機会の充実を図ります。

イ　区ではできない体験のきっかけづくり

国内外の交流都市と連携することにより、学習活動や観光等を通した交流をきっかけとし、本区ではできない体験を満喫できる環境づくりを推進します。

取組の例

■区内では経験できない自然の中での事業や異文化体験機会の創出

交流都市ならではの自然、文化、産業等にふれる体験や、学校・地域団体等と連携した学習活動など、交流の機会を創出します。

ウ　都市とのつながりを通しての区の魅力の再発見

交流都市にまつわる情報を周知し、提供していくことで、区民の興味・関心を湧かせ、継続的な交流につなげるとともに、あらためて文京区の良さを知ることができる取組を推進します。

取組の例

■交流都市とのつながりや交流のきっかけとなる背景の周知

物産展、区報、SNS、講座等の多様な機会を活用し、文学・歴史・防災等、交流都市と区との交流の背景や過去の取組内容を発信します。年代や関心の度合いに応じて伝え方を工夫することで、交流都市への訪問を促し、交流の機運を高めます。

■交流都市との交流を通した文京区の魅力再発見

イベントへの出展・協力や相互訪問等を通じて、交流都市の文化や暮らしを知り、互いの魅力を発見する機会をつくることで、異なる背景理解の先にある区の魅力の再発見や区への愛着につなげます。

②わかりやすい情報発信と交流の機会づくり

ア　ターゲットへ的確に伝わるわかりやすい情報発信

世代や関心、言語等に応じて、媒体や内容、発信時期を工夫することが重要です。SNS 等を活用し、ターゲットにわかりやすく情報を届けます。

交流事業の予定や参加方法を適切な時期に周知するとともに、区内の文化や地域資源の魅力について、国内外に正確に発信していきます。

取組の例

■ホームページ・SNS 等を活用した情報発信・PR の充実

区報、ホームページ、SNS 等の特性を活かし、交流事業の予定や参加方法、交流都市の魅力等をわかりやすく発信します。対象に応じて紙やデジタル、多言語を使い分けるとともに、ホームページ等では区内の周遊・滞在につながる情報を発信し、幅広い層へ情報の到達を図ります。

■訪問団の派遣・受入れ事業等を活用した情報発信

訪問団の派遣や受入れ、学生や住民相互の交流、区内施設を見学する様子や参加者の声を発信し、交流を身近に感じられる情報を充実させます。参加者が交流を通じて得た気づきや楽しさを伝え、新たな参加や次の交流のきっかけとなるよう、継続的な情報発信につなげます。

イ　つながりのある都市との魅力の相互発信

つながりのある都市との節目のキャンペーンなどを通じて、双方向からの情報共有と相互発信を促します。時期やテーマに応じて紹介することで、住民同士の関心と交流を深めます。

取組の例

■つながりのある都市の周知と認知度向上に資するイベントの定着化

区と交流都市の文化、物産、取組等を知り、住民同士が交流できる機会を継続的に設けます。交流都市の住民や関係者とイベントの来場者が直接つながる機会づくりを進めます。

■協定締結等の周年時期を利用した重点的な企画と周知

協定締結等の周年や節目を活用して個々の都市を重点的に紹介し、交流の背景や特色を知る企画の情報発信を行います。

■情報の共有と相互発信

交流都市と情報を共有し、本区から相手地域の魅力を、相手地域から本区の魅力を発信する双方向の取組を進めます。双方のイベントへの出展・協力や、文学・古典芸能等の文化芸術をはじめとする共通テーマを活かし、住民同士が互いの地域を知り、新しい発見や交流につながる機会を広げます。

ウ　行政間連携による地域資源を活かした交流機会の充実

文化施設や観光地だけでなく、産業・経済を含めた地域資源を活かした取組を通じ、交流都市との連携強化を図ります。

取組の例

■地域と経済の活性化

物産展等を通じて交流都市の地域産業や特産品の魅力を伝え、区民と事業者との交流を促すことで、双方の地域経済の活性化につなげます。

■社会課題を通した他都市との交流・連携強化

災害時の相互支援、一時的な避難先の確保等、有事も見据えた行政間の連携を進めます。日頃から交流を積み重ねることで、必要なときに助け合える関係づくりを進めます。

■共生社会を念頭に多様な団体等と連携した交流機会の創出

行政だけでなく、大学等の学校、地域団体、民間団体などと連携し、それぞれの強みやネットワークを活かした交流機会を創出します。語学や外国の文化・歴史等を学ぶ機会を充実させるとともに、区民が関心や経験に応じて参加でき、交流を楽しみながら関わることのできる機会を広げます。

P84

③外国人との交流の場の創出による国際理解の醸成

ア　外国人との交流機会の充実

国籍や言語にとらわれることなく、日常的に顔の見える関係をつくることが重要です。

交流機会を充実させることで、外国人との日常的な関係を築き、さまざまな場面で相互に助け合える関係づくりを進めます。

取組の例

■身近なテーマを扱う講座を活用した相互交流の拡充

防災を含めた生活等の身近なテーマを扱う講座等を活用し、共に学び合える機会を充実させます。日頃から交流を重ねることで、災害時に助け合える関係へとつなげます。

■ボランティア参加等を通じた外国人の交流機会拡大

町会の祭り、防災イベント、地域活動等への参加を通じて、自然に交流できる機会を広げます。本人の関心や得意分野に応じて、スポーツ・観光等において、知識や経験を活かせるボランティア活動等を紹介し、自分にあった形で地域に関わることのできる場を広げます。

■大学等を通じた留学生の交流事業への参画促進

大学等を通して留学生に交流事業の情報を届け、留学生自身の関心や学び、地域との交流ニーズに応じて、イベントに参加したり、希望する人が交流の担い手やボランティアとして関わったりできる機会を広げます。若い世代間の交流を通して、新たな経験や継続的なつながりへとつなげます。

イ　交流を通じた国際理解の促進

国際理解を深めるためには、外国人に日本の文化や生活習慣を伝えるだけでなく、外国人の文化や習慣、生活上の背景を知り、互いに学び合うことが重要です。

国際交流都市との連携により、文化や慣習の違いを理解する中で、興味・関心を醸成します。交流を深めていくことで関心が強まり、国際理解の促進及び共生社会の実現につなげます。

取組の例

■国籍を超えた区民どうしの相互理解と交流の促進

在住外国人と区民が、互いの文化・習慣や地域での暮らしについて知り、学びあう機会を充実させます。双方の疑問や不安に寄り添いながら、正確な相互理解と信頼を育み、交流活動への心理的なハードルを下げていきます。

■分野間連携を通じた国際交流促進

学習活動分野と連携した講座、文化芸術分野と連携した鑑賞・体験、スポーツや観光を通じた交流等、他分野を入口に国際交流の機会を広げます。ともに文化芸術を鑑賞・体験したり、スポーツやまち歩きを楽しんだりする機会を通じて、ごく自然に相互理解へとつなげていきます。

■各機関等と連携した国際交流への関心喚起

町会、学校、地域団体等と連携し、国籍を超えた区民どうしが身近な地域の活動や交流機会に参加しやすい環境を整えます。区民が海外の文化を知り、外国人が日本の文化にふれる双方向の交流を通して、幅広い世代における関心の喚起につなげます。

第5章

計画の推進体制と役割

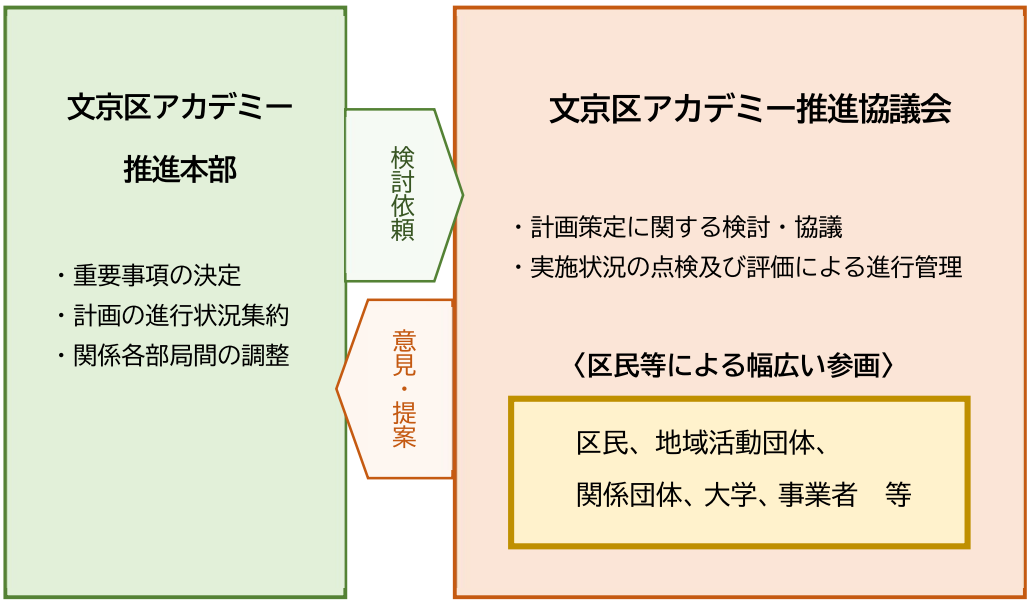
１．計画の推進体制と役割

本計画は、区と区民等の「連携・協働」に基づき推進するため、庁内のみならず、学識経験者、関係団体及び区民等からなる会議体による事業評価が必要です。

評価にあたり、本計画に係る施策を総合的に推進するための庁内組織である「文京区アカデミー推進本部」[1]（以下、「推進本部」という。）と、進行管理を行うための組織である「文京区アカデミー推進協議会」[2]（以下、「推進協議会」という。）からなる推進体制をとります。

推進本部では、関連する各部局との連携・協力を充実させ、本計画に定めた施策活性化のための事業を総合的に推進していきます。推進協議会は、毎年度、計画における事業の実施状況について、区民目線で点検及び評価を行います。

本計画の推進体制



[1] 文京区アカデミー推進本部設置要綱に基づき運営

[2] 文京区アカデミー推進協議会設置要綱に基づき運営。推進本部長が委嘱する、学識経験者、生涯学習関係団体、スポーツ関係団体、文化芸術関係団体、観光関係団体、国内交流団体、国際関係団体等及び公募区民からなる委員で構成。

２．計画の進行管理

各分野の基本方針とその施策に基づく様々な事業の実施から点検・評価を経て、改善や見直しへとつなげるPDCAサイクルを推進します。

定量的な指標による評価に関しては、その設定方法や水準、事業成果の質的側面への評価、毎年取得可能なデータの採用、年ごとの特殊要因を加味した評価などが課題として挙げられており、これらを踏まえた点検・評価体制を整備することで質の向上を図っていきます。



（１）計画期間を通して毎年実施する点検・評価

各分野における個々の事業の実施状況の点検と成果を把握し（Check）、その結果を踏まえ、本計画の目標達成に必要な改善・見直し（Action）を行い、次年度以降の事業計画へと反映させます(Plan)。

分野	指標
学習活動	講座の受講者数とその満足度
スポーツ	区主催のスポーツ事業における参加者数、満足度
	ユニバーサルスポーツ等の参加者数
文化芸術	文化芸術に関する事業の参加者数、満足度
	インクルーシブアートに関する事業の参加者数、出展数
観光	観光ガイドツアーの参加者数、満足度

（２）計画全体の総合評価

毎年の実施事業に対する点検・評価に加え、本計画全体の成果にかかる評価を行います（Check）。評価は、本計画の成果を測るものとして位置付ける指標を主軸に総合的に行うものとします。

評価の実施に先立ち、計画期間を通じて変化した区民等の意識や活動状況と達成状況等の把握を目的とした実態調査を行い、総括に向けた成果指標等のデータを取得します。

この評価では、社会経済等の外的環境要因も考慮しつつ、次期計画の策定にあたって改善すべき点や見直しの方向性を明らかにします（Action）。

分野	指標
学習活動	1年間に学習活動を行った人の割合
	これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かした人の割合
スポーツ	週1回程度以上のスポーツ実施率
	スポーツ観戦率
	スポーツを「ささえる」活動への参加率
文化芸術	1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合
	1年間に文化芸術活動をした人の割合
観光	文京区の他者推奨意向

資料編

P93

１．用語解説

２．文京区アカデミー推進計画　検討経過

（１）文京区アカデミー推進協議会経過

回数	開催日	主な検討内容
令和7（2025）年度		
第1回	令和7年 6月 9日(月)	○アカデミー推進計画の実態調査について ○アカデミー推進計画の点検・評価について
第2回	令和7年 8月 26 日(火)	○アカデミー推進計画の実態調査の調査項目について ○アカデミー推進計画の点検・評価について
第3回	令和8年 1月 20 日(火)	○アカデミー推進計画の実態調査について ○アカデミー推進計画の点検・評価について(まとめ)
令和8（2026）年度		
第1回	令和8年 5月 11 日(月)	○アカデミー推進計画の改定及び点検・評価について
第2回	令和8年 7月 6日(月)	○次期アカデミー推進計画の構成案について
第3回	令和8年 8月 21 日(金)	○次期アカデミー推進計画の構成(案)について
第4回	令和8年 10月29日(木)	○次期アカデミー推進計画の素案について ○アカデミー推進計画の点検・評価について(まとめ)
第5回		

（２）文京区アカデミー推進協議会分科会経過

①学習活動分野分科会

回数	開催日	主な検討内容
令和7（2025）年度		
第1回	令和7年 11月25日(火)	○学習活動分野の実態調査及び点検・評価について
令和8（2026）年度		
第1回	令和8年 5月 25 日(月)	○学習活動分野の定義及び現状と課題について
第2回	令和8年 7月 23 日(木)	○学習活動分野の施策体系(案)について
第3回	令和8年 9月 18 日(金)	○学習活動分野の施策等について ○アカデミー推進計画の点検・評価について

②スポーツ分野分科会

回数	開催日	主な検討内容
令和7（2025）年度		
第1回	令和7年 11月17日(月)	○スポーツ分野の実態調査及び点検・評価について
令和8（2026）年度		
第1回	令和8年 6月 4日(木)	○スポーツ分野の定義及び現状と課題について
第2回	令和8年 8月 7日(金)	○スポーツ分野の施策体系(案)について
第3回	令和8年 9月 14 日(月)	○スポーツ分野の施策等について ○アカデミー推進計画の点検・評価について

③文化芸術分野分科会

回数	開催日	主な検討内容
令和7（2025）年度		
第1回	令和7年 11月13日(木)	○文化芸術分野の実態調査及び点検・評価について
令和8（2026）年度		
第1回	令和8年 5月 29 日(金)	○文化芸術分野の定義及び現状と課題について
第2回	令和8年 7月 31 日(金)	○文化芸術分野の施策体系(案)について
第3回	令和8年 9月 9日(水)	○文化芸術分野の施策等について ○アカデミー推進計画の点検・評価について

④観光分野分科会

回数	開催日	主な検討内容
令和7（2025）年度		
第1回	令和7年 11月21日(金)	○観光分野の実態調査及び点検・評価について
令和8（2026）年度		
第1回	令和8年 5月 27 日(水)	○観光分野の定義及び現状と課題について
第2回	令和8年 7月 27 日(月)	○観光分野の施策体系(案)について
第3回	令和8年 9月 29 日(火)	○観光分野の施策等について ○アカデミー推進計画の点検・評価について

⑤国内・国際交流分野分科会

回数	開催日	主な検討内容
令和7（2025）年度		
第1回	令和7年 11月28日(金)	○国内・国際交流分野の実態調査及び点検・評価について
令和8（2026）年度		
第1回	令和8年 6月 9日(火)	○国内・国際交流分野の定義及び現状と課題について
第2回	令和8年 7月 29 日(水)	○国内・国際交流分野の施策体系(案)について
第3回	令和8年 9月 16 日(水)	○国内・国際交流分野の施策等について ○アカデミー推進計画の点検・評価について

（３）文京区アカデミー推進本部経過

回数	開催日	主な検討内容
令和7（2025）年度		
第1回	令和7年 5月 14 日(水)	○文京区アカデミー推進計画に関する実態調査の実施について ○文京区アカデミー推進計画の点検・評価について
第2回	令和7年 8月20日(水)	○文京区アカデミー推進計画に関する実態調査の調査項目(案)について ○文京区アカデミー推進計画の点検・評価について
第3回	令和8年 1月 28 日(水)	○文京区アカデミー推進計画の実態調査の結果について ○令和6年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について(報告)
令和8（2026）年度		
第1回	令和8年 4月22日(水)	○文京区アカデミー推進計画の改定について ○文京区アカデミー推進計画の点検・評価について
第2回	令和8年 7月 1日(水)	○次期文京区アカデミー推進計画の構成案について
第3回	令和8年 8月26日(水)	○次期文京区アカデミー推進計画の構成(案)について
第4回		
第5回		

３．文京区アカデミー推進協議会　名簿

（敬称略）

	分　野	氏　名	団体等	所属分科会
1	学識経験者	山田　徹雄	跡見学園女子大学名誉教授	観光、国内・国際交流
2	学識経験者	青木　和浩	順天堂大学スポーツ健康科学部教授	スポーツ
3	学識経験者	垣内　恵美子	政策研究大学院大学名誉教授	文化芸術
4	学識経験者	荻野　亮吾	日本女子大学人間社会学部教育学科准教授	学習活動
5	生涯学習関係団体	阿部　裕子※ 米川　清水※	文京アカデミア学習推進委員会	学習活動
6	生涯学習関係団体	三浦　武裕	文京アカデミア生涯学習支援者の会	学習活動
7	スポーツ関係団体	髙木　いつ子	文京区スポーツ推進委員会	スポーツ
8	スポーツ関係団体	脇　弥恵子	文京区スポーツ協会	スポーツ
9	文化芸術関係団体	髙澤　芳郎	一般社団法人　ジャパン・シンフォニック・ウインズ	文化芸術
10	文化芸術関係団体	牧野　恒良	公益社団法人　宝生会	文化芸術
11	観光関係団体	小能　大介	一般社団法人　文京区観光協会	観光
12	商工団体	関　誠	東京商工会議所文京支部	観光
13	国内交流団体	佐伯　晃	津和野町東京事務所	国内・国際交流
14	国際関係団体	山田　健一	学校法人　ABK学館日本語学校	国内・国際交流
15	町会団体	滝沢　克也	文京区町会連合会	学習活動、観光
16	女性団体	細谷　はるか	文京区女性団体連絡会	学習活動、国内・国際交流
17	商店街団体	川又　靖則	文京区商店街連合会	観光、国内・国際交流
18	障害者団体	野村　美奈	社会福祉法人武蔵野会　リアン文京	スポーツ、文化芸術
19	高齢者団体	宮本　長範	文京区高齢者クラブ連合会	文化芸術、観光
20	青少年団体	那須　晴吾	文京区青少年委員会	学習活動、国内・国際交流
21	PTA	蜂谷　伸治	文京区立小学校PTA連合会	スポーツ、観光
22	PTA	篠塚　麻衣子	文京区立中学校PTA連合会	スポーツ、文化芸術
23	指定管理者	篠原　秀徳	公益財団法人　文京アカデミー	学習活動、文化芸術
24	区民	相澤　みどり	公募区民委員	学習活動、国内・国際交流
25	区民	中島　多津子	公募区民委員	学習活動、観光
26	区民	髙橋　明弘	公募区民委員	文化芸術、観光
27	区民	樋口　晃	公募区民委員	スポーツ、国内・国際交流
28	区民	小木　貢	公募区民委員	スポーツ、文化芸術

※任期：阿部氏が令和7年6月9日～令和8年5月10日、米川氏が令和8年5月11日～令和9年3月31日

４．文京区アカデミー推進協議会設置要綱

１８文区ア第１１８号 平成１８年６月２日区長決定
２１文アア第３５０号 平成２１年９月１日改正
２３文アア第７０１号 平成２４年２月２０日改正
２４文アア第１５４号 平成２４年６月１日改正
２６文アア第１６９号 平成２６年５月１日改正
２６文アア第１１１５号 平成２７年１月２３日改正
３０文アア第１０４号 平成３０年４月１日改正
2019 文アア第１０６号 平成３１年４月１日改正
2022 文アア第１７４６号 令和５年２月１５日改正

（設置）

第１条　文京区アカデミー推進計画の進行管理を行うため、文京区アカデミー推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第２条　協議会は、次の事項について協議・検討を行う。

一　文京区アカデミー推進計画における事業の実施状況の点検、評価に関すること。

二　文京区アカデミー推進計画の推進に必要な事項。

三　文京区アカデミー推進計画の改定に関すること。

（構成）

第３条　協議会の委員は、学識経験者、生涯学習関係団体、スポーツ関係団体、文化芸術関係団体、観光関係団体、国内交流団体、国際関係団体等及び公募区民から文京区アカデミー推進本部設置要綱第３条に規定する本部長（以下「本部長」という。）が委嘱する者２０人以内をもって構成する。

２　本部長は、特別の事項を調査し、又は審議するため、前項に規定する委員のほか、臨時委員を委嘱することができる。

（任期）

第４条　協議会の委員の任期は、２年以内とし、委員が欠けたときにおける補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

２　前項に規定する委員の任期は、委嘱した日からとする。

（会長及び副会長）

第５条　協議会に会長及び副会長各１人を置く。

２　会長は、委員の互選により選任する。

３　会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

４　副会長は、委員のうちから、会長が指名する

５　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。

（招集）

第６条　協議会は、会長が招集する。

（関係者の意見聴取）

第７条　協議会は、必要があると認めたときは、それぞれ委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は助言を受けることができる。

（幹事）

第８条　協議会に幹事を置く。

２　幹事は、アカデミー推進部長、アカデミー推進部アカデミー推進課長、アカデミー推進部観光・都市交流担当課長、アカデミー推進部スポーツ振興課長及び教育推進部真砂中央図書館長の職にある者とする。

３　幹事は、協議会に出席し、意見を述べることができる。

（分科会）

第９条　会長は、協議会の効率的運営を図るため、協議会に分科会を置くことができる。

２　分科会は、協議会から指定された事項について検討し、その結果を協議会に報告する。

３　分科会は、座長及び分科会員をもって組織する。

４　座長は、第３条の学識経験者のうちから、会長が指名する。

５　分科会員は、協議会員のうちから、会長が指名する。

（庶務）

第１０条　協議会の庶務は、アカデミー推進部アカデミー推進課において処理する。

（委任）

第１１条　この要綱に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が定める。

付　則（平成１８年６月２日付１８文区ア第１１８号）

この要綱は、平成１８年８月１日から施行する。

付　則（平成２１年９月１日付２１文ア第３５０号）

この要綱は、平成２１年９月１日から施行する。

付　則（平成２４年２月２０日付２３文ア第７０１号）

この要綱は、平成２４年２月２０日から施行する。

付　則（平成２４年６月１日付２４文ア第１５４号）

この要綱は、平成２４年６月１日から施行する。

付　則（平成２６年５月１日付２６文ア第１６９号）

この要綱は、平成２６年５月１日から施行する。

付　則（平成２７年１月２３日付２６文ア第１１１５号）

この要綱は、平成２７年２月１日から施行する。

付　則（平成３０年４月１日付３０文ア第１０４号）

この要綱は、平成３０年４月１日から施行する。

付　則（平成３１年４月１日付 2019 文ア第１０６号）

この要綱は、平成３１年４月１日から施行する。

付　則（令和５年２月１５日付２０２２文ア第１７４６号）

この要綱は、令和５年４月１日から施行する。

５．文京区アカデミー推進本部設置要綱

18 文区ア第 33 号平成 18 年 4 月 1 日区長決定
21 文アア第 5 号平成 21 年 4 月 1 日改正
24 文アア第 821 号平成 24 年 4 月 1 日改正
26 文アア第 313 号平成 26 年 4 月 1 日改正
28 文アア第 418 号平成 28 年 4 月 1 日改正
29 文アア第 109 号平成 29 年 4 月 1 日改正
30 文アア第 174 号平成 30 年 4 月 1 日改正
2019 文アア第 125 号平成 31 年 4 月 1 日改正
2023 文アア第 44 号令和 5 年 4 月 1 日改正
2025 文アア第 14 号令和 7 年 4 月 1 日改正
2025 文アア第 1035 号令和 8 年 3 月 26 日決定

（設置）

第１条　文京区アカデミー推進計画に係る施策を総合的に推進するため、文京区アカデミー推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。

（所掌事項）

第２条　推進本部の所掌事項は、次のとおりとする。

（1）文京区アカデミー推進計画の策定等に関すること。

（2）文京区アカデミー推進計画の推進に係る諸施策の調整等に関すること。

（3）文京区アカデミー推進計画の点検・評価に関すること。

（4）その他、文京区アカデミー推進計画推進のための重要な事項の決定

（構成）

第３条　推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって構成する。

２　本部長は、区長とし、推進本部を総括する。

３　副本部長は、副区長及び教育長の職にある者とし、本部長に事故あるときは、あらかじめ本部長が指定する副本部長がその職務を代理する。

４　本部員は、文京区庁議等の設置に関する規則（平成６年３月文京区規則第１０号）第４条第１項に規定する者（ただし、前２項に定める者を除く。）とする。

（運営）

第４条　推進本部は、本部長が招集する。

２　本部長は、必要があると認めたときは、本部員以外の者に推進本部への出席を求めることができる。

（幹事会）

第５条　推進本部に幹事会を置く。

２　幹事会は、別表に掲げる者をもって構成する。

３　幹事会は、推進本部に付議する事案について必要な事項を検討し、推進本部に報告する。

４　幹事会は、前項の検討を進めるために検討部会を設置することができる。

５　幹事会に会長を置き、アカデミー推進部長の職にある者をもって充てる。

６　幹事会は、会長が招集する。

７　その他幹事会に関して必要な事項は、会長が定める。

（庶務）

第６条　推進本部及び幹事会の庶務は、アカデミー推進部アカデミー推進課において処理する。

（委任）

第７条　この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が定める。

付　則

この要綱は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

付　則

この要綱は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

別 表(第5条関係)

所　属	職
アカデミー推進部	アカデミー推進部長
企画政策部	企画課長
企画政策部	財政課長
企画政策部	広報戦略課長
区民部	区民課長
区民部	経済課長
アカデミー推進部	アカデミー推進課長
アカデミー推進部	観光・都市交流担当課長
アカデミー推進部	スポーツ振興課長
福祉部	福祉政策課長
福祉部	障害福祉課長
こども未来部	こども若者政策課長
都市計画部	都市計画課長
教育局教育推進部	教育総務課長
教育局教育推進部	教育指導課長
教育局教育推進部	教育センター所長
教育局教育推進部	真砂中央図書館長

６．文京アカデミー構想（抜粋）

平成 17 年 11 月策定

１　背景

本区は、近代教育発祥の地として、現在でも多くの大学等の教育機関が集積する「文教のまち」であり、森鷗外、夏目漱石、樋口一葉など近代文学の礎を築いた文人を多く輩出するなど文化資産に恵まれた、まさしく「文の京」として発展してきた。

このため、本区では平成 13 年７月に策定した「『文の京』の明日を創る」と題した文京区基本構想でも、その基本政策の一つを「学ぶ楽しさと生きる智恵を育む」とし、この中でさらに「地域の教育・文化資源を活かし、学ぶ心を支援する」「『文の京』の伝統を保全しつつ、喜びと味わいの文化活動を盛んにする」を掲げるなど、生涯学習や文化行政を重点施策と位置づけ、文化資産を活かした施策を行ってきたところである。

しかし、これらの施策を推進するためには、生涯学習と文化行政の一体的な運営が求められるが、本区ではそれらが教育委員会と区長部局で実施されている状況にあり、さらに横断的な事業運営を行うための改善が求められる。

また、ますます多様化、高度化する区民ニーズに応えていくため、大学・企業等との共催事業等も多く企画されているが、民間的手法と行政の意思決定手順・手続き面で相違があるため、迅速に対応することが困難な場合もある。そして、学校教育の教育改革区民会議とともに、生涯学習についても、現状の課題を見出し、区民の要望に応えるための体制整備の早急な検討が必要とされている。

このような状況から、本年２月には文京区生涯学習推進計画の第２次改定を行った。この中では、「区全域を生涯学習のキャンパスに」という考え方を基本的な視点としながらも、さらに①教育・文化資源を活用した生涯学習によるまちづくり②新たな協働による生涯学習推進ネットワークの構築③活力ある地域社会づくりを目指した生涯学習事業の推進④ＩＴを活かした生涯学習活動への支援等、新たな視点からの生涯学習推進を打ち出している。

今後は、これらの課題を解決するため、自治基本条例にある協働協治の視点も加えた、新たな推進体制の整備や施策の展開が求められている。

２　検討の経緯

（１）検討組織の設置

教育委員会生涯学習部では生涯学習推進計画の改定作業と併行し、内部的な検討組織を設置して、区民ニーズに的確に対応でき、速やかで柔軟な運営や先進的な生涯学習が展開できる体制づくりについて検討を行なってきた。本年３月にまとめた報告の中で、全庁的な視点から、更に検討を加える必要があるとの報告がなされた。

これを受け、本年４月、（仮称）文京アカデミー構想の検討組織として企画政策部内に担当組織を設置するとともに、関連部署の課長をメンバーとし広く意見集約を行うため本検討部会が設置された。

本検討部会は、平成 17 年４月１日開催の生涯学習推進本部において、「（仮称）文京アカデミー構想」について検討する旨の下命を受けて構想の策定に着手し、平成 17 年４月 28 日第１回検討部会の開催以来、７回の検討を重ねた。

また、この間、教育委員会に報告をするとともに、パブリックコメント、文京区生涯学習推進協議会等からの意見聴取を行い、本構想を策定した。

（２）検討の経過

平成 16 年	４月	教育委員会に（仮称）文京アカデミー構想推進委員会及び同検討部会設置
平成 17 年	２月	文京区生涯学習推進計画（第２次改定）
	２月	第１回区議会定例会文教委員会報告「（仮称）文京アカデミー構想について」
	３月	教育委員会報告「（仮称）文京アカデミー構想について」
	３月	（仮称）文京アカデミー構想推進委員会報告決定
	４月	企画政策部に文京アカデミー担当設置
	４月	文京区生涯学習推進本部の下に（仮称）文京アカデミー構想検討部会及び同分科会設置
	５月	教育委員会報告「（仮称）文京アカデミー構想の進捗状況について」
	６月	第２回区議会定例会文教委員会及び総務区民委員会報告「（仮称）文京アカデミー構想の検討状況について」
	８月	第６回（仮称）文京アカデミー構想検討部会（素案）決定
	８月	文京区生涯学習推進本部に素案報告
	10 月	第３回区議会定例会文教委員会及び総務区民委員会報告「（仮称）文京アカデミー構想の概要について」
	10 月	第７回（仮称）文京アカデミー構想検討部会（最終報告）
	11 月	教育委員会報告「（仮称）文京アカデミー構想の最終報告について」
	11 月	文京区生涯学習推進本部に最終案報告（決定）

３　構想の意義（目標）

本構想は、従来からの生涯学習・文化・スポーツ施策の様々な課題について、全庁的な視点から検討を加えることでより効果的な方策を見出し、区民にとって満足度の高い施策を提供していくものである。

例えば、本区の文化施策での課題としては、①文化・芸術活動の拠点である文京シビックホールは、区民部が所管し独自の事業展開している一方、生涯学習部においても、ホールを利用した事業企画を行っており、区としての統一的なコンセプトに欠けてしまう。②ホールと並び文化・芸術活動の拠点であるギャラリー・シビックなどは生涯学習部が運営しているため、一体的な活用が図りにくい。などの課題が生じている。

また、学習講座などにおいては、①時代の変化により、ますます多様化する区民ニーズに即応し、かつ、効果的・効率的な行政運営を図る必要がある。②多くの大学等の教育機関が、生涯学習事業を提供しているという恵まれた環境の中で、それぞれが個性を発揮しながらも、共存共栄できるしくみを構築する。などの課題をあげることができる。

これらの課題を解決することで、「文の京」を象徴する文化施策の拡充に加え、より高度・専門的な講座や多彩な学習機会の提供、大学施設や民間文化施設の利用拡大、さらに、学習の成果を地域貢献として還元できるシステム構築など先進的な施策を展開するものである。

また、本構想の実現手段としては、大学・企業・ＮＰＯなどとの各種ネットワークの構築が不可欠となるが、これらが機能するためのネットワークセンター機能を行政が積極的に担うなど、コーディネーターとしての役割を果たすことが必要である。

即ち、効率的で柔軟な対応を行うための体制を構築することで「区内まるごとキャンパス」化を実現し、最先端の生涯学習と新たな文化・芸術を区民との協働・協治により、幅広く展開する「生涯学習都市・文京」を築くものである。

【文京アカデミー構想とは】

○最先端の生涯学習を「区内まるごとキャンパス」化して展開する政策名である。

【文京アカデミーとは】

○生涯学習・文化行政を総合的に推進する組織名である。

４　基本的な方向性

（１）多様な学習講座の拡大

本区では、これまでも民間教育事業者のノウハウを活用した学習講座の開設や、「ＩＴ人材育成特区講座」など、他自治体と比べても先進的な施策を展開し、多様な学習機会、発表の場を提供してきた。しかし、近年ますます多様化する区民の学習ニーズに応えるためには、さらに多彩なカリキュラムの提供が求められている。

それに応えるために、従来の基礎的、導入的な講座だけではなく、高度・専門的な知的欲求やキャリアアップに対応する学習機会を提供し、先進的な講座をはじめ、従来にも増して多様な学習講座の受講を可能とする方策を推進する必要がある。

（２）大学等の教育・文化資源の活用

本区は、15 もの大学が集積するなど、多数の教育機関を擁しており、従来から学長講演会、大学公開講座等が行われてきた。こうした地域資源については、社会人大学院の区民開放、大学図書館の開放など、更にハード、ソフト両面で連携を強化することで、生涯学習や文化振興を一層充実することが可能である。また、大学や各種法人の文化施設や、そこで保有する貴重な資料等の区民の利用拡大を図ることも今後の課題である。

折りしも、近年では、大学や企業でも地域貢献に対する意欲が高まり、大学におけるエクステンションセンターの設置をはじめ、企業メセナも活発に行われている。このため、今後は行政の果たす役割も自治体の個性に応じたものであるべきであり、大学や企業等との共存・連携の中で地域資産の一層の活用や、本区の地域特性を活かした文化発信事業を行うなどの方策を推進することが求められている。

（３）学習の成果を活かす

これまでの生涯学習では、初歩的な趣味、教養講座に軸足を置き講座の企画運営が行われてきた。受講後のさらなる向上は民間事業者又は、自主サークルなどに委ねられる部分が多かったといえる。

また、「文の京文芸賞」をはじめ全国的な文化創造・発信事業を実施するなど発表の場を提供してきたが、さらなる充実が求められる。今後は、高度な知識習得や長期開講講座を設けるとともに、例えば、他自治体では例のない、区独自の資格制度を設け、資格取得者には区の実施事業などで学習成果や能力を発揮する機会の提供や講師等として登用する。

このように学習成果を活かすことは、地域貢献の場を更に広げ、区民との協働を実践し、併せて、受講者の学習意欲・達成感を高める方策としても重要である。

5　目標実現のための方策

（1）3つのネットワーク

本区では、これまでも、樋口一葉ゆかりの地域と協働した「一葉物語事業」をはじめ、新聞社との共催による「英国科学実験講座・クリスマスレクチャー」、区民参加型事業である「区民オペラ」などの文化創造事業や、学習講座ではゼミ方式による「区民大学院」を開設するなど、先駆的な事業に取り組んできた。今後は、これらの事業を充実・拡大するとともに、新たな方策を講じていくものである。

そのためには、本区の特性である、大学をはじめとした多くの教育機関、文化施設などの地域資産を活用し、区民に様々な形で還元していくことが必要である。地域資産を点から面への広がりとして展開を図り、それぞれが補完しあい、より活性化するためのネットワーク化が不可欠であり、行政はネットワークセンターとしての機能を積極的に担い、先導的な役割を果たしていかなければならない。すでに各大学とは16年度から生涯学習担当者の連絡会を設け、連携のための検討に着手しているが、今後は、企業等も加えた区民参画による実効性のあるネットワークづくりを進めていくものである。

本構想では、これらの多様な事業展開を目指し、次の３つのネットワークを構築する。

①学びのネットワークの構築

区と区内大学との協力関係は、公開講座、連携講座をはじめ、「ＩＴ人材育成特区講座」を共催実施するなど、徐々に確立しつつあるが、更に、大学等を地域に浸透させていくためには、区が区民と大学との橋渡しを推進することで講座等へ区民意見を一層反映するしくみを構築していくことが求められている。

また、企業による地域貢献事業も活発に行われてきているが、区民が望んでいる事業テーマの把握、集客のための方策、地域ＰＲのノウハウなどに苦慮している。これらは行政との協働により解決できることも多い。さらには、NPO等の活動も目覚しく、その内容も多様であり充実したものとなっている。

今後は、生涯学習担当者連絡会に区民、企業等も加え、定期的に開催することで総合的な事業調整を図るとともに、情報交換を行うことで相互が機能し、また補える体制を構築する。

②教育・文化資産のネットワークの構築

区内の大学・企業等との関係については、従前からの一定の関係は担保されているものの、「区内まるごとキャンパス」とまでには至っていない。多くの区民から要望のある大学図書館や体育施設開放などもその実現数はまだ少ない。しかし、大学・企業にとっても地域貢献の重要性が認知された現在、行政が相互にメリットを感じることのできる提案を積極的に行うことで、施設開放をはじめ、保有資料などの公開を働きかけていく。

また、区内に多く存在する博物館・美術館等の連携を深め、集客力アップのための共同企画や共同ＰＲなどの検討を行う。さらに、本区には野球博物館、サッカーミュージアム、講道館のスポーツの殿堂が集積していることから、それぞれとの連携事業も検討していく。

③人づくりネットワークの構築

従来、生涯学習では、初級クラスを中心とした趣味・教養講座を開設することで、区民に自己実現の場を提供してきた。しかし、本構想ではさらに、区独自の資格制度を設け、インタープリターや（仮称）生涯学習士などの養成講座などを設けることで、修了者に対しキャリアアップや地域貢献などの活躍の場を広く提供するものである。このため、行政、大学、ＮＰＯ、企業等との連携により、それぞれが求める人材情報や活躍の場の情報を交換・共有する、人づくりのネットワークを構築し、区民の高度な知的欲求を満たす方策を講じていく。

また、文化・芸術活動においても、若手アーティストを中心にホールなどの既存の施設にとどまらず、商店街・公園などの屋外施設など、まち全体に発表の場を確保することで、新たな文化芸術活動を担う人材を育成していく。

文京区アカデミー推進計画

令和９年　月

発行　文京区アカデミー推進部アカデミー推進課
所在地　〒112-8555　東京都文京区春日一丁目１６－２１
電　話　03（5803）1307（直通）　ＦＡＸ　03（5803）1369
ＵＲＬ　https://www.city.bunkyo.lg.jp/

印刷物番号

P111

資料第２号

令和７年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価について（報告）

１　概要

令和４年３月に策定した「文京区アカデミー推進計画（以下「計画」という。）」については、毎年度行う評価と、計画の見直し時に行う評価を組み合わせて実施することとしている。

令和７年度に実施した事業の評価は、あらかじめ各分野の事業の中から選定した主要事業の実施結果を取りまとめた上で、計画の進捗状況等も含め、施策ごとに評価を行うものとする。

２　点検・評価の体制と手法

今年度は計画改定のため、学識経験者、関係団体及び区民等からなる 28 人の委員で構成された文京区アカデミー推進協議会（以下「協議会」という。）において実施した。

協議会に５つの分科会を設置し、分野別基本方針ごとに事務局作成の点検・評価資料を配付して、各事業の成果に対する評価について意見を聴取した。分野別基本方針の達成状況については、分科会での協議内容を踏まえ、各分科会の座長が総括して点検・評価を行い、令和７年度事業の点検・評価とした。

３　令和８年度文京区アカデミー推進協議会の協議経過及び令和７年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価

資料第３号のとおり

資料第3号

令和7年度
文京区アカデミー推進計画の
点検・評価

（案）

令和　年　月

目 次

第1章 計画の体系 2

第2章 事業の点検・評価の考え方 7

1. 概要 7
2. 体制と手法 8
3. 新型コロナウイルス感染症の影響について 10

第3章 学習活動分野の点検・評価 11

1. 学習活動分野の評価 11
2. 主要事業一覧 12
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況 13
4. 主要事業の成果に対する評価 16

第4章 スポーツ分野の点検・評価 41

1. スポーツ分野の評価 41
2. 主要事業一覧 42
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況 44
4. 主要事業の成果に対する評価 47

第5章 文化芸術分野の点検・評価 72

1. 文化芸術分野の評価 72
2. 主要事業一覧 73
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況 75
4. 主要事業の成果に対する評価 79

第6章 観光分野の点検・評価 113

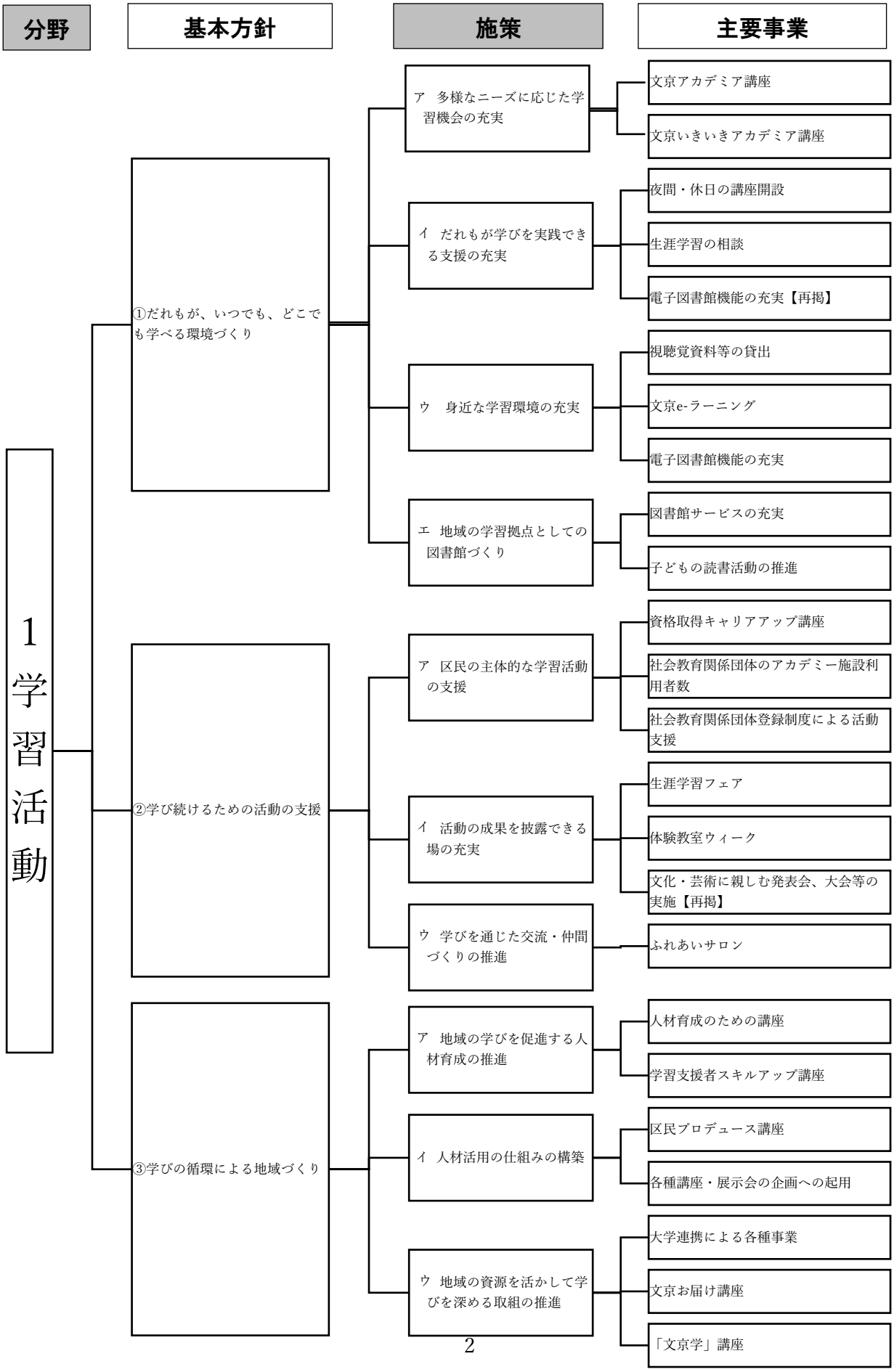
1. 観光分野の評価 113
2. 主要事業一覧 114
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況 115
4. 主要事業の成果に対する評価 119

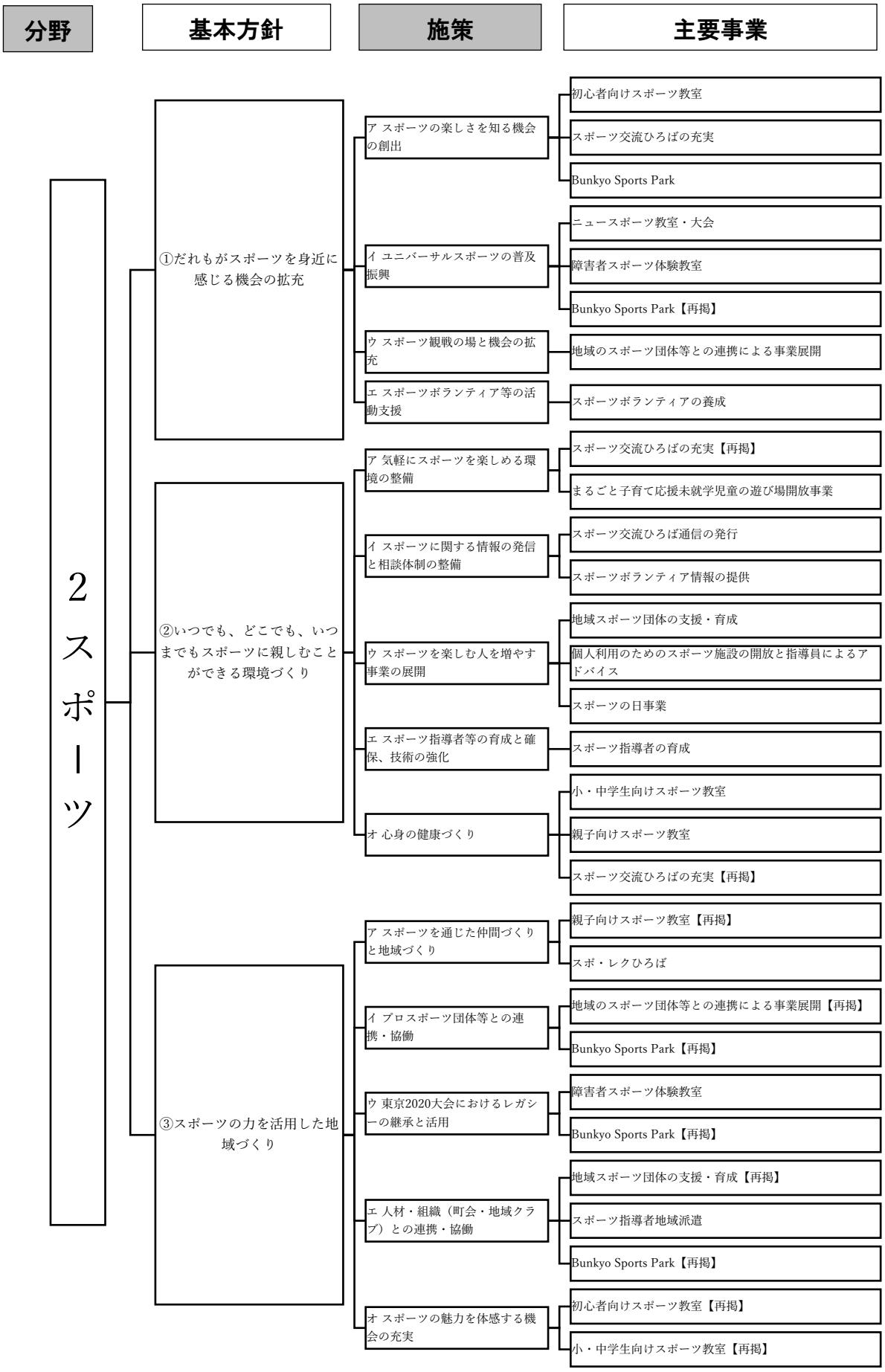
第7章 国内・国際交流分野の点検・評価 133

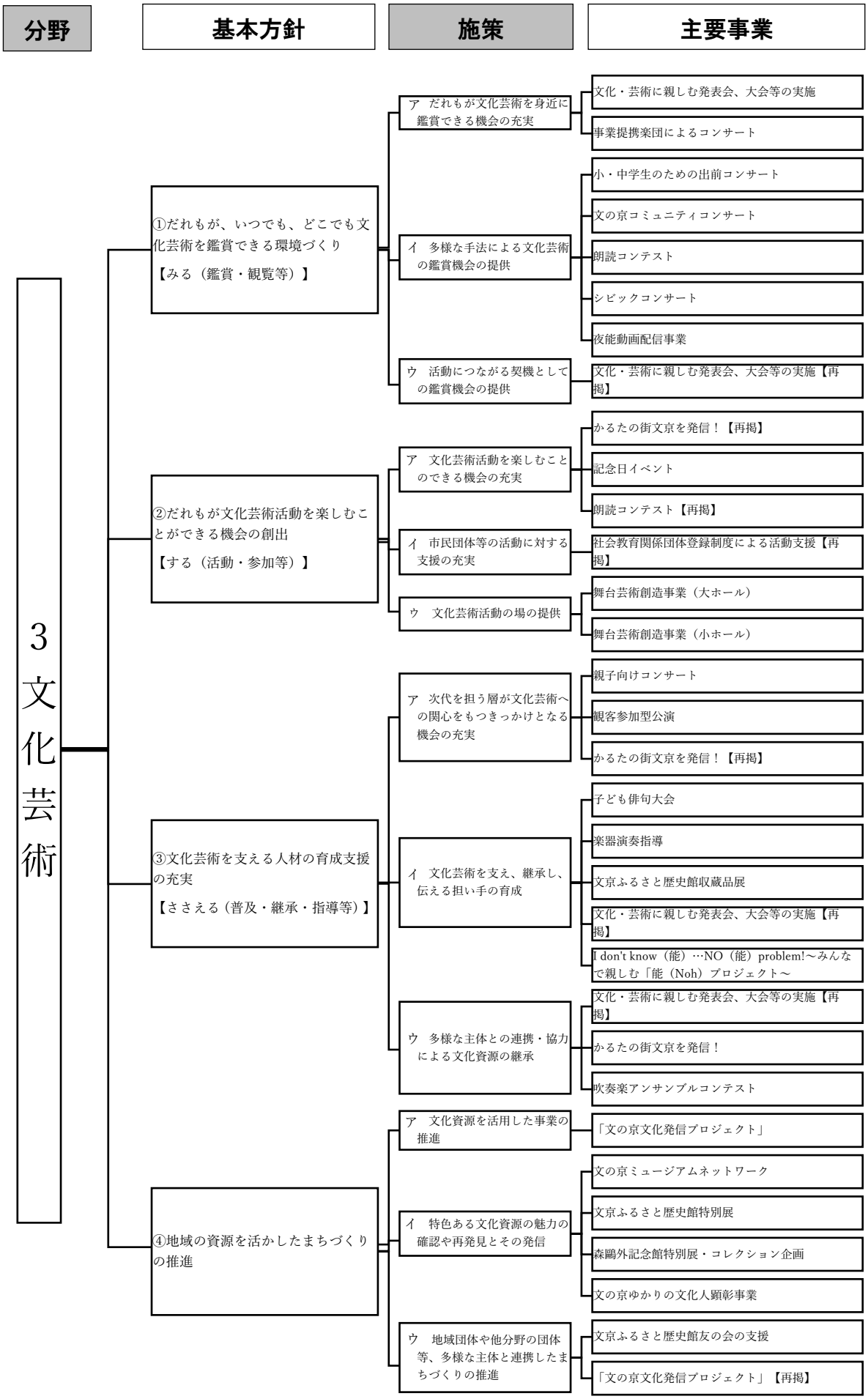
1. 国内・国際交流分野の評価 133
2. 主要事業一覧 134
3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況 135
4. 主要事業の成果に対する評価 138

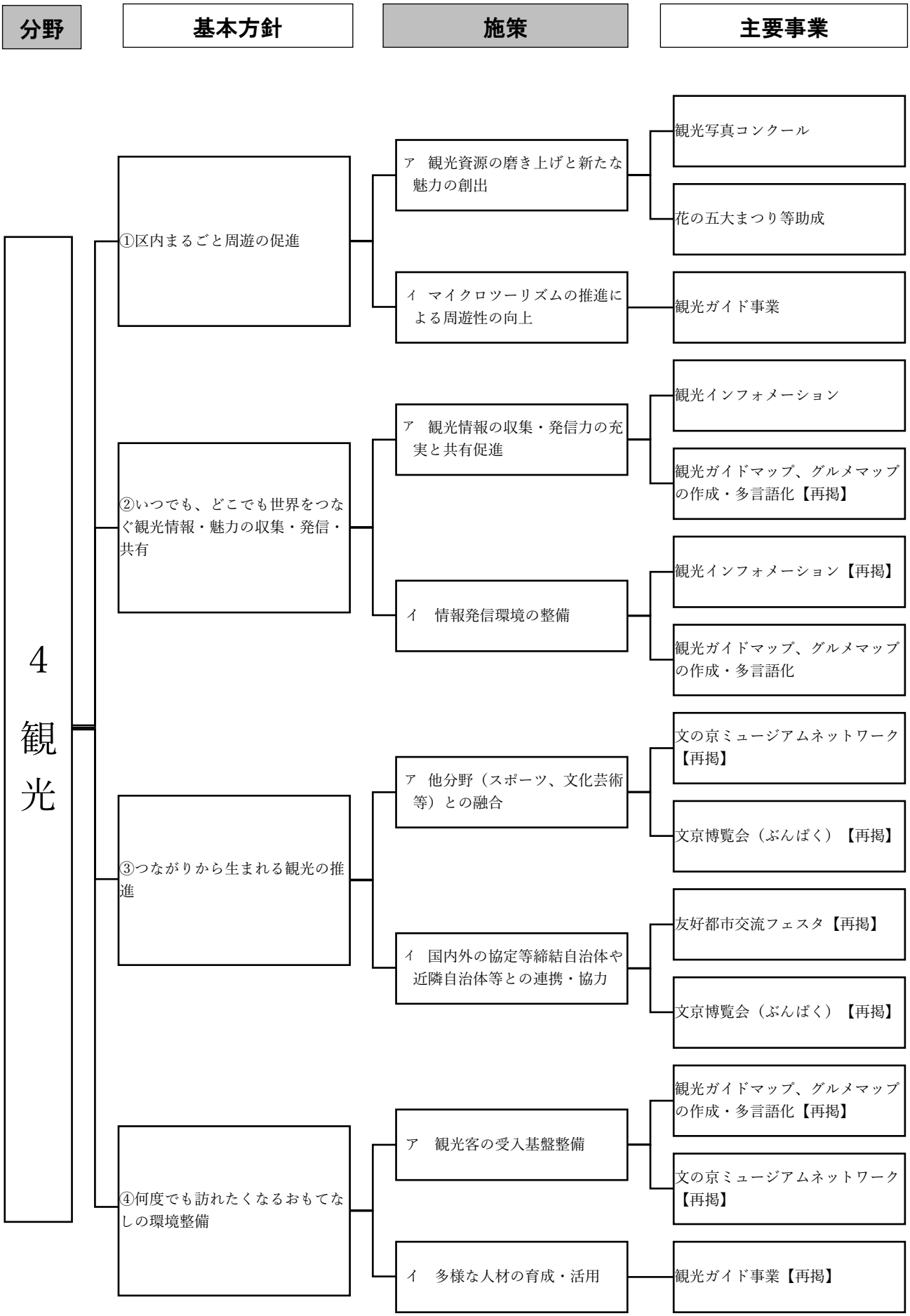
第8章 事業実施状況調査の調査結果（別冊） .....

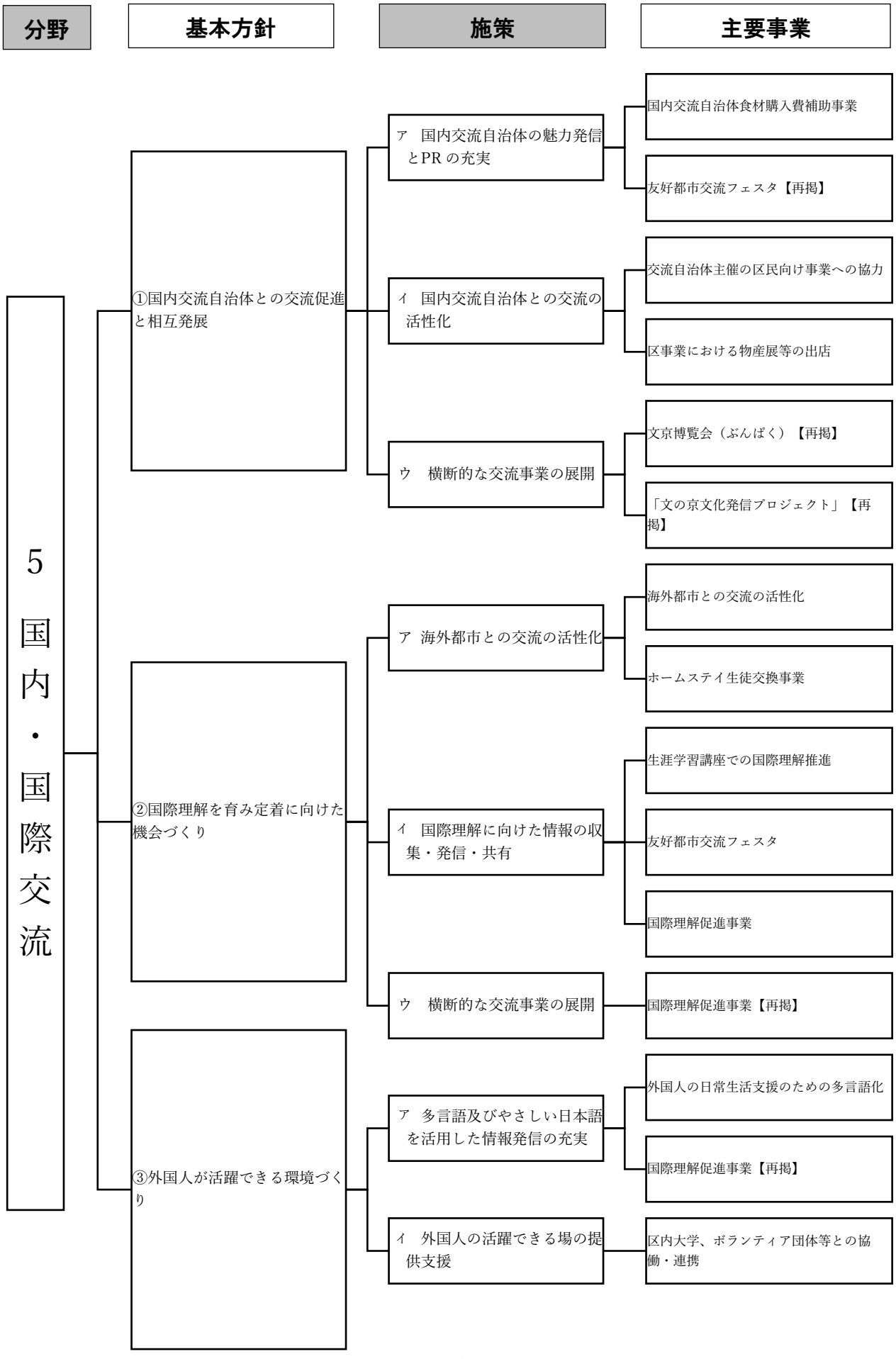
第１章　計画の体系


分野
基本方針
施策
主要事業
1 学習活動
①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり
ア　多様なニーズに応じた学習機会の充実
文京アカデミア講座
文京いきいきアカデミア講座
イ　だれもが学びを実践できる支援の充実
夜間・休日の講座開設
生涯学習の相談
電子図書館機能の充実【再掲】
ウ　身近な学習環境の充実
視聴覚資料等の貸出
文京e-ラーニング
電子図書館機能の充実
エ　地域の学習拠点としての図書館づくり
図書館サービスの充実
子どもの読書活動の推進
②学び続けるための活動の支援
ア　区民の主体的な学習活動の支援
資格取得キャリアアップ講座
社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数
社会教育関係団体登録制度による活動支援
イ　活動の成果を披露できる場の充実
生涯学習フェア
体験教室ウィーク
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】
ウ　学びを通じた交流・仲間づくりの推進
ふれあいサロン
③学びの循環による地域づくり
ア　地域の学びを促進する人材育成の推進
人材育成のための講座
学習支援者スキルアップ講座
イ　人材活用の仕組みの構築
区民プロデュース講座
各種講座・展示会の企画への起用
ウ　地域の資源を活かして学びを深める取組の推進
大学連携による各種事業
文京お届け講座
「文京学」講座


分野
基本方針
施策
主要事業
2 スポーツ
①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充
ア スポーツの楽しさを知る機会の創出
初心者向けスポーツ教室
スポーツ交流ひろばの充実
Bunkyo Sports Park
イ ユニバーサルスポーツの普及振興
ニュースポーツ教室・大会
障害者スポーツ体験教室
Bunkyo Sports Park【再掲】
ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充
地域のスポーツ団体等との連携による事業展開
エ スポーツボランティア等の活動支援
スポーツボランティアの養成
②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり
ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備
スポーツ交流ひろばの充実【再掲】
まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業
イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
スポーツ交流ひろば通信の発行
スポーツボランティア情報の提供
ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開
地域スポーツ団体の支援・育成
個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス
スポーツの日事業
エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化
スポーツ指導者の育成
オ 心身の健康づくり
小・中学生向けスポーツ教室
親子向けスポーツ教室
スポーツ交流ひろばの充実【再掲】
③スポーツの力を活用した地域づくり
ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり
親子向けスポーツ教室【再掲】
スポ・レクひろば
イ プロスポーツ団体等との連携・協働
地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】
Bunkyo Sports Park【再掲】
ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用
障害者スポーツ体験教室
Bunkyo Sports Park【再掲】
エ 人材・組織（町会・地域クラブ）との連携・協働
地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】
スポーツ指導者地域派遣
Bunkyo Sports Park【再掲】
オ スポーツの魅力を体感する機会の充実
初心者向けスポーツ教室【再掲】
小・中学生向けスポーツ教室【再掲】


分野
基本方針
施策
主要事業
3 文化芸術
①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり
【みる（鑑賞・観覧等）】
ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施
事業提携楽団によるコンサート
イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供
小・中学生のための出前コンサート
文の京コミュニティコンサート
朗読コンテスト
シビックコンサート
夜能動画配信事業
ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】
②だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出
【する（活動・参加等）】
ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実
かるたの街文京を発信！【再掲】
記念日イベント
朗読コンテスト【再掲】
イ 市民団体等の活動に対する支援の充実
社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】
ウ 文化芸術活動の場の提供
舞台芸術創造事業（大ホール）
舞台芸術創造事業（小ホール）
③文化芸術を支える人材の育成支援の充実
【ささえる（普及・継承・指導等）】
ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実
親子向けコンサート
観客参加型公演
かるたの街文京を発信！【再掲】
イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成
子ども俳句大会
楽器演奏指導
文京ふるさと歴史館収蔵品展
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】
I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト～
ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承
文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】
かるたの街文京を発信！
吹奏楽アンサンブルコンテスト
④地域の資源を活かしたまちづくりの推進
ア 文化資源を活用した事業の推進
「文の京文化発信プロジェクト」
イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信
文の京ミュージアムネットワーク
文京ふるさと歴史館特別展
森鷗外記念館特別展・コレクション企画
文の京ゆかりの文化人顕彰事業
ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進
文京ふるさと歴史館友の会の支援
「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】


分野
基本方針
施策
主要事業
4 観光
①区内まるごと周遊の促進
ア　観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出
観光写真コンクール
花の五大まつり等助成
イ　マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上
観光ガイド事業
②いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有
ア　観光情報の収集・発信力の充実と共有促進
観光インフォメーション
観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化【再掲】
イ　情報発信環境の整備
観光インフォメーション【再掲】
観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化
③つながりから生まれる観光の推進
ア　他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合
文の京ミュージアムネットワーク【再掲】
文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】
イ　国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力
友好都市交流フェスタ【再掲】
文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】
④何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備
ア　観光客の受入基盤整備
観光ガイドマップ、グルメマップの作成・多言語化【再掲】
文の京ミュージアムネットワーク【再掲】
イ　多様な人材の育成・活用
観光ガイド事業【再掲】


分野
基本方針
施策
主要事業
5 国内・国際交流
①国内交流自治体との交流促進と相互発展
ア 国内交流自治体の魅力発信とPRの充実
国内交流自治体食材購入費補助事業
友好都市交流フェスタ【再掲】
イ 国内交流自治体との交流の活性化
交流自治体主催の区民向け事業への協力
区事業における物産展等の出店
ウ 横断的な交流事業の展開
文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】
「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】
②国際理解を育み定着に向けた機会づくり
ア 海外都市との交流の活性化
海外都市との交流の活性化
ホームステイ生徒交換事業
イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有
生涯学習講座での国際理解推進
友好都市交流フェスタ
国際理解促進事業
ウ 横断的な交流事業の展開
国際理解促進事業【再掲】
③外国人が活躍できる環境づくり
ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実
外国人の日常生活支援のための多言語化
国際理解促進事業【再掲】
イ 外国人の活躍できる場の提供支援
区内大学、ボランティア団体等との協働・連携

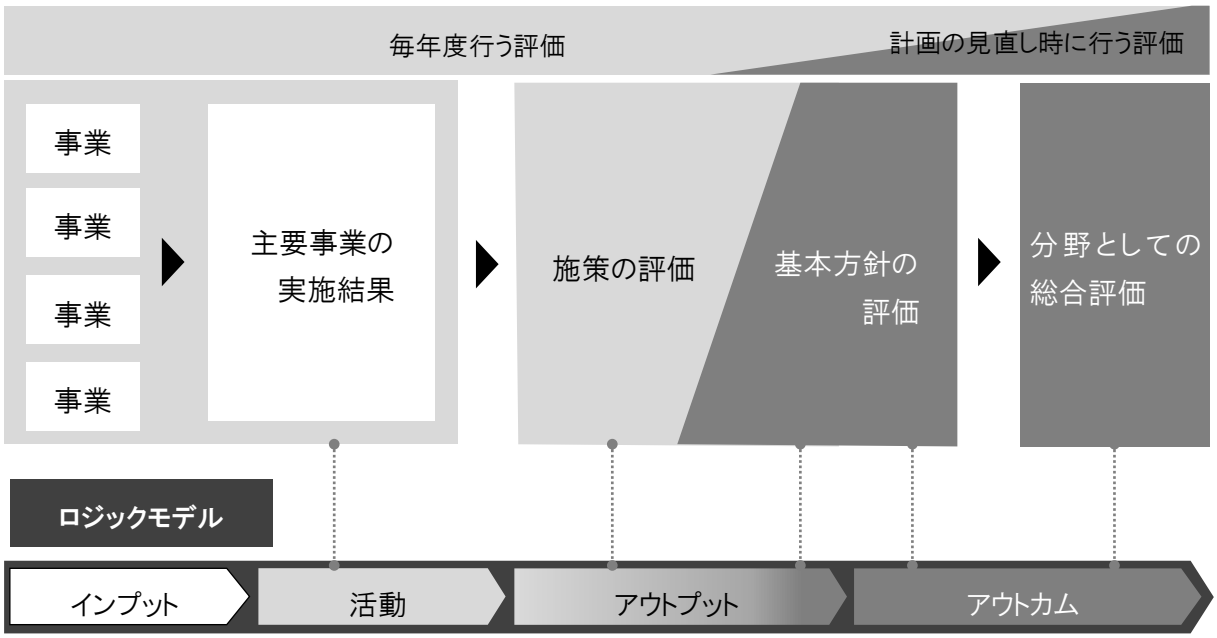
第２章　事業の点検・評価の考え方

1. 概要

評価の枠組み

令和3年度に策定したアカデミー推進計画の点検・評価は、策定時に構築した以下のロジックモデルを踏まえて、毎年度行う評価と、計画の見直し時に行う評価とを組み合わせて実施する。毎年度行う評価は、あらかじめ各分野の事業の中から選定しておいた主要事業の実施結果を取りまとめ、施策ごとに評価を行うものとする。計画の見直し時に行う評価は、毎年度行う評価に加えて、基本方針ごとに掲げた指標に基づいて評価を行い、分野としての総合評価を行うものとする。

アカデミー推進計画の評価フレーム



（用語解説）

主要事業……施策を評価する上でより重要度の高い事業、所管課が任意で選定
（分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく）

インプット……予算、人員など行政活動を実施するために投入する資源

活動 ……モノ、サービスを提供するために行う行政活動

アウトプット……行政活動の結果、産み出されたモノ、サービス
（例）アカデミア講座の実施回数

アウトカム……政策（施策、事業）が目指す成果（初期、中期、長期と段階あり）
（例）アカデミア講座の参加者数（初期）、
1年間に学習活動を行った人の割合（中期）、基本理念の実現（長期）

2. 体制と手法

(1)点検・評価の体制

点検・評価は、学識経験者、関係団体及び区民等で構成する協議会にて実施した。

■令和8年度　文京区アカデミー推進協議会経過

会議名	開催日	主な検討内容
第1回アカデミー推進協議会	令和8年　5月11日	アカデミー推進計画の改定及び点検・評価について
第1回分野別分科会	令和8年　5月25日(学習活動) 令和8年　5月27日(観光) 令和8年　5月29日(文化芸術) 令和8年　6月　4日(スポーツ) 令和8年　6月　9日(国内・国際交流)	各分野の定義及び現状と課題について
第2回アカデミー推進協議会	令和8年　7月6日	次期アカデミー推進計画の構成案について
第2回分野別分科会	令和8年　7月23日(学習活動) 令和8年　7月27日(観光) 令和8年　7月29日(国内・国際交流) 令和8年　7月31日(文化芸術) 令和8年　8月　7日(スポーツ)	各分野の施策体系(案)について
第3回アカデミー推進協議会	令和8年　8月21日	次期アカデミー推進計画の構成(案)について
第3回分野別分科会	令和8年　9月　9日(文化芸術) 令和8年　9月14日(スポーツ) 令和8年　9月16日(国内・国際交流) 令和8年　9月18日(学習活動) 令和8年　9月29日(観光)	各分野の施策等について アカデミー推進計画の点検・評価について
第4回アカデミー推進協議会	令和8年　10月29日	次期アカデミー推進計画の素案について アカデミー推進計画の点検・評価について(まとめ)

(2)点検・評価手法

協議会に5つの分科会を設置し、各分野別基本方針ごとに点検・評価を行った。

評価は、令和7年度実施した主要事業(分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく)の実績調査結果及び事務局が作成した点検・評価を資料配付し、主要事業の成果に対する評価について意見を聴取した。

分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況については、分科会での協議内容を踏まえ、各分科会の座長が総括して点検・評価を行った。

各分科会の委員から出された意見・要望及び座長の意見等について、第4回協議会で報告し、審議を行った後、令和7年度事業の点検・評価とした。

（3）主要な事業の選定と指標・目標の設定について

5分野における主要事業の選定と指標・目標の設定は以下により行った。

また、社会情勢の変化に応じた区民ニーズに柔軟に対応するため、主要事業の選定と指標・目標の設定は、毎年度確認・見直しを行いながら進めることとする。

①指標の設定と毎年度の目標・実績を把握できる事業

分野ごとに評価・点検を行うには、基本方針毎に設定した指標の現状を把握することが重要であるが、アンケート調査に拠らなくては確認できない指標もある。しかし、アンケート調査は、計画策定に向けて実施してきた経緯があり、毎年度実施することは現実的ではない。そこで現状評価の基礎となる事業として、指標を設定し、年度ごとの目標と実績を確認できる事業を選定することが望ましい。一方で短期的な数値の変動で評価することが馴染まない事業や、天候等により変動の大きい事業があることも考慮する必要がある。

②定量的目標を設定できる事業

目標の設定にあたっては、客観的に評価しやすい定量的な方法を採用できる事業が望ましい。事業の性質により、定性的な目標を掲げる場合には、評価主体により評価内容に大きな差が生じないように、目標として掲げる状態を具体的にすることが重要である。

③基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い事業

基本方針や施策に掲げた事項の充実が計画の推進おいて重要な事項である。事業の選定にあたっては、基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い指標・目標を設定できるものであることを考慮するものとする。

④計画の推進にあたって重視する3つの視点

計画の推進にあたって「人」「環境づくり」「資源活用」の3つの視点を重視しているため、これらの視点を加味して指標を設定することが望ましい。

⑤継続的に実績を評価できる事業

目標は過去から未来への実績を踏まえ、継続的に評価することで、信頼性や妥当性を確保することができる。一方で、新規事業や社会情勢の変化に等により、評価の優先順位が経年により変化する可能性にも留意する必要がある。

（4）事業の目標数値の考え方について

各事業の目標数値は、計画期間中に10％増を達成することを基準とする。（10％は「文の京」総合戦略（令和2年度～令和5年度）における将来人口推計による令和6年度までの直近5年の人口増加率9.2％を上回るもの）なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の人口の増加は推計を下回っていることに留意する必要がある。

また、事業の性質や目標の設定方法により、現状の維持継続が望ましい事業や、さらに高度な目標設定が望ましい事業も想定できる。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響について

全世界的に人々の生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症は、日本国内では令和2年4月以降「緊急事態宣言」の発出や「まん延等重点措置」の適用が度々行われましたが、令和5年5月に感染症法上の位置付けが5類へと移行されると、様々な分野の事業が再開されました。

コロナ禍において軒並み中止、延期、規模縮小を余儀なくされた文化芸術・観光・交流・スポーツ関連のイベントは、制約等のある一方で、生活様式の変化により、文化芸術・学習面においてリモートコンサートやオンライン講座など、デジタル・トランスフォーメーションが急速に進みました。

しかし、現在も変異株の流行等による事業中止や縮小等の可能性が、完全に払拭されたわけではありません。今後は、本アカデミー推進計画を着実に前へと進められるよう、普段から迅速かつ的確な対応に努め、感染症等で事業に影響が出た場合でも、これまでの経験を踏まえ、可能な範囲で事業を継続し、その際には、本計画における適切な点検・評価方法を検討していきます。

そして、これからも文京区では、文化芸術・スポーツ等を楽しむ機会を通じ、暮らしの中に安心と豊かさを感じることができるような様々な施策を推進してまいります。

＊感染症法とは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の略である。

第３章　学習活動分野の点検・評価

１．学習活動分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員（学識経験者）
学習活動分科会座長　荻野　亮吾

学習活動分野について、基本方針ごとに評価する。

基本方針①「だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり」

令和元年度調査と比較して、1年間に学習活動を行った人の割合が上昇し、目標値を上回っている点を高く評価できる。文京アカデミア講座や文京いきいきアカデミア講座の受講者数は前年度と同水準にあり、夜間や休日の講座開設にも力を入れ、生涯学習の機会の保障が着実になされていることがわかる。また、文京e-ラーニングでYouTubeでの配信を行い、図書館で利用環境の改善や電子図書館機能の充実に取り組むなど、学習ニーズの変化に対応しようとする姿勢も見られる。課題として、生涯学習の相談件数が伸び悩んでいる点が挙げられる。すでに窓口の開設時間をニーズの高い時間帯に統一するなどの改善策を講じているが、相談内容が明確で窓口を利用する区民は限られており、行事やイベントの際の区民の声を拾うなど、アウトリーチ型の相談形式も取り入れることが有効ではないかと考えられる。

基本方針②「学び続けるための活動の支援」

さまざまな方法で学習成果・活動成果を共有し、仲間づくりを進める取組みがなされ、区民の自主的学習を多面的に支援している点を評価できる。ただし、個々の事業には課題が見受けられる。社会教育関係団体のアカデミー施設利用者は前年度を下回り、目標値に達していない。各団体へのヒアリングなどを通じて利用率の向上を図るべきである。サークル展示や活動紹介を行う生涯学習フェアの参加団体数や来場者数も伸び悩んでいる。声かけや広報も重要であるが、開催時期や方式の再検討も必要ではないだろうか。地域アカデミーにおける体験教室ウィークの参加団体数は増加しており、身近な場で活動の成果を共有し、区民の興味・関心を引き出す仕掛けが有効と考えられる。資格取得キャリアアップ講座については、目標値には達していないが、開催講座数を絞り込むことで、受講者数は前年度を上回る成果をあげている。引き続き、区内の大学の特色を生かしつつ、区民ニーズを反映できるようアンケートなどをもとに内容を精査することが重要である。

基本方針③「学びの循環による地域づくり」

個人やNPO等が企画する区民プロデュース講座、大学連携による事業（夏休みこどもアカデミアの拡充など）、区職員が講師となって行政情報を提供する文京お届け講座、文京区の歴史・文化・自然を学ぶ「文京学」講座など、区内の豊かな人材・機関・資源を活かした学習支援が積極的に行われている点を高く評価できる。課題として、文京アカデミアサポーターや、文の京生涯学習司、文の京地域文化インタープリターなどの学習支援者の育成を目指す事業の受講者数の減少が挙げられる。各講座の開催は依然として重要だが、次の段階として、講座の後の活動の支援やネットワークづくりなど、学習の成果を地域に還元・展開する方策に一層力を入れるべきであろう。

現在、検討中の次期の文京区アカデミー推進計画の学習活動分野の施策案では、生涯学習の機会を保障するだけでなく、学習と活動の連環を創り出し、学習の成果を地域に還元していくという生涯学習の流れが強く意識されている。それぞれの講座や事業をこの流れに位置づけた上で、相乗効果を発揮できるような体制づくりを期待したい。

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　多様なニーズに応じた学習機会の充実				
1	文京アカデミア講座	○		
2	文京いきいきアカデミア講座	○		
イ　だれもが学びを実践できる支援の充実				
3	夜間・休日の講座開設	○		
4	生涯学習の相談	○		
5	電子図書館機能の充実 【再掲】	○	○	
ウ　身近な学習環境の充実				
6	視聴覚資料等の貸出	○		
7	文京e-ラーニング	○		
8	電子図書館機能の充実	○	○	
エ　地域の学習拠点としての図書館づくり				
9	図書館サービスの充実	○		
10	子どもの読書活動の推進	○		
分野別基本方針②学び続けるための活動の支援		**アカデミー推進計画**	**総合戦略**	**重点**
ア　区民の主体的な学習活動の支援				
11	資格取得キャリアアップ講座	○		
12	社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数			
13	社会教育関係団体登録制度による活動支援	○		
イ　活動の成果を披露できる場の充実				
14	生涯学習フェア	○		
15	体験教室ウィーク			
16	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○	
ウ　学びを通じた交流・仲間づくり				
17	ふれあいサロン	○	○	
分野別基本方針③学びの循環による地域づくり		**アカデミー推進計画**	**総合戦略**	**重点**
ア　地域の学びを促進する人材育成の推進				
18	人材育成のための講座	○		
19	学習支援者スキルアップ講座	○		
イ　人材活用の仕組みの構築				
20	区民プロデュース講座	○		
21	各種講座・展示会の企画への起用	○		
ウ　地域の資源を活かして学びを深める取組の推進				
22	大学連携による各種事業	○		
23	文京お届け講座	○		
24	「文京学」講座	○		

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略（令和6年度～令和9年度）に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和7年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり

指標	現状値		目標値
1年間に学習活動を行った人の割合	67.2% （令和元年度調査）	75.7% （令和７年度調査）	70.0%

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりの状況】

多様なニーズに応じた学習機会の充実では、文京アカデミア講座において、協定締結自治体や国外の友好都市等をテーマとした講座を提供するなど、幅広いうえに区のオリジナリティを活かした学習機会の充実を図ることで、高い評価を得ました。引き続き、関連自治体に関する講座や区内大学等との連携講座をさらに充実させ、質の高い学習機会の提供に努めます。

だれもが学びを実践できる支援の充実では、多様な区民ニーズに応えるため、昨年度に引き続き夜間と休日に全22講座を開講しました。平日昼間に参加できない層の学習機会確保により、新たな学びの意欲喚起に繋がったため、さらに潜在的ニーズの掘り起こしや効果的な周知を行います。生涯学習窓口では、開設日時をニーズが高い午後の時間帯に統一し、効果的な相談対応に努めましたが、前年度を下回る結果となったため、効果的な広報や窓口を積極的に案内するなど、相談件数の増加に向けた働きかけを行います。

身近な学習環境の充実では、新たに特別公開講座の配信、令和7年12月からより身近なYouTubeでの配信に切り替えたことで、アクセス数は前年度を大きく上回り、受講者層の拡大と利便性の向上に繋がりました。また、電子図書館機能の充実において、電子書籍の計画的な購入により蔵書の充実を図るとともに体験会を実施し、更なる利用の拡大を図りました。今後も読み放題パックの更なる拡充を図り、児童の電子書籍の充実を図るとともに、新たなサービスとして音楽配信サービスを導入します。

地域の学習拠点としての図書館づくりでは、図書館サービスの充実として図書館システムの更新を実施し、全館にICタグを活用したセルフ貸出機等を導入することにより、貸出手続きの迅速化やプライバシーの一層の配慮等、利用環境の充実を図りました。今後は、3D書架をWeb上に構築し、時間や場所に捉われない新たなサービスを提供するなど、更なる利便性の向上を図ります。

今後様々な取組を進めていくことで、状況に応じた学習を実践できるよう、ICTの特性を有効に活用し、だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりを推進します。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎本計画では定量的な目標値を軸に評価してきたと思うが、定量的な評価だけでなく、定性的、質的な評価も重要であると考える。

◎生涯学習相談の件数減少について、夜間や土日の開設など、時間帯を検討してほしい。

◎人口減少社会を踏まえ、アンケート等の満足度など、質的評価の適切な反映を希望する。

◎相談機能については、窓口を訪れる強い意思を持つ人だけでなく、様々な人の声を拾える柔軟な仕組みが望ましい。

(2)分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援

指標		社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数			
現状値（令和元年度）	目標値	令和4年度実績値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和7年度実績値
161,731人	167,000人	102,057人	113,394人	140,807人	134,470人

【分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援の状況】

区民の主体的な学習活動の支援では、学び続けるための活動支援の指標である社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数は、前年度まで順調に回復していましたが、令和7年度は目標値の8割5分程度で前年度を下回りました。社会教育関係団体のアカデミー施設利用は、区民の活動を通じた交流の場の提供や自主的な活動の支援につながることから、今後も団体の活動に触れる機会を設けることで、参加を促していきます。

活動成果を披露できる場の充実では、生涯学習フェアにおいてサークル展示や活動紹介を行いましたが、参加団体と来場者数はともに前回を下回りました。この取組は、日頃の学習成果の披露や区民同士の交流機会の提供など、学習意欲の向上等に繋がることから、生涯学習団体等からの声を踏まえた分析を行い、新たな団体の発掘やSNS等を通じた広報の強化などにより、事業の活性化を図ります。

学びを通じた交流・仲間づくりの推進では、地域活動センターのふれあいサロン事業において、今年度は昨年度よりも5講座多く実施することで、様々な世代に参加機会を提供し、社会福祉協議会との連携では、区民間の交流を進めることができました。これからも、地域ニーズに即した講座を実施できるよう、アンケート内容を踏まえて人材発掘につながる講座を充実させ、区民間の交流を促進していきます。

学習活動を継続していくためには、仲間や成果発表の場が重要であり、学びによる効果的な気づきの場でもあります。自らの学習を振り返り、やりがいと達成感を得ることのできる、継続的な学習活動への取組を支援します。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎資格取得キャリアアップ講座について、単に講座数を増やすのではなく、ニーズに合致した設置及び内容とする工夫を希望する。

◎区独自の資格である文の京生涯学習司、文の京地域文化インタープリター等について、そのPRや体系化、資格取得後の活動支援を強化してほしい。

◎DXやリカレント教育など、時代のニーズに合わせた講座内容の再構築が必要であると考える。

（3）分野別基本方針③　学びの循環による地域づくり

指標	現状値		目標値
これまでに学んだ内容を他人や地域のために活かした人の割合	19.1% （令和元年度）	19.8% （令和７年度）	25.0%

【分野別基本方針③　学びの循環による地域づくりの状況】

地域の学びを促進する人材育成の推進では、文の京地域文化インタープリターの活動を安定的に支援するとともに、文京アカデミアサポーター養成講座においては、現在の活動実績に即した講座内容に見直しました。受講者減の課題はあるものの、関係機関と協働して事業を支える新たな人材を育成し、地域における生涯学習の活性化につながる成果を得ました。幅広い年代の多くに受講を促すため、受けやすい日程の設定等に継続して取り組み、育成人材が終了後も意欲的に活動を継続できるよう、関係機関とも連携した体制の充実に努めます。

人材活用の仕組みの構築では、区民プロデュース講座において、新たな人材の掘り起こしに努め、連携団体からの提案によるアカデミア講座等、多彩なメニューを実施しました。各期を通じて定員を上回る応募があり、区民の関心の高さとニーズを的確に捉えた講座を運営しました。各種講座の企画への起用件数は減となったが、各団体の主体的な活動を支援する体制づくりに努め、区民のニーズに応える質の高い生涯学習の機会提供につなげました。

地域の資源を活かして学びを深める取組の推進では、区内各大学との情報共有をはかることで、双方の強みを生かした講座企画を展開しました。令和7年度は、夏休みこどもアカデミアを拡充実施したほか、多くの講座で定数超えの応募がありました。受講者の増には結びついていませんが、大学の専門的知見を活かした多様な講座を提供し、区民の知的好奇心を満たす機会確保につながりました。大学と連携した質の高い講座企画を継続し、より多くの区民がその知見に触れる機会を得られるよう、効果的な事業展開と参加機会の創出に努めます。「文京学」講座では、区民の地域学習への高いニーズに応え、区の歴史や文化、ゆかりの自治体に対する理解を深める取組を行いました。引き続き、地域に根ざしたテーマの講座を企画し、地域への愛着醸成を図ります。

学習活動を通して知識やスキルを得た区民が担い手となり、様々な地域活動から地域がつながっていく仕組みの構築により、地域コミュニティの活性化につなげていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎学びの成果の活用に関する指標は、目標値が高すぎて達成が困難だと考える。

◎資格養成講座などを隔年でなく毎年開催したり、受講後のネットワーク作りや活躍の場を保証・支援したり、学びの循環を強化することが大切であると思う。

◎文京お届け講座について、オンライン申請導入などの対応により、実施件数が大幅に増えた点を評価する。

4. 主要事業の成果に対する評価

（1）分野別基本方針①　だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり
ア　多様なニーズに応じた学習機会の充実

1-①-ア　文京アカデミア講座

事業概要

区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。

指標：受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,802	2,000	2,250	2,500	2,500
実績（D）	1,646	1,998	1,918	1,965	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	年間を通じ、幅広い分野の講座の提供が叶ったほか、文京アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。一方で定員割れの講座については、設定時期や時間の関係、或いはコロナ禍による影響もあったものと思われます。	一部、定員に満たない講座もあったことから、講座内容や周知方法の工夫により、受講者の増加を図ります。
R5	生涯学習支援者等による企画提案のほか、大学からの新たな提案もあり、幅広い分野かつ、アンケートによる満足度の高い講座を提供しました。	これまでのメニューを継続しつつ、新たな主体との協働にも注力し、講座メニューの充実を図ります。
R6	これまでに囚われることなく、幅広く多彩なメニューを用意し、概ね、定員を超える申し込みにつながり、また、アンケートでも高い評価を得ました。	関連自治体との協力講座や文京区にゆかりのある人物、事象に関する講座等、オリジナリティを活かした幅広い講座の提供に努めます。
R7	国内の協定自治体や国外の友好都市等をテーマとした幅広い講座を提供し、本区のオリジナリティを活かした学習機会の充実を図ることで、交流自治体への区民の理解と認知度を高める内容となり、アンケートでも高い評価を得ました。	国内外の協定自治体・友好都市等に関する講座を継続実施するとともに、区内大学等との連携による協力講座をさらに充実させます。本区独自のネットワークや多様な「知の資源」を活かし、区民のニーズに応える質の高い学習機会の提供に努めます。

1－①－ア　文京いきいきアカデミア講座

事業概要

高齢者を対象とした２年制講座。１年次は教養課程で共通科目を履修し、２年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数（単位）をもって卒業認定とします。

指標：受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	40	40	60	60	60
実績（D）	40	37	60	57	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	第８期の初年度として40名が教養課程を受講し、履修により、広く基礎を学んだ37名が進級しました。様々な事業がある中でも単位を修得し、進級・卒業できるようサポートする必要があります。	受講生同士のコミュニケーションを密にするほか、モチベーションの維持・向上について工夫していきます。
R5	進級した37名が専門課程で学び、そのうち必要単位を取得した33名が卒業しました。全体的に出席率が高く、講座科目も好評であり、学習のみならず、仲間づくりにも繋がりました。	教養課程の魅力ある講座科目の工夫により、進級のサポートとモチベーション維持に努めます。
R6	コロナ禍を経て定員を60名に増員しました。教養課程として、これまでと趣向の異なるプログラムも用意し、必要単位を取得した57名が進級しました。	ミュージアムネット施設の見学、アカデミア講座受講を中心に、モチベーションを維持し全員が卒業できるよう、丁寧にサポートします。
R7	受講生への丁寧なサポートに努めた結果、全体的に高い出席率を維持し、進級した57名のうち54名が必要単位を取得して卒業しました。講座内容も好評を得たほか、学習活動を通じた受講生同士の仲間づくりにも繋がるなど、高齢者の多様な学習ニーズへの対応や生きがいづくりにおいて成果を得ました。	区の現状や魅力を学ぶ講座や、健康・経済・趣味など、日々の生活を豊かにする情報を共通講座として展開します。地域の歴史・課題や実用的な知識を共に学ぶことで受講生同士の交流を深めるとともに、一人ひとりに寄り添ったサポートを継続し、高齢者の学習意欲の向上と地域における生きがいづくりに繋げます。

イ だれもが学びを実践できる支援の充実

1－①－イ 夜間･休日の講座開設

事業概要

平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。

指標:受講者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	439	500	500	500	500
実績(D)	370	405	492	478	

	成果･評価(D･C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	文京アカデミア講座において19講座を平日の夜間や休日に実施し、アンケートで高い評価を得ることができました。一方で、社会情勢などを的確に捉えた講座選定等を行う必要があります。	アカデミア講座全体のバランスを考慮しつつ、アンケート結果を分析し、ニーズに合わせた講座を検討・企画していきます。
R5	アカデミア講座において全16講座を夜間・休日に開講したほか、メセナ講演会、特別公開講座についても休日に開講したことで、新たな参加者層の確保とニーズの把握に繋がりました。	大学構内における休日・夜間開講について検討するほか、幅広い年代の受講となるよう、より学びやすい学習環境の提供について検討していきます。
R6	アカデミア講座において全20講座を夜間・休日に開講したほか、特別公開講座についても休日に開講したことで、新たな参加者層の確保とニーズの把握に繋がりました。	大学での実施検討を継続するほか、アカデミー文京においても人員配置の勘案やアカデミア講座サポーターとの調整について、より学びやすい学習環境の提供について検討していきます。
R7	多様な区民ニーズに応えるため、夜間・休日に全22講座を開講しました。受講者は微減でしたが、平日昼間に参加できない層の学習機会の確保と、新たな学びの意欲の喚起に繋がりました。	さらなる参加者の確保に向け、潜在的ニーズの掘り起こしや効果的な周知を行います。

1－①－イ　生涯学習の相談

事業概要

区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取組めるよう総合的に紹介等を行います。

指標：相談件数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	180	180	190	200	200
実績（D）	171	140	165	104	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	原則、週３回、文の京生涯学習司による「生涯学習相談」を通年で実施し、広く相談を受け付けたほか、区内の生涯学習サークルの活動や情報も紹介しました。また、コロナ禍で外出を自粛したことと合わせ、生涯学習活動の不活性があったものと推測される一方で、区民プロデュースに関しては多くの相談があり、魅力ある講座が提案されました。	令和５年度より週２回に変更となりましたが、現在の体系を維持するとともに、より本事業の周知に注力し、事業周知の範囲とアプローチの手法についても検討していきます。
R5	実施日数が週２回となった期間もありましたが、年間を通して提案・相談を受けられる体制の強化として相談員の増員を行い、環境を再構築したうえで継続しました。	本体制を継続しつつ、一層充実した企画提案が叶う体制・環境の醸成について、支援者団体等と課題や情報共有にも努めます。
R6	文の京生涯学習司による「生涯学習相談」を通年で実施し、広く相談を受け付けたほか、区内の生涯学習サークルの活動や情報を紹介する「生涯学習フェア」も通常開催しました。	相談の多い時期、曜日、時間帯に合わせた窓口開設や人員の増と併せ、適切にかつ効果的に周知することにより、区民の学びのきっかけ作りや継続の一助となるよう努めます。
R7	窓口開設日時をニーズが高い午後の時間帯に統一し、相談者が利用しやすく、効果的な相談対応に努めましたが前年を下回る結果となりました。	午後の時間帯に統一した相談窓口の定着を図るとともに、効果的な広報を工夫や財団の事業等で相談窓口を積極的に案内するなど、相談件数の増加に向けた働きかけを行っていきます。

1－①－イ　電子図書館機能の充実【再掲】

事業概要

電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。

指標：電子書籍の貸出数（点）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000
実績（D）	28,120	33,991	39,318	33,339	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。	電子書籍等については、魅力ある蔵書とするため、計画的に選定・収集するとともに、特集を組むなど周知を強化し、一層の利用促進を図ります。また、地域資料のデジタル化を進め、広報に努めます。
R5	計画的な購入により、蔵書数を増やすとともに、８月を「電子図書館周知強化月間」とし、ポスター掲示、利用案内の作成・配布、「健康」「料理」等ジャンルごとのQRコードを印字したカードの作成・配布等に取り組んだ結果、貸出数の増加につながりました。	更なる貸出数や予約数の増加を図るため、令和5年度に行った取組内容に加え、周知活動の強化や魅力ある書籍の選定等を行うとともに、読書バリアフリー化に取り組みます。
R6	前年度に引き続き、10月に「電子図書館周知強化月間」として、ポスターの掲示及び利用案内の作成・配布を行ったほか、電子図書館の体験会を実施し、更なる利用の拡大を図りました。 また、オーディオブックの普及を図るため、朗読と音楽を融合したイベントを実施しました。	魅力ある書籍の充実に引き続き取り組み、更なる貸出数や予約数の向上を図るとともに、児童図書に閲覧制限のない読み放題パックの拡充を図り、児童の電子書籍の利用を推進していきます。
R7	計画的な購入により蔵書の充実を図るとともに電子書籍の体験会を実施し、更なる利用の拡大を図りました。	読み放題パックのさらなる拡充を図り、児童の電子書籍の充実を図ります。また、新たなサービスとして音楽配信サービスを導入します。

ウ 身近な学習環境の充実

1－①－ウ 視聴覚資料等の貸出

事業概要

学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の保育園、図書館、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。

指標:貸出件数(件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	160	160	160	160	160
実績(D)	200	180	160	127	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	各団体等に対し、広く貸出に対応したほか、ニーズに合わせて新規に資料を購入しました。また、視聴覚ライブラリー目録の改訂版を発行しました。個人利用が増加したこととともに、町内会組織等による利用については、コロナの一定の収束に伴い、活動が再開されたことに起因するものと推測されます。	18ミリをはじめ、フィルムの適正な保存環境の整備と映写技術者の確保・育成について、検討を進めます。
R5	各団体等に対する貸出を継続したほか、支援者団体の意見も取り入れた新規資料を購入をしました。また、適正な保管環境整備のため、除湿器を設置しました。	より広い貸出と並行して、貴重な資料であるフィルムの現況確認と適正な保存環境の整備について、検討を継続します。
R6	各団体等に対する貸出を継続したほか、支援者団体の意見も取り入れた新規資料を購入をしました。また、フィルム外装の掃除など、適正な保管に努めました。	より広い貸出と並行して、貴重な資料であるフィルムの現況確認に関する人員配置や適正な保存環境の整備について、検討を継続します。
R7	保育園・図書館等に対し、計127件の貸出を行いました。また、貴重な視聴覚資料である16ミリフィルムについて、適正な保存環境の維持や現況確認に継続して取り組み、より良い状態での提供に努めました。	保育園・図書館等の学習ニーズに応じた視聴覚資料の貸出を継続するとともに、16ミリフィルムの適正な保管・現況確認等の環境整備に引き続き取り組みます。

1－①－ウ　文京e-ラーニング

事業概要

外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。

指標：アクセス数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	7,000	8,000	9,000	10,000	10,000
実績（D）	6,649	2,563	2,117	3,155	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	新たに、特別公開講座を含めて27番組収録・配信したほか、これまでに実施した講座も継続して配信し、ライフスタイルに応じた視聴環境の提供につなげました。しかし、掲載していたメニューが著作権の承認期間の経過により、公開を終了したことが、目標値に達しなかった大きな要因の一つと思われます。	配信する主体や講座内容の拡充と並行し、インターネット配信に適した講座について検討します。また、アカデミア講座「十八の町物語」をアーカイブ化し公開することで、新たな視聴者層の獲得に努めます。
R5	新たに学長講演会、特別公開講座の２番組を掲載ました。一定のＩＴリテラシーや環境が必要なほか、依然として掲載メニュー減少の影響が大きく、前年度より実績が減っていますが、時間と場所を選ばない学習機会を提供しました。	スマートフォンやタブレットなどのIT機器が普及している中、e-ラーニングの重要性を強く認識していることから、ＳＮＳの活用をはじめ、一層の事業周知とあわせ、大学講座のオンライン・オンデマンド配信等の協力を求めるなど、番組数の増とコンテンツの充実を図ることにより視聴数増と視聴者層拡充を図ります。
R6	特別公開講座、及び大学学長講演会の２番組を公開しました。一定のＩＴリテラシーや環境が必要なほか、依然として掲載メニュー減少の影響が大きく、目標値とは乖離がありますが、時間と場所を選ばない学習機会の提供に努めました。なお、ＺＯＯＭにより実施する最先端生命科学講座は各回とも定員を上回る申し込みがあり、講師と調整のうえ、最大限可能な人数を受け入れました。	講義形式の講座内容の公開に限らず、新たに掲載メニューを具体的に検討することで、提供コンテンツの充実と、アカデミア講座等においても事業周知により、受講者層の拡大に努めます。
R7	特別公開講座を新たに配信しました。また、昨年12月からより身近なプラットフォームであるYouTubeでの配信に切り替えたことで視聴のハードルが下がり、アクセス数は前年度を大きく上回る3,155件を記録しました。配信方法の改善により、受講者層の拡大と利便性向上に繋がりました。	アクセス数増加に繋がったYouTubeでの配信を通して、視聴者の利便性向上を維持します。今後も、多様な学習ニーズに応える新たなコンテンツの企画・追加を検討するとともに、各種媒体を通じた周知を強化し、受講機会のさらなる拡大を図ります。

1－①－ウ　電子図書館機能の充実

事業概要

電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。

指標：電子書籍の貸出数（点）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000
実績（D）	28,120	33,991	39,318	33,339	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行い、提供しました。文の京デジタル文庫に、大正期の小石川植物園の図版、人口統計資料など、郷土資料及び行政資料を追加しました。	電子書籍等については、魅力ある蔵書とするため、計画的に選定・収集するとともに、特集を組むなど周知を強化し、一層の利用促進を図ります。また、地域資料のデジタル化を進め、広報に努めます。
R5	計画的な購入により、蔵書数を増やすとともに、８月を「電子図書館周知強化月間」とし、ポスター掲示、利用案内の作成・配布、「健康」「料理」等ジャンルごとのQRコードを印字したカードの作成・配布等に取り組んだ結果、貸出数の増加につながりました。	令和５年度に行った取組内容を踏まえ、更なる貸出数や予約数の増加を図るため、周知活動の強化や魅力ある書籍の選定等を行うとともに、読書バリアフリー化に取り組みます。
R6	前年度に引き続き、10月に「電子図書館周知強化月間」として、ポスターの掲示及び利用案内の作成・配布を行ったほか、電子図書館の体験会を実施し、更なる利用の拡大を図りました。	魅力ある書籍の充実に引き続き取り組み、更なる貸出数や予約数の向上を図るとともに、児童図書に閲覧制限のない読み放題パックを導入し、児童の電子書籍の利用を推進していきます。
R7	計画的な購入により蔵書の充実を図るとともに電子書籍の体験会を実施し、更なる利用の拡大を図りました。	読み放題パックのさらなる拡充を図り、児童の電子書籍の充実を図ります。また、新たなサービスとして音楽配信サービスを導入します。

エ　地域の学習拠点としての図書館づくり

1－①－エ　図書館サービスの充実

事業概要

図書館資料やレファレンスサービス等の充実を図るほか、各種行事や資料の特集展示などを行い、図書館の利用促進と区民の読書活動の推進を図ります。

指標：総貸出数（冊・点）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	3,846,252	3,911,000	3,977,000	4,045,000	4,114,000
実績（D）	3,846,252	3,723,216	3,558,422	3,330,805	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	図書館資料の充実を図るとともに、時節に応じた特集展示を区立図書館全体で年間1,200回実施しました。また、森鷗外没後100年、樋口一葉生誕150年記念事業を含む様々な行事にも取り組み、区民の読書活動の推進を図りました。	図書館資料の充実を進め、利用者の興味関心を引き出す様々なテーマの行事や特集展示を実施するほか、令和５年度においては「藩校サミット」関連事業などにも取り組むことにより、区民の身近な学習拠点として多様なニーズに対応した資料提供と情報発信を図ります。
R5	区民の読書活動の推進を図るため、図書館資料の充実を図るとともに、全館で「藩校サミット」「関東大震災100年」等、区の事業に関連した取組を実施したほか、各館が様々な行事や時節に応じた特集展示を実施しました。	引き続き、図書館資料の充実や、利用者の興味関心を引き出す様々なテーマの行事や特集展示を実施します。また、令和６年度においては石川県金沢市及び熊本県玉名市との協定締結5周年に関する事業等に取り組むほか、区民の身近な学習拠点として、閲覧環境の整備を図ります。
R6	区立図書館の「学びの拠点」としての機能向上を図るため、真砂中央図書館及び水道端図書館において、電源付き閲覧席の増設を行いました。 また、文京区ゆかりの文学者に関する事業に取り組み、熊本県玉名市との協定締結５周年に伴い夏目漱石に関する展示や講演会を実施したほか、吉本隆明氏生誕100年を記念して氏とその家族の作品展示などを行いました。	引き続き、図書館資料の充実を進め、図書館の利用促進及び区民の読書活動の推進を図るとともに、図書館システムを更新し、全館でICタグを活用したセルフ貸出機・返却機の導入を行う等、更なる図書館利用の利便性の向上を図っていきます。
R7	図書館システムの更新を実施し、全館にICタグを活用したセルフ貸出機等を導入しました。これにより、貸出手続の迅速化やプライバシーの一層の配慮等、利用環境の充実を図りました。	背表紙画像を活用した3D書架をWeb上に構築し、時間や場所にとらわれない新たな図書館利用サービスを提供します。また、シビックセンターに予約した資料の受け取りロッカーを設置し、更なる利便性の向上を図ります。

1－①－エ　子どもの読書活動の推進

事業概要

子どもたちが生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた行事や読書支援を行います。また、保護者への啓発や地域団体等との連携により、子どもの読書環境の整備に取り組みます。

指標:児童図書貸出数(冊)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,252,301	1,273,000	1,295,000	1,317,000	1,339,000
実績(D)	1,252,301	1,215,183	1,165,835	1,090,397	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。	引き続き、「子ども読書活動推進計画」に掲げる37の事業について、関係機関との連携のもと、着実に実施します。図書館においては、子どもの発達段階に応じたブックリストの作成・紹介や各種行事を実施し、子どもたちに多くの読書機会を提供するとともに保護者向け講演会等を行い、啓発を行います。さらに、地域の保育園、幼稚園、小・中学校への図書の貸出や出張おはなし会等を実施し、地域の読書活動を支援します。
R5	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。令和５年度より保健サービスセンターからの依頼に基づき、「あつまれ！フレッシュママ」へ図書館員が出張し読み聞かせをする取り組みを新たに始め、一層の子どもの読書環境の整備に取り組みました。	引き続き、「子ども読書活動推進計画」に掲げる37事業について、関係機関との連携のもと、着実に実施します。図書館においては、子どもの発達段階に応じたブックリストの作成・紹介や各種行事を実施し、子どもたちに多くの読書機会を提供するとともに保護者向け講演会等を行い、啓発を行います。さらに、地域の保育園、幼稚園、小・中学校への図書の貸出や出張おはなし会等を実施し、地域の読書活動を支援します。子どもが過ごしやすい図書館を目指し、職員一人ひとりのスキルアップを目指します。
R6	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、発達段階に応じたブックリストの作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子や子どもが本に親しむ機会を提供しました。また、他部署や地域のイベントと連携した出張おはなし会など、図書館以外の場における取り組みを行い、子どもの読書環境の一層の整備に取り組みました。	引き続き、「子ども読書活動推進計画」に掲げる37事業について、関係機関との連携のもと、着実に実施します。図書館においては、子どもの発達段階に応じたブックリストの更新・紹介や各種行事を充実させ、子どもたちに多くの読書機会を提供するとともに保護者向け講演会等を行い、啓発を行います。さらに、地域の保育園、幼稚園、小・中学校への図書の貸出や出張おはなし会等を実施し、地域の読書活動を支援します。子どもが過ごしやすい図書館、来館したくなる図書館を目指し職員一人ひとりが創意工夫していきます。

R7	「子ども読書活動推進計画」に基づき、発達段階に応じたブックリストの作成や、図書の充実、保護者やこどもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子やこどもが本に親しむ機会を提供しました。他部署や地域のイベントと連携した出張おはなし会など、図書館以外の場における取り組みを行い、こどもの読書環境の一層の整備に取り組みました。また、こどもの読書環境を整備するため、令和８年度～12年度までの「子ども読書活動推進計画」を策定しました。	新たに策定しました「子ども読書活動推進計画」に基づき、ブックリストの更新・紹介や各種行事により、発達段階に応じた多くの読書機会を提供するとともに、多様なこどもたちへの読書機会の充実を図ります。 また、こどもたちの読書意欲を喚起するため、小学生及び中高生世代向け電子書籍の充実を図るとともに、区立小中学校の全児童・生徒並びに希望する区内在住・在学の小中学生及び高校生世代を対象に、電子書籍のＩＤ・パスワードを交付し、タブレットによる電子書籍の利用環境を整えます。

(2)分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援
ア 区民の主体的な学習活動の支援

1－②－ア 資格取得キャリアアップ講座

事業概要

区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。

指標:受講者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	70	70	70	70	70
実績(D)	31	33	31	35	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	平時から連携している区内大学による資格取得に直結した講座により、能力の習熟に繋がりました。しかし、定員に満たない講座があったことから、受講者数を増やすための取組が必要です。	ラインナップの充実と合わせ、内容や日時のほか、タイトルや導入文にも工夫を重ねるなど、広報にも工夫し受講者の増加につなげます。
R5	区内大学との協働により、主としてオンデマンドにより５講座を実施しました。学習時間の確保やモチベーション維持にも課題があると思われ、定員には達しませんでしたが、一人ひとりのライフスタイルに応じたキャリア選択や、新たなステージで求められるスキルアップに繋がりました。	時事に即したメニューや、技術・技能等のスキル向上に関する専門的、実践的な講座提案について依頼するとともに、区報やＳＮＳも活用するなど、一層の事業周知に努めます。
R6	これまで同様、資格取得に直結した５講座について、様々な環境やライススタイルに合わせた学習機会の提供となるよう、オンデマンド視聴やe-ラーニング形式により実施しました。 定員には達していませんが、必要なタイミングでの学び直しと、仕事に役立つスキル習得に繋がりました。	資格取得以外にも、語学や、メンタルヘルス等、時事に即したメニューやいくつになっても学び直しができるメニューの提案について依頼するとともに、アカデミア講座等においても事業周知に努めます。
R7	区内大学と連携し、区民のキャリアアップや学び直しを支援するため、６講座を実施しました。時事に即したメニューの提案を大学へ依頼するとともに事業周知に努めた結果、講座数・定員を絞ったものの全体の受講者数は前年度を上回りました。	受講者数増加を踏まえ、時事や学び直しに対応したメニュー提供と周知に努めます。また、他の区内大学との連携についても検討を進め、各大学の特色を活かした講座を拡充し、より効果的なキャリアアップや学び直しの機会を創出していきます。

1－②－ア　社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数

事業概要

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、その団体の施設利用を支援します。

指標:社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	102,057	135,000	150,000	160,000	167,000
実績（D）	102,057	113,394	140,807	134,470	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	多くの社会教育関係団体によるアカデミー施設の利用があり、学習活動を通じて交流できる場を提供することで、区民の主体的な活動を支援することができました。	新型コロナ感染症の影響で活動を控える団体が多かったですが、令和８年度の167,000人の利用を目標に、引続き社会教育関係団体登録制度と並行して、活動の場を提供します。
R5	令和５年度は感染症による制限が全面的に撤廃された結果、多くの施設利用があり、区民の自主的なサークル・団体活動を支援することができました。	区民に活動の場を提供するとともに、社会教育関係団体への参加も促していきます。
R6	多くの社会教育関係団体によるアカデミー施設の利用があり、文化・スポーツ・学習活動を通じて交流できる場を提供することで、区民の主体的な活動を支援することができました。	引続き、区民に活動の場を提供するとともに、社会教育関係団体の活動に参加する機会を設けることで、参加を促していきます。
R7	社会教育関係団体の活動に参加する機会を設け、交流できる場を提供することで、区民の自発的な活動を支援することができました。	令和８年度の目標に向け、区民に社会教育関係団体の活動に参加する機会を設けるとともに、活動への参加を促していきます。

1－②－ア　社会教育関係団体登録制度による活動支援

事業概要

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減額などを行い、その活動を支援します。

令和8年度に向けた目標（P）

登録団体の活動内容を正確に把握し、広く区民に周知することで、団体活動の活性化と区民に各種活動への参加機会を提供し、区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援します。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。 また、３年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	引続き、区民の自主的な活動促進のため、登録団体名簿を更新し、関連施設へ配架の上、ホームページへ掲載します。登録団体の活動内容を正確に把握し、区民へ活動実績の周知を図ります。
R5	関連施設への登録団体名簿の配架やホームページの更新により、正確な情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、実績報告書の提出を求めることで、団体の活動内容を把握をすることができました。	登録団体名簿やホームページの更新に加え、登録団体からの実績報告書の提出により、活動内容を正確に把握していきます。その上で、引き続き、区民の自主的な活動促進を図ります。
R6	登録団体からの実績報告書の提出により、活動内容を正確に把握し、登録団体名簿やホームページの更新を行ったことで、区民の自主的な活動を促すことができました。	３年に一度の登録更新により、活動している団体を正確に把握、周知することで、区民の自主的な活動促進を図ります。
R7	登録の更新手続きにより、各団体の活動状況を正確に把握するとともに、日頃の新たな申請や変更申請に基づき、登録団体名簿やホームページを適宜更新し、その情報を周知することで、区民の活動への参加につなげることができました。	引続き、区民の主体的な活動を促進するため、登録団体の情報を名簿及びホームページへ掲載し、活動実績を区民へ周知することで、活動への参加を促します。

イ 活動の成果を披露できる場の充実

1－②－イ 生涯学習フェア

事業概要

文京アカデミア講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくるとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。

指標：来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	590	1,100	1,200	1,300	1,400
実績（D）	590	500	730	379	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	アカデミア講座や区内大学生涯学習センター、区内で活動する生涯学習サークルの活動紹介のほか、ステージ発表等により、区民の学びを表現する場を設けることで、学習意欲の向上を図りました。	引き続き、学習成果の発表機会提供と団体間の交流を図るとともに、活動意欲向上、及び新たな一歩を踏み出す契機に繋がるよう、団体との連携や広報に工夫をします。
R5	シビックセンター改修工事に伴い、サークルの展示や活動紹介の会場が、例年と異なりアートサロン１会場のみでの実施となりました。展示団体や展示作品数が大きく減少したことに伴い来場者も減少しましたが、アカデミア講座や区内大学が実施する生涯学習講座とあわせ、小ホールでは舞台発表により、学習意欲の向上と学習活動へ一歩踏み出す契機の提供に繋がりました。	通常の２会場開催となる予定であることから、参加サークルの増強と区内大学の直接的な参加について能動的に誘起するほか、各種講座等での開催周知を図ります。
R6	サークルの展示や活動紹介が従前通りの開催となり、参加団体、来場者共に増加しました。アカデミア講座や区内大学が実施する生涯学習講座を紹介したことで、学習意欲の向上と学習活動へ一歩踏み出す契機の提供に繋がりました。	活動意欲向上、及び新たな一歩を踏み出す契機に繋がるよう、区内生涯学習団体への周知について長期的に対応し、参加団体の増加に努めます。
R7	ギャラリーシビック等の充実した会場にて、計25団体の参加のもと開催しました。参加団体及び来場者数は前年度を下回りましたが、日頃の学習成果の披露や区民同士の交流の機会を提供することができました。	来場者数等減少の要因について、生涯学習団体等の声も踏まえて分析を行います。その上で、既存の周知手法にとらわれず、新たな団体の発掘やSNS等を通じた来場者向け広報の強化などアプローチ手法を検討し、事業の活性化を図ります。

1－②－イ　体験教室ウィーク

事業概要

地域におけるコミュニティの育成と生涯学習活動の支援を目的として、各地域アカデミーで活動する生涯学習団体を区民に紹介するとともに、生涯学習団体の活動に区民が参加する機会を創出し、団体活動を支援します。

指標：参加団体数（団体）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	47	49	50	51	52
実績（D）	47	62	68	73	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	年２回開催する体験教室ウィークについては、コロナ禍による参加団体の低減が予想された中、想定以上の団体の参加がありました。 なお、アカデミー湯島の１回目は、開催期間が改修工事と重なり、止む無く中止しました。	（公財）文京アカデミーのホームページや広報紙による周知に加え、各館において、各団体への案内を積極的に行うことで、参加団体の増加に努めます。
R5	新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくなり、参加団体数もコロナ禍以前の数を上回る結果となりました。	従来の広報や各館での積極的な声掛けに加え、生涯学習フェア等、他事業との連携を深め、参加団体の増加に努めます。
R6	アカデミー千石は、空調工事のため１回目の事業を実施できませんでしたが、全体では、年間参加団体数が過去最高となりました。	広報や各館での積極的な声掛け等により既存参加団体の継続参加を促すと共に、新規参入団体の増加に努めます。
R7	年間参加団体数が昨年度より増加し、過去最高となりました。参加団体からは、「体験教室ウィークのおかげで会員が増えた」との声をいただいており、団体活動の支援に繋がっています。	従来の周知活動を工夫し、新規に参加する団体の更なる増加に向けて取り組んでまいります。

1－②－イ　文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。

指標：事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績（D）	29,680	20,556	19,383	20,612	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の２年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の６割の14,340人を目標としました。 令和４年度単年度事業「文の京ミューズネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。	令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミューズネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。
R5	各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。 単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」や企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約２倍となる959人の観覧者が訪れました。	定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催３年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和６年度は目標を超えることができませんでした。 「文京区×ちはやふるの世界展」を開催し、区内外に区の文化資源であるかるたを身近に感じられるよう競技かるた体験等の機会を提供し、延べ2,129人が来場しました。 また、障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」には、前年と同程度の観覧者が訪れました。	令和７年度は、謎解きとかるたを組み合わせた体験イベントの実施、児童館等へのかるた講師派遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。 また、障害者による文化芸術活動のさらなる活性化を目指すため、有識者が厳選した作品の展示及びギャラリートーク（作品解説）を行い、観覧を楽しみながら作品や障害者に対する理解を深める展示を行います。

R7	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和７年度は目標を達成することができませんでした。 「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、区のかるた事業を紹介するパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、延べ1,549人が来場しました。また、かるた講師派遣は、前年度と同程度の派遣を行いました。 障害者アートの展示では、作品数の十分な確保が苦慮しましたが、創作者の背景を理解しながら鑑賞できるようなキャプションの作成やギャラリートークを実施したことで、作品および障害について理解を深めていただきました。	令和８年度は、かるたの展示は実施しませんが、引き続き児童館等へのかるた講師派遣を実施し、若年層への認知度向上を図ります。 また、障害者アートの展示については、作品数の確保が課題となったことから、令和８年度は作品募集の範囲を「区内障害者通所施設」から「区内在住・在勤・在学」へと広げます。

ウ　学びを通じた交流・仲間づくりの推進

１－②－ウ　ふれあいサロン

事業概要

地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。

令和8年度に向けた目標（P）

各地域の特色を生かしながら、住民の相互交流を促進し、地域活動を担う人材発掘につながる講座を実施していきます。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	新型コロナウイルス感染拡大以降、実施回数を縮減していましたが、令和４年度は感染対策を徹底しながら昨年度実績の２倍を上回る講座を実施し、区民間の交流を進めることができました。	アフターコロナを見据え、実施回数をさらに増やすとともに、時事に即した事業を実施し、幅広い層の参加を促進していきます。
R5	令和５年度は昨年度実績を上回る講座を実施することができました。また、社会福祉協議会と連携し、新たな内容の講座を行うことができました。	事業内容について検討を行い、地域活動を担う人材発掘につながる講座を充実していくとともに、様々な世代の参加を促進していきます。
R6	令和６年度は昨年度と同数の講座を実施することができました。また、社会福祉協議会と連携し、地域住民との交流を深める講座を行うことができました。	事業内容について検討を重ね、社会福祉協議会等と連携しながら人材発掘につながる講座を充実していくとともに、様々な世代の参加を促進していきます。
R7	令和７年度は昨年度より５講座多く実施することで、様々な世代の参加機会を提供しました。また、社会福祉協議会と連携することで、区民間の交流を進めることができました。	地域課題やニーズに即した講座を実施できるよう、実施後アンケート等を取り入れつつ、社会福祉協議会等と連携し、人材発掘につながる講座を充実させ、区民間の交流を促進していきます。

(3)分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくり
ア 地域の学びを促進する人材育成の推進

1－③－ア 人材育成のための講座

事業概要

区や（公益）文京アカデミー等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の３つの養成講座を実施します。

指標：受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	39	45	45	45	45
実績（D）	41	28	25	19	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	区内大学及び文京アカデミアサポーターの会の協力を得て、「文の京生涯学習司養成講座（隔年）」「サポーター養成講座」を実施し、地域人材の掘り起こしと新たな認定者の確保に繋がりました。また、講座運営には一定の人数を確保する必要があり、途中で参加を取り止める受講者も想定し、かつ講座運営が可能な人数の受講としたため、実績が目標を上回りました。	講座の継続のほか、生涯学習団体等と積極的な情報交換を行い、人材の育成・確保に努めます。
R5	区内大学との協働により「文の京地域文化インタープリター養成講座」について、幅広い年代の受講を見込み午前中の開催へと変更し実施しました。思惑と異なり定員には至りませんでしたが、受講者全員の12名が新たに認定されました。 文京アカデミアサポーターの会の協力を得て「サポーター養成講座」を実施し、受講を修了した16名が新規会員となり、アカデミア講座に従事いただきました。	文の京生涯学習司養成講座の実施にあたり、魅力的かつ実践的なメニュー等を協議・選定することにより、幅広い年代の地域人材の掘り起こしと、新たな認定者による生涯学習の活性に繋げます。
R6	区内大学との協働により「文の京生涯学習司養成講座」を実施しました。新たに土曜日にも設定するなど、幅広い年代の受講が叶うよう努めました。定員には至りませんでしたが、受講者全員の15名が新たに認定されました。 また、文京アカデミアサポーターの会の協力を得て「サポーター養成講座」を実施し、受講を修了した８名が新規会員となり、アカデミア講座に従事しました。	「文の京地域文化インタープリター養成講座」の実施年であることから、安定した講座運営と併せ、「文京アカデミアサポーター養成講座」についても実情に合わせた講座メニューとするなど、幅広い年代のによる生涯学習の活性化に繋げます。
R7	文の京地域文化インタープリターの活動を安定的に支援するとともに、文京アカデミアサポーター養成講座においては、現在の活動実情に合わせた講座メニューに見直して実施しました。受講者減という課題はあるものの、区や関係機関と協働して事業を支える新たな人材を育成し、地域の生涯学習の活性化に繋がる成果を得ることができました。	より多くの区民、特に幅広い年代の受講を促すため、広報手法の工夫や受講しやすい日程の設定等に継続して取り組みます。また、育成した人材が修了後も意欲的に活動を継続できるよう、関係機関等と連携したフォローアップ体制の充実に努めます。

1－③－ア　学習支援者スキルアップ講座

事業概要

（公財）文京アカデミーと協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。

指標：受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	50	70	70	70	70
実績（D）	46	48	50	52	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	より生涯学習支援活動に欠かせなくなりつつあるパソコン講座など、支援者のニーズを踏まえた講座や、支援者の企画運営する講座を実施し、効果的なスキルアップに繋げました。	活動に必要なスキルを学ぶほか、関心の高い事象に関して情報共有を図ることで、充実した学習機会を提供します。
R5	情報モラルとインターネットの安全な使い方、傾聴やコミニケーションスキル向上を目的とした講座を実施し、ＩＣＴを使用した情報収集、知見の蓄積の支援、幅広い企画提案力向上に繋げました。	新たな主体との協働にも注力し、講座内容の充実を図ることで、潜在的な企画提案希望者の掘り起こしや、モチベーションの向上を図ります。
R6	生涯学習活動はもとより、幅広く人生が豊かになるよう、情報収集・処理能力の向上を目的とした「ChatGPT講座」、アカデミア講座に拘ることなく、地域等でもさまざまなイベントの企画提案能力や実行力の向上に資するよう「講座企画提案」に関する講座を実施し、ＩＣＴを使用した情報収集、知見の蓄積の支援、幅広い企画提案力向上に繋げました。	区内企業との協働や講師の掘り起こしにも注力し、先駆的な生涯学習機会の充実と、新たな企画提案希望者の掘り起こしに努めます。
R7	学習支援者がより先駆的かつ多角的な活動を行えるよう、講師の掘り起こし等に注力しました。生成AIを活用し「調べて、まとめて、伝える力」を養う講座や、地域イベントプロデューサー等を講師に招いた「情報の集め方・活かし方」に関する講座を実施したことで、支援者のICT活用スキルの向上に加え、地域で人と人を繋ぐための多角的な視点や企画力の底上げに寄与しました。	学習支援者のさらなるスキル向上と実際の活動への還元を目指し、支援者のニーズに即した実践的な講座テーマの設定に努めます。引き続き、区内企業や地域人材等からの新たな講師発掘に注力し、時代の変化に合わせた多角的な学習機会を提供することで、生涯学習支援者の活動の活性化を図ります。

イ 人材活用の仕組みの構築

1－③－イ 区民プロデュース講座

事業概要

区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・ＮＰＯ等の団体が企画する講座を公募して実施します。

指標：受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	202	300	300	300	300
実績（D）	186	230	310	237	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	文の京生涯学習司によるきめ細かい相談体制により、地域の人材から広く提案され、特色ある講座の開講に繋がりました。その一方で、コロナ禍から目標・実績ともに影響を受ける結果となりました。	相談体制を継続するとともに、新たな提案の創出に向けて、周知を行う範囲とアプローチの手法について検討していきます。
R5	生涯学習相談にて、事前相談や申込書の書き方レクチャーを継続したとともに、企画選定委員会においては、社会のトレンドも意識した講座を選定しました。	区や区民の持つポテンシャルを活かした講座や、継続性のある学習活動の入口となる講座の実施となるよう、区民視点での講座選定や、多角的な視点からのコーディネートに取り組みます。
R6	年間を通して実施している「生涯学習相談」において、相談者の来庁時期を考慮し開設時間帯の変更を行うなど、いつでも提案・相談を受けられるよう環境を整備しました。	相談体制を継続するとともに、文京アカデミア生涯学習推進委員会とも連携を図り、区民の目線から一層多彩なメニューの選定と、新たな人材の掘り起こしに努めます。
R7	学習推進委員会との連携や相談体制の継続により、新たな人材の掘り起こしに努め、宝生流能楽師の提案による能楽講座等、多彩なメニューを実施しました。受講者数は237人でしたが、各期を通じて定員を上回る応募があり、区民の関心の高さと学習ニーズを的確に捉えた講座運営を実施することができました。	学習推進委員会と連携した多彩なメニューの選定と、地域の新たな人材の発掘に努めます。また、区民の企画提案を支援する相談体制を維持・充実させるとともに、高い学習ニーズに応えるため、より多くの区民が参加できる効果的な広報や講座運営に取り組みます。

1－③－イ　各種講座・展示会の企画への起用

事業概要

文の京地域文化インタープリターや文の京生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業（企画展等）を展開していきます。

指標：生涯学習支援者企画講座開催数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	30	30	30	30	30
実績（D）	30	37	28	18	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	アカデミア講座の選定のほか、イベント・公開講座の開催等、生涯学習支援者の協力を得て、多様なニーズに対し区民目線から質の高い学習機会を提供できました。	生涯学習支援者との連携を密にした積極的な意見交換により、活動の活性と講座の充実に向け、継続的に支援していきます。
R5	アカデミア講座の提案、特別公開講座の企画、受託による実施など、幅広い領域のコーディネートにより、区民と生涯学習を結びつける大きな要素となりました。	各種人材養成講座を継続し、新たな認定者を確保するとともに、区民の学びの促進につながるよう、各団体の主体性を尊重しつつ、その専門的な知見を活かした活動機会を提供していきます。
R6	アカデミア講座の提案、特別公開講座の企画・運営など、幅広い領域で連携を図ったことで、区民ニーズを大切にした生涯学習の提供に繋がりました。	財団と各団体との役割を明確にし、長所を活かしながら講座の充実と各団体の主体的な活動に繋げます。
R7	講座開催件数は減となったが、各団体の主体的な活動を支援する体制づくりに努めました。インタープリターや生涯学習司等の知見を活かした企画展や事業を連携して展開し、区民の学習ニーズに応える質の高い生涯学習機会の提供に繋げました。	各支援者団体の主体性を尊重した支援体制を維持し、それぞれの得意分野や知見を活かした活動をサポートします。財団との緊密な連携のもと、区民の学習ニーズに応える質の高い講座等の継続的な開催に努めます。

ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

1－③－ウ 大学連携による各種事業

事業概要

区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。

指標：受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,231	1,300	1,400	1,500	1,500
実績（D）	974	1,059	1,250	921	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	高度かつ専門的な学習機会提供のため、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しました。また、オンライン・オンデマンドにより実施もしましたが、定員に満たなかったことが多かったため、継続的に内容や日時のほか、タイトルや導入文にも工夫を重ねます。	多くの方へ学習機会の提供が叶うよう、大学と連携した広報や、担当者とのコミュニケーションに努めます。
R5	アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等を継続したほか、大学との意見交換や情報の共有を通し、新たな講座メニューの提供に繋がりました。	大学の主体性を尊重しつつ、課題や認識の共有を図るとともに、双方の長所を活かし、一層充実した企画提案が叶う体制・環境の醸成に努めます。
R6	アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等を継続したほか、意見交換や情報の共有機会を充実させるため、大学担当者との会議スタイルを変更しました。	新たなメニューの提案や夜間・休日開講の実現に向け、課題や認識の共有を図るとともに、双方の長所を活かし、一層充実した企画提案が叶う体制・環境の醸成に努めます。
R7	各大学との情報共有を図ることで、双方の強みを活かした講座企画を展開しました。今年度は「夏休みこどもアカデミア」を拡充して実施したほか、多くの講座において定員を超える多くの応募がありました。受講者数は減少したものの、大学の専門的知見を活かした多様な講座を提供し、区民の知的好奇心を満たす充実した学習機会の確保に繋がりました。	大学との連携による質の高い講座企画を継続し、区民の知的好奇心を満たす多様な学習メニューを提供します。今年度好評を得たこども向け講座や専門性の高い講座の傾向を踏まえ、より多くの区民が大学の知見に触れられるよう、効果的な事業展開と参加機会の創出に努めます。

1－③－ウ　文京お届け講座

事業概要

区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として職務に関する話をすることで、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。

指標：実施講座数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	18	19	19	20	20
実績（D）	18	24	20	39	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	一年を通して18件の講座申込があり、計455名の方が参加しました。これにより、区民の自主的な学習活動を支援し、区の施策等に対する理解を深めることができました。	新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での講座を控える団体も多く、いくつかの講座はZoomで実施しました。引き続き、区民の要望を正確に捉え、学習活動の支援を行います。
R5	令和５年度は24件の講座申込があり、計693名の方がお届け講座を受講しました。また、オリジナル講座の申込が多かったことからも、区民の要望に応えることができました。	引き続き、区民要望に応えつつ、自主的な学習活動を支援していくとともに、申込みの簡略化に向け、申込方法の電子化に取り組んでいきます。
R6	令和６年度は20件の講座を実施し、計464名の方がお届け講座を受講しました。また、電子での申し込みを開始し、申請の簡略化を図りました。	フォームでの申し込みについて周知を行い、活用していきます。また、引続き区民の要望を正確に捉え、学習活動の支援を行います。
R7	令和７年度は39件の講座を実施し、計776名の方がお届け講座を受講しました。電子での申し込みが増加し、フォームの活用による事務の効率化を図ることができました。	引き続きフォームの活用を促すとともに、区民の要望に応え、自主的な学習活動を支援を行います。

1－③－ウ 「文京学」講座

事業概要

文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し 、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。

指標:受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	120	120	120	120	120
実績（D）	110	149	102	124	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	生涯学習支援者等の協力を得て、幅広い分野の人材による、地域に関する講座を提供しました。引き続き、講座内容の充実を図っていく必要があります。	地域に関する情報や人材の深掘りにより、新たな切り口からの講座が実施できるよう、文の京生涯学習司等との連携をより強めます。
R5	前年度に引き続き、文京区の歴史や魅力など、文の京に特化した講座を実施したほか、いきいきアカデミアにおいても区ゆかりの人物の紹介や区内博物館等の見学を実施しました。	アカデミア講座、いきいきアカデミア講座共に、区政全般から生活に密着した区の施策に関する講座の実施により、区民の生涯学習活動の振興と、区政への理解が深まるよう努めます。
R6	これまで同様、文京区の歴史や魅力など、文の京に特化した講座を実施したほか、いきいきアカデミアにおいてもミューズネット構成館による講義を実施しました。	区ゆかりの人物や事象、協定締結自治体等、区政全般から文京区に関する講座実施により、区民の生涯学習活動の振興と、区政への理解が深まるよう努めます。
R7	文京区の歴史・文化や協定締結自治体に関する講座の充実を図った結果、多くの講座で定員を上回る応募がありました。区民の地域学習に対する高いニーズに的確に応えるとともに、文京区の歴史・文化やゆかりの自治体に対する理解を深める取り組みを行いました。	区の歴史・文化や協定締結自治体をはじめ、地域に根ざした多様なテーマの講座を企画・実施します。区民の地域学習への意欲に応える充実した学習機会を提供することで、地域への愛着醸成を図ります。

第４章　スポーツ分野の点検・評価

１．スポーツ分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員（学識経験者）
スポーツ分科会座長　青木　和浩

基本方針①「だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充」

「Bunkyo Sports Park」での参加者増加（前年比1,521人増）や「スポーツ交流ひろば」の利用者拡大（前年比2,078人増）など、多様なスポーツに触れる機会が定着している点が評価できる。東京2025世界陸上・デフリンピックに向けた気運醸成やボッチャ等を活用したパラスポーツ推進、プロスポーツ団体（読売巨人軍・アルバルク東京）やヨネックス等の区内・近隣資源との協働やスポーツボランティアの活用など、「する・見る・支える」機会の提供が進んだ。一方、初心者向け教室等で参加者数が減少しており、今後は単なる周知にとどまらず、SNSや地域広報など多様な媒体を活用した「様々な年代に届く効果的な情報発信」の徹底と、参加者増減の要因検証に基づく事業改善が求められる。

基本方針②「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり」

体育施設の個人向け一般開放や地域スポーツ団体への補助制度、指導者向け救急救命講習など、日常的な運動環境の整備と安全性の確保に努めており評価ができる。特にプロ団体等との協働による親子向け野球・チアダンス・バドミントン教室などの展開は高い評価を得た。一方で未就学児の外遊び事業や一部の親子・初心者向け教室で参加者が減少した。これらに対しては、参加者の行動様式やニーズの変化を精査・検証し、広報手段の見直しや開催時期・内容の工夫を図ることが不可欠である。子どもから高齢者まで、生涯を通じて運動に親しめるよう、世代に応じたアプローチを強化していく必要がある。

基本方針③「スポーツの力を活用した地域づくり」

「みんなのスポーツひろば」等に専門学校生がボランティアとして参画し、多様な人々の交流や共生社会の理解促進に寄与した。また、プロスポーツ団体や協会のほか、民間企業や区内学校等の多様な「区内の資源との連携」により、競技用義足・車いすバスケの体験会や小・中学校でのブラインドサッカー出前授業を実施し、地域一体となった取組を展開した。さらに指導者地域派遣や大規模イベントの活用により、地域組織との強力な結びつきが形成されている。今後はこうした地域資源とのネットワークをさらに発展させ、スポーツを通じた持続可能な地域コミュニティの創出へつなげることが期待される。

分野の総評

各基本方針のもと、プロ・民間連携や大規模イベント、パラスポーツ推進など区の強みを活かした施策が着実な成果を上げた。今後のさらなる推進に向けては、まず一部事業で見られた「参加者増減の定量的・定性的な検証」を行い、減要因を分析してプログラム内容や実施環境の迅速な改善に活かすことが重要である。その上で、デジタルとアナログを組み合わせた「様々な年代へ確実に伝わる情報発信」を展開し、認知・参加の裾野を広げることが求められる。さらに、学校・企業・専門学校・プロチームといった「区内の豊かな資源との連携・結びつき」を一段と強化し、区民一人ひとりが日常的にスポーツの魅力を実感できる地域づくりを目指されたい。

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　スポーツの楽しさを知る機会の創出				
25	初心者向けスポーツ教室	○		
26	スポーツ交流ひろばの充実	○		
27	Bunkyo Sports Park		○	○
イ　ユニバーサルスポーツの普及振興				
28	ニュースポーツ教室・大会	○		
29	障害者スポーツ体験教室	○	○	
30	Bunkyo Sports Park【再掲】		○	○
ウ　スポーツ観戦の場と機会の拡充				
31	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	○	○	
エ　スポーツボランティア等の活動支援				
32	スポーツボランティアの養成	○	○	
分野別基本方針②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　気軽にスポーツを楽しめる環境の整備				
33	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	○		
34	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	○		
イ　スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備				
35	スポーツ交流ひろば通信の発行	○		
36	スポーツボランティア情報の提供	○	○	
ウ　スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開				
37	地域スポーツ団体の支援・育成	○	○	
38	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	○		
39	スポーツの日事業	○		
エ　スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化				
40	スポーツ指導者の育成	○		
オ　心身の健康づくり				
41	小・中学生向けスポーツ教室	○		
42	親子向けスポーツ教室	○		
43	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	○		
分野別基本方針③スポーツの力を活用した地域づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり				
44	親子向けスポーツ教室【再掲】	○		
45	スポ・レクひろば	○		
イ　プロスポーツ団体等との連携・協働				
46	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】	○	○	
47	Bunkyo Sports Park【再掲】		○	○

ウ　東京2020大会におけるレガシーの継承と活用				
48	障害者スポーツ体験教室	○	○	
49	Bunkyo Sports Park【再掲】		○	○
エ　人材・組織（町会・地域クラブ）との連携・協働				
50	地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】	○	○	
51	スポーツ指導者地域派遣	○		
52	Bunkyo Sports Park【再掲】		○	○
オ　スポーツの魅力を体感する機会の充実				
53	初心者向けスポーツ教室【再掲】	○		
54	小・中学生向けスポーツ教室【再掲】	○		

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略（令和6年度～令和9年度）に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和7年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

指標	現状値		目標値
スポーツ実施率（週１日以上）【スポーツをする】	54.9% （令和元年度）	58.3% （令和７年度）	60.0%
スポーツ観戦率【スポーツを見る】	23.7% （直接観戦） （令和元年度）	23.7% （直接観戦） （令和７年度）	30.0%
スポーツボランティアの参加率【スポーツを支える】	10.7% （令和元年度）	12.0% （令和７年度）	20.0%

【分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充の状況】

だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充では、スポーツの楽しさを知る機会の創出のため、初心者向けスポーツ教室や区立小・中学校を活用したスポーツ交流ひろば事業を実施しました。初心者向けスポーツ教室は315人、スポーツ交流ひろばは28,947人の参加がありました。また、年齢、性別、体力等に関わらず、多種多様なスポーツを体験することのできるスポーツイベント「Bunkyo Sports Park」では、野球やサッカー、ラグビーといったメジャースポーツだけでなく、ソフトハンマー投げやデフバドミントンなど、東京2025世界陸上及び東京2025デフリンピックに因んだ体験ブースを設置して気運醸成を図り、延べ12,774人の来場がありました。

ユニバーサルスポーツの普及振興を図るため、みんなで楽しくボッチャ大会を開催したほか、区内のまつり会場でボッチャ体験ブースを設置するなど、多くの区民がパラスポーツに触れる機会を提供し、認知度を高めました。

区内に拠点を持つ、読売巨人軍やアルバルク東京との協働により、ホームゲーム観戦イベントを実施するとともに、関係団体と連携した各種スポーツイベントを継続したほか、新規にヨネックスと連携した親子バドミントン教室等を実施しました。

これらの事業の実施に際しては、区に登録している多くのスポーツボランティアが活躍し、スポーツを支える人材の養成を図っており、年間で31件の事業にスポーツボランティアが参加しました。今後も、スポーツボランティアについて広く案内し、さらなる啓発に努めます。

これらの取り組みにより、多くの区民にスポーツを「する」「見る」「支える」機会を提供しました。今後、さらなる事業周知に努め、だれもがスポーツを身近に感じることができる機会を拡充していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎区内で様々なスポーツ関連事業が行われているが、一年を通してそれらを網羅した一覧のようなものがあると良いと感じた。

◎「障害者スポーツ体験教室」の実績が大きく伸びている点は評価できるが、目標値が低いのではないかとも感じる。

◎本計画期間中に開始した「Bunkyo Sports Park」事業が盛り上がっている点は評価できる。

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

指標	現状値		目標値
「スポーツ活動を支える環境を整備すること」への満足度	36.3% （令和元年度）	49.9% （令和７年度）	45.0%

指標	スポーツ指導者（スポーツ推進委員・スポーツリーダー）派遣の実績件数				
現状値 （令和元年度）	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
120 件	135 件	85 件	84 件	114件	264件

【分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりの状況】

いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりでは、気軽にスポーツを楽しめる環境を整備するため、六義公園運動場等の屋外スポーツ施設を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供し、5,096人の参加がありました。

スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開のため、インクルーシブスポーツ推進事業等を行う団体に対し、経費の一部補助を行いました。8団体15事業で補助制度が活用され、地域スポーツ団体の支援・育成を図りました。また、スポーツセンター、総合体育館、江戸川橋体育館において、卓球やバドミントン、バスケットボール、バレーボール等、様々な種目の個人向け一般開放を行っています。個人向け一般開放では指導員が配置されており、23,711人の利用があり、多くの区民にスポーツをする機会を提供することができました。

スポーツ指導者の育成と確保、技術の強化として、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ協会加盟団体員、スポーツ交流ひろば指導員等のスポーツ指導者を対象に、救急救命に関する講習会を開催し、知識と技術の向上を図りました。

心身の健康づくりでは、小・中学生を対象としたスポーツ教室を開催しました。運営協力団体と連携し、参加者が楽しく体験できるよう、ローラースポーツ教室及びジュニアサッカー教室を実施し、150人の参加がありました。また、読売巨人軍やアルバルク東京、ヨネックス等との協働事業として、新たに親子野球教室やチアダンス体験教室、バドミントン教室を加えて親子向けスポーツ教室を実施し、866人の参加があり、事後の参加者アンケートでも高い評価をいただきました。

今後も事業内容の更に工夫するなど、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを継続的に展開していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎指導者向けの救急救命講習実施など、日常的な環境の整備や安全性の確保に努めている点を評価する。

◎スポーツ交流ひろばの充実について、プールの一般開放を増やしていけたらよいと思う。

◎「スポーツ指導者の育成」実績が減少している点については、具体的なその要因を分析し、改善策につなげるべきと考える。

（3）分野別基本方針③　スポーツの力を活用した地域づくり

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
スポーツ団体等との連携事業数	20 件 （令和元年度）	23 件	10 件	15 件	16 件	17 件
関係団体（パラスポーツ団体含む）との連携事業数	5 件 （令和元年度）	7件	5 件	5 件	8 件	10 件

指標	現状値		目標値
事業参加者の満足度	－ （令和元年度）	100.0% （令和７年度）	80%

【分野別基本方針③　スポーツの力を活用した地域づくりの状況】

スポーツの力を活用した地域づくりでは、スポーツを通じた仲間づくりと地域づくりとして、親子向けスポーツ教室を開催するとともに、知的障害のある方を主な対象に楽しみながら体を動かす機会を提供するみんなのスポーツひろばを通年で実施しました。みんなのスポーツひろばには、区に登録しているスポーツボランティアだけでなく、区内専門学校の学生もボランティアとして参加し、多様な人々の交流を促進することができました。

東京2020大会におけるレガシーの継承と活用として、区内のまつり会場でボッチャブースを設置をし、どなたでもパラスポーツを体験していただく機会を提供しました。また、アルバルク東京、トヨタ自動車との連携によりパラアスリートを講師に迎え、競技用義足や車いすバスケ等を体験するパラスポーツ体験会や、日本ブラインドサッカー協会の協力による区立小・中学校でのブラインドサッカー出前授業等、年齢や障害の有無等に関わらず、誰もがともにスポーツを楽しむことができる機会の提供を推進しました。

今後も、これらの事業内容を充実させつつ取り組みを継続し、スポーツの力を活用した地域づくりを進めていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎スポーツ指導者の地域派遣実績が大きく増加しているので、その要因を正確に捉え、今後に活かしていってほしい。

◎知的障害のある方に楽しみながら体を動かす機会を提供する事業に区内専門学校生がボランティアとして参加し、多様な交流が図れていることは良いことだと感じた。

◎事業参加者の満足度がとても高いといった質的評価も大事だと考える。

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充
ア スポーツの楽しさを知る機会の創出

２－①－ア 初心者向けスポーツ教室

事業概要

区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。

指標:参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	371	380	390	400	408
実績(D)	371	401	432	315	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道	初心者向けスポーツ教室を受講した後も、引き続きスポーツを継続できるよう、実施団体等と継続方法等について協議します。
R5	初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、一人では中々始めることができない３種目について初心者向け教室を実施し、たくさんの方のお申込み、ご参加をいただくことができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道	始めたスポーツを定着させる取り組みの展開、新しいスポーツを始める機会の提供に引き続き取り組んでまいります。
R6	これまで開催していた３種目にテニスを加え、初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、一人では中々始めることができない４種目について初心者向け教室を実施しました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道、テニス	参加人数を増やす方法を検討するとともに、新しいスポーツを始める機会の提供と、スポーツを継続できる取り組みを引き続き行ってまいります。
R7	新たな競技に挑戦する機会創出を目的として、個人では始めることが難しい３種目について初心者向け教室を実施し、多くの方にご参加いただきました。 種目：アーチェリー、弓道、テニス	初心者向け教室の受講をきっかけに、継続してスポーツ活動に取り組んでいただけるよう、各種教室の実施等、スポーツを体験できる機会の提供に取り組んでまいります。

2－①－ア　スポーツ交流ひろばの充実

事業概要

区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績（D）	23,878	24,920	26,869	28,947	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。	スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止としていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。
R5	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、４年振りの再開となり、区立中学校１校で４日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。	スポーツ交流ひろばの競技によっては、参加者数が減少しているところもあり、参加者増に向けた広報活動等が必要と考えます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数の増に向けて運営方法の検討が必要です。
R6	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、区立中学校１校で４日間開催しました。より安定した事業実施のため、運営方法を変更しました。	スポーツ交流ひろばは、参加者数が減少している種目もあり、効果的な広報活動について検討していきます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数を増やす取り組みを検討します。
R7	スポーツ交流ひろばは、引き続き、区立小・中学校18校で実施しました。学校改修工事が例年よりも多く、開放日が少なかった一方で、参加者数は増加傾向が続いています。プール一般開放は、区立中学校１校で５日間開催しました。	スポーツ交流ひろばは、種目ごとに参加者数の幅があるため、参加者数が少ない種目について、周知を行う等により、参加を促していきます。

2－①－ア Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

指標:参加者延べ人数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)			8,674	8,954	9,233
実績(D)		8,394	11,253	12,774	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。
R6	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ、ブレイキン等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供するとともに、スポーツ分野におけるSDGsの概念を普及しました。来場者は、昨年度を大幅に超える延べ11,253人でした。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及していくとともに、次年度は世界陸上及びデフリンピックが東京で開催されるため、それらに因んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会のレガシー継承や気運醸成を図っていきます。
R7	地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツをはじめとした様々なスポーツ体験ブース等を設置するとともに、東京において、世界陸上及び東京2025デフリンピックが開催されたことから、ハンマー投げやジャベリックスロー、デフバドミントン等、それらに因んだ体験ブースを設置し、大会の気運醸成を図りました。	引き続き地域のスポーツ団体や大学等と連携を図り、定番スポーツやパラスポーツ、アーバンスポーツ等の様々なスポーツ体験ブースを設置し、区民の健康増進や新たなスポーツの楽しさを発見できる機会等の場を提供していきます。

イ ユニバーサルスポーツの普及振興

2－①－イ ニュースポーツ教室・大会

事業概要

障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッヂビーやボッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。

指標:参加者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	243	249	255	261	267
実績(D)	243	227	331	227	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	コロナ禍でも、スポーツ推進委員を中心に区内大学・専門学校の生徒やスポーツボランティアといった地域の資源と協力し、感染拡大防止対策を講じた上で、規模を縮小しながら実施しました。	パラスポーツのボッチャを一つのきっかけとして、可能性があれば他にも新たな種目による教室事業等を実施し、区民に広くニュースポーツに触れる機会を提供していきます。
R5	スポーツ推進委員を中心に区内大学・専門学校の生徒やスポーツボランティアといった地域の資源と協力し、コロナ禍以前の規模で実施しました。当初の参加者は目標値を超えていましたが、当日の参加率が低い結果となりました。	ボッチャ以外の種目についても検討し、令和6年度中に、区民に広くニュースポーツに触れる機会を提供していきます。
R6	ニュースポーツ大会では幅広い年代の区民が参加し、ボッチャで競い合いました。また、地域への指導者派遣によりドッヂビー等の指導を行い、ニュースポーツの普及を図りました。	引き続きニュースポーツ大会の開催やスポーツ推進委員等の地域派遣によるボッチャやドッヂビーを楽しめる機会を提供していきます。その他新しい種目を模索しニュースポーツの魅力を発信していきます。
R7	当日の参加率は低い結果となりましたが、幅広い年代の区民が参加し、ボッチャを学びながら、楽しむ機会となりました。また、昨年に引き続き、地域への指導者派遣を行い、ニュースポーツの普及を図りました。	引き続き、ニュースポーツ大会や地域への指導者派遣を実施し、地域におけるニュースポーツの定着と普及を推進していきます。

2－①－イ　障害者スポーツ体験教室

事業概要

障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。

指標:参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175
実績（D）	1,069	2,332	2,342	2,778	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	東京2020大会の終了後も、ボッチャやブラインドサッカー等パラスポーツを知る教室事業や体験会を行い、広く区民に参加いただきました。 また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加できるイベントを実施しました。	まつり等の場で継続的にパラスポーツに触れ、楽しいと思える機会を区民に提供することにより、パラスポーツの認知度を高めます。 年齢、性別、体力、障害の有無に左右されることなく、誰でも参加できるインクルーシブ要素を取り入れたスポーツ事業を、今後展開します。
R5	ユニバーサルスポーツフェスタや、花の五大まつりでのボッチャ体験ブースの設置等により、より多くのパラスポーツを体験できる機会を提供し、パラスポーツの認知度を高めることができました。	障害のある方でも安心して応募・参加してもらえるよう、手話通訳者などの協力を得て分かりやすい運営方法を工夫します。 また、誰もが参加できる参加者目線でのインクルーシブスポーツ事業を実施します。
R6	パラスポーツ体験会やニュースポーツ大会などにおいて、年齢や性別、障害の有無等に関わらず誰もがスポーツを体験できる機会を提供し、パラスポーツの認知度を高めました。	区内のまつり会場でのボッチャ体験ブースの設置等を行い、多くの区民がパラスポーツに触れることのできる機会を提供します。あわせて障害がある人が安心して事業に参加できるよう手話通訳者の手配について積極的に案内します。
R7	区内のまつり会場でのボッチャ体験ブースを設置し、多くの区民がパラスポーツに触れる機会を提供するとともに、認知度を高めました。	体験を通じて興味関心を持った参加者がニュースポーツ大会や今後の関連事業へ参加するきっかけづくりとなるよう事業の周知をしていきます。

2－①－イ Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

指標：参加者延べ人数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）			8,674	8,954	9,233
実績（D）		8,394	11,253	12,774	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。
R6	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ、ブレイキン等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供するとともに、スポーツ分野におけるSDGsの概念を普及しました。来場者は、昨年度を大幅に超える延べ11,253人でした。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及していくとともに、次年度は世界陸上及びデフリンピックが東京で開催されるため、それらに因んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会のレガシー継承や気運醸成を図っていきます。
R7	地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツをはじめとした様々なスポーツ体験ブース等を設置するとともに、東京において、世界陸上及び東京2025デフリンピックが開催されたことから、ハンマー投げやジャベリックスロー、デフバドミントン等、それらに因んだ体験ブースを設置し、大会の気運醸成を図りました。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツやパラスポーツ、アーバンスポーツ等の様々なスポーツ体験ブースを設置し、区民の健康増進や新たなスポーツの楽しさを発見できる機会等の場を提供していきます。

ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充

2－①－ウ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開

事業概要

区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。

指標：連携事業数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	10	15	18	21	23
実績（D）	10	15	16	17	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	サッカーW杯ではJFAと共同でパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍やアルバルク東京、東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。	関係団体との協働を広く発信し、連携を強化しながら事業を実施し、区民にとって魅力的で参加しやすいスポーツ事業を計画・実施していきます。
R5	ラグビーW杯及びFIBAW杯ではトヨタヴェルブリッツやアルバルク東京との協力・連携によりパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍や東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。	関係団体と連携を強化しながら事業を実施し、事業の発信力を高め、より多くの区民に参加してもらえるスポーツ事業を計画・実施していきます。
R6	パリ2024オリンピックでは、アルバルク東京と協力して、バスケットボール男子日本代表戦のパブリックビューイングを実施し、区一丸となって日本代表を応援しました。そのほか、地域のスポーツ団体等と各種スポーツ教室等を実施し、多くの区民の方にスポーツ体験の機会を提供しました。	引き続き地域のスポーツ団体等と協力・連携を図りながら、より多くの方にスポーツに親しんでいただけるよう事業を計画・実施していきます。
R7	ヨネックスと連携した区内の親子を対象としたバドミントン教室の実施等、関係団体との新規事業を実施するとともに、例年、関係団体と継続して実施している各種スポーツイベントも実施しました。	引き続き地域のスポーツ団体等と協力・連携を図りながら、より多くの方にスポーツに親しんでいただけるよう事業を計画・実施していきます。

エ スポーツボランティア等の活動支援

2－①－エ スポーツボランティアの養成

事業概要

地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。

指標：派遣実績数（単位）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	18	18	19	19	20
実績（D）	18	23	32	31	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	スポーツボランティアの登録者数が増え、活動回数も前年度の倍になりました。健常者も障害者も一緒に活動できる機会も増やすことができました。	特別な能力が必要なく誰もができるのがスポーツボランティアであり、養成するには多様なボランティアとともに従事、交流するOJTが一番です。そのため、１回当たりの従事者の受け入れ数増加を図ります。
R5	健常者も障害者も一緒に活動できる機会を増やすことができました。ただし、活動回数は増えましたが、応募するボランティアに偏りがありました。	再度、ボランティア登録者数を増やし、受け入れ数も増やすために、周知を図ります。
R6	スポーツボランティアの登録者数が増え、活動実績も増加しました。多くのボランティアが参加したことにより、事業が活性化しました。	引き続きボランティア登録者数を増やすために周知を図ります。
R7	各事業において、多くのボランティア従事の申込があり、滞りなく各事業を実施することができました。	引き続きボランティア登録に関する周知を図るとともに、各事業へ積極的にボランティアを活用してまいります。

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり
ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

2－②－ア スポーツ交流ひろばの充実【再掲】

事業概要

区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。

指標:参加者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績(D)	23,878	24,920	26,869	28,947	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。	スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止としていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。
R5	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、４年振りの再開となり、区立中学校１校で４日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。	スポーツ交流ひろばの競技によっては、参加者数が減少しているところもあり、参加者増に向けた広報活動等が必要と考えます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数の増に向けて運営方法の検討が必要です。
R6	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、区立中学校１校で４日間開催しました。より安定した事業実施のため、運営方法を変更しました。	スポーツ交流ひろばは、参加者数が減少している種目もあり、効果的な広報活動について検討していきます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数を増やす取り組みを検討します。
R7	スポーツ交流ひろばは、引き続き、区立小・中学校18校で実施しました。学校改修工事が例年よりも多く、開放日が少なかった一方で、参加者数は増加傾向が続いています。プール一般開放は、区立中学校１校で５日間開催しました。	スポーツ交流ひろばは、種目ごとに参加者数の幅があるため、参加者数が少ない種目について、周知を行う等により、参加を促していきます。

2－②－ア　まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業

事業概要

子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。（あおぞらすくすく広場、親子すくすく教室、園児すくすくプログラム）

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	4,561	4,675	4,789	4,903	5,017
実績（D）	4,561	4,340	6,060	5,096	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	屋外スポーツ施設について、空きの多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。	引き続き、自由に遊ぶ場所が不足している未就学児童を対象に外遊びの機会を提供していきます。
R5	屋外スポーツ施設（後楽公園少年野球場、六義公園運動場）において、未就学児童へ外遊びの機会の提供、親子向けスポーツ教室を実施しました。	引き続き、未就学児童に対する外遊びの機会の提供を行ってまいります。
R6	屋外スポーツ施設（後楽公園少年野球場、六義公園運動場）において、未就学児童へ外遊びの機会の提供、親子向けスポーツ教室を実施しました。特に、あおぞらすくすく広場については、昨年度より大幅に参加人数を増やすことができました。	引き続き、未就学児童に対する外遊びの機会の提供を行ってまいります。
R7	屋外スポーツ施設において、施設の開放や親子向けスポーツ教室を実施することで、未就学児童へ外遊びの機会を提供しました。	親子向けスポーツ教室については、参加者数が少ないため、周知の強化等、より多くの親子に参加いただけるよう検討していきます。

イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

2－②－イ スポーツ交流ひろば通信の発行

事業概要

スポーツ交流ひろばの指導者に向けて、スポーツ振興に関する情報等を発信します。

指標：通信の発行回数（回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	12	12	12	12	12
実績（D）	12	12	12	12	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができました。	引き続き、地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供していきます。
R5	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができました。	引き続き、地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供していきます。
R6	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、必要な情報等を区、区立小中学校及び連絡指導員が共有することで、円滑な事業運営ができました。	引き続き、地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供していきます。
R7	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、指導者や区立小中学校の連絡指導員と情報共有を図り、円滑な事業運営ができました。	スポーツ交流ひろば事業のみならず、区のスポーツイベントの発信にも役立てていきます。

2－②－イ スポーツボランティア情報の提供

事業概要

スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。

指標：スポーツボランティア協力事業件数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	18	18	19	19	20
実績（D）	18	23	32	31	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。区主催の各種事業に、ボランティアとして多くの方に参加していただくことができました。	定量的な評価のみならず、ボランティア従事内容を充実させたり、障害のある人も一緒に活動できる機会を増やすなど、定性的な指標も取り組んでいきます。
R5	区主催の各種事業に令和４年度よりも多くの方に参加していただくことができました。	ボランティア従事内容は充実していますが、応募者が偏り減少傾向がありますので、情報発信方法を工夫し、登録者数を増やしていきます。
R6	様々なスポーツ教室等でスポーツボランティアを募集し、多くの参加がありました。ボランティアが参加したことにより、事業が活性化しました。	さらにボランティア登録者数を増やし、幅広く事業に参加いただけるよう周知を図ります。
R7	各事業において、多くのボランティア従事の申込があり、滞りなく各事業を実施することができました。	引き続きボランティア登録に関する周知を図るとともに、各事業へ積極的にボランティアを活用してまいります。

ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

2－②－ウ 地域スポーツ団体の支援・育成

事業概要

地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。

指標：インクルーシブ推進事業補助金申請件数（件）※令和4年度のみ「REスタート補助金」

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	11	20	20	20	20
実績（D）	11	10	17	15	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	REスタート補助金の申請件数が11件ありました。各スポーツ事業の再興へ貢献しました。	補助金の趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れ目標以上の申請となるよう取り組みます。
R5	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金について、10団体からの申請があり、14事業で制度が活用されました。年齢、性別、障害の有無を問わず誰もが参加できるインクルーシブ要素を含んだ事業を増やすきっかけづくりとなりました。	多くの団体が補助制度を活用できるよう、制度の趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れます。
R6	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金の申請団体数は９団体でしたが、事業数は17事業に増加しました。また、新たな団体からの申請もありました。	要綱改正により、より活用しやすい制度にするとともに、SNSやホームページなどの広報を工夫して周知を図り、実績値の増加を目指します。
R7	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金の申請団体は８団体、事業数は15事業で制度が活用されました。事業数を維持する結果となり、インクルーシブスポーツに触れる機会の創出に貢献しました。	多くの団体が補助制度を活用できるよう、SNSやホームページなどで工夫して周知に取り組みます。

2－②－ウ 個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス

事業概要

卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。

指標：3体育館の一般開放参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	22,994	23,568	24,142	24,716	25,293
実績（D）	22,994	21,683	23,648	23,711	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で実施し、多くの区民等にスポーツする機会の場を提供することができました。	指導員を配置するとともに、地域の身近なスポーツ施設として、多くの区民に利用してもらえる機会を創出していきます。
R5	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で様々な競技の一般公開を実施し、多くの区民の方にスポーツする機会を提供することができました。	地域の身近なスポーツ施設として、よりたくさんの区民の方にスポーツをする機会を創出していきます。
R6	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で様々な競技の一般公開を実施し、スポーツを行う機会を提供することができました。	引き続き、地域の身近なスポーツ施設として、より多くの区民の方にスポーツをする機会を創出していきます。
R7	引き続き、スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で各種競技の一般公開を実施し、スポーツを行う機会を提供することができました。	一般公開の機会も含め、より多くの区民の方に、スポーツを行う機会を提供していきます。

2－②－ウ　スポーツの日事業

事業概要

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。

指標:事業の合計延べ参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	4,212	4,317	4,422	4,527	4,633
実績（D）	4,212	2,952			

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	実施日：令和４年10月10日（月・祝）午前９時から午後５時まで 会場：区内スポーツ施設（８か所） 令和４年度は雨天の影響もあり、参加者数に影響が出ました。	より多くの区民に、スポーツを身近に感じたり楽しさを知ってもらうための機会を創出していきます。
R5	実施日：令和５年10月９日（月・祝）午前９時から午後５時まで 会場：区内スポーツ施設等（８箇所） 令和５年度も雨天のため、屋外の事業が中止となった影響が大きく、想定していた参加者を大きく下回る結果となりました。	令和５年度までは、区立スポーツ施設等の指定管理者による「スポーツの日事業」として実施してきましたが、令和６年度以降は、「Bunkyo Sports Park」を実施します。

エ　スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

2－②－エ　スポーツ指導者の育成

事業概要

スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。

指標:各種指導者講習会、実技研修等参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	62	64	66	68	69
実績（D）	62	60	79	41	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	スポーツ推進委員の自主性も尊重しながら普通救命講習、ボッチャ研修、筑波大学山田教授を招いた講演会等、各種研修を実施し、スポーツ推進委員、スポーツ交流ひろばの指導員等の指導・育成スキルの向上に寄与することができました。	任期の途中から委嘱されるスポーツ推進委員もいるため、すぐに周りの委員と同様な活動ができるよう研修等の充実を図る必要があります。
R5	スポーツ推進委員が企画に携わり、上級救命講習やパラスポーツに関する講習会を実施しました。参加したボランティアやスポーツ交流ひろばの指導員等の知識や障害者理解を深めることに繋がりました。	指導者講習会についての周知に力を入れ、参加者の増加を目指します。また、スポーツ推進委員、ボランティア、スポーツ交流ひろば指導員等の交流を図っていきます。
R6	スポーツ推進委員による企画のもと、スポーツリーダーや体育協会加盟団体員等を対象として、普通救命講習会と指導者講習会を実施し、普段のスポーツ指導に役立つ知識と技術を習得する機会を提供しました。	指導者講習会においては、指導経験に差がある参加者の誰もが、それぞれの担当種目に活用できるような講習内容を検討します。
R7	スポーツ推進委員による企画のもと、講習内容で実技の時間を多くとり、参加者の誰もが、実践して取り組めるよう研修内容を工夫しました。	指導者講習会の周知について、SNS等の広報を工夫し、参加者の増加に取り組みます。

オ　心身の健康づくり

2－②－オ　小・中学生向けスポーツ教室

事業概要

子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	158	162	166	170	174
実績（D）	158	117	156	150	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	文京区ローラースポーツ連盟、文京区少年サッカー連盟・JFAと協働でジュニア向けスポーツ教室を実施しました。初心者も楽しめる教室とし、スポーツをはじめるきっかけづくりとなりました。	協働団体と連携・相談を密にし、その他競技のスポーツ教室が実施できないか検討します。
R5	令和４年度同様、募集人数を上回る応募がありましたが、事業近くになり体調不良等でのキャンセルにより参加者が減少しました。初心者にも楽しむことができ、満足度の高い教室となりました。	ジュニアローラースポーツ教室は、１日の教室を２回開催することにより定員を増やし、より多くのニーズに応えられるようにします。また、事前キャンセルの対応としては、繰り上げ当選等を検討します。
R6	ローラースポーツ教室及びジュニアサッカー教室ともに、運営協力団体と密に連携を図り、初心者でも楽しく体験できるよう教室を実施しました。	引き続き運営協力団体と密に連携を図り、満足度の高いスポーツ教室となるよう実施していきます。
R7	運営協力団体と連携し、参加者が楽しく体験できるよう、ローラースポーツ教室及びジュニアサッカー教室を実施しました。	スポーツ教室の内容が充実するよう、引き続き関係団体と密に連携を図り、教室を実施していきます。

2－②－オ　親子向けスポーツ教室

事業概要

親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	522	535	548	561	575
実績（D）	522	715	1,188	866	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計６の協働団体と親子教室を実施し、参加者アンケートでは９割以上から肯定的な評価をいただけました。	新型コロナウイルス感染症に鑑み、参加者を制限した事業もあり、落選者が多数となってしまいました。多くの方が参加できるよう、事業を計画していていきます。
R5	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計６の協働団体と親子及び家族向け事業を実施し、参加者アンケートでは９割以上から肯定的な評価をいただけました。	コロナ禍前の規模で事業を実施し、多くの方に参加していただきました。より多くの方が参加できるよう企画、計画をしていきます。
R6	地域のスポーツ団体等と連携し、各種親子向けスポーツ教室を実施し、親子でスポーツに親しみを持つきっかけづくりの機会を提供することができました。	より満足度の高い教室内容となるよう、運営団体と連携を図り、教室の企画・運営を行っていきます。
R7	親子で楽しくスポーツができる機会を提供するため、地域のスポーツ団体と連携し、親子向けのスポーツ教室を複数回実施しました。	引き続き地域のスポーツ団体と連携を図り、親子向けの各種スポーツ教室の企画・運営を行ってまいります。

2－②－オ　スポーツ交流ひろばの充実【再掲】

事業概要

区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。

指標:参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
実績（D）	23,878	24,920	26,869	28,947	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	区立小・中学校18校にて実施しました。参加者数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。	スポーツ交流ひろばに加えて、コロナ禍で中止としていたプール一般開放の再開について、関係機関と検討していきます。
R5	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、４年振りの再開となり、区立中学校１校で４日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。	スポーツ交流ひろばの競技によっては、参加者数が減少しているところもあり、参加者増に向けた広報活動等が必要と考えます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数の増に向けて運営方法の検討が必要です。
R6	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。 プール一般開放は、区立中学校１校で４日間開催しました。より安定した事業実施のため、運営方法を変更しました。	スポーツ交流ひろばは、参加者数が減少している種目もあり、効果的な広報活動について検討していきます。 プール一般開放については、実施校数、実施日数を増やす取り組みを検討します。
R7	スポーツ交流ひろばは、引き続き、区立小・中学校18校で実施しました。学校改修工事が例年よりも多く、開放日が少なかった一方で、参加者数は増加傾向が続いています。プール一般開放は、区立中学校１校で５日間開催しました。	スポーツ交流ひろばは、種目ごとに参加者数の幅があるため、参加者数が少ない種目について、周知を行う等により、参加を促していきます。

(3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくり
ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり

2－③－ア 親子向けスポーツ教室【再掲】

事業概要

親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。

指標:参加者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	522	535	548	561	575
実績(D)	522	715	1,188	866	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計６の協働団体と親子教室を実施し、参加者アンケートでは９割以上から肯定的な評価をいただけました。	新型コロナウイルス感染症に鑑み、参加者を制限した事業もあり、落選者が多数となってしまいました。多くの方が参加できるよう、事業を計画していきます。
R5	ジャイアンツアカデミーやトヨタヴェルブリッツ等、計６の協働団体と親子及び家族向け事業を実施し、参加者アンケートでは９割以上から肯定的な評価をいただけました。	コロナ禍前の規模で事業を実施し、多くの方に参加していただきました。より多くの方が参加できるよう企画、計画をしていきます。
R6	地域のスポーツ団体等と連携し、各種親子向けスポーツ教室を実施し、親子でスポーツに親しみを持つきっかけづくりの機会を提供することができました。	より満足度の高い教室内容となるよう、運営団体と連携を図り、教室の企画・運営を行っていきます。
R7	親子で楽しくスポーツができる機会を提供するため、地域のスポーツ団体と連携し、親子向けのスポーツ教室を複数回実施しました。	引き続き地域のスポーツ団体と連携を図り、親子向けの各種スポーツ教室の企画・運営を行ってまいります。

2－③－ア　スポ･レクひろば

事業概要

知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。

指標:参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	245	251	257	263	270
実績（D）	245	395	238	250	

	成果･評価（D･C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和３年度は４回の開催であったが、令和４年度は一度も中止することがなく全12回実施できました。また、リゾート＆スポーツ専門学校の学生がボランティアとして運営に加わり、参加者と交流を深めました。	令和４年度は４区合同レクリエーションがリモート形式での交流でとどまりました。今後は対面での交流を図り、参加者が様々な人と交流できる機会を設けていきます。
R5	スタッフやボランティアの学生及び他区の参加者との交流により、参加者の積極的な社会参画に繋げることができました。また、ボランティアの学生の知見が広がることで、障害者スポーツを支える人材育成に寄与することができました。	対象者の拡大を図るとともに、令和4年度から継続での参加者については、安心して参加してもらえるよう、環境の変化を十分に考慮した運営を心がけます。
R6	令和６年度から新たな事業者が運営を担うこととなり、これまでと異なったプログラムとなりましたが、参加者が楽しく参加できるよう運営事業者及びボランティアと連携を図りながら事業を実施することができました。	引き続き運営事業者と密に連携を図りながら、より参加者の満足度が高い事業内容となるよう、事業を企画・運営していきます。
R7	運営事業者と密に連携を図りながら、充実した内容の事業を実施することができました。	新たな参加者獲得に向け、事業周知を行うとともに、充実した事業内容となるよう、引き続き運営事業者と連携を図ってまいります。

イ プロスポーツ団体等との連携・協働

2－③－イ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】

事業概要

区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。

指標：連携事業数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	10	15	18	21	23
実績（D）	10	15	16	17	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	サッカーW杯ではJFAと共同でパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍やアルバルク東京、東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。	関係団体との協働を広く発信し、連携を強化しながら事業を実施し、区民にとって魅力的で参加しやすいスポーツ事業を計画・実施していきます。
R5	ラグビーW杯及びFIBAW杯ではトヨタヴェルブリッツやアルバルク東京との協力・連携によりパブリックビューイングを主催し、区一丸となって大会を盛り上げました。その他、読売巨人軍や東京ユナイテッドFCといった関係団体との協働事業も実施し、多くの区民に参加いただきました。	関係団体と連携を強化しながら事業を実施し、事業の発信力を高め、より多くの区民に参加してもらえるスポーツ事業を計画・実施していきます。
R6	パリ2024オリンピックでは、アルバルク東京と協力して、バスケットボール男子日本代表戦のパブリックビューイングを実施し、区一丸となって日本代表を応援しました。そのほか、地域のスポーツ団体等と各種スポーツ教室等を実施し、多くの区民の方にスポーツ体験の機会を提供しました。	引き続き地域のスポーツ団体等と協力・連携を図りながら、より多くの方にスポーツに親しんでいただけるよう事業を計画・実施していきます。
R7	ヨネックスと連携した区内の親子を対象としたバドミントン教室の実施等、関係団体との新規事業を実施するとともに、例年、関係団体と継続して実施している各種スポーツイベントも実施しました。	引き続き地域のスポーツ団体等と協力・連携を図りながら、より多くの方にスポーツに親しんでいただけるよう事業を計画・実施していきます。

2－③－イ Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

指標：参加者延べ人数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）			8,674	8,954	9,233
実績（D）		8,394	11,253	12,774	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。
R6	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ、ブレイキン等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供するとともに、スポーツ分野におけるSDGsの概念を普及しました。来場者は、昨年度を大幅に超える延べ11,253人でした。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及していくとともに、次年度は世界陸上及びデフリンピックが東京で開催されるため、それらに因んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会のレガシー継承や気運醸成を図っていきます。
R7	地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツをはじめとした様々なスポーツ体験ブース等を設置するとともに、東京において、世界陸上及び東京2025デフリンピックが開催されたことから、ハンマー投げやジャベリックスロー、デフバドミントン等、それらに因んだ体験ブースを設置し、大会の気運醸成を図りました。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツやパラスポーツ、アーバンスポーツ等の様々なスポーツ体験ブースを設置し、区民の健康増進や新たなスポーツの楽しさを発見できる機会等の場を提供していきます。

ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用

2－③－ウ 障害者スポーツ体験教室

事業概要

障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。

指標:参加者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175
実績(D)	1,069	2,332	2,342	2,778	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	東京2020大会の終了後も、ボッチャやブラインドサッカー等パラスポーツを知る教室事業や体験会を行い、多くの区民に参加いただきました。 また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加できるイベントを実施しました。	まつり等の場で継続的にパラスポーツに触れ、楽しいと思える機会を区民に提供することにより、パラスポーツの認知度を高めます。 年齢、性別、体力、障害の有無に左右されることなく、誰でも参加できるインクルーシブ要素を取り入れたスポーツ 事業を、今後展開します。
R5	ユニバーサルスポーツフェスタや、花の五大まつりでのボッチャ体験ブースの設置等により、より多くのパラスポーツを体験できる機会を提供し、パラスポーツの認知度を高めることができました。	障害のある方でも安心して応募・参加してもらえるよう、手話通訳者などの協力を得て分かりやすい運営方法を工夫します。 また、誰もが参加できる参加者目線でのインクルーシブスポーツ事業を実施します。
R6	パラスポーツ体験会やニュースポーツ大会などにおいて、年齢や性別、障害の有無等に関わらず誰もがスポーツを体験できる機会を提供し、パラスポーツの認知度を高めました。	区内のまつり会場でのボッチャ体験ブースの設置等を行い、多くの区民がパラスポーツに触れることのできる機会を提供します。あわせて障害がある人が安心して事業に参加できるよう手話通訳者の手配について積極的に案内します。
R7	区内の祭り会場でのボッチャ体験ブースを設置し、多くの区民がパラスポーツに触れる機会を提供するとともに、認知度を高めました。	体験を通じて興味関心を持った参加者がニュースポーツ大会や今後の関連事業へ参加するきっかけづくりとなるよう事業の周知をしていきます。

2－③－ウ Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

指標:参加者延べ人数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)			8,674	8,954	9,233
実績(D)		8,394	11,253	12,774	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。
R6	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ、ブレイキン等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供するとともに、スポーツ分野におけるSDGsの概念を普及しました。来場者は、昨年度を大幅に超える延べ11,253人でした。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及していくとともに、次年度は世界陸上及びデフリンピックが東京で開催されるため、それらに因んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会のレガシー継承や気運醸成を図っていきます。
R7	地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツをはじめとした様々なスポーツ体験ブース等を設置するとともに、東京において、世界陸上及び東京2025デフリンピックが開催されたことから、ハンマー投げやジャベリックスロー、デフバドミントン等、それらに因んだ体験ブースを設置し、大会の気運醸成を図りました。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツやパラスポーツ、アーバンスポーツ等の様々なスポーツ体験ブースを設置し、区民の健康増進や新たなスポーツの楽しさを発見できる機会等の場を提供していきます。

エ　人材・組織（町会・地域クラブ）との連携・協働

2－③－エ　地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】

事業概要

地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。

指標：インクルーシブ推進事業補助金申請件数（件）※令和4年度のみ「REスタート補助金」

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	11	20	20	20	20
実績（D）	11	10	17	15	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	REスタート補助金の申請件数が11件ありました。各スポーツ事業の再建へ貢献しました。	REスタート補助金の反省を踏まえて、周知活動に力を入れ目標以上の申請となるよう取り組みます。
R5	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金について、10団体からの申請があり、14事業で制度が活用されました。年齢、性別、障害の有無を問わず誰もが参加できるインクルーシブ要素を含んだ事業を増やすきっかけづくりとなりました。	多くの団体が補助制度を活用できるよう、制度の趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れます。
R6	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金の申請団体数は９団体でしたが、事業数は17事業に増加しました。また、新たな団体からの申請もありました。	要綱改正により、より活用しやすい制度にするとともに、SNSやホームページなどの広報を工夫して周知を図り、実績値の増加を目指します。
R7	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金の申請団体は８団体、事業数は15事業で制度が活用されました。事業数を維持する結果となり、インクルーシブスポーツに触れる機会の創出に貢献しました。	多くの団体が補助制度を活用できるよう、SNSやホームページなどで工夫して周知に取り組みます。

2－③－エ　スポーツ指導者地域派遣

事業概要

区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やＰＴＡ等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。

指標：派遣者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	85	100	115	125	135
実績（D）	85	79	114	264	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	コロナウイルス感染症が終息しつつあり、地域のクラブが活動を再開し始めました。それに伴い申請件数が増加し、クラブ活動の補助を行いました。	申請があった種目に偏りがあるため、その他の種目の申請も増加するよう周知に取り組みます。
R5	令和４年度よりスポーツ指導者の派遣人数は減少していますが、派遣の件数は増加（令和４年度38件、令和５年度53件）しており、多くの団体の利用がありました。	派遣人数については減少しているため、より多くの団体利用があるよう周知に取り組みます。
R6	令和５年度に比べ派遣者登録数及び派遣件数がともに増加し、区内のスポーツ・レクリエーション活動の活発化を図ることができました。	制度をより多くの区民に知ってもらうため、区ホームページの工夫や事業でのチラシ配布等、周知を図ります。
R7	区ホームページの工夫や事業でのチラシ配布等に加え、令和７年度から、新たに放課後全児童向け事業にボッチャやドッヂビーの指導者としてスポーツ推進委員を派遣したことで、実績数が増加しました。	引き続き区ホームページの工夫やチラシの配布に取り組みます。

2－③－エ Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

指標：参加者延べ人数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）			8,674	8,954	9,233
実績（D）		8,394	11,253	12,774	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。	誰もが安心してスポーツに触れることができる要素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの推進等を図っていきます。
R6	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ、ブレイキン等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供するとともに、スポーツ分野におけるSDGsの概念を普及しました。来場者は、昨年度を大幅に超える延べ11,253人でした。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及していくとともに、次年度は世界陸上及びデフリンピックが東京で開催されるため、それらに因んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会のレガシー継承や気運醸成を図っていきます。
R7	地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツをはじめとした様々なスポーツ体験ブース等を設置するとともに、東京において、世界陸上及び東京2025デフリンピックが開催されたことから、ハンマー投げやジャベリックスロー、デフバドミントン等、それらに因んだ体験ブースを設置し、大会の気運醸成を図りました。	引き続き地域のスポーツ団体等と連携を図り、定番スポーツやパラスポーツ、アーバンスポーツ等の様々なスポーツ体験ブースを設置し、区民の健康増進や新たなスポーツの楽しさを発見できる機会等の場を提供していきます。

オ　スポーツの魅力を体感する機会の充実

2－③－オ　初心者向けスポーツ教室【再掲】

事業概要

区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。

指標:参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	371	380	390	400	408
実績（D）	371	401	432	315	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	個人で簡単に始めることができないスポーツについて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道	初心者向けスポーツ教室を受講した後も、引き続きスポーツを継続できるよう、実施団体等と継続方法等について協議します。
R5	初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、一人では中々始めることができない３種目について初心者向け教室を実施し、たくさんの方のお申込み、ご参加をいただくことができました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道	始めたスポーツを定着させる取り組みの展開、新しいスポーツを始める機会の提供に引き続き取り組んでまいります。
R6	これまで開催していた３種目にテニスを加え、初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、一人では中々始めることができない4種目について初心者向け教室を実施しました。 種目：アーチェリー、合気道、弓道、テニス	参加人数を増やす方法を検討するとともに、新しいスポーツを始める機会の提供と、スポーツを継続できる取り組みを引き続き行ってまいります。
R7	新たな競技に挑戦する機会創出を目的として、個人では始めることが難しい３種目について初心者向け教室を実施し、多くの方にご参加いただきました。 種目：アーチェリー、弓道、テニス	初心者向け教室の受講をきっかけに、継続してスポーツ活動に取り組んでいただけるよう、各種教室の実施等、スポーツを体験できる機会の提供に取り組んでまいります。

2－③－オ　小・中学生向けスポーツ教室【再掲】

事業概要

子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	158	162	166	170	174
実績（D）	158	117	156	150	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	文京区ローラースポーツ連盟、文京区少年サッカー連盟・JFAと協働でジュニア向けスポーツ教室を実施しました。初心者も楽しめる教室とし、スポーツをはじめるきっかけづくりとなりました。	協働団体と連携・相談を密にし、その他競技のスポーツ教室が実施できないか検討します。
R5	令和４年度同様、募集人数を上回る応募がありましたが、事業近くになり体調不良等でのキャンセルにより参加者が減少しました。初心者にも楽しむことができ、満足度の高い教室となりました。	ジュニアローラースポーツ教室は、１日の教室を２回開催することにより定員を増やし、より多くのニーズに応えられるようにします。また、事前キャンセルの対応としては、繰り上げ当選等を検討します。
R6	ローラースポーツ教室及びジュニアサッカー教室ともに、運営協力団体と密に連携を図り、初心者でも楽しく体験できるよう教室を実施しました。	引き続き運営協力団体と密に連携を図り、満足度の高いスポーツ教室となるよう実施していきます。
R7	運営協力団体と連携し、参加者が楽しく体験できるよう、ローラースポーツ教室及びジュニアサッカー教室を実施しました。	スポーツ教室の内容が充実するよう、引き続き関係団体と密に連携を図り、教室を実施していきます。

第５章　文化芸術分野の点検・評価

１．文化芸術分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員（学識経験者）
文化芸術分科会座長　垣内　恵美子

本稿では、令和7年度文化芸術事業について、分野別に評価し、課題を総括する。

基本方針①「だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】」

前年度より参加者数が増え、多様で質の高い事業が展開されたが、利用者数の目標は未達であった。例えば朗読コンテストは、全国から出場者が集まる等広がりがみられたが、観覧者数は減少傾向にあり、幅広い周知、丁寧な広報が求められる。小中学生向け出前コンサートは大変好評であり、学校側の受け入れ態勢等の課題はあるが、できるだけ生の文化芸術にふれる機会を確保できるよう工夫してほしい。

基本方針②「だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】」

かるたの魅力を発信するコンテストや森鷗外記念日イベント等魅力的な事業が実施され、充実した内容だったが、目標は未達である。一方、区民オペラ公演はチケットが完売となる等大きな成果が得られたが、興行は変動要素も大きく、柔軟な目標・評価表現を検討してはどうかという指摘があった。市民団体等の活動支援も充実してきたが、リピーター獲得に加え、新規参加者の開拓、広く区民に開かれた事業運営が求められる。

基本方針③「文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる（普及・継承・指導等）】」

若年層の参加者数は大幅に目標を上回り、能プロジェクトも参加者から高い評価を得て、目標を達成した。一方、秋の文化祭等での目標未達に加え、俳句大会での作品数が目標を下回った。また、吹奏楽アンサンブルコンテストは、インフルエンザの時期での実施であり、応募は多く、参加者の満足度も高かったが、レッスン不参加校もあり、目標未達となった。多くの参加を得るための実施方法の検討、改善を望みたい。

基本方針④「地域の資源を活かしたまちづくりの推進」

ほとんどの事業で目標を達成した。文京ふるさと歴史館の区民認知度、満足度ともに目標を上回り、森鷗外記念館の満足度も極めて高い（99％）。ふるさと歴史館友の会と区の事業の協力も進んだ。文化発信プロジェクトも目標を上回る参加を得た。今後、デジタルスタンプラリー等の継続展開も期待したい。

以上、本年度も工夫を凝らした多くの事業が実施され、概ね良好な成果を上げた。参加者数等の未達事業であっても、内容は充実しており、参加者の満足度も高い。数値目標に加えて、質的な面も併せて丁寧な評価が求められる。実施面では、インフルエンザ流行時期等の事業について、より一層の工夫、改善が必要である。なお、ふるさと歴史館では、本年度に予定していた地下展示室での特別展が休止になったが、展示はミュージアムの中心的機能の一つであり、十分な環境整備を望みたい。最後に、経済、社会、身体的状況に関わらず文化芸術を楽しめるよう、区民への無料・廉価な料金設定等の仕組みも引き続き検討されたい。子どもの体験格差緩和への取り組みとしても極めて重要であり、配慮が望まれる。

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実				
55	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	○	○	○
56	事業提携楽団によるコンサート	○	○	
イ　多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供				
57	小・中学生のための出前コンサート	○	○	
58	文の京コミュニティコンサート	○	○	
59	朗読コンテスト	○	○	
60	シビックコンサート	○	○	
61	夜能動画配信事業	○	○	
ウ　活動につながる契機としての鑑賞機会の提供				
62	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○	○
分野別基本方針②だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】		**アカデミー推進計画**	**総合戦略**	**重点**
ア　文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実				
63	かるたの街文京を発信！【再掲】	○	○	○
64	記念日イベント	○		
65	朗読コンテスト【再掲】	○	○	
イ　市民団体等の活動に対する支援の充実				
66	社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】	○		
ウ　文化芸術活動の場の提供				
67	舞台芸術創造事業(大ホール)	○	○	
68	舞台芸術創造事業(小ホール)	○	○	
分野別基本方針③文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】		**アカデミー推進計画**	**総合戦略**	**重点**
ア　次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実				
69	親子向けコンサート	○	○	
70	観客参加型公演	○		
71	かるたの街文京を発信！【再掲】	○	○	○
イ　文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成				
72	子ども俳句大会	○		
73	楽器演奏指導	○		
74	文京ふるさと歴史館収蔵品展	○	○	
75	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○	○
76	I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト～	○	○	
ウ　多様な主体との連携・協力による文化資源の継承				
77	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	○	○	○
78	かるたの街文京を発信！	○	○	○

79	吹奏楽アンサンブルコンテスト	○	○	
分野別基本方針④地域の資源を活かしたまちづくりの推進		**アカデミー推進計画**	**総合戦略**	**重点**
ア　文化資源を活用した事業の推進				
80	「文の京文化発信プロジェクト」	○	○	
イ　特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信				
81	文の京ミュージアムネットワーク	○	○	
82	文京ふるさと歴史館特別展	○	○	
83	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	○		
84	文の京ゆかりの文化人顕彰事業	○	○	
ウ　地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進				
85	文京ふるさと歴史館友の会の支援	○		
86	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	○	○	

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略（令和6年度～令和9年度）に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和7年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】

指標	現状値		目標値
1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合	81.2% (令和元年度)	88.1% (令和7年度)	83.0%

指標		文化事業への参加者・来場者数			
現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
22,595 人 (令和元年度)	25,000人	29,990人	20,556人	19,383人	20,612人

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】の状況】

だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実では、文化・芸術に親しむ発表会、大会等を開催し、令和6年度より参加者数は増加しましたが、年度目標を達成することができませんでした。その内のかるた事業では「かるた謎解き展」を開催し、謎解きをメインに区のかるた事業を紹介するパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、延べ1,549人が来場しました。また、障害者の芸術活動発表の場である障害者アートの展示では、創作者の背景を理解しながら鑑賞できるようなキャプションの作成やギャラリートークを実施したことで、作品及び障害への理解を深める一助となりました。次に、事業提携楽団によるコンサートでは、昨年度に引き続き広報に力を入れ、新たな広報媒体も積極的に取り入れた結果、来場者が増え、令和6年度を上回り、目標値を超える券売を達成することができました。

多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供では、小・中学生のためにプロの演者による生演奏の出前コンサートを開催し、至近距離での迫力ある生演奏に、多くこどもたちからの「感動した」との声に加え、開催校の関係者からも高い評価を得ました。文の京コミュニティコンサートでは、文化施設以外と連携し、肥後細川庭園松聲閣ではテレビを介し昨年話題となった小泉八雲の語りを薩摩琵琶と共に、文京ガーデン地下広場ではサックスカルテットのコンサートをお届けしました。跡見学園女子大学と連携した「朗読コンテスト」では、「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」締結10周年を記念して、課題策を熊本県、熊本市、新宿区ゆかりの文人の作品として開催しました。

活動につながる契機としての鑑賞機会の提供では、秋の文化祭のほか、各種つどい・大会事業、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施しましたが、目標値を超えることができなかったため、目標達成に向けたより一層の工夫や幅広く事業周知を行う必要があります。

今後も引き続き、性別、年齢、障害の有無に関わらず、だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくりを推進します。

【アカデミー推進協議会の意見】
◎朗読コンテストは出場者が全国から集まる一方で観覧者は減少傾向にあり、観覧者を惹きつける工夫が必要ではないか。
◎障害者アートの展示で、創作者の背景などのキャプション作成やギャラリートークは、この活動を理解する上で良い取組と感じた。
◎小中学生向け出前コンサートについて、在学中に一度は生の文化芸術にふれる機会を確保できるよう工夫されたい。

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

指標	現状値		目標値
1年間に文化芸術活動をした人の割合	32.4% (令和元年度)	34.6% (令和7年度)	40.0%

【分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】の状況】

文化芸術を楽しむことのできる機会の充実では、「かるたの街文京を発信！」として文京区にゆかりのある小倉百人一首かるたの魅力を発信する事業を展開しました。名人とクイーンの競技かるたトップ選手2人が戦うドリームマッチには、多くの観覧申込があり、加えて試合をYouTubeチャンネルで生配信したほか、大学生大会のアゼリアカップでは、昨年と同様に16校が参加しました。また、森鷗外に関する記念日イベントでは、鷗外の命日及び誕生日が平日であったため来館者は減少しましたが、前後の土日にイベントを開催することで、その周知を図ることができました。

市民団体等の活動に対する支援の充実では、社会教育関係団体登録制度による活動団体の支援を行う中でも、3年に一度の登録更新手続きにより、各団体の活動状況を正確に把握するとともに、日頃からの各種申請情報の更新内容を周知することで、区民の活動への参加につなげることができました。

文化芸術活動の場の提供では、舞台芸術創造事業において優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会の提供として、大ホールでは音楽と演劇が一体となった歌劇「アイーダ」公演を行うことで、区民が芸術に触れる機会を創出し、かつ前回に続き公演券売率100%の達成により、区民参加事業実施の成果を多くの観客に披露することができました。小ホールでは区民対象の演劇オーディションを行い、過去最高43名の応募がありました。合格した16人は「もしも若かりし日の文豪たちが現代の文京区に転生したら」というテーマ設定で、区らしさを存分に取り入れたコミカルで温かいお芝居に仕上げました。

これからも、だれもが個々の関心やレベルに応じて気軽に文化芸術に親しめ、楽しむことができる環境づくりを推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】
◎区民参加オペラ公演の完売・チケット売上率100%達成等は素晴らしい結果である。
◎興行は年ごとに大きな変動要素もあるため、柔軟な目標設定や評価方法を検討してはどうか。

(3)分野別基本方針③　文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

指標	現状値	目標値	令和4年度実績値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和7年度実績値
若年層（20歳未満）の文化祭・各種つどい・大会への出品及び出演者数	－（令和元年度）	200人	228 人	219 人	130 人	196 人
区文化事業への若年層（20歳未満）の参加者数	－（令和元年度）	1,500人	1,006 人	1,995 人	2,455 人	2,842 人

【分野別基本方針③　文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】の状況】

次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実では、親子向けコンサートにおいて、10月の実施時期に合わせてハロウィンをテーマにしたプログラムを行いました。ほかに音楽劇では、オーケストラによる啓発的な要素を持ち合わせた内容の事業を開催し、保護者からも好評を得ました。また、観客参加型公演では、事業提携を結ぶ太鼓芸能集団鼓童の協力により、ワークショップや迫力ある太鼓演奏公演を開催しました。ワークショップでは、10組20人の親子が参加し、公演では273人が迫力ある太鼓演奏を鑑賞しました。

文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成では、中学生が伝統文化に触れる機会として区内中学校在学生を対象に子ども俳句大会を開催し、学校生活などの自由なテーマ設定としたことで、感性豊かな作品が多数寄せられました。特選・入選作品を財団広報紙や区報等で周知することで、生徒の創作意欲向上と区民にその成果を還元することができました。楽器演奏指導では事業提携先のオーケストラ団員による吹奏楽部員への個別演奏指導を、近年の気候環境に即した対応を施し区立全中学校で3回ずつ行いました。また、こどもたちに興味をもってもらえるような能楽の鑑賞と体験ができる事業「I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ能(Noh)プロジェクト～」では、前半は能楽師による能の基礎知識と上演する演目のあらすじ紹介、後半は能舞台で使用する太鼓や小鼓等の体験及び能舞台の見学を行い、参加者からは非常に高い評価を得ました。

多様な主体との連携・協力による文化資源の継承では、令和7年度も吹奏楽アンサンブルコンテストの中学生部門に多くの応募があり、抽選となりました。実施時期が冬のため、インフルエンザの流行でレッスンを受けられない生徒や不参加校が出たため、目標値には達することができませんでしたが、参加校からは好評で、満足度の高い事業です。なお、本コンテストはほかで実施の大きな吹奏楽コンクールの前哨戦としての位置付けとなっていることから、実施時期の変更は難しいですが、今までの経験を踏まえてより良い事業となるよう努力していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】
◎親子向けコンサートは、ハロウィンやクリスマスなどの集客しやすい時期に開催してほしい。
◎伝統芸能の体験講座は、区の文化資源を活かした貴重な取組なので、続けていってほしい。
◎吹奏楽アンサンブルコンテストについて、現状では実施時期の変更は難しいようだが、中学生部門で多くの応募があり、参加校からの評判もよいようなので盛り上げていってほしい。

(4)分野別基本方針④　地域の資源を活かしたまちづくりの推進

指標	現状値		目標値
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館の区民認知度	－ （令和元年度）	71.8% （令和７年度）	70.0%
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館来館者の展示に関する満足度	82.3% （令和３年度）	92.7% （令和７年度）	90.0%

【分野別基本方針④　地域の資源を活かしたまちづくりの推進の状況】
　文化資源を活用した事業の推進では、文の京文化発信プロジェクトにおいて、目標値の各事業参加者数を達成することができました。事業としては、令和6年度に引き続き石見神楽公演を開催し、600人の申込がありました。ほかにも、啄木学級では岩手県出身の作家を講師として招き講演を開催しました。また、かなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。引き続き交流自治体との協働により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、区をアピールしていきます。
　特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信では、文の京ミュージアムネットワークにおいて、例年同様、全体会議の開催と文京ミューズネットマップの作成を行いました。今後もSNSを活用した情報発信や各施設との積極的な連携により、区の貴重な文化資源に触れる機会を提供していきます。文京ふるさと歴史館主催で、出張パネル展「近代の女子高等教育と文京」をシビックセンターアートサロンで開催し、入場者数は1,559人でした。また、宮内庁宮内公文書館と共催した森鷗外記念館特別展・コレクション展は、入館者の展示に関しての満足度は99%でした。この共催展や他自治体との連携事業などにより、区外での周知へ繋がりました。文京区の特色ある歴史・文化を様々な観点から深く研究し展示に生かせるよう引き続き努力します。
　地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進では、引き続き、文京ふるさと歴史館友の会と情報共有を図った上で、同会による自主的な活動の支援し、区の史跡めぐり事業への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの橋渡しやガイドになることを希望する方との橋渡しをしました。今後も継続して友の会の活動支援を行います。

【アカデミー推進協議会の意見】
◎近隣の博物館と合同で実施したスタンプラリー等は、その効果もあり来館者数の増加にも繋がっているようなので、継続展開を期待する。
◎ふるさと歴史館については、置かれた状況に応じて出張パネル展をシビックセンターで開催など、その役割を理解し事業を進めていると感じた。

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】
ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実

3－①－ア 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施

事業概要

文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業を実施します。

指標：事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績（D）	29,990	20,556	19,383	20,612	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の２年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の６割の14,340人を目標としました。 令和４年度単年度事業「文の京ミューズネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。	令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミューズネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。
R5	各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。 単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」や企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約２倍となる959人の観覧者が訪れました。	定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催３年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和６年度は目標を超えることができませんでした。 「文京区×ちはやふるの世界展」を開催し、区内外に区の文化資源であるかるたを身近に感じられるよう競技かるた体験等の機会を提供し、延べ2,129人が来場しました。 また、障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」には、前年と同程度の観覧者が訪れました。	令和７年度は、謎解きとかるたを組み合わせた体験イベントの実施、児童館等へのかるた講師派遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。 また、障害者による文化芸術活動のさらなる活性化を目指すため、有識者が厳選した作品の展示及びギャラリートーク（作品解説）を行い、観覧を楽しみながら作品や障害者に対する理解を深める展示を行います。

R7	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和７年度は目標を達成することができませんでした。 「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、区のかるた事業を紹介するパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、延べ1,549人が来場しました。また、かるた講師派遣は、前年度と同程度の派遣を行いました。 障害者アートの展示では、作品数の十分な確保が苦慮しましたが、創作者の背景を理解しながら鑑賞できるようなキャプションの作成やギャラリートークを実施したことで、作品および障害について理解を深めていただきました。	令和８年度は、かるたの展示は実施しませんが、引き続き児童館等へのかるた講師派遣を実施し、若年層への認知度向上を図ります。 また、障害者アートの展示については、作品数の確保が課題となったことから、令和８年度は作品募集の範囲を「区内障害者通所施設」から「区内在住・在勤・在学」へと広げます。

3－①－ア　事業提携楽団によるコンサート

事業概要

区及び（公財）文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。

指標：来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,386	6,179	6,179	6,179	6,179
実績（D）	988	5,739	6,200	6,530	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和４年度は年度の途中までシビックホールが休館していたため、シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサートのみ開催しました。新型コロナウイルスによる入場制限はなくなったが、休館によりシリーズ公演が休止したことが影響し目標値に届かなかったと考えます。	令和５年度、東京フィルハーモニー交響楽団によるシリーズ公演を再開し、ホール休館前に行っていたすべてのシリーズ公演を開催します。より多くの方々に鑑賞いただけるよう効果的な宣伝活動を行い、文化・芸術の振興を図ります。
R5	令和５年度は、ホールの改修工事を経て、すべての公演を実施することができました。 また、新型コロナウイルスの５類移行に伴い、昨年度に比べ目標値に近い実績を残すことができました。特に、響きの森クラシック・シリーズはセット券の販売が順調で、固定客が戻ってきたものと考えます。ただし、指標の目標値に達していないことからさらなる積極的な事業周知が必要と考えます。	シエナ・ウインド・オーケストラの公演は、「わが青春のポピュラーミュージック」というターゲットを中高年に絞った公演としていますが、令和５年度は目標値に達していないことから、ターゲットに見合う広告を打ち、多くの方々に鑑賞いただけるよう、今まで以上に効果的な宣伝活動を行って行くとともにプログラムを工夫し、幅広い世代の方々に鑑賞していただけるよう努めてまいります。
R6	昨年度に引き続き、響きの森クラシック・シリーズのセット券販売が好調だったこと、また一般発売も多くのお客様にお申込みいただき、シリーズすべての公演が完売となりました。 昨年度、券売に苦戦した「わが青春のポピュラーミュージック」は、新しい広告媒体への挑戦やSNSを駆使した活発な広報活動を行い、令和５年度よりも多くのお客様にご鑑賞いただきました。 結果、指標の目標値を達することができました。	人気の響きの森クラシックシリーズは、お客様が定着してきたため、引き続き多くのお客様にご鑑賞いただけるよう、魅力的な公演を実施していきます。 「わが青春のポピュラーミュージック」は、効果のあった広報媒体を活用するほか、新しい媒体についても果敢に挑戦し、多くの方々の目に触れるよう努力していきます。
R7	響きの森クラシック・シリーズセット券のみならず、一般発売も売り上げが好調で、シリーズ全ての公演が完売となりました。 BUNKYO SIENA POPS わが青春のポピュラーミュージックは、昨年度に引き続き広報に力を入れ、新たな広告媒体も積極的に取り入れ、令和６年度を大幅に上回る券売となりました。	両事業共に、委託費の増額に伴い、チケット料金の見直しを検討します。 BUNKYO SIENA POPS わが青春のポピュラーミュージックについては、ターゲットを絞って実施してきましたが、更なる顧客の拡大を目指し、公演名を変更して若い世代にも来場しやすい公演としてまいります。

イ　多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供

3－①－イ　小・中学生のための出前コンサート

事業概要

子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び（公財）文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。

指標：実施した回数（回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	4	4	4	4	4
実績（D）	4	4	4	4	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	アーティスト及び開催校の理解・協力により新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、区立の小・中学校各２校で予定通り開催しました。プロのアーティストによる生演奏を初めて鑑賞する児童・生徒もあり、担当教諭から高い評価をいただきました。	より深い興味・関心を持っていただけるよう、児童・生徒の感想や学校の要望に応じた演奏曲の選定や児童・生徒が参加するプログラムを取り入れていきます。
R5	令和５年度においても、区立の小・中学校各２校で予定通り開催しました。プロのアーティストによる生演奏に触れる機会を提供することができ、児童・生徒のほか、担当教諭からも高い評価をいただきました。	引き続き、より深い興味・関心を持っていただけるよう、児童・生徒の感想や学校の要望に応じた演奏曲の選定や児童・生徒が参加するプログラムを取り入れていきます。
R6	令和６年度においても、区立の小・中学校各２校で予定通り開催しました。公演後に、生徒から演奏者に対し、感想や御礼を直接伝える場を用意し、演奏者のモチベーション向上に繋げました。	東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサートについて、小学校側の希望調査で希望校が少ないことから、多くの学校に興味をもっていただけるよう、丁寧な通知文や案内方法を検討します。
R7	令和７年度においても、区立の小・中学校各２校で予定通り開催しました。体育館での実施ですが、児童・生徒数が近年増えて来た影響で全校児童・生徒が入りきれない学校については、学年を絞る等の対応をしました。 演奏者との距離が近く、迫力ある生の演奏に、多くのこどもたちから「感動した」とのお声をいただきました。また、学校長及び担当教諭からも高い評価をいただきました。	東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサートについては、例年、実施希望校が少ないことを受け、次年度分は希望調査時期を前倒しし、十分な検討期間を確保します。また、事業の趣旨や流れを写真付きでわかりやすく記載するなどの工夫により、実施校に偏りが無いようにしていきます。

3－①－イ　文の京コミュニティコンサート

事業概要

文京ミューズネット等、区内文化施設において、施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。

指標：実施した回数（回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	2	2	2	2	2
実績（D）	2	2	2	2	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	アーティスト及び森鴎外記念館など実施会場の理解・協力により、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で予定通り開催しました。区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を気軽に楽しむ機会を提供することができました。	来場者アンケート等を参考に、出演者の協力を得ながら演奏曲や演出等を見直し、より魅力的な内容としていきます。
R5	令和５年度は、傳通院及び東洋文庫ミュージアムにて実施しました。 区民にとって身近な施設においてプロのアーティストの演奏を、気軽に楽しむ機会を提供することができました。特に傳通院の公演では全国藩校サミット文京大会の記念事業として行われた「時代まつり」当日に行ったことから多くの方に足を運んでいただきました。	引き続き、ミューズネット加盟施設を中心により身近な施設で開催できるよう努めてまいります。また、来場者アンケート等を参考に、施設の意向も確認しながら演奏曲や演出等を検討し、より魅力的な内容としていきます。 また、会場のキャパシティーによる入場者制限について検討していきます。
R6	令和６年度は、野球殿堂博物館及び日中友好会館美術館で実施しました。 野球殿堂博物館では、古関裕而の野球殿堂入りを記念したコンサートを施設側からリクエストされたため、演奏にはリクエストの対応が可能なサクソフォンカルテットを採用し、施設の特色と親和性の高い演奏会を提供することができました。こうした要望に応じた対応をすることで、地域施設での文化芸術体験の質の向上につながったと考えています。	令和６年度の日中友好会館でのコンサートは、施設側への配慮として、混雑を回避するため事前申込制としました。このような対応は、事前の打ち合わせでしっかりと施設側の要望を聞き取った上で行いました。 次年度につきましても、円滑な事業運行のためにも、事前の打ち合わせをしっかりと行い、施設側のニーズに応えられるよう、努力していきます。
R7	令和７年度は、肥後細川庭園松聲閣及び文京ガーデン地下広場（春日再開発ビル内）で実施しました。 松聲閣では、NHK朝の連続テレビ小説で話題となった小泉八雲の「耳なし芳一」の語りを薩摩琵琶と共にお届けしました。 文京ガーデン地下広場では、駅とつながる地下通路の開通を記念して実施しました。お昼の時間帯に実施し、通行人の方はもちろん、ビルでお勤めの方もお越しいただき、街の賑わいの一助になったものと考えています。	令和７年度においても、施設側への配慮として、混雑を回避するため事前申込制としました。好評を博し両公演とも定員を上回る応募があり、抽選となりました。 文京ガーデン地下広場では、通行場所の確保をした上で、立見エリアを設置するなどビル側と協議を重ねて実施しました。 次年度につきましても、円滑な事業運行のためにも、事前の打ち合わせをしっかりと行い、施設側のニーズに応えられるよう、努力していきます。

3－①－イ　朗読コンテスト

事業概要

文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。

指標：観覧者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	200	200	200	200	200
実績（D）	113	126	115	84	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	平成24年度から年１回開催しています。令和４年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。 本選：11月13日　出場者：17人　観覧者：113人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール　CATV収録・放映　観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行う中で、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。
R5	令和５年度は岩手県盛岡市友好都市提携５周年として盛岡市ゆかりの宮沢賢治の作品を課題としました。 本選：11月５日　出場者：16人　観覧者：126人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール　CATV収録・放映	感染症対策の行動制限緩和もあり、昨年度と比べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さらなる観覧者の増加を目指します。
R6	令和６年度は石川県金沢市との友好交流都市協定締結５周年として金沢市ゆかりの作家の作品を課題としました。 本選：11月3日　出場者：15人　観覧者：115人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	連休の中日となり、観覧者が減となりました。今後も主管の跡見学園女子大学との打ち合わせに基づき、期間、周知先、募集方法についてよりよい方法を検討します。
R7	令和７年度は文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書締結10周年として、熊本県、熊本市、新宿区ゆかりの文人の作品を課題作としました。 本選：11月２日　出場者：15人　観覧者：84人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行う中で、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。

3－①－イ シビックコンサート

事業概要

クラッシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。

指標：実施した回数（回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	0	12	12	12	12
実績（D）	0	12	12	12	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和４年度は、区民ひろばが使用不可のため事業を休止しました。令和５年度の事業再開に向け、お茶の水女子大学、東邦音楽大学、尚美ﾐｭｰｼﾞｯｸｶﾚｯｼﾞ専門学校と出演月、演目等について調整しました。	区内の音楽系大学・専門学校等と協力し、毎月１回、ランチタイムコンサートを再開します。
R5	ホール改修工事を経て事業を再開しました。オープンスペースでの無料コンサートであるため、区役所を訪れた方に気軽に音楽を触れてもらうことができました。再開以降徐々に来場者が増えて、多くの方に鑑賞していただくことができました。 また、区内の大学及び専門学校生等が、観客の前で演奏する機会の提供をすることができました。	令和６年度も引き続き、区内の音楽系大学・専門学校等と協力し、毎月１回、ランチタイムコンサートを開催してまいります。
R6	令和６年度は、延べ2,378人という多くのお客様にご来場いただきました。 リピーターの方を増やすため、毎回、コンサートの最後に次回のご案内をし、また足を運んでいただけるよう工夫をしました。	２階の戸籍住民課の繁忙期（２～４月）に、コンサート音で窓口の呼び出し音が聞こえづらくなるとの意見を頂戴したため、繁忙期の開催は比較的音量が大きくない楽器の公演になるよう、公演内容を踏まえて、出演月の変更を依頼し調整します。
R7	令和７年度は、延べ2,709人のお客様にご来場いただきました。 出演校の東邦音楽大学が学校機能を埼玉県川越市に集約することに伴い、２月の出演が最後となりました。２月の回は、公演終了後にささやかなセレモニーを開催し、花束贈呈及び東邦音楽大学事務局長からご挨拶を頂戴し、集まった194人のお客様からも大きな拍手をいただきました。	令和８年度から実施校が２校となることを受け、今後のシビックコンサートの実施のあり方について多角的に検討を行いました。課題であるお客様の固定化、出演校サイドの授業スケジュールの調整等の負担などの考慮し、各校２回出場いただく形で調整を行いました。

3－①－イ　夜能動画配信事業

事業概要

公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。

指標：実施回数（回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	4	4	4	4	4
実績（D）	4	4	4	4	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	4番組に876人の応募があり、全員に視聴権を贈呈しました。 コロナ禍においても大勢の方に芸術鑑賞の機会を提供することができました。	場所や時間の制約を受けずに伝統芸能を鑑賞できる動画視聴権の贈呈事業は、従来の愛好家層以外にも伝統芸能に親しむ人を増やす効果が期待できます。コロナ禍以降も継続し、番組を提供していきます。
R5	人気声優による朗読も好評の「夜能～語り部たちの夜～」及び作家・クリエーターのいとうせいこう氏がナビゲーターを務める「能楽紀行」等の計4番組を提供し、774人の応募がありました。 全体の2割近く（136人）が40歳未満の申込者で、若年層の参加が目立ちました。	今後も初心者にもわかりやすい内容の番組を中心に、動画を提供していきます。
R6	月ごとに趣向を変えた内容で計4番組を提供し、837人の応募がありました。能楽が初めての方、お子様にも楽しんでご鑑賞いただける内容を提供することができました。	今後も初心者にもわかりやすい内容の番組を中心に、伝統芸能に親しみを持ってもらえるような動画を提供していきます。
R7	令和8年度も月ごとに趣向を変えた内容で計4番組を提供し、694人の応募がありました。応募者数及び若年層の申込数ともに減少する結果となりました。	引き続き初心者や若年層に対して、伝統芸能に親しみを持ってもらえるような動画を提供するとともに、応募者数を増やすために、SNSを活用した情報発信を行っていきます。

ウ　活動につながる契機としての鑑賞機会の提供

3－①－ウ　文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業を実施します。

指標：事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績（D）	29,990	20,556	19,383	20,612	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の２年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の６割の14,340人を目標としました。 令和４年度単年度事業「文の京ミューズネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。	令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミューズネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。
R5	各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。 単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」や企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約２倍となる959人の観覧者が訪れました。	定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催３年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和６年度は目標を超えることができませんでした。 「文京区×ちはやふるの世界展」を開催し、区内外に区の文化資源であるかるたを身近に感じられるよう競技かるた体験等の機会を提供し、延べ2,129人が来場しました。 また、障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」には、前年と同程度の観覧者が訪れました。	令和７年度は、謎解きとかるたを組み合わせた体験イベントの実施、児童館等へのかるた講師派遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。 また、障害者による文化芸術活動のさらなる活性化を目指すため、有識者が厳選した作品の展示及びギャラリートーク（作品解説）を行い、観覧を楽しみながら作品や障害者に対する理解を深める展示を行います。
R7	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和７年度は目標を達成することができませんでした。 「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、区のかるた事業を紹介するパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、延べ1,549人が来場しました。また、かるた講師派遣は、前年度と同程度の派遣を行いました。 障害者アートの展示では、作品数の十分な確保が苦慮しましたが、創作者の背景を理解しながら鑑賞できるようなキャプションの作成やギャラリートークを実施したことで、作品および障害について理解を深めていただきました。	令和８年度は、かるたの展示は実施しませんが、引き続き児童館等へのかるた講師派遣を実施し、若年層への認知度向上を図ります。 また、障害者アートの展示については、作品数の確保が課題となったことから、令和８年度は作品募集の範囲を「区内障害者通所施設」から「区内在住・在勤・在学」へと広げます。

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】
ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実

3ー②ーア かるたの街文京を発信！【再掲】

事業概要

文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。

令和8年度に向けた目標(P)

事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。 競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。	令和４年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。 また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。
R5	大学対抗戦「文の京アゼリアカップ」を創設し、14大学から16組の参加がありました。 競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412人の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者122人、回答率84.7%）では93%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。
R6	競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは440人（前年412人）の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者130人、回答率77.8%）では95%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。また、大学生大会「文の京アゼリアカップ」では、16校が参加しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。
R7	競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは、312人（前年440人）の申し込みがありました。来場者のアンケート（回答者148人、回答率約82%）では約91%が「とてもよかった」「よかった」と回答し、好評を得ました。大学生大会のアゼリアカップでは、昨年同様16校が参加しました。 小中学校等へのかるた講師派遣は、前年同様５校のほか、児童館１館、育成室１室に派遣を行いました。	引き続き、区の文化資源である競技かるたを区民に定着させていくために、区ホームページへのアクセス媒体を把握するとともに、SNSを活用した効果的な情報発信を行い、名人・クイーンドリームマッチや「文の京アゼリアカップ」の周知を図っていきます。

3－②－ア　記念日イベント

事業概要

森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持てる取り組みを行います。

指標：記念日入館者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	400	400	400	400	400
実績（D）	971	800	647	608	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和４年度は森鷗外没後100年記念年であったため鷗外忌（鴎外の命日７月９日492人）、誕生記念（１月19日479人）は区民観覧無料などを実施し、７事業全ての集客は例年の２倍以上となりました。	無料入館以外にイベントや講演会を開催し幅広い層の誘客を目指し計画します。人数は曜日によっても変動するため充実した内容を立案し多角的に広報します。
R5	前年の鷗外没後100年記念で周知されたためか、令和５年度の鴎外忌も前年に届く来館数となりました。鷗外忌（鴎外の命日７月９日500人）、誕生記念（１月19日300人）。	幅広い層への記念日周知を目指し、広報媒体の工夫で誘客を計画します。
R6	今年度の鷗外誕生日が日曜日にあたり、例年より大幅に来館者が増えました。鷗外忌（鷗外の命日７月９日127人）、誕生記念（１月19日520人）。	該当日、または該当日前後に記念日にちなんだイベントを充実させるなど、誘客につながる企画を計画します。
R7	命日、記念日が平日であったため前年より来館者減となりましたが前後の土日にイベントを当て記念日を周知することができました。鷗外忌（鷗外の命日７月９日295人）、誕生記念（１月19日313人）	引き続き幅広い層に届くよう広報やイベントを工夫し誘客につなげる計画をします。

3－②－ア　朗読コンテスト【再掲】

事業概要

文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。

指標：観覧者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	200	200	200	200	200
実績（D）	113	126	115	84	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	平成24年度から年１回開催しています。令和4年度は森鷗外没後100年記念事業として鷗外の作品を課題としました。 本選：11月13日　出場者：17人　観覧者：113人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール　CATV収録・放映　観覧者席の間を空ける等の感染症対策を行いました。	会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行うなかで、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。
R5	令和５年度は岩手県盛岡市友好都市提携5周年として盛岡市ゆかりの宮沢賢治の作品を課題としました。 本選：11月5日　出場者：16人　観覧者：126人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール　CATV収録・放映	感染症対策の行動制限緩和もあり、昨年度と比べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さらなる観覧者の増加を目指します。
R6	令和６年度は石川県金沢市との友好交流都市協定締結５周年として金沢市ゆかりの作家の作品を課題としました。 本選：11月３日　出場者：15人　観覧者：115人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	連休の中日となり、観覧者が減となりました。今後も主管の跡見学園女子大学との打ち合わせに基づき、期間、周知先、募集方法についてよりよい方法を検討します。
R7	令和7年度は文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書締結10周年として、熊本県、熊本市、新宿区ゆかりの文人の作品を課題作としました。 本選：11月2日　出場者：15人　観覧者：84人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	会場観覧者数について目標値に近づくよう、主管の跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行う中で、会場観覧者募集方法、期間、周知先について工夫します。

イ 市民団体等の活動に対する支援の充実

3－②－イ 社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】

事業概要

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。

令和8年度に向けた目標（P）

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援するため、登録団体名簿を周知します。また、団体の活動内容を正確に把握するため、令和７年度の更新に向けて、登録団体へ広く周知します。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。 また、３年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	引続き、区民の自主的な活動の促進のため、登録団体名簿を更新し、関連施設への配架、ホームページへ掲載します。また、団体の活動内容を正確に把握するため、活動実績の提出を求めるとともに、区民への周知を図ります。
R5	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、実績報告書の提出を依頼し、団体の活動内容を把握をすることができました。	登録団体名簿やホームページの更新に加え、団体から実績報告書を提出していただき、活動内容を正確に把握していきます。引き続き、区民の自主的な活動促進を図ります。
R6	登録団体からの実績報告書の提出により、活動内容を正確に把握し、登録団体名簿やホームページの更新を行ったことで、区民の自主的な活動を促すことができました。	３年に一度の登録更新により、活動している団体を正確に把握、周知することで、区民の自主的な活動促進を図ります。
R7	登録の更新手続きにより、各団体の活動状況を正確に把握するとともに、日頃の新たな申請や変更申請に基づき、登録団体名簿やホームページを適宜更新し、その情報を周知することで、区民の活動への参加につなげることができました。	引続き、区民の主体的な活動を促進するため、登録団体の情報を名簿及びホームページへ掲載し、活動実績を区民へ周知することで、活動への参加を促します。

ウ 文化芸術活動の場の提供

3－②－ウ 舞台芸術創造事業（大ホール）

事業概要

区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	59	112	112	112	112
実績（D）	47	117	127	119	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和４年度は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった令和２年度の参加者による「ラ・ボエーム」の再演を計画し、無事開催することができました。アンケートから、参加者は２年越しで公演を実現することができ大きな満足を得たことがわかりました。	令和５年度からは、より多くの区民が参加できるよう通常の形での開催を予定しています。参加者の募集について、区報および（公財）文京アカデミー広報紙、ホームページ等を活用し、広く周知を図ります。
R5	令和５年度は、歌劇「椿姫」の公演を行いました。 様々な媒体で参加募集の宣伝を行い、参加者数の目標値を達することができ、多くの区民の方に芸術に触れる機会を提供することができました。	令和６年度の公演が「トゥーランドット」に決まり、引き続き多くの区民が参加できるように様々な媒体で宣伝を行ってまいります。
R6	令和６年度は、歌劇「トゥーランドット」の公演を行いました。 広報活動の成果が実り、令和６年度も多くの区民の方に参加いただき、芸術に触れる機会の創出を行うことができました。 また、公演の券倍率が100％となり、区民参加の成果を多くのお客様にご鑑賞いただくことができました。	令和６年度は大変多くの区民に参加いただきましたが、管理や運営の面では苦労が多かったことから、舞台に上がる人数として安全に公演が実施できるよう、次年度については適正数の参加にとどめるようにします。
R7	令和７年度は、歌劇「アイーダ」の公演を行いました。 令和７年度も多くの区民の方に参加いただき、芸術に触れる機会の創出を行うことができました。 公演の券売率も前年度に引き続き100％となり、区民参加者の成果を多くのお客様にご鑑賞いただくことができました。	令和７年度についても多くの区民に参加いただきましたが、引き続き適正な参加者数について検討し、運営及び舞台上の安全面の配慮に努めてまいります。

3－②－ウ　舞台芸術創造事業（小ホール）

事業概要

区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	15	15	15	15	15
実績（D）	7	14	14	16	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和４年度は、５カ月のワークショップを通して、参加者のエピソードを舞台化し、参加者自身が演じる形での公演を開催しました。公演後、参加者から「自らのエピソードを自らが演じたことで大きな満足感が得られた。」との声が寄せられました。	令和５年度の区民演劇については、参加者がさらにモチベーションを高められるよう、ワークショップの講師と協議の上、内容を工夫していきます。
R5	令和５年度は、ワークショップの区内の街歩きを通して、物語となる題材を発掘し、それを基に作成したそれぞれの台本を、スクラップブック形式でひとつにして、参加者自身が演じる手法で公演を開催しました。地域の特性を盛り込んだストーリーで好評を得ることができました。 応募者数は22人で、オーディションにより15人に絞りました。なお、うち１名はワークショップ開催前に辞退されました。	令和６年度も引き続き、参加者がさらにモチベーションを高められるよう、ワークショップの講師と協議の上、内容を工夫していきます。
R6	令和６年度の応募者数は24人で、オーディションにより14人に絞りました。目標値は15人ですが、大ホールの区民参加事業（オペラ）にも申し込んでいる方を除き（同時の参加は難しいため）、また男女比のバランス、協調性等を加味し、14人となりました。 14人の参加者は、ワークショップや長期間の稽古を積む中で、団結力が高まり、それが芝居に良い影響をもたらし、見応えのある作品となりました。	令和６年度のワークショップは、テーマが「和菓子」であったため区内和菓子店を巡ったほか、区内の和菓子職人をお呼びして講師との対談を行うなど、工夫を凝らしました。このような、他では味わえない体験ができることを、区民に対して発信し、より多くの方が応募されるよう努力していきます。
R7	令和７年度の応募者数は過去最高人数の43人でした。本事業の認知度が上がってきたものと考えています。オーディションで16人に絞り、ワークショップと長期間の稽古を重ね１日２回公演を実施しました。「もしも若かりし日の文豪たちが現代の文京区に転生したら」というテーマで文京区らしさを存分に取り入れながらコミカルで温かいお芝居に仕上がりました。	令和７年度も完成度の高い作品となりましたが、鑑賞者数は、延べ302人に留まりました。多くのお客様に鑑賞いただくためにも、引き続き、出演者による動画PRなど、SNS等を駆使しながら、広報に力を入れていきます。

(3)分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実

3－③－ア 親子向けコンサート

事業概要

幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。

指標:来場者数(人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	495	1,029	1,029	1,029	1,029
実績(D)	509	1,026	1,059	1,067	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	令和４年度は、年度途中までシビックホールが休館のため、「フルーツの国のおんがくパーティー♪」のみ開催しました。(公財)文京アカデミーの自主制作による公演であり、観客のアンケートでも高い評価をいただきました。	令和５年度については、「フルーツの国のおんがくパーティー♪」に加え、「東京フィル　親子で楽しむはじめてのオーケストラ」を開催します。宣伝活動を積極的に行い、多くの親子に生の音楽に触れる機会を提供します。
R5	「フルーツの国のおんがくパーティー♪」は、フルート、クラリネット、パーカッションのアンサンブルによる生の音楽を楽しんでいただくほか、楽器の面白さが伝わるプログラムで高評価を得ました。 「親子で楽しむはじめてのオーケストラ」は、子どもたちの情操教育の一環として、オーケストラやオペラ歌手による演奏で生のクラシック音楽に触れる機会を提供し、多くの親子連れに楽しんでいただきました。	令和５年度の実績数は、あと一歩目標値に達することができなかったため、今後も積極的かつ効果的な広報活動を行い、より多くの親子に生の音楽に触れる機会を提供します。
R6	「フルーツの国のおんがくパーティー♪」は、実施時期がひなまつりの直前であったため、ひなまつりの音楽や春の曲をメインに、季節感あふれる公演を実施しました。 「親子で楽しむはじめてのオーケストラ」は、子どもたちが飽きることなく公演を楽しめるよう、前半に事業提携を結んでいる東京フィルハーモニー交響楽団と連携してオリジナルの音楽劇を上演し、後半は音楽コンサートをお届けしました。なお、２日間の公演共にチケットは完売し、多くのお客様にお楽しみいただきました。	次年度も、事業提携団体との連携を更に深め、工夫を凝らした様々な形の事業を行うことで、文化芸術に関心が持てるきっかけとなるよう、機会の創出に努めます。
R7	「フルーツの国のおんがくパーティー♪」は、10月の実施時期に合わせて、ハロウィンをテーマにお楽しみいただきました。 「親子で楽しむはじめてのオーケストラ」の音楽劇では、オリジナル台本の「オオカミ少年」をお届けしました。啓発的な要素も持ち合わせた内容で、親御様からも好評でした。	令和７年度からこども向けの公演の開場時に、こどもたちがワクワクするような明るい音楽を流しています。中には、大人が入り口に待ち構えていることを怖がり、会場に入る際に泣き出してしまう子もいるため工夫を施しました。令和８年度も継続する予定です。 こどもたちが、楽しみながら文化芸術に触れられるよう、今後も様々な工夫をしながら、より良い公演作りに努めてまいります。

3－③－ア　観客参加型公演

事業概要

区及び（公財）文京アカデミーと事業提携を結ぶ、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。

指標：来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	284	284	284	284	284
実績（D）	291	281	310	293	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、17人の親子が参加しました。例年、公演の中でも「太鼓演奏体験」を行ってきましたが、令和４年度は新型コロナウイルスの影響により「太鼓演奏体験」の実施は見送りました。リニューアルした小ホールにて、多くの親子が鼓童の公演を鑑賞しました。	社会状況を見ながら出演者と協力し、観客が実際に太鼓を演奏する機会を提供できるようワークショップおよび太鼓演奏体験の実施を計画します。
R5	公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、15組30人の親子が参加しました。 また、公演は281人が迫力ある太鼓演奏を鑑賞しました。令和５年度は公演の中でも実施する「太鼓演奏体験」を再開することができ、抽選で選ばれた方が実際に太鼓演奏を体験することができました。	令和６年度も引き続き、観客が実際に太鼓を演奏する機会を提供できるようワークショップおよび太鼓演奏体験の実施を計画します。
R6	「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、11組22人の親子が参加しました。 また、公演では288人が迫力ある太鼓演奏を鑑賞しました。令和６年度も公演の中で実施する「太鼓演奏体験」を行うことができ、抽選で選ばれた方が実際に太鼓演奏を体験しました。	次年度も提携団体である鼓童と更なる連携を深め、より多くの観客が太鼓の魅力を知るきっかけとなるよう努めます。
R7	「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、10組20人の親子が参加しました。 また、公演では273人が迫力ある太鼓演奏を鑑賞しました。なお、好評によりチケットは完売いたしました。	次年度は太鼓芸能集団鼓童が創立45周年を迎えられます。節目となる年ですので、提携団体として、当該公演のみならず様々な公演でより一層連携を深め、協力関係を強化していきます。

3－③－ア　かるたの街文京を発信！【再掲】

事業概要

文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。

令和8年度に向けた目標（P）

事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。 競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。	令和４年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。 また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。
R5	大学対抗戦「文の京アゼリアカップ」を創設し、14大学から16組の参加がありました。 競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412人の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者122人、回答率84.7%）では93%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。 小中学校への講師派遣は令和４年度の３校から５校に増加しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。
R6	競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは440人（前年412人）の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者130人、回答率77.8%）では95%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。また、大学生大会「文の京アゼリアカップ」では、16校が参加しました。 小中学校への講師派遣は前年同様５校でしたが、児童館（２館）及び育成室（１室）と対象を拡充しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。
R7	競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは、312人（前年440人）の申し込みがありました。来場者のアンケート（回答者148人、回答率約82%）では約91%が「とてもよかった」「よかった」と回答し、好評を得ました。大学生大会のアゼリアカップでは、昨年同様16校が参加しました。 小中学校等へのかるた講師派遣は、前年同様５校のほか、児童館１館、育成室１室に派遣を行いました。	引き続き、区の文化資源である競技かるたを区民に定着させていくために、区ホームページへのアクセス媒体を把握するとともに、SNSを活用した効果的な情報発信を行い、名人・クイーンドリームマッチや「文の京アゼリアカップ」の周知を図っていきます。

イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成

3－③－イ 子ども俳句大会

事業概要

区内中学校在学生を対象に、日本の伝統的文化のひとつである俳句を通じて自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。

指標:応募数(句)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	730	900	1,000	1,000	1,200
実績(D)	818	776	1,176	738	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	全入選句（特選10句・入選20句）について（公財）文京アカデミーのホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載したとともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうにも掲載しました。	応募作品数増につなげるには学校の協力が不可欠であることから、事業趣旨への理解や投句への協力について丁寧に説明し、協力を求めます。
R5	区内中学校に直接的に周知し、区立の中学生他、区内中学生より日々の暮らしの中での出来事からスケールの大きい作品など、中学生の視線ならではの力作が寄せられました。特選10句・入選20句について財団ホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載したとともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうにも掲載しました。	より深い興味・関心を持っていただけるよう、学校の要望等に応じ、時期や題とすることで、より魅力的な内容としていきます。
R6	区内中学校へのチラシ・ＰＤＦの配付により直接的に周知したことで、中学生ならではの感性を持った句や力作が多数寄せられました。特選10句・入選20句について財団ホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載するとともに、特選に選ばれた10句は、財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうにも掲載しました。	実施時期やテーマを丁寧な選定とあわせ、関連する文化や文芸・芸術等に関する講座を実施することにとより、俳句をはじめ広く日本の伝統文化により深い興味・関心を持っていただけるよう努めます。
R7	学校生活等の自由なテーマを設定し、中学生が伝統文化に触れる機会として実施しました。学校単位での応募減により全体の応募数は減少したものの、感性豊かな作品が多数寄せられました。特選・入選作品を広報誌スクエアや区報等で周知し、生徒の創作意欲向上と区民に成果を還元することができました。	中学生が日々の生活のなかで感じたことを自由に表現できるよう、次年度も現在のテーマを継続して実施します。あわせて、学校単位での応募が増加するよう区立中学校との連携や周知を深め、中学生が俳句を通じて豊かな感性を育み、日本の伝統文化に触れる機会を広げていきます。

3－③－イ　楽器演奏指導

事業概要

区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。

指標：実施回数（回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	30	30	30	30	30
実績（D）	29	30	30	30	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	全ての区立中学校においてシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を実施しましたが、受講予定生徒の都合により１回中止となりました。その他については、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施し、顧問教員や生徒から高い評価を得ました。	引き続き、区立中学校吹奏楽部およびシエナ・ウインド・オーケストラの協力を得て、事業を継続します。
R5	全ての区立中学校において３回ずつシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした演奏指導を実施しました。プロからの指導が受けられる貴重な機会を提供し、顧問教員や生徒から高い評価を得ました。	引き続き、区立中学校吹奏楽部およびシエナ・ウインド・オーケストラの協力を得て、事業を継続します。
R6	令和６年度も、区立中学校10校に３回ずつシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を実施しました。 生徒のみならず、顧問教員からも大変好評で、「楽器の扱い方を丁寧に教えていただいて大変助かった」「生徒の意欲が向上していることを感じた」などの意見を頂戴しました。	引き続き、区立中学校吹奏楽部及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力を得て、事業を継続します。 事業実施が夏休み期間であることから、猛暑の中、安全に実施ができるようシエナ・ウインド・オーケストラ及び学校側へ熱中症対策等の注意喚起を行いながら実施してまいります。
R7	令和７年度も、区立中学校10校に３回ずつシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を実施しました。 昨年度課題となった猛暑対策として、通気性の良い服での参加、こまめに水分補給をすることや緊急連絡体制等について明記したチラシを各校に配布しました。	引き続き、区立中学校吹奏楽部およびシエナ・ウインド・オーケストラの協力を得て、事業を継続します。

3－③－イ　文京ふるさと歴史館収蔵品展

事業概要

文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。

指標：アンケートの満足回答の割合（%）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	79	80	80	80	80
実績（D）	79	87	―	88	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	アンケート項目は「テーマ設定＝良い」「わかりやすさ＝わかりやすい」を選択した割合の平均値です。 館蔵の寄贈資料をもとに、区内に住んだ精神病学者とその交友関係を描いた「杉田直樹と仲間たち　文三・潤一郎・茂吉」を開催しました。 会期　２月11日～３月19日 入館者数　1,537人 テーマとなる人物を知らなくても興味深い展示であったという感想が多く、地域に魅力を感じる人が多かったという成果が得られました。	今後とも、館蔵資料の研究成果をもとに、地域の魅力を様々な形で紹介していきます。展示内容に興味を覚えて満足を感じる回答の割合が多くなるよう、引き続き資料を研究し展示を行います。
R5	アンケート項目は「テーマ設定＝良い」「わかりやすさ＝わかりやすい」を選択した割合の平均値です。 館蔵資料をもとに、天気＝空模様というテーマに即した錦絵、書籍、民具等を展示した「はれ　あめ　くもり　ぶんきょうの空模様」を開催しました。 会期　２月10日～３月17日 入館者数　2,485人 天気という親しみやすいテーマでの資料紹介により、来館者の満足度が高かったという成果が得られました。	今後とも、館蔵資料の研究成果をもとに、地域の魅力を様々な形で紹介していきます。多様なテーマを設定し展示することで、いっそう来館者の満足度が高くなるように事業を継続していきます。
R6	令和７年２月に「近代の女子高等教育と文京」をテーマに開催準備をしていましたが、展示環境の整備のため中止しました。	中止にした展示内容は、７年度中に会場・会期等を変更して行う予定です。地域の魅力を様々なテーマで展示できるよう、今後も事業を継続していきます。
R7	アンケート項目は「テーマ設定＝良い」「わかりやすさ＝わかりやすい」を選択した割合の平均値です。 昨年度中止した収蔵品展を出張パネル展「近代の女子高等教育と文京」としてシビックセンターアートサロンで開催しました。 会期　2月17日～23日 入場者数　1,559人 文京区にある又は過去にあった多くの女子高等教育機関の幅広い調査とまとめられた展示に対して高く評価されました。	8年度は館内整備のため、収蔵品展は中止とします。

3－③－イ　文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業を実施します。

指標：事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績（D）	29,990	20,556	19,383	20,612	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の２年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の６割の14,340人を目標としました。 令和４年度単年度事業「文の京ミューズネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。	令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミューズネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。
R5	各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。 単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」や企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約２倍となる959人の観覧者が訪れました。	定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催３年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和６年度は目標を超えることができませんでした。 「文京区×ちはやふるの世界展」を開催し、区内外に区の文化資源であるかるたを身近に感じられるよう競技かるた体験等の機会を提供し、延べ2,129人が来場しました。 また、障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」には、前年と同程度の観覧者が訪れました。	令和７年度は、謎解きとかるたを組み合わせた体験イベントの実施、児童館等へのかるた講師派遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。 また、障害者による文化芸術活動のさらなる活性化を目指すため、有識者が厳選した作品の展示及びギャラリートーク（作品解説）を行い、観覧を楽しみながら作品や障害者に対する理解を深める展示を行います。

R7	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和7年度は目標を達成することができませんでした。 「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、区のかるた事業を紹介するパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、延べ1,549人が来場しました。また、かるた講師派遣は、前年度と同程度の派遣を行いました。 障害者アートの展示では、作品数の十分な確保が苦慮しましたが、創作者の背景を理解しながら鑑賞できるようなキャプションの作成やギャラリートークを実施したことで、作品および障害について理解を深めていただきました。	令和８年度は、かるたの展示は実施しませんが、引き続き児童館等へのかるた講師派遣を実施し、若年層への認知度向上を図ります。 また、障害者アートの展示については、作品数の確保が課題となったことから、令和８年度は作品募集の範囲を「区内障害者通所施設」から「区内在住・在勤・在学」へと広げます。

3－③－イ Ｉdon't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト」～

事業概要

公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。

指標：アンケートで「おもしろかった」と答えた人の割合（%）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	80	80	80	80	80
実績（D）	90	92	90	92	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	応募者数　761人 当選者数　189人（倍率４倍） 参加者数　129人 感染防止の観点から、楽器や着付け体験の内容を一部変更・中止して開催しましたが、参加者アンケートでは高い評価をいただきました。	コロナ禍で変更したプログラムのうち、好評だったものは継続しながら以前と同等の内容で体験会が実施できるよう検討していきます。
R5	成果指標であるアンケートには参加者165人中138人が回答し（回答率84%）、127人が「おもしろかった」、８人が「まあおもしろかった」と回答しました。 前半は映像を用いたわかりやすい解説の後に舞台鑑賞、後半は器楽・装束体験や舞台見学等のバックステージツアーと質疑応答を行い、参加者から好評を得ました。	令和６年度は金沢市友好交流都市提携５周年記念事業として、加賀宝生にちなんだ内容をとりいれます。子どもたちが古くから日本各地で愛好されてきた能の文化や歴史を実感できるプログラムにします。 令和５年度は土曜日開催で学校行事による当日キャンセルが目立ったため、日曜日の開催とします。
R6	成果指標であるアンケートには参加者178人中154人が回答し（回答率86.5%）、139人が「おもしろかった」、９人が「まあおもしろかった」と回答しました。金沢市友好交流都市提携５周年記念事業として、加賀宝生の能楽師の登壇や、前田家から宝生会に贈られた能装束等をロビーに展示しました。	引き続き子どもたちにも興味を持ってもらえるような「鑑賞」と「体験」ができるプログラムを提供できるよう連携していきます。

R7	成果指標であるアンケートには、参加者191人中177人が回答し（回答率92.7%）、163人が「おもしろかった」、12人が「まあおもしろかった」と回答しました。前半は能楽師による能の基礎知識と、上演する演目のあらすじ等を紹介しました。後半は、能舞台で使用する太鼓や小鼓等の体験や能舞台の見学を行い、参加者から非常に高い評価を得ました。	楽器体験等の体験時間を延長してほしいという意見があったため、体験プログラムの見直しを実施し、より能を身近に感じてもらえる内容としていきます。

ウ　多様な主体との連携・協力による文化資源の継承

3－③－ウ　文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業を実施します。

指標：事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000
実績（D）	29,990	20,556	19,383	20,612	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	各事業の参加者数の合計を成果指標としています。コロナ禍で再開できない事業もありましたが、コロナ禍前の２年間（平成30年、令和元年）の平均値23,900人の６割の14,340人を目標としました。 令和４年度単年度事業「文の京ミューズネット施設入館料助成」をのべ16,398人が利用したこともあり、目標を大きく超える実績となりました。	令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文の京ミューズネット加入施設周遊デジタルスタンプラリーなどの新規事業に取り組み、周知活動にも力を入れ、文化事業への参加者を増やします。
R5	各事業の参加者数合計を成果指標としています。令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とし、達成できました。 単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」や企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文化や教育にふれる機会を提供し、多くの参加者がありました。区内障害者施設で制作された絵画等を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時（462人）の約２倍となる959人の観覧者が訪れました。	定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開催するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを開催して区の文化資源であるかるたの区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促します。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」も開催３年目を迎え、グッズの販売等内容をさらに充実させていきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和６年度は目標を超えることができませんでした。 「文京区×ちはやふるの世界展」を開催し、区内外に区の文化資源であるかるたを身近に感じられるよう競技かるた体験等の機会を提供し、延べ2,129人が来場しました。 また、障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo Brut」には、前年と同程度の観覧者が訪れました。	令和７年度は、謎解きとかるたを組み合わせた体験イベントの実施、児童館等へのかるた講師派遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。 また、障害者による文化芸術活動のさらなる活性化を目指すため、有識者が厳選した作品の展示及びギャラリートーク（作品解説）を行い、観覧を楽しみながら作品や障害者に対する理解を深める展示を行います。

R7	各事業の参加者数合計を成果指標としていますが、令和7年度は目標を達成することができませんでした。 「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、区のかるた事業を紹介するパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、延べ1,549人が来場しました。また、かるた講師派遣は、前年度と同程度の派遣を行いました。 障害者アートの展示では、作品数の十分な確保が苦慮しましたが、創作者の背景を理解しながら鑑賞できるようなキャプションの作成やギャラリートークを実施したことで、作品および障害について理解を深めていただきました。	令和８年度は、かるたの展示は実施しませんが、引き続き児童館等へのかるた講師派遣を実施し、若年層への認知度向上を図ります。 また、障害者アートの展示については、作品数の確保が課題となったことから、令和８年度は作品募集の範囲を「区内障害者通所施設」から「区内在住・在勤・在学」へと広げます。

3－③－ウ　かるたの街文京を発信！

事業概要

文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。

令和8年度に向けた目標（P）

事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。 競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催（共催）を実施しました。	令和４年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。 また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。
R5	大学対抗戦「文の京アゼリアカップ」を創設し、14大学から16組の参加がありました。 競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412人の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者122人、回答率84.7%）では93%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。 小中学校への講師派遣は令和４年度の３校から５校に増加しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。
R6	競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは440人（前年412人）の申し込みがあり、来場者のアンケート（回答者130人、回答率77.8%）では95%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。また、大学生大会「文の京アゼリアカップ」では、16校が参加しました。 小中学校への講師派遣は前年同様５校でしたが、児童館（２館）及び育成室（１室）と対象を拡充しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。
R7	競技かるたトップ選手の２人が戦う名人・クイーンドリームマッチは、312人（前年440人）の申し込みがありました。来場者のアンケート（回答者148人、回答率約82%）では約91%が「とてもよかった」「よかった」と回答し、好評を得ました。大学生大会のアゼリアカップでは、昨年同様16校が参加しました。 小中学校等へのかるた講師派遣は、前年同様５校のほか、児童館１館、育成室１室に派遣を行いました。	引き続き、区の文化資源である競技かるたを区民に定着させていくために、区ホームページへのアクセス媒体を把握するとともに、SNSを活用した効果的な情報発信を行い、名人・クイーンドリームマッチや「文の京アゼリアカップ」の周知を図っていきます。

3－③－ウ　吹奏楽アンサンブルコンテスト

事業概要

公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。

指標：参加団体数（団体）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	0	27	27	27	27
実績（D）	0	23	24	23	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和４年度は、改修工事に伴うシビックホール休館のため休止となりました。	令和５年度に事業を再開します。多くの参加が得られるよう、チラシ配布に加え、SNS等を活用した参加団体募集を行います。
R5	中学生、高校生の部門は多くの応募があり、抽選となりましたが、小学生の部門は他の行事との競合があり参加がなかったことから、目標値に達することができませんでした。 なお、出場団体は、シエナメンバーによる2時間の事前レッスンでプロからの直接指導を受けられることに合わせ本番の演奏への講評も聞くことができ、出演者から高い評価を得ています。	小学生の部門の参加がなかったことから、日程の設定を再考するほか、多様な媒体を使って、広報強化を図ってまいります。
R6	中学生部門は多くの応募があり抽選となりました。 出演団体は、シエナメンバーによる事前のレッスンの他、当日も演奏直後に講評が受けられることから、出演者のアンケートでは非常に満足度の高い事業となっています。この魅力が伝わるよう、広報活動に力を入れて多くの団体が参加いただけるよう努力していきます。	昨年度、小学生の学校行事と重なってしまったため参加校がなかったことから、学校側に確認をしながら日程調整を図りましたが、令和6年度は高校生の期末試験時期に重なってしまいました。幅広い世代の部門があることから実施時期の設定は難しいですが、多くの学校が参加希望する魅力ある事業作り、知っていただく広報活動に力を入れて進めます。
R7	令和７年度も中学校部門は多くの応募があり、抽選となりました。 実施が冬であることから、インフルエンザの流行でレッスンが受けられない生徒や不参加校が出るなど、学校行事等以外の影響もあり、目標値に達することができませんでした。 参加した学校からは講評を博し、満足度が高い事業となりました。	他で実施している大きな吹奏楽コンクールの前哨戦としても位置付けていることから、本事業の時期を変更することは難しいですが、不測の事態にもしっかりと対応できるよう今までの経験を活かして努めていきます。

(4)分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進
ア 文化資源を活用した事業の推進

3－④－ア 「文の京文化発信プロジェクト」

事業概要

文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

指標:事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	374	498	623	623	623
実績(D)	228	1214	846	803	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	1事業を除き事業を再開しました。 コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。	令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。 盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。
R5	盛岡市友好都市提携5周年記念事業を開催したため、目標を大きく上回る実績がありました。 啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。また3,500人の集客があった時代まつりの時代行列にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップでは2回のワークショップを開催し希望者22人が都市交流フェスタの舞台で踊りを披露しました。また盛岡市主催「盛岡文士劇」東京公演を共催しました。 その他、かなざわ講座の共催や沖縄県うるま市主催の現代版組踊「肝高の阿麻和利」を後援しました。	令和6年度は金沢市友好交流都市提携5周年のため、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の共催事業を記念事業として充実させた内容で開催していきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としており、目標を達成することができました。 令和6年度は津和野町東京事務所開所10周年記念として石見神楽公演を実施しました。また、能プロジェクトでは、金沢市友好交流都市提携5周年記念事業として、加賀宝生の能楽師の登壇や、前田家から宝生会に贈られた能装束等をロビーに展示しました。	引き続き、啄木学級やかなざわ講座等を通じて交流自治体の文化に触れる機会を提供し、さらなる交流の活性化に繋がるような事業にしていきます。
R7	各事業の参加者数合計を成果指標としており、目標を達成することができました。 昨年度に引き続き石見神楽公演を開催し、600人の申込がありました。啄木学級では岩手県出身の作家を講師として招き、講演を開催しました。共催事業のかなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。	引き続き、交流自治体と連携を深めながら、各事業を通じて交流自治体の文化に触れる機会を提供していきます。 また、新たに協定を締結した自治体との交流に向けても検討していきます。

イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信

3－④－イ 文の京ミュージアムネットワーク

事業概要

区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミューズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

令和8年度に向けた目標（P）

区の貴重な文化資源として積極的に周知し、連携を深めていきます。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	例年実施している事業（全体会議、文京ミューズネットマップの作成、ミューズフェスタの開催）のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、２か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミューズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミューズネットの認知度が大きく向上したと考えれられます。	令和５年度は施設改修工事のためミューズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミューズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミューズネットの活動を盛り上げます。
R5	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。 施設改修工事のため「文京ミューズフェスタ」が中止となり、代替事業として実施した「文京ミューズネット周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。 また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のため、３施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の協力を得ました。	「文京ミューズフェスタ」は一部を委託化して内容を充実させていきます。 また、近年増大している海外からの観光客等に周知できるよう英語版文京ミューズネットマップの活用方法を検討していきます。
R6	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。 また、施設改修工事が完了し、「文京ミューズフェスタ」を開催し、446人が来場しました。	区の貴重な文化資源に触れる機会を提供するため、「文京ミューズフェスタ」の開催期間を増やすことを検討します。
R7	例年同様、全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。また、「文京ミューズフェスタ」の開催期間の延長を検討しましたが、現状の出展施設の職員体制では２日間の開催は困難であるとの申し出があったため、開催期間の延長は見送ることとしました。	令和８年度も１日開催となりますが、SNSを活用した情報発信や各施設との積極的な連携をすることで、より多くの方に区の貴重な文化資源に触れる機会を提供していきます。

3－④－イ　文京ふるさと歴史館特別展

事業概要

文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催します。

指標：アンケートの満足回答の割合（%）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	85	80	80	80	80
実績（D）	85	83	84	—	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	アンケート項目は「テーマ設定＝良い」「わかりやすさ＝わかりやすい」を選択した割合の平均値です。 区内の国名勝及び史跡として文化財指定された東京大学大学院理学系研究科附属植物園の歴史や文化を取り上げる「小石川植物園異聞　白山御殿跡いま・むかし」を開催しました。 会期　10月29日～12月11日 入館者数　2,344人 区内の名所である小石川植物園をテーマとして、縄文時代から現在に至るまでの歴史、植物園を舞台とした文学作品の紹介など、多角的に展示し、好評を得ました。	今後とも、文京区の歴史や文化について様々な視点から掘り下げた展示を行います。内容に興味を覚えて満足を感じる回答の割合が多くなるよう、引き続き資料の研究や展示に尽力します。
R5	アンケート項目は「テーマ設定＝良い」「わかりやすさ＝わかりやすい」を選択した割合の平均値です。 全国藩校サミット文京大会の関連事業として「湯島の地に聖堂あり　江戸・東京の学び舎と文京」を開催しました。 会期　10月28日～12月10日 入館者数　2,432人 区内の名所である湯島聖堂をテーマとしてその歴史、復興事業に関わった建築学者伊東忠太について、学問所としての紹介など、多角的に展示し、好評を得ました。	今後とも、文京区の歴史や文化について紹介し、来館者の満足度を高めるよう資料の調査研究を継続します。
R6	アンケート項目は「テーマ設定＝良い」「わかりやすさ＝わかりやすい」を選択した割合の平均値です。 生活に身近な水道の歴史をテーマに「川と人と水道とー神田上水・千川上水と文京」を開催しました。 会期　10月26日～12月８日 入館者数　3,009人 文京区にゆかりの深い神田上水と千川上水について、また、近代の上下水道の整備などについての解説を展示しました。類似のテーマを取り扱った近隣の博物館と合同で実施したスタンプラリーの効果もあり、入館者数が増加しました。	展示環境整備のため、７年度は特別展を休止しますが、展示の重要な根幹となる地域資料の整理、調査研究を継続して行います。
R7	展示環境整備のため特別展は休止しました。	文京区の特色ある歴史・文化を様々な観点から深く研究し展示に生かせるよう引き続き努力します。

3－④－イ　森鷗外記念館特別展・コレクション企画

事業概要

森鷗外の作品や人生に関することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。

指標：アンケートの満足回答の割合（%）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	80	80	80	80	80
実績（D）	96	99	99	98	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	展示に関しての満足度調査（満足・やや満足）の合計は96%（内訳：満足71%、やや満足25%）今後もさらに充実した展覧会を目指し運営を行います。	展覧会に対して常に満足いただけるよう、テーマや嗜好を変えた企画を充実させます。
R5	令和５年度よりアンケート項目を「大いに満足、満足、不満、きわめて不満」の４項目とした。満足回答合計は99%（内訳：大いに満足51%、満足48%）。	引き続き好回答を得られるよう、企画の充実を目指します。
R6	展示に関しての満足度調査（大いに満足、満足）の合計は99%（内訳：満足50%、やや満足49%）今後もさらに充実した展覧会を目指し運営を行います。	昨年に続き好回答を得られました。今後も幅広く関心を持たれるテーマ設定と展示内容の充実を目指します。
R7	展示に関しての満足度調査（大いに満足、満足）の合計は99%（内訳：満足54%、やや満足44%）宮内庁宮内公文書館との共催展、他自治体との連携事業などにより区外での周知へ繋がりました。	昨年に続き好回答を得られました。今後も区内外への周知に繋がる事業、広報を目指します。

3－④－イ　文の京ゆかりの文化人顕彰事業

事業概要

文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。

指標：朗読コンテスト（参加及び観覧）、史跡めぐり、講演会応募者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	558	600	600	600	600
実績（D）	558	639	539	643	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	①朗読コンテスト　跡見学園女子大学と共催し実施しました。没後100年を迎えた森鷗外の作品を課題作とし、朗読の応募者256人、観覧応募者は146人でした。 ②史跡めぐり　本郷・西片の樋口一葉が暮らした風景をたどるというテーマで55人の応募がありました。 ③歴史講演会　一葉作品にみる明治の出版と挿絵という演題で、101人の応募がありました。 　また、文化人の業績について紹介するリーフレットを作成配付したことで、より多くの方々に文京区及びゆかりの文化人を周知し興味を持っていただくきっかけづくりができました。	申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。
R5	①朗読コンテスト　跡見学園女子大学と共催し実施しました。宮沢賢治の作品を課題作としました。朗読の応募者274人、観覧応募者は171人でした。 ②史跡めぐり　賢治・啄木が暮らした街を巡るというテーマで58人の応募がありました。 ③歴史講演会　小石川植物園と共催し、私の知っている牧野富太郎という演題で、136人（会場）の応募がありました。 　また、文化人の業績について紹介するリーフレットを作成配付したことで、より多くの方々に文京区及びゆかりの文化人を周知し興味を持っていただくきっかけづくりができました。	申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。
R6	①朗読コンテスト　跡見学園女子大学と共催し実施しました。金沢ゆかりの文人の作品を課題作としました。朗読の応募者274人、観覧応募者は115人でした。６年度から当日の観覧希望も受け付けることとしたため、応募者数＝観覧者数としています。 ②史跡めぐり　金沢ゆかりの文人たちというテーマで23人の応募がありました。 ③歴史講演会　竹久夢二が暮らした文京というテーマで127人の応募がありました。 　また、文化人の業績について紹介するリーフレットを作成配付したことで、より多くの方々に文京区及びゆかりの文化人を周知し興味を持っていただくきっかけづくりができました。	申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。

R7	①朗読コンテスト　跡見学園女子大学と共催し実施しました。熊本県、熊本市、新宿区ゆかりの文人の作品を課題作としました。朗読の応募者298人、観覧応募者は84人でした。 ②史跡めぐり　夏目漱石の母校である東京大学を中心のテーマにし、109人の応募がありました。 ③歴史講演会　夏目漱石と文京区の関わりというテーマで152人の応募がありました。 　また、文化人の業績について紹介するリーフレットを作成配付したことで、より多くの方々に文京区及びゆかりの文化人を周知し興味を持っていただくきっかけづくりができました。	申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。

ウ　地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進

3－④－ウ　文京ふるさと歴史館友の会の支援

事業概要

文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。

令和8年度に向けた目標（P）

文京ふるさと歴史館友の会の会員が増加し、協働による事業の参加者数も増加させていきます。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	月１回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。会の自主的な運営を支援することで、会員の増・事業参加者の増につながりました。	引き続き情報を共有します。また、より長期的に安定的な運営ができるよう、活動支援を行います。
R5	月１回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。交流自治体主催で文京区内ツアーが開催された際には、ガイドとして協力していただきました。感染症による行動制限の緩和の影響もあり、事業参加者が増となりました。	情報共有をすることにより、継続して活動支援を行います。
R6	月１回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。	情報共有をすることにより、継続して活動支援を行います。
R7	月１回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行ったり、ガイドになることを希望する方を友の会担当者に紹介しました。	情報共有をすることにより、継続して活動支援を行います。

3－④－ウ 「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】

事業概要

文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

指標：事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	374	498	623	623	623
実績（D）	228	1214	846	803	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	1事業を除き事業を再開しました。 コロナ禍前の2年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の6割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は6割でした。	令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準に戻すことを目標とします。 盛岡市と友好都市提携5周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。
R5	盛岡市友好都市提携5周年記念事業を開催したため、目標を大きく上回る実績がありました。 啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。また3,500人の集客があった時代まつりの時代行列にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップでは2回のワークショップを開催し希望者22人が都市交流フェスタの舞台で踊りを披露しました。また盛岡市主催「盛岡文士劇」東京公演を共催しました。 その他、かなざわ講座の共催や沖縄県うるま市主催の現代版組踊「肝高の阿麻和利」を後援しました。	令和6年度は金沢市友好交流都市提携5周年のため、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の共催事業を記念事業として充実させた内容で開催していきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としており、目標を達成することができました。 令和6年度は津和野町東京事務所開所10周年記念として石見神楽公演を実施しました。また、能プロジェクトでは、金沢市友好交流都市提携5周年記念事業として、加賀宝生の能楽師の登壇や、前田家から宝生会に贈られた能装束等をロビーに展示しました。	引き続き、啄木学級やかなざわ講座等を通じて交流自治体の文化に触れる機会を提供し、さらなる交流の活性化に繋がるような事業にしていきます。
R7	各事業の参加者数合計を成果指標としており、目標を達成することができました。 昨年度に引き続き石見神楽公演を開催し、600人の申込がありました。啄木学級では岩手県出身の作家を講師として招き、講演を開催しました。共催事業のかなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。	引き続き、交流自治体と連携を深めながら、各事業を通じて交流自治体の文化に触れる機会を提供していきます。 また、新たに協定を締結した自治体との交流に向けても検討していきます。

第６章　観光分野の点検・評価

１．観光分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員（学識経験者）
観光分科会座長　山田　徹雄

基本方針①「区内まるごと周遊の促進」

文京花の五大まつりを代表として、まつりの持続化の推進において一層の内容充実を図り、観光資源を一層深化させることに成功した。その際、経費の助成による内容の充実が実現している点を評価したい。またマイクロツーリズムを推進する上で観光ガイドの果たした役割がさらに進展している点も見逃せない。

このように、「区内まるごと周遊の促進」は評価に値する成果を生み出している。文京区のブランド資源のひとつである教育を活用した発信のありかたを模索する方向性も今後の検討課題であろう。

基本方針②「いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有」

多様な媒体による観光情報の発信は観光振興を図る上で重要である。その点で、デジタル情報に留まらず、アナログ情報をも活用することによって、社会の広範な層にアピールすることに多くの努力が見られる。ただし、変化の激しい食文化の発信については、頻繁に情報更新が難しい紙媒体からデジタル発信へと転換することによって、最新の情報へのアクセスが容易になっている面も評価しなければならない。

文京区観光協会ホームページへのアクセス数は目標値をはるかに上回り、情報発信の成果が定量的に確認できる。

基本方針③「つながりから生まれる観光の推進」

文の京ミュージアムネットワークに関して、スポーツ、文化芸術分野との連携が進展し、その成果は適切に情報発信されている。

都市交流フェスタに関しては、開催会場の増加によって国内外の協定締結自治体等との提携・協力関係がさらに進み、定量的にも来場者数の増加が見られた。特に、東京ドームシティのラクーアとの連携が、回遊性向上に寄与した点が評価に値する。さらに回遊性向上のための新たな企画を期待したい。

また、協定締結自治体との連携実績も目標値を多く上回る成果を収めた。

基本方針④「何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備」

観光客をリピーターに転換させるためには、情報インフラの絶え間ない見直しが必要である。この点において、観光情報をカテゴリー別に掲載した多言語対応デジタルマップの導入は、画期的な試みである。絶えず新しい情報を発信する努力が要求される。

観光ボランティアを増員するとともにスキルの向上を目指している点も評価に値する。

一方、環境整備指標の定量的な評価では、事業参加者において目標値を大きく下回っている点が懸念される。

小括

分野別基本方針①～④については、年度ごとの点検・評価を通じて、フィードバックが適切になされ、確実に改善がなされている。なお、定量的な成果の把握については、目標値が適切であるか、検討の余地がある。

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①区内まるごと周遊の促進		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出				
87	観光写真コンクール	○		
88	花の五大まつり等助成	○	○	○
イ　マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上				
89	観光ガイド事業	○	○	
分野別基本方針②いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　観光情報の収集・発信力の充実と共有促進				
90	観光インフォメーション	○	○	
91	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	○	○	○
イ　情報発信環境の整備				
92	観光インフォメーション【再掲】	○	○	
93	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	○	○	○
分野別基本方針③つながりから生まれる観光の推進		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合				
94	文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	○	○	
95	文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】	○		
イ　国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力				
96	友好都市交流フェスタ【再掲】	○	○	
97	文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】	○		
分野別基本方針④何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア　観光客の受入基盤整備				
98	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	○	○	○
99	文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	○	○	
イ　多様な人材の育成・活用				
100	観光ガイド事業【再掲】	○	○	

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略（令和6年度～令和9年度）に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和7年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進

指標	現状値		目標値
文京区の他者推奨意向	84.1% （令和元年度）	71.3% （令和７年度）	85.0%

【分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進の状況】

観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出では、文京花の五大まつり等について、担い手の確保に繋がる経費を新たに助成し、まつりの持続化を推進しました。また、３年目を迎えた「まつりの街、文京」プロジェクトでは、「関わる」をテーマに、小中学生がまつりの取材と記事作成を行うワークショップや、オリジナル紙芝居の口演等を実施しました。令和８年度は、区制80周年を記念して各まつり実行委員会が実施する主体的な取組に対し、経費の助成を行うことで、まつりの内容を一層充実させ、来場の促進や来場者の満足度向上を図ります。

マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上では、文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。また、ガイドの増員とスキル向上を図るため、観光ガイド養成講座を実施し、新たに８名のガイドを登録しました。引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

「区内まるごと周遊の促進」の指標である文京区の他者推奨意向は71.3%で、目標値の85.0%を下回っており、今後も観光資源を新たな視点で活用し、魅力を高めるなど、区民が「文の京」に誇りを感じられるよう取り組む必要があります。

これらの取組を着実に進め、本区の多彩な観光資源を継承し、磨き上げていくことにより、地域の魅力創出を図っていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎マイクロツーリズムの推進において、観光ガイド事業の役割とその進展は、区の魅力発信に寄与していると考えられる。

◎学校等の教育環境も区の観光資源で、これにより新住民が増える好循環も、重要な成果だと考える。学校等と連携したまち歩き企画や情報発信は、本区らしい魅力的な取組になる。

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有

指標		文京区観光協会のホームページの新規ユーザー			
現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
44,115件 （令和元年度）	50,000件	88,009件※	82,621件	192,631件	233,875件

【分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有の状況】

観光情報の収集・発信力の充実と共有促進では、観光インフォメーションで来所者等に対して相談内容に応じた案内を行うとともに、SNSなど様々な広報媒体を特性に応じて使い分けながら、広く本区の観光情報の発信を行いました。引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。

情報発信環境の整備では、観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。令和8年度は、観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、新たに導入したデジタルマップを活用し、イベント等の情報発信を随時実施することにより、区の多彩な観光資源の魅力発信を図ります。

「いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有」の指標である文京区観光協会のホームページの新規ユーザーは233,875件で、前年度に引き続き、令和8年度目標値の50,000件を上回っており、今後も同ページを活用した情報発信に取り組みます。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが、いつでも、どこでも手軽に必要な情報を入手できる環境を整えるとともに、区民等が本区の観光資源等に関する情報を共有し、自発的な発信を促すことにより、観光情報の発信力の充実を図っていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎食文化は大きな観光資源であり、グルメ情報の発信は重要なため、まち歩きで活用されていた紙媒体のグルメマップを継続してほしい。

◎食と観光は密接に繋がる関係性を持っており、連携は重要であると考える。

◎情報発信において多様な媒体の活用は重要であり、状況に応じてデジタル情報とアナログ情報の使い分けも必要だと思う。

※過去2年以内に新規アクセスしたユーザーの数値であるが、令和3年4月にサイトリニューアルを実施しているため、令和4年度分の数値については令和3年3月以前の重複ユーザーは除外されていない。

（3）分野別基本方針③　つながりから生まれる観光の推進

指標		協定等締結自治体との連携実績			
現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和7年度 実績値
57 件 （令和元年度）	70 件	88 件	106 件	123 件	127 件

【分野別基本方針③　つながりから生まれる観光の推進の状況】

他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合では、文の京ミュージアムネットワークにおいて、例年同様、全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。また、文京ミューズフェスタの開催期間延長を検討しましたが、現状の出展施設の職員体制では2日間の開催は困難であるとの申し出があったため、見送ることとしました。令和8年度も1日開催となりますが、SNSを活用した情報発信や各施設との積極的な連携を行うことで、より多くの方に区の貴重な文化資源に触れる機会を提供していきます。

国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力では、都市交流フェスタの開催会場を3か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約8,000人増加しました。初日には、前年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。2日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力を発信することができました。令和8年度は、区制施行80周年という節目の開催であることを踏まえ、より多くの区民に区及び交流都市の魅力を発信するとともに、住民間の相互交流の一層の促進を図るため、「文京区×交流都市ハッシュタグキャンペーン」事業の相乗展開など、内容の充実・高度化を図っていきます。

「つながりから生まれる観光の推進」の指標である協定等締結自治体との連携実績は127件で、前年度に引き続き、令和8年度目標値の70件を上回っており、今後も交流自治体との連携・協力により、観光事業の充実を図っていきます。

これらの取組を着実に進めることで、文化芸術など、他分野との関係性を深めるとともに、協定等締結自治体等との交流を促進し、様々な形での連携・協力による新しい「文の京」の観光を推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎区内で行われているイベントへの協定締結自治体の物産展誘致に関し、区の協力を期待する。

◎都市交流フェスタにおいて、東京ドームシティのラクーアと連携した取組は、人流の回遊性向上に大きく貢献し、来場者数の増に繋がったと考える。

◎文京ミューズネットを活用し、海外で見られるようなナイトミュージアムやコミュニティバスで施設を巡る体験型イベントを展開できると良い。

（4）分野別基本方針④　何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備

指標	現状値		目標値
「だれもが観光に訪れたくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度	区民：38.9% 事業参加者：76.0% （令和元年度）	区民：49.1% 事業参加者：68.0% （令和７年度）	区民：50.0% 事業参加者：81.0%

【分野別基本方針④　何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備の状況】

観光客の受入基盤整備では、観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。令和8年度は、観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、新たに導入したデジタルマップを活用し、イベント等の情報発信を随時実施することにより、区の多彩な観光資源の魅力発信を図ります。

多様な人材の育成・活用では、文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。また、ガイドの増員とスキル向上を図るため、観光ガイド養成講座を実施し、新たに8名のガイドを登録しました。引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

「何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備」の指標である「だれもが観光に訪れたくなるまちを支える仕組みをつくること」への満足度は、区民が49.1%（目標値50.0%）、事業参加者が68.0%（目標値81.0%）で、目標値を下回っており、今後も国内外からの来訪者を受け入れ、多様なニーズに対応するための環境づくりに取り組む必要があります。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが安心して区内観光を楽しみながら、区民や訪れる方が本区に愛着を感じ、何度でも訪れたくなるための環境づくりを推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎イベントを支える学生ボランティアの参加促進について、区から学校側に働きかけてほしい。学生側にとっても、貴重な経験を積む機会となる。

◎観光ガイドブックやデジタルマップに関し、その環境整備は重要であり、利便性の向上や多言語対応の拡充も検討してほしい。

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進
ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出

4－①－ア 観光写真コンクール

事業概要

文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。

指標：観光写真コンクールの応募者数（人）/写真展の来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	170/530	175/540	180/550	185/560	190/570
実績（D）	161/575	151/673	156/855	166/662	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	令和４年度で第60回を迎え、区民を中心にたくさんの応募がありました。特にジュニア部門では、新たにジュニア向け写真教室を実施することで、参加者の増加につなげることができました。	新たな参加者の増加につながる取り組みを検討するとともに、観光PRポスターをはじめ様々な機会で受賞作品を使用することで、観光PRへ繋げていきます。
R5	ジュニア向け写真教室の継続実施もあり、ジュニア部門では昨年度を上回る応募がありました。また、写真展や区ホームページなど様々な媒体で受賞作品を活用し、魅力の発信を図りました。	ジュニア向け写真教室の継続実施や受賞者作品の更なる活用を検討することで、観光写真コンクールを通じた観光PRを図ります。
R6	前年に引き続き、区民を中心に多くの応募がありました。受賞作品は、観光PRポスターやナイトライフ観光特設サイトなど様々な媒体で活用し、魅力の発信を図りました。	写真コンクール及びジュニア向け写真教室を引き続き実施するとともに、様々な機会を捉えて受賞作品を活用した観光PRを行い、本区の魅力発信に繋げていきます。
R7	前年に引き続き、区民を中心に多くの応募がありました。受賞作品は、観光PRポスターや東京ドームシティ内ビジョン、国内外の交流都市のホームページなど様々な媒体で活用し、魅力の発信を図りました。	写真コンクール及びジュニア向け写真教室を引き続き実施するとともに、様々な機会を捉えて受賞作品を活用した観光PRを行い、本区の魅力発信に繋げていきます。

4－①－ア　花の五大まつり等助成

事業概要

文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津･千駄木下町まつりのＰＲ及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。

指標:文京花の五大まつり等の来場者数(万人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	150	165	165	165	165
実績(D)	150	165	156	161	

	成果･評価(D･C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費への補助を行うことで、まつりの振興及び地域活力の復興を図ることができました。	引き続き、文京花の五大まつり等の振興及び地域活力の復興等へつながる経費等への補助を行うとともに、積極的な情報発信を行い、まつりへの誘客を促進することで、まつりの振興及び発展を図ります。
R5	文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費助成を行うとともに、まつりを未来に繋いでいくことを目的に、新たに「まつりの街、文京」プロジェクトを開始し、主に小・中学生向けのワークショップ等を実施しました。	引き続き、まつりの振興を図るための経費助成を行うとともに、将来的な担い手確保に向け、子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取組を推進します。
R6	文京花の五大まつり等の実施に要する経費助成を行うとともに、「まつりの街、文京」プロジェクトにおいて、中学生以下を対象としたクイズラリーやオリジナル紙芝居等を実施しました。	まつりの継続的な実施に向け、担い手の確保につながる取組を補助対象経費に加えるとともに、子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取組を推進します。
R7	文京花の五大まつり等について、担い手の確保に繋がる経費を新たに助成し、まつりの持続化を推進しました。また、３年目を迎えた「まつりの街、文京」プロジェクトでは、「関わる」をテーマに、小中学生がまつりの取材と記事作成を行うワークショップや、オリジナル紙芝居の口演等を実施しました。	区制80周年を記念して各まつり実行委員会が実施する主体的な取組に対し、経費の助成を行うことで、まつりの内容を一層充実させ、来場の促進や来場者の満足度向上を図ります。

イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上

4－①－イ 観光ガイド事業

事業概要

区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。

指標：観光ガイドツアーの参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	300	350	400	450	500
実績（D）	323	747	910	984	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和３年度より段階的に再開し、令和４年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、３年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに８名の新規ガイドを登録しました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。
R5	文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの広報を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。
R6	文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加することができました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施し、本区の魅力を広く発信するとともに、ガイドツアーの継続的な実施に向け、新規ガイドの募集等を行います。
R7	文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。また、ガイドの増員とスキル向上を図るため、観光ガイド養成講座を実施し、新たに８名のガイドを登録しました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有
ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進

4－②－ア 観光インフォメーション

事業概要

シビックセンター１階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。

指標：観光インフォメーションでの案内件数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,650	1,850	1,850	1,850	1,850
実績（D）	1,650	1,627	1,901	1,621	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	国内外の観光客数の回復もあり、来所人数や相談件数が増加傾向にある観光インフォメーションにおいて、広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。
R5	昨年度と比較し案内件数（相談件数）はやや減少していますが、増加している来所者に対して、SNSも活用しながら広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。
R6	来所者等に対して相談内容に応じた案内を行うとともに、SNSなど様々な広報媒体を特性に応じて使い分けながら、広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。
R7	来所者等に対して相談内容に応じた案内を行うとともに、SNSなど様々な広報媒体を特性に応じて使い分けながら、広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。

4－②－ア　観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】

事業概要

区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。

指標：観光ガイドブックの作成部数（部）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績（D）	58,000	53,500	72,500	77,500	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	観光ガイドマップを５か国語、グルメマップを３か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。	引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。
R5	５年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。	引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。
R6	観光ガイドブック及びグルメマップを多言語で作成するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。	観光ガイドブック等による情報発信を継続するとともに、観光施設やコミュニティバス等の交通情報など、エリア全体の情報を一元化した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図ります。
R7	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、新たに導入したデジタルマップを活用し、イベント等の情報発信を随時実施することにより、区の多彩な観光資源の魅力発信を図ります。

イ 情報発信環境の整備

4－②－イ 観光インフォメーション【再掲】

事業概要

シビックセンター１階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。

指標：観光インフォメーションでの案内件数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,650	1,850	1,850	1,850	1,850
実績（D）	1,650	1,627	1,901	1,621	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	国内外の観光客数の回復もあり、来所人数や相談件数が増加傾向にある観光インフォメーションにおいて、広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。
R5	昨年度と比較し案内件数（相談件数）はやや減少していますが、増加している来所者に対して、SNSも活用しながら広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。
R6	来所者等に対して相談内容に応じた案内を行うとともに、SNSなど様々な広報媒体を特性に応じて使い分けながら、広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。
R7	来所者等に対して相談内容に応じた案内を行うとともに、SNSなど様々な広報媒体を特性に応じて使い分けながら、広く本区の観光情報の発信を行いました。	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。

4－②－イ　観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化

事業概要

区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。

指標：観光ガイドブックの作成部数（部）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績（D）	58,000	53,500	72,500	77,500	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	観光ガイドマップを５か国語、グルメマップを３か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。	引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。
R5	５年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。	引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。
R6	観光ガイドブック及びグルメマップを多言語で作成するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。	観光ガイドブック等による情報発信を継続するとともに、観光施設やコミュニティバス等の交通情報など、エリア全体の情報を一元化した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図ります。
R7	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、新たに導入したデジタルマップを活用し、イベント等の情報発信を随時実施することにより、区の多彩な観光資源の魅力発信を図ります。

（3）分野別基本方針③　つながりから生まれる観光の推進
ア　他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合

4－③－ア　文の京ミュージアムネットワーク【再掲】

事業概要

区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミューズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

令和8年度に向けた目標（P）

区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	例年実施している事業（全体会議、文京ミューズネットマップの作成、ミューズフェスタの開催）のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、２か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミューズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミューズネットの認知度が大きく向上したと考えれられます。	令和５年度は施設改修工事のためミューズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミューズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミューズネットの活動を盛り上げます。
R5	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。 施設改修工事のため「文京ミューズフェスタ」が中止となり、代替事業として実施した「文京ミューズネット周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。 また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のため、３施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の協力を得ました。	「文京ミューズフェスタ」は一部を委託化して内容を充実させていきます。 また、近年増大している海外からの観光客等に周知できるよう英語版文京ミューズネットマップの活用方法を検討していきます。
R6	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。 また、施設改修工事が完了し、「文京ミューズフェスタ」を開催し、446人が来場されました。	区の貴重な文化資源に触れられる機会を提供するため、「文京ミューズフェスタ」の開催期間を増やすことを検討します。
R7	例年同様、全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。また、「文京ミューズフェスタ」は開催期間の延長を検討しましたが、現状の出展施設の職員体制では２日間の開催は困難であるとの申し出があったため、開催期間の延長は見送ることとしました。	令和８年度も１日開催となりますが、SNSを活用した情報発信や各施設との積極的な連携をすることで、より多くの方に区の貴重な文化資源に触れる機会を提供していきます。

4－③－ア　文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】

事業概要

区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。

指標：文京博覧会（ぶんぱく）への来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績（D）	8,507	10,625	14,256	13,542	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行いました。	区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要があります。
R5	コロナ禍以前と同規模で開催し、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。	開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。
R6	昨年度に引き続き、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行いました。区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。	来場者が楽しみながら区内産業や伝統工芸への理解を深められるよう、内容の充実を図っていきます。
R7	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行いました。令和６年度より来場者数は微減となったものの、一部レイアウト変更を図り、出展者数を増やしたことで来場者からの反響は良好でした。	改良できる点は積極的に行い、集客力の向上を図っていきます。また、各出展団体や店舗と引き続き検討を重ね、安全で楽しいイベントを目指します。

イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力

4－③－イ 都市交流フェスタ【再掲】

事業概要

外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。

指標：都市交流フェスタの来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績（D）	1,300	4,785	6,079	14,110	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回（令和元年度）より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産展を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。	国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、より誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつながる出展を検討し、内容の充実を図ります。
R5	礫川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。	開催期間の見直しなど、より参加者の方が楽しみながら文化体験等ができるイベントとなるよう、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体との協働により住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機会とします。
R6	初の2日間開催とし、前回より来場者が約1,300人増加しました。初日は、熊本県縁の竹あかりのライトアップを施した中、交流自治体の特産品及びグルメを来場者に楽しんでもらうことができました。2日目は、前年度に引き続き文京シビックセンター及び礫川公園を一体的に活用し、国内外の文化体験及び交流自治体による物産展等多様なプログラムを通じて、より多くの方に交流都市の魅力を体感してもらうことができました。	区及び交流自治体の魅力発信の強化として、観光及び文化等の体験内容の充実を図るとともに、区内団体等との協働を検討します。また、交流自治体と協働し、来場者に区及び交流自治体の魅力を多角的に発信できるイベントへと発展させていきます。
R7	開催会場を3か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約8,000人増加しました。初日には、昨年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。 2日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティ　ラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力の発信をすることができました。	区制施行80周年という節目の開催であることを踏まえ、より多くの区民に区及び交流都市の魅力を発信するとともに、住民間の相互交流の一層の促進を図るため、「文京区×交流都市ハッシュタグキャンペーン」事業の相乗展開など、内容の充実・高度化を図っていきます。

4－③－イ　文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】

事業概要

区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。

指標：文京博覧会（ぶんぱく）への来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績（D）	8,507	10,625	14,256	13,542	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行いました。	区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていく必要があります。
R5	コロナ禍以前と同規模で開催し、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。	開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。
R6	昨年度に引き続き、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行いました。区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。	来場者が楽しみながら区内産業や伝統工芸への理解を深められるよう、内容の充実を図っていきます。
R7	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行いました。令和６年度より来場者数は微減となったものの、一部レイアウト変更を図り、出展者数を増やしたことで来場者からの反響は良好でした。	改良できる点は積極的に行い、集客力の向上を図っていきます。また、各出展団体や店舗と引き続き検討を重ね、安全で楽しいイベントを目指します。

（4）分野別基本方針④　何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備
ア　観光客の受入基盤整備

4－④－ア　観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】

事業概要

区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。

指標：観光ガイドブックの作成部数（部）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績（D）	58,000	53,500	72,500	77,500	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	観光ガイドマップを５か国語、グルメマップを３か国語で作成するなど、インバウンド需要も見据えた多言語化を推進しました。また、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上でもパンフレットが閲覧できるよう取り組みました。	引き続き、観光ガイドマップ等の多言語化・Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情報発信力の強化に取り組みます。
R5	５年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、新たに「観光ガイドブック」を作成しました。また、観光ガイドブック及びグルメマップの多言語化を推進するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。	引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組みます。
R6	観光ガイドブック及びグルメマップを多言語で作成するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整えました。	観光ガイドブック等による情報発信を継続するとともに、観光施設やコミュニティバス等の交通情報など、エリア全体の情報を一元化した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図ります。
R7	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、新たに導入したデジタルマップを活用し、イベント等の情報発信を随時実施することにより、区の多彩な観光資源の魅力発信を図ります。

4－④－ア　文の京ミュージアムネットワーク【再掲】

事業概要

区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミューズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

令和8年度に向けた目標（P）

区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	例年実施している事業（全体会議、文京ミューズネットマップの作成、ミューズフェスタの開催）のほか、単年度事業として入館料助成キャンペーンを行い、２か月間で16,398件もの利用がありました。これに伴いミューズネットマップ日本語版も作成した35,000部すべてが配布終了するなど、文の京ミューズネットの認知度が大きく向上したと考えれられます。	令和５年度は施設改修工事のためミューズフェスタの開催を中止します。代替事業としてミューズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施し、ミューズネットの活動を盛り上げます。
R5	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。 施設改修工事のため「文京ミューズフェスタ」が中止となり、代替事業として実施した「文京ミューズネット周遊デジタルカードラリー」には26施設が参加し、706人の参加がありました。 また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のため、３施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の協力を得ました。	「文京ミューズフェスタ」は一部を委託化して内容を充実させていきます。 また、近年増大している海外からの観光客等に周知できるよう英語版文京ミューズネットマップの活用方法を検討していきます。
R6	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。 また、施設改修工事が完了し、「文京ミューズフェスタ」を開催し、446人が来場されました。	区の貴重な文化資源に触れられる機会を提供するため、「文京ミューズフェスタ」の開催期間を増やすことを検討します。
R7	例年同様、全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行いました。また、開催期間の延長を検討しましたが、現状の出展施設の職員体制では２日間の開催は困難であるとの申し出があったため、開催期間の延長は見送ることとしました。	今年度も１日開催となりますが、SNSを活用した情報発信や各施設との積極的な連携をすることで、より多くの方に区の貴重な文化資源に触れる機会を提供していきます。

イ 多様な人材の育成・活用

4－④－イ 観光ガイド事業【再掲】

事業概要

区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。

指標：観光ガイドの新規登録者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	10	－	10	－	10
実績（D）	8	－	－	8	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツアーを令和３年度より段階的に再開し、令和４年度には予約ガイドツアーを再開しました。また、３年ぶりに新規ガイドの募集を行い、新たに８名の新規ガイドを登録しました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。
R5	文京花の五大まつり等の開催に合わせて様々なガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの広報を図ることで、ガイドツアーの参加者数が増加しました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。
R6	文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加することができました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施し、本区の魅力を広く発信するとともに、ガイドツアーの継続的な実施に向け、新規ガイドの募集等を行います。
R7	文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。また、ガイドの増員とスキル向上を図るため、観光ガイド養成講座を実施し、新たに８名のガイドを登録しました。	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。

第７章　国内・国際交流分野の点検・評価

１．国内・国際交流分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員（学識経験者）
国内･国際交流分科会座長　山田　徹雄

基本方針①「国内交流自治体との交流促進と相互発展」

交流自治体の魅力を発信する試みとして従来から行われてきた都市交流フェスタにおいて、新たに東京ドームシティー　ラクーアを加えた3会場において2日間開催した成果が明確な形で現れ、来場者数がおよそ8,000人増加（前回比）したことを特に指摘しておく。

交流を進めてきた自治体との活動の活性化という点において、水戸市、甲州市との協定締結記念行事のバスツアーが実現した。

自治体との交流の一環として、近年重要性を増しているのが災害時に備えた関係強化である。一層の進展を期待する。

指標にある認知度の目標設定が過大である可能性は否定できないが、「国内交流自治体との交流促進と相互発展」という方針は十分に達成しており、高く評価する。

基本方針②「国際理解を育み定着に向けた機会づくり」

海外都市との交流において、当該年度は、フランス共和国のパリ第5区（パンテオン区）との間で音楽交流事業が行われた。中華人民共和国北京市通州区及びドイツ連邦共和国カイザースラウテルン市、また大韓民国ソウル特別市松坡区とは、従来に引き続き活発な交流が継続されている。

トルコ共和国イスタンブール市ベイオウル区とは、友好都市提携10周年を迎える記念事業として、写真展、トルコフェスタによって、交流の活性化が実現している。

他の分野との連携を通じて多様な切り口で継続的に自治体間交流が実施させていること、また交流事業への積極的な取り組みが継続されることを期待する。

交流のレベルが「国家間」ではなく「都市間」であることが、国際情勢に左右されない交流の原点であることをあらためて認識する良き契機となっていることを指摘しておきたい。

基本方針③「外国人が活躍できる環境づくり」

従来から評価の高いやさしい日本語を活用した留学生との交流会の拡充及びレベルを階層化した連続講座の実施により、区民と留学生との交流が継続的かつ深化した形で行われている。

補助金事業であるBチャレ事業の一部として、区内在住外国人と区内団体、ひいては区民との交流する機会が増している。

外国人が活躍するための一層のインフラ整備として、やさしい日本語の活用は必須であり、災害時にも有効である。また、日本語習得にとどまらず、地域の教育･文化資源をさらに活用する姿勢が求められる。そのためにも、文化･歴史･生活習慣の相互理解が大切な要素と考える。

小括

分野別基本方針①～③については、定性的な観点から十分な達成を示し、大いに評価できる。定量的にも概ね目標を達成しているが、一部、過大な設定がなされている印象を与えている。

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①国内交流自治体との交流促進と相互発展		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 国内交流自治体の魅力発信とPR の充実				
101	国内交流自治体食材購入費補助事業	○	○	
102	都市交流フェスタ【再掲】	○	○	
イ 国内交流自治体との交流の活性化				
103	交流自治体主催の区民向け事業への協力	○		
104	区事業における物産展等の出店	○		
ウ 横断的な交流事業の展開				
105	文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】	○		
106	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	○	○	
分野別基本方針②国際理解を育み定着に向けた機会づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 海外都市との交流の活性化				
107	海外都市との交流の活性化	○	○	
108	ホームステイ生徒交換事業	○	○	
イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有				
109	生涯学習講座での国際理解推進	○		
110	都市交流フェスタ	○	○	
111	国際理解促進事業	○	○	○
ウ 横断的な交流事業の展開				
112	国際理解促進事業【再掲】	○	○	○
分野別基本方針③外国人が活躍できる環境づくり		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実				
113	外国人の日常生活支援のための多言語化	○		
114	国際理解促進事業【再掲】	○	○	○
イ 外国人の活躍できる場の提供支援				
115	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	○		

※総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略（令和6年度～令和9年度）に掲載されている事業。

※重点の欄は、令和7年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展

指標	現状値		目標値
国内交流自治体の認知度	18.5% （令和元年度）	19.6% （令和７年度）	25.0%

【分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展の状況】

交流自治体の魅力発信とPRの充実では、東京ドームシティ ラクーアを新たな会場として追加し、初の3会場にて都市交流フェスタを2日間開催したことで来場者数が前回比で約8,000人の増加につながり、より多くの方に交流自治体の魅力発信をすることができました。また、例年開催している物産展及び文化体験ブースの設置に加え、前年度に引き続き交流自治体ゆかりの装飾、伝統芸能披露をはじめとした交流自治体関連でのステージパフォーマンスなど、多角的に交流自治体のPRの充実を図ることができました。引き続き、住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区及び交流自治体の魅力を再発見・再確認できる機会とします。

交流自治体との交流の活性化では、水戸市と協定締結記念及び甲州市との協定締結10周年記念事業の一環として、区民が水戸市及び甲州市を訪れ各自治体の魅力を体験する日帰りバスツアーを実施しました。あわせて、文京博覧会等各事業と連携し物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体の魅力を発信することができました。今後も、交流自治体の観光資源や物産を広くPRすることで、交流自治体の魅力を区民に広く周知し、住民間の交流を促進します。

横断的な交流事業の展開では、熊本県、熊本市及び新宿区との覚書締結10周年記念事業として、アカデミア講座における文京区と熊本をテーマとした講座の実施や、肥後細川庭園における春のライトアップイベントを開催しました。引き続き、交流自治体の文化に触れる機会を提供し、さらなる交流の活性化に繋がるような事業を実施します。

これらの取組を着実に進めることで、文京区及び国内交流自治体双方の魅力を発信するとともに、日頃から協定締結等自治体をはじめ、交流自治体との連携を強化し、災害等の際に備えた関係性構築のために、より自治体同士の関係を強固にしていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎都市交流フェスタの来場者増を評価する。周年など節目でのイベントは、自治体間の関係性を再確認する良い機会と考える。

◎都市交流フェスタなどの事業は、個人で訪れる機会の少ない自治体と交流できる貴重な機会であり、今後も継続してほしい。

◎会場増による回遊性向上や区の人口増加傾向等を踏まえると、区の魅力を周知することで、更なる来場者増加が期待できる。

(2)分野別基本方針②　国際理解を育み定着に向けた機会づくり

指標	現状値		目標値
外国人と交流している区民の割合	25.2% （令和元年度）	13.6% （令和７年度）	35.0%
海外の姉妹都市・友好都市の認知度	26.1% （令和元年度）	29.4% （令和７年度）	35.0%

【分野別基本方針②　国際理解を育み定着に向けた機会づくりの状況】

海外都市との交流の活性化では、フランス共和国パリ市5区と交流事業の一環として、4月に同区の音楽学校の生徒と区内の中･高校生が音楽交流事業を実施し、7月には同区と友好交流に関する覚書を締結しました。中華人民共和国北京市通州区とは、9月に区公式訪問団を派遣し、11月には通州区長等公式訪問団の受け入れを行いました。ドイツ共和国カイザースラウテルン市とは、7月にホームステイ事業として同市の4名の生徒が文京区を訪問し、学生同士が互いの理解を深め、姉妹都市間の交流ができました。また、1月に区内専門学校の協力のもと、同市市制750周年を記念した記念ビデオ制作を行いました、大韓民国ソウル特別市松坡区とは、9月に同区を訪問する区民ツアーを実施し、2月には女子サッカーチームが文京区を訪問、文京区内の合同チームと交流試合を行いました。さらに、3月には同区職員が区事業に出展する等、人的交流を促進しました。引き続き姉妹都市等との友好関係を深め、その理解と認知度向上を図るとともに、人的交流の活性化に取り組んでいきます。

横断的な交流事業の展開では、友好都市提携10周年を迎えるトルコ共和国イスタンブール市ベイオウル区との記念事業の一環として、写真展やトルコフェスタを開催しました。写真展では、ベイオウル区との同時開催として、ベイオウル区をはじめとするトルコ共和国の日常の風景に関する写真を展示しました。トルコフェスタでは、トルコの食品及び雑貨販売やワークショップ、古典音楽コンサート等の体験を通じて、多くの区民がトルコ文化に触れる機会を提供しました。その他にも、韓国文化講座等区民が多様な文化に触れる機会を創出しました。引き続き講座内容、開催日時等の区民ニーズを的確に把握し、参加者数の増加を図ります。特に、講座内容はターゲットに合わせた内容を検討するとともに、SNSの活用等の効果的な事業周知を行います。

姉妹都市等と協働し、区民の国際理解の定着に向けた情報発信や異文化に触れる機会づくりを継続し、一時的な体験で終わらないように継続性を持たせた事業展開を検討します。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎人々の往来やスポーツ･文化などの多様な切り口で、継続的に自治体間交流を実施している点が大変よいと感じている。

◎盛んな交流事業への取組に感銘を受けた。イベントや節目の取組を区民へ確実に周知してほしい。

（3）分野別基本方針③　外国人が活躍できる環境づくり

指標	現状値		目標値
外国人における文京区への愛着度	－ （令和元年度）	－ （令和７年度）	50.0%

【分野別基本方針③　外国人が活躍できる環境づくりの状況】

国際理解促進事業として、やさしい日本語を活用した留学生との交流会を拡充し、基礎編及び発展編の2回連続講座を年2回開催しました。やさしい日本語を学び実践するとともに、区民と留学生が交流する機会を提供することができました。区民が国籍問わず交流する機会として、引き続き取組を継続します。

外国人の活躍できる場の提供支援では、Bチャレ事業の一環として区内団体と協働し、日本文化の体験を通じ区内在住外国人と日本人が交流する機会を創出しました。引き続き区民が国籍問わず交流する機会を創出するとともに、区内在住の外国人支援の在り方及び関係団体等との協働について、関係部署等と改めて検討します。

これらの取組を着実に進めることで、区内在住・在学外国人が、暮らしやすく、また、地域活動等に参加しやすい環境を整え、外国人が活躍できる環境づくりを促進します。

【アカデミー推進協議会の意見】

◎災害発生時など、日本語での情報伝達が必要となる場面を想定し、「やさしい日本語」を学ぶ講座の継続を希望する。

◎公共施設の外国人利用の広がりを踏まえ、施設内の案内表示等にも「やさしい日本語」を使用してほしい。外国人に「やさしい日本語」を学ぶ講座に参加してもらうのと同時に、日本人に対しても外国人への理解促進の働きかけが必要と考える。

◎外国人事業者が増加傾向にある。受け入れ側が歓迎の姿勢を示し、行事や商店会等に巻き込むなどの交流から、ルールの周知と相互理解が進むと思う。

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展
ア 国内交流自治体の魅力発信とPR の充実

５－①－ア 国内交流自治体食材購入費補助事業

事業概要

協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。

指標：参加店舗数（件）/食めぐりスタンプラリー応募者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	16/254	16/260	17/270	17/275	18/280
実績（D）	16/254	16/159	13/118		

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	食めぐりスタンプラリー参加店舗が８店舗増加し、スタンプラリー応募件数も44件増加しました。また、スタンプラリー当選賞品を協定等締結自治体の特産品にリニューアルしたことで、区民が交流自治体を知る契機となり、文京区の交流自治体の認知度向上につなげることができました。	引き続き交流自治体、区民及び参加事業者３者にメリットのある事業になるよう、当選商品の検討及びスタンプラリーの方法を検討していきます。また、事業の認知度の向上を図るだけではく、協定締結等自治体の認知度向上にも寄与する周知を行います。
R5	参加店舗の業態等により、応募者数は減少してしまいました。しかし、スタンプラリー当選賞品の見直し及び当選人数の増加により、冷蔵品等も含めた幅広い協定等締結自治体の特産品を賞品とすることで、区民の交流自治体の認知度及び魅力度向上につなげることができました。	参加店舗の増加ために、申請の受付方法及び周知方法等の見直しを検討します。また、引き続き事業の魅力度向上及び交流自治体の認知度向上につながるよう、区民が参加しやすく、より集客効果を高める方法を検討していきます。
R6	参加店舗の減少等により、応募者数が減少しました。一方で、交流自治体所在の事業者が推奨する特産品を賞品として贈呈するとともに、交流自治体パンフレットを同封することで、交流自治体の認知度向上につなげることができました。	参加店舗及び参加者数が減少している状況を鑑み、今後は、同様の事業趣旨を持つ都市交流フェスタ等において、交流自治体の食材を使用する区内飲食店の出展等により、食を通じた自治体間交流のさらなる活性化に取り組んでいきます。また、各種事業において交流自治体による特産品の販売等を実施し、幅広く区内外に向けた交流自治体を周知する機会とします。

5－①－ア　都市交流フェスタ【再掲】

事業概要

外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。

指標：都市交流フェスタの来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績（D）	1,300	4,785	6,079	14,110	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	4年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回（令和元年度）より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産展を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。 文化体験コーナーが特に好評であり、文化体験等を通じた異文化交流の機会とすることができました。	国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、在住・在学外国人をはじめ新たな参加者を誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつながる出展を検討し、内容の充実を図ります。
R5	礫川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。	開催期間の見直しなど、より参加者の方が楽しみながら文化体験等ができるイベントとなるよう、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体との協働により住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機会とします。
R6	初の2日間開催とし、前回より来場者が約1,300人増加しました。初日は、熊本県縁の竹あかりのライトアップを実施し、交流自治体の特産品及びグルメを来場者に楽しんでもらうことができました。2日目は、前年度に引き続き文京シビックセンター及び礫川公園を一体的に活用し、国内外の文化体験及び交流自治体による物産展等多様なプログラムを通じて、より多くの方に交流都市の魅力を体感してもらうことができました。	区及び交流自治体の魅力発信の強化として、観光及び文化等の体験内容の充実を図ります。また、交流自治体と協働し、来場者に区及び交流自治体の魅力を多角的に発信できるイベントへと発展させていきます。
R7	開催会場を3か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約8,000人増加しました。初日には、昨年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。 2日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティ　ラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力の発信をすることができました。	区制施行80周年という節目の開催であることを踏まえ、より多くの区民に区及び交流都市の魅力を発信するとともに、住民間の相互交流の一層の促進を図るため、「文京区×交流都市ハッシュタグキャンペーン」事業の相乗展開など、内容の充実・高度化を図っていきます。

イ 国内交流自治体との交流の活性化

5－①－イ 交流自治体主催の区民向け事業への協力

事業概要

熊本県、熊本市、新宿区とのシンポジウムや、盛岡市のモリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。

指標:後援・共催事業数(件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	3	3	3	3
実績(D)	0	3	1	2	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各自治体と連携した後援等の事業の実施はありませんでした。	5年度以降、各自治体が事業が活発になることから、徐々に後援等の依頼の増加が見込まれます。依頼等があった場合は、事業趣旨の精査をし、後援等する際は、情報発信等に積極的に協力します。
R5	盛岡市の文士劇及びモリハチ祭りの共催及び現代版組踊「肝高の阿麻和利」の後援をし、文化芸術及び物産展等を通じて交流都市の魅力を発信しました。	今後も交流自治体から後援等の依頼があれば、引き続き事業趣旨を精査し、各自治体と連携し、情報発信に協力します。また、共催及び後援等にかかわらず交流自治体との事業連携を活発化させていきます。
R6	盛岡市とモリハチ祭りを共催し、物産展等を通じて交流都市の魅力を発信しました。その他、玉名市とミニトマト苗植え体験事業及び金沢市と氷室の雪氷展示等協定締結等自治体との交流事業を実施しました。	今後も交流自治体から後援等の依頼があれば、引き続き事業趣旨を精査した上で各自治体と連携し、情報発信に協力します。また、共催及び後援等にかかわらず交流自治体との事業連携を活発化させていきます。
R7	熊本県、熊本市及び新宿区との「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」締結10周年記念シンポジウム及び盛岡市とモリハチ祭りを共催し、物産展等を通じて交流都市の魅力を発信しました。その他、玉名市とミニトマト苗植え体験事業及び金沢市と氷室の雪氷展示等協定締結等自治体との交流事業を実施しました。	今後も交流自治体から後援等の依頼があれば、引き続き事業趣旨を精査した上で各自治体と連携し、情報発信に協力します。また、共催及び後援等にかかわらず交流自治体との事業連携を活発化させていきます。

5－①－イ　区事業における物産展等の出店

事業概要

文京博覧会、花の５大まつり、藩校サミット、時代まつり等への交流自治体物産展の出店により、周知をします。

指標:物産展等の出店日数(日)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	45	50	50	50	50
実績(D)	45	75	99	99	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	各イベントに交流自治体が物産展を出店し、誘客につなげることができ、併せて区民に国内交流自治体の魅力を広く発信し、周知することができました。 物産展の出店を通じ、交流自治体との関係構築に寄与し、さらなら自治体同士の連携強化につなげることができています。	今後も交流自治体の参加を促し、その地域の観光資源や物産を広くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知し、交流を継続するとともに、より自治体同士の関係を強固にし、さらに自治体間交流の促進につなげていきます。
R5	盛岡文士劇等交流自治体が実施するイベント等においても積極的に物産展を開催しました。各事業と連携し、物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体魅力を発信することができました。また、金沢市とともに物産展を開催し、自治体PRだけでなく、震災復興を支援する趣旨での事業を展開することができました。	協定締結等自治体をはじめ、交流自治体との連携を強化し、より自治体同士の関係を強固にしていきます。また、その地域の観光資源や物産を広くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知し、住民間の交流を促進します。
R6	Sky View Lounge BAR等各種事業での機会をとらえて、交流自治体による物産展を開催しました。また、都市交流フェスタでは、15自治体の出展があり、区民に交流自治体の魅力を発信することができました。また、令和５年度に引き続き金沢市とともに震災復興を支援する趣旨で物産展を開催しました。	交流自治体と連携し、交流自治体の観光資源や物産を広くPRすることで、その魅力を区民に広く周知し、認知度向上を図るとともに、住民間の交流につながるよう事業を実施します。また、各種事業を共同で実施することで、より自治体同士の関係を強固にしていきます。
R7	文京花の五大まつりをはじめ、各事業において自治体と連携し物産展を開催することができました。また、都市交流フェスタでは交流のある16自治体が出店し、区民の交流自治体の認知度向上に寄与しました。	引き続き交流自治体と連携した物産展等を行うことで、自治体同士の連携を強化していきます。また、区制80周年に向けた区民参加型の事業を実施することにより、区民の交流自治体の認知度向上や魅力を周知するとともに、住民間交流の促進につなげます。

ウ 横断的な交流事業の展開

5－①－ウ 文京博覧会（ぶんぱく）【再掲】

事業概要

区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。併せて交流自治体物産展の出店を行います。

指標：文京博覧会（ぶんぱく）への来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000
実績（D）	8,507	10,625	14,256	13,542	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について広く区内外に情報発信を行うことにより、文京区内外に広く周知することができました。	区内産業や伝統工芸等を文京区内外により広く知ってもらうため、積極的な情報発信を行っていきます。
R5	コロナ禍以前と同規模で開催し、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。	開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。
R6	昨年度に引き続き、区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行いました。区内産業等について文京区内外に広く情報発信をすることができました。	来場者が楽しみながら区内産業や伝統工芸への理解を深められるよう、内容の充実を図っていきます。
R7	区内企業・産業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発表・販売などを行いました。令和６年度より来場者数は微減となったものの、一部レイアウト変更を図り、出展者数を増やしたことで来場者からの反響は良好でした。	改良できる点は積極的に行い、集客力の向上を図っていきます。また、各出展団体や店舗と引き続き検討を重ね、安全で楽しいイベントを目指します。

5－①－ウ 「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】

事業概要

文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

指標：事業参加者数の合計（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	374	498	623	623	623
実績（D）	228	1214	846	803	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	コロナ禍のため一事業は中止を継続しましたが、他の事業は再開しました。 コロナ禍前の２年間（平成30年、令和元年）の平均値623人（終了事業の実績を除く）の６割である374人の参加を目標としましたが、例年500人近い参加者がある石見神楽公演の中止の影響もあり、達成率は６割でした。	令和５年度は参加者数をコロナ禍前の８割の水準に戻すことを目標とします。 盛岡市と友好都市提携５周年を迎えるため、両自治体で互いの文化を発信する事業を開催し、交流を活発化させます。ミスさんさ派遣委託等の事業を開催して区民に盛岡市の文化に触れる機会を提供していきます。
R5	盛岡市友好都市提携５周年記念事業を開催したため、目標を大きく上回る実績がありました。 啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎え、270人の参加がありました。また3,500人の集客があった時代まつりの時代行列にミスさんさ踊りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワークショップでは２回のワークショップを開催し希望者22人が都市交流フェスタの舞台で踊りを披露しました。また盛岡市主催「盛岡文士劇」東京公演を共催しました。 その他、かなざわ講座の共催や沖縄県うるま市主催の現代版組踊「肝高の阿麻和利」を後援しました。	令和６年度は金沢市友好交流都市提携5周年のため、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の共催事業を記念事業として充実させた内容で開催していきます。
R6	各事業の参加者数合計を成果指標としており、目標を達成することができました。 令和６年度は津和野町東京事務所開所10周年記念として石見神楽公演を実施しました。また、能プロジェクトでは、金沢市友好交流都市提携５周年記念事業として、加賀宝生の能楽師の登壇や、前田家から宝生会に贈られた能装束等をロビーに展示しました。	引き続き、啄木学級やかなざわ講座等を通じて交流自治体の文化に触れる機会を提供し、さらなる交流の活性化に繋がるような事業にしていきます。
R7	各事業の参加者数合計を成果指標としており、目標を達成することができました。 昨年度に引き続き石見神楽公演を開催し、600人の申込がありました。啄木学級では岩手県出身の作家を講師として招き、講演を開催しました。共催事業のかなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。	引き続き、交流自治体と連携を深めながら、各事業を通じて交流自治体の文化に触れる機会を提供していきます。 また、新たに協定を締結した自治体との交流に向けても検討していきます。

(2)分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり
ア 海外都市との交流の活性化

5－②－ア 海外都市との交流の活性化

事業概要

これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民に広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。

指標:訪問団の派遣等交流件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P)	1	1	2	2	3
実績(D)	0	2	4	6	

	成果・評価(D・C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	新型コロナウイルス感染の流行以降、海外都市との交流は中止しています。新たな交流都市の検討をするため、英語圏の視察を行う等、円滑な対面での交流が再開できるように、交流の在り方を検討しました。	姉妹都市等交流自治体とは、対面での交流の再開の検討を進めるとともに、オンラインを活用したハイブリッド型の交流の在り方を検討します。新たな都市との交流については、自治体だけではなく、教育機関等との交流等も行い、友好関係を構築します。
R5	交流が検討されていた大韓民国ソウル特別市松坡区と、職員の相互派遣を行い、今後の交流の在り方について前向きに議論が進展しました。その他の都市とも、オンライン等を活用し、人的交流の再開について、検討しました。	松坡区との本格的な交流を開始し、交流事業の在り方等の検討を進めます。また、令和５・６年で姉妹都市等の３都市の首長が新任されるため、さらなる友好関係の構築目指し、人的交流を活性化させます。
R6	４月に松坡区庁長等松坡区公式訪問団を受け入れ、覚書を締結し、12月には松坡区へ区公式訪問団を派遣して姉妹都市として提携しました。また、松坡区職員が区事業に出展する等、人的交流を促進しました。 パリ市５区及びベイオウル区については、写真展及び文化講座等を通じて、交流自治体の魅力の周知を図りました。	松坡区区民ツアー及び韓国文化講座を実施し、新たな姉妹都市である松坡区への理解及び認知度向上を図ります。 提携10周年を迎えるベイオウル区等各友好都市等についても、引き続き関係団体と連携しながら交流活性化に取り組んでいきます。
R7	パリ市５区と4月に区内高等学校との音楽交流を経て、7月にオンラインにて覚書を締結しました。 また松坡区との姉妹都市提携(令和7年12月)を記念し、9月に松坡区及びソウル市内を訪問する区民ツアーを実施し、区民30名が参加しました。2月には区内にて女子サッカーチームとの交流試合を行い、３月には文京区都市交流フェスタのため松坡区職員が来日・ブース出展しました。 さらに、通州区とは9月・10月に首長の相互訪問によって互いの区への理解を深め、今後の交流事業を検討しました。	国際情勢を注視しつつ、姉妹都市の住民と文京区民との交流を深める取り組みを実施するとともに、関係部署との連携を通じて、更なる姉妹都市間の交流を図ります。

5－②－ア　ホームステイ生徒交換事業

事業概要

姉妹都市のカイザースラウテルン市と交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。

指標：参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	4	4	4	4	4
実績（D）	0	3	4	4	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	交換生徒の受入れは新型コロナウイルス感染症の影響で延期しましたが、代替事業として、オンライン交流会を実施しました（11人参加）。コロナ禍の学校生活について意見交換をし、姉妹都市間の交流を継続することができました。	ホームステイ生徒の受入れを再開し、対面での交流事業を実施し、段階的に対面での交流を再開します。また、令和６年度の派遣に向けて、次期交換生徒の募集をするとともに事業の検討を進めます。
R5	平成31年度に派遣した生徒が、令和５年度は受入れ側として、カイザースラウテルン市生徒を迎え入れました。４年ぶりに対面での事業を実施し、互いの理解を深め、姉妹都市間の学生同士の交流ができました。派遣後から期間が空いたため、各家庭の事情等により、区及びカイザースラウテルン市ともに全家庭の参加とはなりませんでした。	第20回ホームステイ生徒交換事業の参加者を募集し、７～８月の約２週間、カイザースラウテルン市へ日本生徒を派遣します。姉妹都市であるカイザースラウテルン市の文化を体験する機会を提供することで、参加者の国際理解を促進するとともに、姉妹都市との友好関係を深めます。
R6	令和６年度は、区内の中高生を対象に第21回参加生徒を募集し、派遣しました。令和元年度以来５年ぶりにカイザースラウテルン市の家庭にホームステイをし、対面での交流が実現しました。令和５年度に実施された第20回目のドイツ生徒受入れに続く形で、双方向の交流が再び定着しつつあることが確認でき、今後の継続的な交流に向けた好循環が生まれています。	次年度は、令和６年度参加のカイザースラウテルン市生徒を区の家庭で受け入れる形で交流を実施します。ドイツの生徒が日本での生活や文化を深く体験できるよう、ホスト家庭へのサポートを強化し、円滑な受け入れ体制を整えます。 また、区内案内等区の公式行事を通じて、姉妹都市であるカイザースラウテルン市との友好関係を一層深め、国際理解を促進することを目指します。
R7	令和６年度に派遣した生徒が、令和７年度は受入れ側として、カイザースラウテルン市生徒を迎え入れました。各家庭でのホームステイ並びに区公式行事として実施した区内及び都内案内を通して、姉妹都市間の学生及び家庭同士の交流を深めました。 令和８年度実施の第21期事業に向けて、ホームステイ派遣生徒及び受入れ家庭の書類・面接選考を実施し、事業の趣旨を踏まえた適切な参加者の選定を行いました。次年度の円滑な事業を運営できるよう基盤を整えました。	次年度に向けては、生徒の安全・安心な派遣を最優先とし、説明会の実施による保護者への十分な情報提供や、適切な航空券手配など渡航の準備に努めます。また、カイザースラウテルン市担当者との連携を密にとり、緊急時連絡体制や行程管理を整え、より安全性の高い事業運営を推進するとともに、参加者の国際理解を深める充実した内容にて実施します。

イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

5－②－イ 生涯学習講座での国際理解推進

事業概要

アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。

指標：受講者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	535	550	600	650	650
実績（D）	485	565	590	630	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	年間を通じて幅広い分野の講座を提供が叶ったほか、アカデミアサポーターの協力により、充実した講座運営に繋がりました。	最新の話題を的確に把握するとともに、生涯学習支援者区内大学と連携を図り、充実した講座内容を企画します。
R5	引き続き、諸外国の人々や文化について学び、理解することや、多様な価値観の尊重、外国語によるコミュニケーション能力向上等、世界情勢も踏まえた講座を実施しました。	引き続き、諸外国の歴史や文化、習慣等を理解するほか、外国語によるコミュニケーション能力向上等、国際的な視野を持ち、多文化共生の意識のの普及を図ります。
R6	各期において、諸外国の歴史や文化、外国語によるコミュニケーション能力向上等、多くのメニューの提供が叶いました。	引き続き、外国の歴史や文化の理解、外国語に関する講座を実施するとともに、国外の交流都市に関する講座の実施についても検討します。
R7	友好都市を含む諸外国の歴史や文化、語学など多彩な講座を引き続き実施し、区民から高い関心が寄せられ、多数の応募がありました。目標にはわずかに届かなかったものの、受講者数は前年度を上回り、国際理解を深める機会を広く提供することができました。	引き続き、区民の関心が高い語学や諸外国の歴史・文化に関する講座を提供するとともに、新規テーマの開拓による潜在的ニーズの掘り起こしに努め、さらなる国際理解の推進と受講者数の増加を図ります。

5－②－イ　都市交流フェスタ

事業概要

外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。

指標：都市交流フェスタの来場者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
実績（D）	1,300	4,785	6,079	14,110	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	４年振りに対面での国際交流フェスタを実施し、前回（令和元年度）より来場者数が200人増加しました。また、国内交流自治体の物産店を実施する等国内の魅力発信も併せて行いました。 文化体験コーナーが特に好評であり、文化体験等を通じた異文化交流の機会とすることができました。	国際交流のみならず、国内交流の魅力発信を充実させ、双方の文化に触れてもらうイベントへと規模を拡大します。そのため、在住・在学外国人をはじめ新たな参加者を誘客でき、かつ、交流自治体の認知度向上へつながる出展を検討し、内容の充実を図ります。
R5	礫川公園でのキッチンカー出店や、道路を一部規制しトラックステージを設置するなど、事業内容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者が約3,500人増加しました。また、交流自治体のご当地キャラクターとのふれあいや国内外の文化体験などを通じて、交流自治体の認知度向上や異文化交流の機会とすることができました。	開催期間の見直しなど、より参加者の方が楽しみながら文化体験等ができるイベントとなるよう、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体との協働により住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機会とします。
R6	初の２日間開催とし、前回より来場者が約1,300人増加しました。初日は、熊本県縁の竹あかりのライトアップを実施し、交流自治体の特産品及びグルメを来場者に楽しんでもらうことができました。２日目は、前年度に引き続き文京シビックセンター及び礫川公園を一体的に活用し、国内外の文化体験及び交流自治体による物産展等多様なプログラムを通じて、より多くの方に交流都市の魅力を体感してもらうことができました。	区及び交流自治体の魅力発信の強化として、観光及び文化等の体験内容の充実を図ります。また、交流自治体と協働し、来場者に区及び交流自治体の魅力を多角的に発信できるイベントへと発展させていきます。
R7	開催会場を３か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約8,000人増加しました。初日には、昨年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。 ２日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティ　ラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力の発信をすることができました。	区制施行80周年という節目の開催であることを踏まえ、より多くの区民に区及び交流都市の魅力を発信するとともに、住民間の相互交流の一層の促進を図るため、「文京区×交流都市ハッシュタグキャンペーン」事業の相乗展開など、内容の充実・高度化を図っていきます。

5－②－イ　国際理解促進事業

事業概要

姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。

指標：区内関係団体との連携事業数（件）/事業への参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400
実績（D）	6/350	6/1,771	10 /753	6/3,157	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	オンラインを用いた交流会を実施するとともに、対面での講座を再開することができました。しかし、交流事業内容及び実施状況によって参加者は年度によって大きく増減しています。 参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。	対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、対象者含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。
R5	トルコ文化講座を新規開設し、区民が多様な文化に触れる機会を創出しました。周年事業として、トルコ写真展を開催したため、参加者が大幅に増加しました（トルコ写真展参加者：1,426人）。また、留学生との交流会を拡充する等住民間の交流の機会を促進することができました。	前年度同様、対面実施のニーズが高いため、講座内容及び開催時間帯等区民ニーズを的確に把握し、参加者増加を図ります。また、オンラインを活用した講座の実施についても、引き続き検討します。
R6	友好都市提携10周年を迎えるベイオウル区等、交流自治体に関わる文化講座等を実施しました。トルコ文化講座では、ワークショップ及び古典音楽コンサート等体験を通じて、多くの区民がトルコ文化に触れる機会を提供しました。 また、観光担当と協働して留学生との交流会を拡充する等、日本人と外国人の交流の機会を促進することができました。	引き続き、講座内容や開催日時等の区民ニーズを的確に把握し、参加者数の増加を図ります。特に、講座内容はターゲットに合わせた内容を検討するとともに、SNSの活用等の効果的な事業周知を行います。
R7	６月の同日に２回、韓国文化講座を実施しメドゥプ（組紐）のキーホルダーを作成を通じて伝統的な文化を学び、交流都市の魅力に触れました。８月には、文京区・ベイオウル区友好都市提携10周年記念事業としてトルコフェスタを開催しました。トルコ関連のステージパフォーマンス、文化体験ワークショップ、雑貨・食品の販売を行い、トルコ文化に親しむ機会を提供することができました。 また、昨年度に引き続き観光担当と共同してやさしい日本語を通じた留学生との交流会を実施し、相互の国際理解促進のための交流が行われました。	引き続き、様々な年代層の方に参加いただけるような事業の実施やSNS等を活用した広報を行いつつ、様々な事業を通じて交流都市の魅力を身近に感じられる機会を創設していきます。

ウ 横断的な交流事業の展開

5－②－ウ 国際理解促進事業【再掲】

事業概要

姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。

指標：区内関係団体との連携事業数（件）/事業への参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400
実績（D）	6/350	6/1,771	10/753	8/3,252	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	オンラインを用いた交流会を実施するとともに、対面での講座を再開することができました。しかし、交流事業内容及び実施状況によって参加者は年度によって大きく増減しています。 参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。	対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、対象者含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。
R5	トルコ文化講座を新規開設し、区民が多様な文化に触れる機会を創出しました。周年事業として、トルコ写真展を開催したため、参加者が大幅に増加しました（トルコ写真展参加者：1,426人）。また、留学生との交流会を拡充する等住民間の交流の機会を促進することができました。	前年度同様、対面実施のニーズが高いため、講座内容及び開催時間帯等区民ニーズを的確に把握し、参加者増加を図ります。また、オンラインを活用した講座の実施についても、引き続き検討します。
R6	友好都市提携10周年を迎えるベイオウル区等、交流自治体に関わる文化講座等を実施しました。トルコ文化講座では、ワークショップ及び古典音楽コンサート等体験を通じて、多くの区民にトルコ文化に触れていただける機会を提供することができました。 また、観光担当と協同して留学生との交流会を拡充する等、日本人と外国人の交流の機会を促進することができました。	引き続き講座内容、開催日時等の区民ニーズを的確に把握し、参加者数の増加を図ります。特に、講座内容はターゲットに合わせた内容を検討するとともに、SNSの活用等の効果的な事業周知を行います。
R7	6月の同日に2回、韓国文化講座を実施しメドゥプ（組紐）のキーホルダーを作成を通じて伝統的な文化を学び、交流都市の魅力に触れました。8月には、文京区・ベイオウル区友好都市提携10周年記念事業としてトルコフェスタを開催しました。トルコ関連のステージパフォーマンス、文化体験ワークショップ、雑貨・食品の販売を行い、トルコ文化に親しむ機会を提供することができました。 また、昨年度に引き続き観光担当と協同してやさしい日本語を通じた留学生との交流会を実施し、相互の国際理解促進のための交流が行われました。	引き続き、様々な年代層の方に参加いただけるような事業の実施やSNS等を活用した広報を行いつつ、様々な事業を通じて交流都市の魅力を身近に感じられる機会を創設していきます。

（3）分野別基本方針③　外国人が活躍できる環境づくり
ア　多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実

５－③－ア　外国人の日常生活支援のための多言語化

事業概要

外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、区窓口での手続きの効率化を図っています。

指標：全庁調査により多言語化した文書数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	30	30	30	30	30
実績（D）	30	31	32	51	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	各課で外国人の日常生活支援のための多言語化を促進するために、全庁の翻訳希望文書を集約し、令和４年度は11課において、７言語、30文書を翻訳しました。更新を含め、最多の文書を翻訳し、各課で活用をしました。	これまで８言語の翻訳をしましたが、多くの文書の翻訳は英語、中国語、韓国語に留まっています。今後、各課において多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応できるように、体制を構築します。
R5	各課で外国人の日常生活支援のための多言語化を促進するために、全庁の翻訳希望文書を集約し、令和５年度は16課において、６言語、31文書を翻訳しました。更新を含め、最多の文書を翻訳し、各課で活用をしました。	多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応できるように、各課でそれぞれ多言語化を実施します。引き続き各課からのニーズに応じて、必要な支援を行います。
R6	令和６年度から各課でそれぞれ多言語化を実施しています。13課において、新たに９言語、32文書の翻訳を実施し、行政文書を多言語化しました。また、各課が翻訳を実施する際には、実施方法等について希望に応じて必要な支援を行いました。	引き続き、全庁の行政文書の多言語化を推進するために、各課の行政文書の翻訳について、必要な支援を行っていきます。
R7	令和６年度から引き続き各課でそれぞれ多言語化を実施しています。14課において、８言語、51文書の翻訳を実施し、行政文書を多言語化しました。また、各課が翻訳を実施する際には、実施方法等について希望に応じて必要な支援を行いました。	引き続き、全庁の行政文書の多言語化を推進するために、各課の行政文書の翻訳について、必要な支援を行っていきます。

5－③－ア　国際理解促進事業【再掲】

事業概要

やさしい日本語を活用した留学生との交流会を開催

指標：交流会への参加者数（人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	30	30	30	30	30
実績（D）	31	70	81	59	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	やさしい日本語を活用した留学生との交流会を、Zoomを用いたオンラインでの開催をし、区民と留学生の交流する機会を提供することができました。参加者アンケートからオンラインの有効性もあるものの、対面実施のニーズがあることも確認しました。	対面及びオンラインを活用したハイブリット型の連携事業を検討するとともに、区民ニーズを的確に把握し、難易度及び対象者を含めた講座内容の精査等を行い、参加者増加を図ります。
R5	やさしい日本語を活用した留学生との交流会を拡充し、基礎編及び発展編の２回連続講座を開催しました。やさしい日本を学び、実践するとともに区民と留学生の交流する機会を提供することができました。	基礎編及び発展編と体系的に学ぶことで、区民の満足度が高まり、留学生含め参加者の交流が活発になることがアンケートからわかりました。今後も取り組みを継続します。
R6	やさしい日本語を活用した留学生との交流会を拡充し、基礎編及び発展編の２回連続講座を年２回開催しました。やさしい日本語を学び実践するとともに、区民と留学生が交流する機会を提供することができました。また、区民と留学生が区内の観光スポットをテーマに交流する等内容の充実を図りました。	昨年度と同様に、やさしい日本語を体系的に学ぶことで区民満足度が高まることがわかりました。区民が国籍問わず交流する機会として、引き続き取組を継続します。また、観光分野等の連携を強化し、更なる内容の充実を図ります。
R7	やさしい日本語を用いた留学生との交流会を年間を通じて拡充し、連続講座を定例化しました。継続的な学習機会と、地元をテーマに区民と留学生が共に考える交流の場を提供することで、相互理解を深め、地域共創の促進に繋げることができました。	やさしい日本語を学び更に実践する本交流会については引き続き高い需要があるため、今後も継続していきます。また、留学生と実際に交流できる点に特に意義を感じる参加者が多いため、交流会の中でもよりコミュニケーションの実践を充実させられるような事業づくりに取り組みます。

イ 外国人の活躍できる場の提供支援

5－③－イ 区内大学、ボランティア団体等との協働・連携

事業概要

「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。

指標：協働・連携した事業数（件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標（P）	1	2	2	2	3
実績（D）	1	1	2	2	

	成果・評価（D・C）	次年度に向けた取組等（A）
R4	外国人にとって異国の地で慣れた言語で相談できる場所を提供することに一定の需要がありました。区の手続きの際にチラシを見たり、紹介を受けて知ったりという案件があり、共催の効果が見られました。	区内在住外国人支援につながる後援等事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体との協働の在り方を検討していきます。
R5	令和４年度と同様に実施をし、相談者も７組から９組へと増加し、一定の需要があることが改めて確認でき、共催の意義をあったと考えられます。	引き続き区内在住外国人支援につながる後援等事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体との協働の在り方を検討していきます。
R6	令和５年度に引き続き外国人のための専門家相談会を実施し、20人の参加がありました。 また、Bチャレ事業の一環として区内団体と協働し、日本文化の体験を通じ区内在住外国人と日本人が交流する機会を創出しました。	引き続き区内在住外国人支援につながる事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体等との協働について、関係部署等と改めて検討します。
R7	昨年に引き続き外国人のための専門家相談会を実施し、12人の参加者から20件の相談がありました。 また、Bチャレ事業の一環として区内団体と協働し、日本文化の体験を通じ区内在住外国人と日本人が交流する機会及び外国人支援に興味のある人材を具体的な活動につなげる機会を創出しました。	引き続き区内在住外国人支援につながる事業について、情報を積極的に発信していくとともに、関係団体等と協働して外国人を含む区民への国際交流機会提供等に努めていきます。

第8章　事業実施状況調査の調査結果

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
1　学習活動　①　いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり　ア　多様なニーズに応じた学習機会の充実（p.23）								
1	1	1－①－ア	文京アカデミア講座	区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、バラエティに富んだ講座を提供します。	前期　（5～7月）　31講座　792人（定員783人／応募者数1,282人） 後期　（9～12月）31講座　837人（定員849人／応募者数1,363人） 後期Ⅱ（1～3月）　13講座　336人（定員335人／応募者数511人）	前期　（5～7月）　31講座　745人（定員773人／応募者数1,551人） 後期　（9～12月）32講座　809人（定員824人／応募者数1,153人） 後期Ⅱ（1～3月）　15講座　364人（定員384人／応募者数470人）	国内の協定自治体や国外の友好都市等をテーマとした幅広い講座を提供し、本区のオリジナリティを活かした学習機会の充実を図ることで、交流自治体への区民の理解と認知度を高める内容となり、アンケートでも高い評価を得ました。	アカデミー推進課
2	2	1－①－ア	文京いきいきアカデミア講座	高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数（単位）をもって卒業認定とします。	第9期2年次（専門課程） （令和7年4月～令和8年3月） 第1学年「教養課程」を修了した者が履修 ・区内ミュージアム見学を中心とした講座（共通講座：5講座　必修） ・様々なテーマについてにした講座（特別講義：5講座　選択） ・文京アカデミー主催の講座の受講（選択） 卒業者数：54名（定員60名・応募者数85名・受講者数60名・進級者数57名）	第9期1年次（教養課程） ①1学期　令和6年6月5日（水）～7月24日（水）　8回 ②2学期　令和6年10月9日（水）～12月11日（水）　8回 ③3学期　令和7年1月15日（水）～令和7年3月19日（水）8回 受講者数：60名（定員60名・応募者数85名） 進級者数：57名	受講生への丁寧なサポートに努めた結果、全体的に高い出席率を維持し、進級した57名のうち54名が必要単位を取得して卒業しました。講座内容も好評を得たほか、学習活動を通じた受講生同士の仲間づくりにも繋がるなど、高齢者の多様な学習ニーズへの対応や生きがいづくりにおいて成果を得ました。	アカデミー推進課
3		1－①－ア	企業等連携講座（メセナ講演会）	企業等が社会貢献活動の一環として実施するビジネスやマネジメントをはじめとした多様な講座の企画・提案を募り、協力・連携して講座（講演会）を開催します。	「一歩から変わる！文京まち歩き＆ウォーキングの楽しみ方」 実施日：令和8年2月7日（土） 受講者数：55人（定員51人／応募者数104人） 会場：シビックホール会議室 講師：一社）日本ウオーキング協会 健康ウオーキング指導士 倉方　てる美	「ガイドマップや観光案内とは一味違う、 ディープな街の魅力！！」 実施日：令和7年1月30日（木） 受講者数：38人（定員30人／応募者数103人） 会場：大塚地域活動センター　オープンスペース 講師：茗荷谷界隈PROJECT　主宰　稲富　滋	文京区のみどころや魅力、文化や歴史を紹介するまち歩きMAPの新装改訂版発行に伴い、「まち歩き」をはじめ、歩くことのプロフェッショナルといえる（一社）日本ウオーキング協会より講師を招き、文京区を拠点とするプロフェッショナルだからこその、まち歩きのノウハウやまち歩きをより楽しむコツなどを、実技を交えてお話いただきました。	アカデミー推進課
4		1－①－ア	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期　（5～7月）　13講座　316人（定員318人／応募者数452人） 後期　（9～12月）7講座 174人（定員184人／応募者数321人） 後期Ⅱ（1～3月）　5講座　140人（定員134人／応募者数231人）	前期　（5～7月）　7講座　149人（定員148人／応募者数339人） 後期　（9～12月）14講座 333人（定員348人／応募者数499人） 後期Ⅱ（1～3月）　5講座　108人（定員108人／応募者数161人）	諸外国の歴史や文化、語学など多彩な講座を実施したところ、区民から高い関心が寄せられ、多数の応募がありました。これにより、国際理解を深める機会を広く提供することができました。	アカデミー推進課
5		1－①－ア	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会の充実	男女平等参画社会の実現に向けた学習機会を提供します。	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・雇用主研修会（共催事業）804人（うち区民72人） ・女性しごと応援キャラバンin文京（12/9開催）84人（うち区民12人） ・文京SOGIにじいろ映画会（昼の部：81人、夜の部：42人） ・国際女性デー企画（男女平等参画事業委託_女性活躍推進事業と同時開催）246人 ・プラスワンセミナーⅠ36人 ・プラスワンセミナーⅡ46人 ・プラスワンセミナーⅢ16人 ・男女共同参画週間記念イベント 98人 ・家庭生活への参画支援事業（7/26開催）16人、（10/8開催）16人 ・配偶者等暴力防止啓発事業 19人	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・女性しごと応援キャラバンin文京（9/9開催）73人（うち区民9人） ・女性しごと応援キャラバンin文京（12/17開催）53人（うち区民5人） ・文京SOGIにじいろ映画会（昼の部：56人、夜の部：50人） ・国際女性デー　190人 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念事業 70人 ・男女平等センターまつり講演会 107人 ・女性活躍推進事業 105人 ・配偶者等暴力防止啓発事業 32人 ・社会参画支援事業（プラスワンセミナー）（7/13開催）29人、（8/3開催）23人、（9/7開催）56人、（12/7開催）43人 ・家庭生活への参画支援事業（6/22開催）12人、（7/27開催）12人、（7/28開催）12人 ・区政を知る事業（8/8開催）26人、（1/28開催）33人 ・利用者懇談会（7/19開催）28人、（11/14開催）28人 ・登録団体企画助成事業 48人 ・登録団体活動報告会 37人	仕事、家庭、文化などの様々な切り口で男女平等についての学習機会を提供することができましたが、根強く残る固定的な性別役割意識の解消や男女平等に対する意識の醸成のため、継続的に学習の場を提供していく必要があります。 また、男女平等参画についての意識形成を図るため、幅広い世代に事業の周知が行き届くよう、広報やテーマ等の工夫を図る必要があります。	総務課
6		1－①－ア	生活技術を身につける学習機会の充実	豊かに安全で生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実します。	○避難所総合訓練 ・実施場所：第八中学校・金富小学校・林町小学校・本郷台中学校 ・参加人数：833人 ○防災フェスタ ・実施場所：教育の森公園・文京スポーツセンター ・参加人数：3,136人	○避難所総合訓練 ・実施場所：礫川小学校・昭和小学校・第六中学校・小日向台町小学校 ・参加人数：1,157人 ○防災フェスタ ・実施場所：教育の森公園・文京スポーツセンター ・参加人数：3,062人	新型コロナウイルス感染症の収束も経て、地域の防災活動が活発に行われており、総合防災訓練も計画どおりに実施できました。	防災危機管理課
7		1－①－ア	職業に関する学習機会の充実	経営者や従業員が必要としている知識・技術の習得を図るため研修や講演会等を開催する他、従業員の新たな能力の開発を支援します。	中小企業向けセミナー 16回 中小企業向け講演会　2回 中小企業人材強化支援事業補助金（申請16件）	中小企業向けセミナー 16回 中小企業向け講演会　2回 中小企業人材強化支援事業補助金（申請5件）	区内の中小事業者向けにセミナーや補助事業を実施し、経営に必要な知識・技術の習得、従業員の新たな能力の開発を支援することができました。	経済課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
8		1－①－ア	職業に関する学習機会の充実	区内での創業や再就職を目指す人に対し、実践的な知識・技術を学ぶ機会を提供します。	創業支援セミナーひとりで起業編（全5回、オンライン） 創業支援セミナー入門編（オンライン） 創業支援セミナー実践編（全5回、オンライン） 創業支援セミナーワンスポットセミナー（オンライン） リカレント教育課程等受講料助成金（11件）	創業支援セミナーひとりで起業編（全5回、オンライン） 創業支援セミナー入門編（オンライン） 創業支援セミナー実践編（全5回、オンライン） 創業支援セミナーワンスポットセミナー（オンライン） リカレント教育課程等受講料助成金（6件）	区内での創業や再就職に必要な知識・技術を学ぶ機会を提供することができました。	経済課
9		1－①－ア	生活技術を身につける学習機会の充実	安全で豊かに生活するための技術を身につけることのできる学習機会を充実します。	・消費生活研修会　7回実施 ・消費生活推進員養成講座　7回実施	・消費生活研修会　8回実施 ・消費生活推進員養成講座　8回実施 ・消費生活推進員フォローアップ講座　2回	時流を捉えたテーマの研修会を土・日に開催し、当センター情報誌や区報にて周知を行いました。各回、募集定員を超える申し込みをいただきました。	経済課（消費生活センター）
10		1－①－ア	生活技術を身につける学習機会の充実	こどもの生活技術向上を高める学習機会を提供します。	・夏休み子ども向け消費生活研修会　9回 ・夏休み子ども向け出前講座（児童館・育成室）　16回 ・金銭教育講座（小学生対象、1回（対面開催））	・夏休み子ども向け消費生活研修会　9回 ・夏休み子ども向け出前講座（児童館・育成室）　15回 ・金銭教育講座（小学生対象、2回（対面開催））	登録消費者団体と連携し、子ども向け研修会及び出前講座を開催しました。 今後も団体と協働して、こどもが楽しく学ぶことができる講座を開催していきます。	経済課（消費生活センター）
11		1－①－ア	障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供します。	各種障害者対象講座の開催（音楽、料理、ダンス、陶芸、パソコン、フラワーアレンジメント講座等）	各種障害者対象講座の開催（料理、スマホ、パソコン、フラワーアレンジメント講座等）	各種講座の開催は、学習機会の提供のみならず、障害者のふれあいの場、交流の場となっています。	障害福祉課
12		1－①－ア	文の京ハートフル工房（障害者施設商品販売会）における区内大学との地域連携	毎月1回開催されている文の京ハートフル工房（障害者施設商品販売会）で、区内大学学生との協働として販売会内でのイベント企画等を行います。学生は障害者と接する学びの機会となっています。	・読売理工医療福祉専門学校サークルによるランチタイムイベント（よさこい踊り披露） 開催日：令和7年10月28日（火） ・尚美ミュージックカレッジ専門学校によるランチタイムイベント（クリスマスコンサート） 開催日：令和7年12月23日（火）	・読売理工医療福祉専門学校サークルによるランチタイムイベント（よさこい踊り披露） 開催日：令和6年8月27日（火） ・尚美ミュージックカレッジ専門学校によるランチタイムイベント（クリスマスコンサート） 開催日：令和6年12月24日（火）	例年と同じく、区内の2校と連携をし、ハートフル工房内でのイベントを2度実施しました。イベントの開催により例月の開催よりも、多く集客をすることができました。また、販売会に参加していただいている障害当事者の方からも本イベントを楽しみにしているといった声をいただいており、お客様と販売側の双方への効果を得ることができました。	障害福祉課
13		1－①－ア	レッドリボン展	ギャラリーシビックでエイズ啓発物を展示します。	12月2日(火)10時～18時 12月3日(水)10時～15時 来場者数（2日間合計）：687人 同時開催「知っておきたい感染症予防豆知識」 共催：アース製薬 協力：㈱オカモト、参加団体：IFMSA-Japan SCORA 展示内容：①HIV啓発パネル・梅毒啓発パネル・性感染症予防啓発パネル・HIV検査、梅毒パネル（保健サービスセンター）　②㈱オカモト展示　③参加団体学生によるパネル展示のお話ツアー　④尚美ミュージックカレッジ専門学校展示 レッドリボンコンサート：12月2日(火)12時15分～12時45分　尚美ミュージックカレッジ専門学校による歌のコンサート	12月４日（木）10時～18時 12月５日（金）10時～15時 来場者数（2日間合計）：668人 同時開催「知っておきたい感染症予防豆知識」 共催：アース製薬 協力：㈱オカモト、カトリック中央協議会HIVデスク 展示内容：HIV啓発パネル・梅毒啓発パネル・性感染症予防啓発パネル・HIV検査、梅毒パネル（保健サービスセンター）・㈱オカモト展示 レッドリボンコンサート：12月４日（木）尚美ミュージックカレッジ専門学校によるHIVエイズに関する歌のコンサート	HIV・エイズの関する知識の普及および理解を目的としてレッドリボン展を開催しています。令和7年度は「知らない人には知ってもらう・知ってる人にはアップデートしてもらう」をテーマに、東京都発行資料「たんぽぽ」からHIV陽性者の声のパネルを新たに作成しました。また展示の理解が深まるよう、会場ではクイズを配布し、IFMSA-Japan SCORA（医療系学生団体）に所属する学生をツアーガイドとする「お話ツアー」を開催しました。アンケート結果では、「HIV・エイズへの理解が深まったか」と回答した人が、お話ツアー参加者で約7%高く、自由記載欄にも「分かりやすかった」「若い方から伝えることが大切と思った」など、医療系学生ツアーによる解説の分かりやすさが好評でした。今後も昨今の動向を反映した企画を実施していきたいです。	予防対策課
14		1－①－ア	自転車実技講習会	自転車の利用・点検や整備について理解を深め、交通のきまり、約束等を守って安全な乗車ができるようにします。	計1回161名実施 小学3年生免許証配布枚数　717枚	計１回165名実施 小学校３年生免許証配布枚数　1,778枚	自転車実技講習、DVD・リーフレット等を使った交通安全教室により、小学生３年生に対し自転車利用安全（ルール・マナー）の周知を図ることができました。	管理課
15		1－①－ア	自然散策会	自然の植物と親しみ、緑に対する関心を深めるとともに、自然保護に対する意識の高揚を図るため、自然散策会を開催します。	（1）夏（5/17）小石川後楽園 定員：30名、応募：40名、参加者：21名 （2）秋（9/28）教育の森公園、スポーツセンター多目的室 定員：40名、応募：59名、参加者：42名 （3）冬（12/6）新宿御苑 定員：30名、応募：43名、参加者：26名	（1）夏（5/18）新宿御苑 定員：30名、応募：72名、参加者：26名 （2）秋（9/29）小石川植物園 定員：30名、応募：16名、参加者：16名 （3）冬（12/7）東京大学本郷キャンパス 定員：30名、応募：150名、参加者：29名	参加者の方々から内容や開催場所について好評を得ており、毎年人気が高く多数の応募が見込まれます。 特に東京大学の人気が高く、今後の開催地の参考になりました。	みどり公園課
16		1－①－ア	植物講演会	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、小学生を対象とした講演会を開催します。	7/13（日）　13:30～15:30 参加人数：予定25組（保護者含む50名） 当日18組（保護者含む38名） 開催地：レクリエーションホール（文京シビックセンター地下1階）	7/21（日）　13:30～15:30 参加人数：予定25組（保護者含む45名） 当日21組（保護者含む55名） 開催地：文京シビックセンター4階（シルバーセンター）	小学生の夏休み期間に実施されるため、多数の応募が見込まれます。 参加する児童の両親が一緒に参加し、例年の参加人数より多い人数での開催となりました。会場の状況を考え人数調整を検討します。	みどり公園課
17		1－①－ア	苗木配付	みどりに関する知識の普及及び啓発を行うため、東京都苗木生産供給事業を活用し、文京区民を対象とした苗木配付事業を実施します。	10/11（土）10:00～12:00 参加人数：定員175名（抽選）、参加者118名 開催場所：礫川公園	10/12（土）10:00～12:00 参加人数：定員180名（抽選）、参加者140名 開催場所：礫川公園	配布は人気の高い樹種を選定して実施しています。 毎年多数の応募があり倍率も高いため、配布数を増やす事も検討しているが、当日の配布が先着順で会場から溢れる人数が来場してしまうかもなどの懸念事項があります。	みどり公園課
18		1－①－ア	親子環境教室	環境意識啓発を目的として「体験を通じて、考え、調べ、学び、行動する」という体験型環境学習の機会を提供します。	6回開催 定員：親子30組（4回）、40組（2回） 参加人数：延べ152組326人 （平成3年度より事業開始）	6回開催 定員：親子30組（4回）、40組（2回） 参加人数：延べ155組352人 （平成3年度より事業開始）	6回開催のうち2回の講座の定員を40組に増やし開催したところ、うち1回（最終回）の参加人数が定員に達しなかったため、開催時期等を検討します。	環境政策課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
19		1－①－ア	文京ecoカレッジ　公開講座	3Rの推進・啓発を図るため、環境・リサイクル分野の専門家による公開講座を一般区民向けに行います。	事業終了	令和6年度の実施について、共催団体より実施困難な旨連絡を受けた。また、区主催で実施している「モノ・フォーラム」という類似事業があるため、令和5年度の実施をもって終了。	事業終了	リサイクル清掃課
20		1－①－ア	文京ecoカレッジ　モノ・フォーラム	モノ・プランの推進を目指しごみ減量への区民向けの普及啓発の一環として年1回フォーラムを開催します。	令和8年3月13日（金）に、文京ecoカレッジモノ・フォーラム「現場から見た！プラスチックのリサイクル」を区民センターにて実施しました。 対象：区内在住・在勤・在学者　定員：40名　参加者：61名	令和7年3月14日（金）に、文京ecoカレッジモノ・フォーラム「食品ロス削減と今日からできるエシカル消費」を区民センターにて実施しました。 対象：区内在住・在勤・在学者　定員：30名　参加者：13名	講座を通して、プラスチック分別について啓発しました。	リサイクル清掃課
21		1－①－ア	家庭教育講座	家庭における教育力の向上のため、講座・講演会を開催します。	・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所は、シビックセンター地下1階レクリエーションホール ①6月10日（53人＋CATV配信） ②7月7日（40人＋CATV配信） ③8月1日（45人＋児童27人） ④9月18日（36人） ⑤10月10日（48人） ⑥11月6日（59人） ⑦12月1日（11人）	・年中児から中学生を子育て中の区内在住・在勤者を主な対象として、講座・講演会を開催しました。 ・実施場所は、シビックセンター地下1階レクリエーションホール及び区民センター ①6月11日（70人） ②7月8日（39人） ③8月8日（12人＋児童8人） ④9月17日（46人） ⑤10月10日（72人） ⑥11月19日（19人＋CATV配信） ⑦12月10日（70人） ⑧9月10日（17人）	参加者アンケートを見ると、講座の評価は約96%が「よい」でした。内容については、前年度の運営委員会の意見を参考にして、充実を図っています。参加した方には、どの講座も大変好評で、保護者の意識啓発につながっています。	教育総務課
22		1－①－ア	青少年委員による学校支援活動等	青少年委員会に、学校支援に深く関わりのある事業を委託することにより、地域とのつながりを深め、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するとともに、青少年の健全育成を推進します。	6事業を青少年委員会へ委託しました。 ・六者合同研修会（6月実施、講師：（公財）日本ユニセフ協会 学校事業部　池田　礼子氏） ・中学生サミット（7月・12月実施、各区立中学校生徒会役員が参加） ・東京グリーンウォーク（区内在住・在学の小学4年生から中学3年生がSDGsを学びながら東京の自然を20kmを歩いた。10月実施） ・遊びと学びのキャラバン隊（区内在住・在学の小学1年生から小学3年生が、8月に夏ならではの水を使った内容で窪町小学校で実施） ・青少年委員会HPの更新 ・はたちのつどい「小・中学校からのメッセージコーナー」（1月実施）	6事業を青少年委員会へ委託しました。 ・五者合同研修会（6月実施、講師：成蹊大学文学部現代社会学科教授　澁谷　智子氏） ・中学生サミット（6月・12月実施、各区立中学校生徒会役員が参加） ・東京グリーンウォーク（区内在住・在学の小学4年生から中学3年生がSDGsを学びながら東京の自然を20kmを歩いた。10月実施） ・遊びと学びのキャラバン隊（区内在住・在学の小学1年生から小学3年生が、8月に夏ならではの水を使った内容で千駄木小学校で実施） ・青少年委員会HPの更新 ・はたちのつどい「小・中学校からのメッセージコーナー」（1月実施）	他校の児童や生徒の交流の場を提供しており、多くの事業において定員を超える参加の応募があります。地域とのつながりを深めることが出来ました。以前好評だった水を使った小学生向け事業も多くの児童が参加したり、中学生サミット連絡会ではこどもの権利について討論するなど、青少年の健全育成に貢献しました。	教育総務課
23		1－①－ア	「Society5.0の教室」プロジェクト	児童・生徒に一人一台ずつ配備されたタブレット端末や、各教室に配置されているアクティブボードや電子黒板等ICT機器、通信ネットワークやクラウド環境を活用し、Society5.0時代の到来を見据えた、従来の指導方法にとらわれない新しい授業スタイルを創造する。	・「Society5.0の教室」推進委員会 年間　3回 ・「Society5.0の教室」通信 年間23回	・「Society5.0の教室」推進委員会 年間　3回 ・「Society5.0の教室」通信 年間24回	各学校の情報教育担当の教員を対象とした委員会を開催することにより、授業におけるタブレット端末の効果的な活用場面だけではなく、児童・生徒の情報活用能力の向上についての視点を教員へもたせることができました。 教育指導課から実践事例を通信として発行することで、全教職員への実践力向上に寄与しました。	教育指導課
24		1－①－ア	幼児・児童・生徒を対象とした事業の充実	児童館において、遊びを通じた学習の機会となり、かつ異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供します。	消毒、換気等の感染症対策を講じつつ、新型コロナウイルス感染症拡大前の規模に戻して児童館各種行事（工作、ビンゴ、卓球教室、季節行事等）を実施しました。	消毒、換気等の感染症対策を講じつつ、新型コロナウイルス感染症拡大前の規模に戻して児童館各種行事（工作、ビンゴ、卓球教室、季節行事等）を実施しました。	遊びを通じた学習の機会となり、かつ、異年齢との交流の機会となる、幼児・児童・生徒を対象とした事業を提供しました。	児童青少年課
25		1－①－ア	文京区「家庭の日」啓発	毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいや結びつきを深めるため、各種啓発事業を展開しています。	区立小学校へ家庭の日啓発として植物の種を配布しました。	区立小学校へ家庭の日啓発として植物の種を配布しました。	区立小学校全児童へ配布し、親子のふれあいを促進しました。	こども若者支援課
26		1－①－ア	科学教育事業の充実（子ども科学カレッジ）	区内大学等の研究者を講師として招き、小学校4年生～中学生を対象に、大学の高度な学術研究の成果を体験できる講座を開催します（全15回を予定）。	・子ども科学カレッジ 15講座 参加者　333名（対象：小学4年生から中学3年生まで）	・子ども科学カレッジ 15講座 参加者　323名（対象：小学4年生から中学3年生まで）	区内大学等の優れた講師による講座や最新の科学技術に触れるよい機会となっています。	教育センター
27		1－①－ア	教養を高める学習機会の充実	教養等に関する区民の要求に応える学習機会を充実するため、政治や選挙に関する教養講座を開催します。	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を6回実施	区内における学校に対して、選挙出前授業・模擬選挙を7回実施	模擬選挙を行った際のアンケート結果では将来投票に行くと9割以上が答えています。令和6年度より区立中学校で輪番制を導入し、毎年3校は実施することになりました。一方で、スケジュール等の都合で実施できていない学校があるため、引き続き区立中学校全校実施に向けた取組みを進めます。	選挙管理委員会
1　学習活動　①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり　イ　だれもが学びを実践できる支援の充実（p.24）								
28		1－①－イ	保育室の設置及び手話通訳者の配置	幼児を持つ親が学習活動に参加できるよう、講座・講演会等の開催時に保育室を設置します。障害者が講座・講演会等に参加できるよう、希望者に手話通訳者を配置します。	前期　（5～7月）　手話対応：8講座 保育対応：22講座 後期　（9～12月）手話対応：13講座 保育対応：23講座 後期Ⅱ（1～3月）　手話講座：7講座 保育対応：13講座	前期　（5～7月）　手話対応：19講座 保育対応：24講座 後期　（9～12月）手話対応：15講座 保育対応：21講座 後期Ⅱ（1～3月）　手話講座：6講座 保育対応：15講座	誰もが学ぶことのできる学習環境を整備するため、各種講座や各種講演会等において、保育サービス及び手話通訳の配置対応に備え、参加者の多様なニーズに応える支援を行いました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
29	3	1－①－イ	夜間・休日の講座開設	平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。	前期 （5～7月） 6講座 144人（定員148人／応募者数241人） 後期 （9～12月） 9講座 214人（定員228人／応募者数294人） 後期Ⅱ（1～3月） 7講座 120人（定員154人／応募者数120人）	前期 （5～7月） 6講座 136人（定員139人／応募者数223人） 後期 （9～12月） 8講座 199人（定員204人／応募者数232人） 後期Ⅱ（1～3月） 7講座 157人（定員158人／応募者数209人）	大学での実施等アカデミア講座において全22講座を夜間・休日に開講したことで、増現役世代等の学習ニーズには一定程度応えられたものの、目標には達しませんでした。	アカデミー推進課
30	4	1－①－イ	生涯学習の相談	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取組めるよう総合的に紹介等を行います。	原則、毎週水曜日・木曜日・金曜日：13：30～16：30 に実施 相談件数 104件	原則、毎週水曜日：10：30～13：30 木曜日・金曜日：13：30～16：30 に実施 相談件数 165件	窓口開設日時をニーズが高い午後の時間帯に統一し、相談者が利用しやすく、効果的な相談対応に努めましたが前年を下回る結果となりました。	アカデミー推進課
31		1－①－イ	学習関連情報の収集・提供	区が集約した行政機関学習関連情報に加え、生涯学習関連機関の情報も積極的に収集、一元化し、区民等に効果的に提供します。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行いました。	行政機関や大学等から届いた公開講座等のポスターの掲示、チラシ配架をアカデミー施設及び図書館等で行いました。	地域アカデミー等の施設で掲示することで区民に広く周知することができ、生涯学習相談等の際に活用できました。	アカデミー推進課
32		1－①－イ	大学等の生涯学習情報の収集	大学の公開講座、社会人入学などに関する情報を収集し、区民等に提供します。また、高校の公開講座の情報も収集します。	公益財団法人文京アカデミー広報誌「スクエア」に掲載のほか、生涯学習フェアでの周知、アカデミー文京内での配架をしました。	公益財団法人文京アカデミー広報誌「スクエア」に掲載のほか、生涯学習フェアでの周知、アカデミー文京内での配架をしました。	各大学で実施される、区民等も参加できる公開講座・セミナー等の情報を掲載、周知したことで、大学の持つ高度かつ専門知識を広く区民・地域への発信に繋がりました。また、生涯学習担当者会議を実施し、情報収集と共有に努めました。	アカデミー推進課
33		1－①－イ	文京アカデミア講座案内、(公財)文京アカデミーHPによる講座・講演会案内及び申込受付	生涯学習講座の受講者募集に合わせ、講座案内、区報、(公財)文京アカデミー広報紙などの活字メディアのほか、(公財)文京アカデミーHP内に講座案内を掲載。申込は、はがきのほか、インターネットからも受け付けます。	アカデミア講座WEB申し込み 前期 （5～7月） 32講座 941件（はがき申込348件） 後期 （9～12月） 31講座 1,016件（はがき申込347件） 後期Ⅱ（1～3月） 18講座 505件（はがき申込97件）	アカデミア講座WEB申し込み 前期 （5～7月） 31講座 1,166件（はがき申込385件） 後期 （9～12月） 32講座 819件（はがき申込297件） 後期Ⅱ（1～3月） 15講座 367件（はがき申込103件）	スキルアップ講座、及び各種パソコン講座の実施によりデジタルデバイドの解消に努めたとともに、広報誌等へQRコードを掲載することで、WEB申込の利便性向上と促進に努める、前年を上回る2,462件の申し込みがありました。一方、はがきによる受付と併用することで、幅広い区民の申込需要に適切に応えることができました。	アカデミー推進課
34		1－①－イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
35		1－①－イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	通常号（4月10日号～3月25日号）は141,200部［年23回（全戸配付）］、新春号（1月1日号）は 65,500部［年1回（新聞折込）］を配付しました。	4月10日 141,000部、4月25日～3月25日号 140,000部 計年23回 1月1日号 68,000部 年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
36		1－①－イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことからも、今後も広い発信に努めます。	広報戦略課
37		1－①－イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	転入者等に文の京わたしの便利帳（令和5年度発行）を配付し、生涯学習関連情報を提供しました。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布（令和5年度発行）	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
38		1－①－イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します（4カ国語併記 日本語・英語・中国語・ハングル）。	転入手続を行った外国人に外国語版生活便利帳［日本語・英語・韓国語・中国語を併記（令和6年度発行）］を配付しました。	外国語版生活便利帳の発行（4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語） 転入者等に配布（令和6年度発行）	4カ国語（日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
39		1－①－イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報（計24回）を多言語版アプリ「カタログポケット」（英語・中国語・韓国語を含む10言語に対応）で配信しました。	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
40		1－①－イ	講座等での保育室の設置	子育て中の保護者が積極的に参加できるよう保育室を設置します。	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・女性しごと応援キャラバンin文京（12/9開催）（利用者3人） ・文京SOGIにじいろ映画会（利用者なし） ・人権と音楽講座（利用者なし） ・国際女性デー企画（男女平等参画事業委託_女性活躍推進事業と同時開催）（利用者5人） ・難民映画祭パートナーズ上映会2025（利用者なし） ・プラスワンセミナーⅠ（利用者1人） ・プラスワンセミナーⅡ（利用者なし） ・配偶者等暴力防止啓発事業（利用者なし）	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・女性しごと応援キャラバンin文京（9/9開催）（利用者2人） ・女性しごと応援キャラバンin文京（12/11開催）（利用者なし） ・文京SOGIにじいろ映画会（利用者3人 ） ・人権と音楽講座（利用者3人） ・国際女性デー（利用者なし） ・難民映画祭パートナーズ上映会2024（利用者2人） 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念事業（利用者1人） ・男女平等センターまつり講演会（利用者1人） ・女性活躍推進事業（利用者2人） ・配偶者等暴力防止啓発事業（利用者1人） ・社会参画支援事業（プラスワンセミナー）（7/13開催）（利用者1人）、（8/3開催）（利用者なし）、（9/7開催）（利用者なし）、（12/7開催）（利用者1人） ・家庭生活への参画支援事業（6/22開催）（利用者なし） ・区政を知る事業（8/8開催）（利用者なし）、（1/28開催）（利用者なし） ・利用者懇談会（7/19開催）（利用者なし）、（11/14開催）（利用者なし） ・登録団体企画助成事業（利用者なし）	区民の方の参加を募る講座やセミナー等は、原則として保育の受入れを準備し周知することで、子育て世帯の参加を促進していく必要があります。	総務課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
41		1－①－イ	講座等での手話通訳者の設置	聴覚障害のある方が講座等に参加できるよう、手話通訳者を配置します。	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・文京SOGIにじいろ映画会　手話通訳者３人 ・国際女性デー企画（男女平等参画事業委託_女性活躍推進事業と同時開催）（利用者なし） ・難民映画祭パートナーズ上映会2025　手話通訳者1人 ・プラスワンセミナーⅡ（利用者なし） ・プラスワンセミナーⅢ（利用者なし） ・男女共同参画週間記念イベント（利用者なし） ・配偶者等暴力防止啓発事業（利用者なし）	【総務課ダイバーシティ推進担当】 ・文京SOGIにじいろ映画会　手話通訳者２人 ・国際女性デー（利用者なし） ・難民映画祭パートナーズ上映会2024（利用者なし） 【男女平等センター事業】 ・男女共同参画週間記念事業（利用者なし） ・男女平等センターまつり講演会（利用者なし） ・女性活躍推進事業（利用者なし） ・配偶者等暴力防止啓発事業（利用者なし） ・社会参画支援事業（プラスワンセミナー）（7/13開催）（利用者なし）、（8/3開催）（利用者なし）、（9/7開催）（利用者なし）、（12/7開催）（利用者なし） ・区政を知る事業（8/8開催）（利用者なし）、（1/28開催）（利用者なし） ・利用者懇談会（7/19開催）（利用者なし）、（11/14開催）（利用者なし） ・登録団体企画助成事業（利用者なし）	聴覚障害のある方が事業に気軽に参加できるよう、引き続き手話通訳付の講座等についての周知を行います。 オンライン事業における手話通訳者の設置は技術的な課題があるため、実施については検討が必要です。	総務課
42		1－①－イ	ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネートを行います。	相談件数　1372件	相談件数　1,034件	ボランティア情報の収集を行い、希望に沿ったボランティアコーディネートを行いました。	福祉政策課
43		1－①－イ	地域学校協働本部事業	地域住民等が学校教育に対する支援活動を行い、こどもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の育成、地域社会全体の教育力の向上を図ります。	平成20年度より開始。令和5年度より全学校に設置。 各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々が、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っています。 平成28年度から開始した地域未来塾は16校で実施しています。	平成20年度より開始。令和5年度より全学校に設置。 各本部に置かれた地域コーディネーターのコーディネートにより、地域の方々が、校外学習の支援、図書ボランティア、職場体験受け入れ先調整などを行っています。 平成28年度から開始した地域未来塾は16校で実施しています。	学習支援ボランティア事業は、少人数での学習支援によりこどもたちの学力向上、学習の習慣づけになっています。 地域コーディネーター及び学習支援ボランティアが不足している学校もあるため、より幅広い人材確保が必要です。	教育総務課
44		1－①－イ	地域資料の充実	区史や古地図等の地域資料を用いた調査・研究に資するため、資料の収集・提供を行うほか、資料を活用した特集展示などを行います。また、貴重な資料を長期的に保存し、幅広い利用者に提供するため、資料のデジタル化を進め、ホームページでの閲覧環境を充実させます。	戦後80年にあたる令和7年度は、文京区で所蔵する地域資料の中から、戦争に関わる歴史資料や、所蔵する書籍などについて特集展示で紹介した。また、地域の民俗史に関わる伝統文化に特化した講座なども行った。	石川県金沢市・熊本県玉名市との協定締結の周年を記念して、両市ゆかりの文学者の業績などを紹介した展示、夏目漱石に関する連続講演会等を実施しました。 後半生を文京区で暮らした故・吉本隆明氏の生誕百年、次女の吉本ばなな氏の生誕60年を記念し、あわせて長女ハルノ宵子氏を紹介する「吉本家の人びと」などを開催しました。	古谷氏の追悼特集では、文京区に長く住み、地域の写真を撮り続けた市井の人を多くの人に知ってもらうことができました。また。特集展示や講座を行うことにより、資料の閲覧・貸出が増加しました。	真砂中央図書館
45		1－①－イ	図書館のインターネット環境の整備	図書館資料の検索等、利用者が多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるよう、インターネット端末を設置するとともに、公衆無線LANサービスを提供します。	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数（延べ） 9,934件	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数（延べ） 11,006件	インターネット端末の利用促進と併せて、公衆無線LANサービスの周知に努めました。	真砂中央図書館
46		1－①－イ	図書館ホームページの充実	利用者の利便性の向上を図るとともに、こども・中高生向けページや電子書籍のページなど、様々な世代や利用目的に応じた情報発信を行い、読書活動を推進します。	・ホームページ（トップページ）アクセス数（延べ） 3,047,513件 ・インターネットによる予約件数（延べ） 1,383,332件	・ホームページ（トップページ）アクセス数（延べ） 3,406,373件 ・インターネットによる予約件数（延べ） 1,459,986件	利用者が常に新しい情報にアクセスできるよう、各図書館の開館状況や行事・特集展示など、情報の更新を随時行い、ホームページの充実を図りました。	真砂中央図書館
47	5	1－①－イ	電子図書館機能の充実	電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。	・電子書籍 貸出数：　33,339点 ・オーディオブック 閲覧数：　8,775 点 ・デジタル地域資料 所蔵点数：　778点（135タイトル）	・電子書籍 貸出数：　39,318点 ・オーディオブック 閲覧数：　6,844 点 ・デジタル地域資料 所蔵点数：　788点（134タイトル）	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行うとともに、利用の増加に向けて、講座を行いました。 文の京デジタル文庫を地域資料デジタルアーカイブに名称変更し、ホームページを一新しました。	真砂中央図書館
1　学習活動　①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり　ウ　身近な学習環境の充実（p.24）								
48	6	1－①－ウ	視聴覚資料等の貸出	学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出しを行います。	貸出件数：127件 16ミリフィルム　26件 ビデオ（VHS）　0件 DVD　101件	貸出件数：160件 16ミリフィルム　41件 ビデオ（VHS）　0件 DVD　119件	保育園・図書館等に対し、計127件の貸出を行いました。また、貴重な視聴覚資料である16ミリフィルムについて、適正な保存環境の維持や現況確認に継続して取り組み、より良い状態での提供に努めました。	アカデミー推進課
49		1－①－ウ	「文の京」施設予約ねっとシステム	利用者サービス及び操作性向上の機能を持った予約ネットシステムの活用により、施設利用者へのさらなる利便性の向上を図ります。	施設予約システム導入施設：75施設	施設予約システム導入施設：75施設 ※令和7年1月より「元町多目的」が新規追加	クレジットカード決済時の利用明細書出力機能および複数端末同時接続防止機能の追加により、利用者の利便性向上と予約機会の公平性を確保するためのシステム改修を行いました。	区民課
50	7	1－①－ウ	文京e-ラーニング	外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。	公開番組数：34番組 視聴件数：3,155件	公開番組数：33番組 視聴件数：2,117件	特別公開講座を新たに配信しました。また、12月からより身近なプラットフォームであるYouTubeでの配信に切り替えたことで視聴のハードルが下がり、アクセス数は前年度を大きく上回る3,155件を記録しました。配信方法の改善により、受講者層の拡大と利便性向上に繋がりました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
51		1－①－ウ	校外施設の区民利用	児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、区民の健康及び余暇活動を促進することを目的として設置されている八ケ岳高原学園について、区民利用者数の増加を図ります。	・一般開放の利用者数 21組 452名 ・少人数利用の利用者数（自主事業） 16組　64名	・一般開放の利用者数 20組 379名 少人数利用の利用者数（自主事業） 7組　26名	インスタグラムを中心とした広報活動により、利用者数が増加しました。	学校施設課
52		1－①－ウ	学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放します。	令和7年度の利用件数及び利用者数 利用件数：10,534件（小学校：5,212　中学校：5,322） 利用者数：326,892人（小学校：208,202　中学校：118,690）	令和6年度の利用者および件数 利用者数：312,140人（小学校：195,556　中学校：116,584） 利用件数：10,688件（小学校：5,380　中学校：5,308）	工事等の影響により学校施設を使用できない期間があり、利用件数は微減しましたが、利用者数は増加し、多くの方に利用していただきました。	学校施設課
53	8	1－①－ウ	電子図書館機能の充実	電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。	・電子書籍 貸出数：　33,339点 ・オーディオブック 閲覧数：　8,775 点 ・デジタル地域資料 所蔵点数：　778点（135タイトル）	・電子書籍 貸出数：　39,318点 ・オーディオブック 閲覧数：　6,844点 ・デジタル地域資料 所蔵点数：　788点（134タイトル）	電子書籍については、資料の特性や利用動向を考慮した選定を行うとともに、利用の増加に向けて、講座を行いました。 文の京デジタル文庫を地域資料デジタルアーカイブに名称変更し、ホームページを一新しました。	真砂中央図書館
1　学習活動　①いつでも、どこでも、だれでも学べる環境づくり　エ　地域の学習拠点としての図書館づくり（p.25）								
54	9	1－①－エ	図書館サービスの充実	図書館資料やレファレンスサービス等の充実を図るほか、各種行事や資料の特集展示などを行い、図書館の利用促進と区民の読書活動の推進を図ります。	・図書館資料 貸出数：　3,330,805点 ・レファレンス件数 2,019件 ・行事実績 映画会：　37回 講演会・講座等：　53回 コンサート・展示会等：　34回 乳幼児向け行事：　337回 幼児・小学生向け行事：　445回 子ども会（人形劇等）：　108回 子ども映画会：　17回	・図書館資料 貸出数：　3,335,922点 ・レファレンス件数 1,914件 ・行事実績 映画会：　40回 講演会・講座等：　59回 コンサート・展示会等：　35回 乳幼児向け行事：　276回 幼児・小学生向け行事：　456回 子ども会（人形劇等）：　99回 子ども映画会：　16回	図書館資料の充実を図るとともに、時節に応じた特集展示及び各種行事を区立図書館全体で年間を通じて随時実施し、区民の読書活動の推進を図りました。 「文の京こども月間」、「里親月間」事業に関連し、図書館資料を活用した展示や様々な行事にも取り組み、情報発信を行いました。 また、図書館システムの更新を実施し、全館にICタグを活用したセルフ貸出機等を導入しました。	真砂中央図書館
55		1－①－エ	地域資料の充実	区史や古地図等の地域資料を用いた調査・研究に資するため、資料の収集・提供を行うほか、資料を活用した特集展示などを行います。また、貴重な資料を長期的に保存し、幅広い利用者に提供するため、資料のデジタル化を進め、ホームページでの閲覧環境を充実させます。	４月には、元町ウェルネスパークのオープンに因み、元町小学校元町公園を紹介、10月には、地元の写真家・古谷氏の追悼特集を展示、開館50年を迎える1月には真砂中央図書館についての展示を行いました。	石川県金沢市・熊本県玉名市との協定締結の周年を記念して、両市ゆかりの文学者の業績などを紹介した展示、夏目漱石に関する連続講演会等を実施しました。 後半生を文京区で暮らした故・吉本隆明氏の生誕百年、次女の吉本ばなな氏の生誕60年を記念し、あわせて長女ハルノ宵子氏を紹介する「吉本家の人びと」などを開催しました。	古谷氏の追悼特集では、文京区に長く住み、地域の写真を撮り続けた市井の人を多くの人に知ってもらうことができました。また。特集展示や講座を行うことにより、資料の閲覧・貸出が増加しました。	真砂中央図書館
56		1－①－エ	図書館のインターネット環境の整備	図書館資料の検索等、利用者が多様な情報にアクセスし、必要な情報が収集できるよう、インターネット端末を設置するとともに、公衆無線LANサービスを提供します。	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数（延べ） 9,934件	・区立図書館におけるインターネット端末の設置数 19台 ・インターネット端末の利用件数（延べ） 11,006件	インターネット端末の利用促進と併せて、公衆無線LANサービスの周知に努めました。	真砂中央図書館
57		1－①－エ	図書館ホームページの充実	利用者の利便性の向上を図るとともに、こども・中高生向けページや電子書籍のページなど、様々な世代や利用目的に応じた情報発信を行い、読書活動を推進します。	・ホームページ（トップページ）アクセス数（延べ） 3,047,513件 ・インターネットによる予約件数（延べ） 1,383,332件	・ホームページ（トップページ）アクセス数（延べ） 3,406,373件 ・インターネットによる予約件数（延べ） 1,459,986件	利用者が常に新しい情報にアクセスできるよう、各図書館の開館状況や行事・特集展示など、情報の更新を随時行い、ホームページの充実を図りました。	真砂中央図書館
58		1－①－エ	大学との連携による図書館サービスの充実	大学や学生との連携により、行事等の充実を図ります。	・大学生の図書館ボランティアによる児童行事 真砂中央図書館：1回 小石川図書館：　3回 目白台図書館：　12回 千石図書館：　3回	・大学生の図書館ボランティアによる児童行事 真砂中央図書館：1回 小石川図書館：　3回 目白台図書館：　12回 千石図書館：　4回	区内大学の学生サークルとの連携により、児童向け行事や図書の整理を実施し、こどもたちの図書館利用の促進、館内の環境整備を図りました。	真砂中央図書館

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
59	10	1－①－エ	子どもの読書活動の推進	こどもたちが生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた行事や読書支援を行います。また、保護者への啓発や地域団体等との連携により、こどもの読書環境の整備に取り組みます。	・児童資料 貸出数： 1,090,397冊 ・行事実績 乳幼児向け行事： 337回 幼児・小学生向け行事： 446回 子ども会（人形劇等）： 109回 子ども映画会： 17回 ・地域連携及び地域支援の実績 小学校、幼稚園、保育園、育成室等へ団体貸出数：1,839回（74,231冊） 出張・来館おはなし会：367回	・児童資料 貸出数： 1,165,835冊 ・行事実績 乳幼児向け行事： 275回 幼児・小学生向け行事： 462回 子ども会（人形劇等）： 99回 子ども映画会： 16回 ・地域連携及び地域支援の実績 小学校、幼稚園、保育園、育成室等へ団体貸出数：1,770回（62,175冊） 出張おはなし会：262回	「子ども読書活動推進計画」に基づく読書環境の整備と読書活動の充実を図るため、ブックリストの作成や、図書の充実、保護者やこどもへの啓発を行い、区立図書館の利用促進を図りました。 読み聞かせやおはなし会などの行事を実施し、親子やこどもが本に親しむ機会を提供しました。	真砂中央図書館
60		1－①－エ	大学連携による附属図書館の区民開放	区内大学附属図書館の区民開放により、区民の学習活動を支援します。	区民開放対象大学：7大学 ・閲覧等申請者数　延274人	区民開放対象大学：7大学 ・閲覧等申請者数　延403人	区内6大学の協力による大学図書館の区民開放において、公共図書館では提供できない高度な学術書や専門書等の資料閲覧の機会を提供しました。	真砂中央図書館
61		1－①－エ	外国語資料の充実	外国語資料の収集や利用案内の多言語化等により、日本語を母国語としない利用者へのサービス向上を図ります。	・外国語図書 貸出数： 4,954冊 新規受入れ冊数： 148冊 ・外国語絵本 貸出数： 11,623冊 新規受入れ冊数： 340冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 24回	・外国語図書 貸出数： 4,307冊 新規受入れ冊数： 160冊 ・外国語絵本 貸出数： 12,629冊 新規受入れ冊数： 82冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 27回	多様な言語の資料の収集に努めるとともに、英語による読み聞かせの回数を増やし、外国語に接する機会を提供しました。	真砂中央図書館
1　学習活動　②　学び続けるための活動の支援　ア　区民の主体的な学習活動の支援（p.26）								
62	11	1－②－ア	資格取得キャリアアップ講座	区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。	前期　（6～7月）　3講座　　19人（定員30人） 後期　（11～3月）　3講座　　16人（定員30人）	前期　（6～7月）　3講座　　12人（定員30人） 後期　（11～3月）　5講座　　19人（定員50人）	区内大学と連携し、区民のキャリアアップや学び直しを支援するため、6講座を実施しました。時事に即したメニューの提案を大学へ依頼するとともに事業周知に努めた結果、講座数・定員を絞ったものの全体の受講者数は前年度を上回りました。	アカデミー推進課
	12	1－②－ア	社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、その団体の施設利用を支援します。	アカデミー施設利用者数：134,470人 （内訳） アカデミー文京：44,243人 地域アカデミー：90,227人	アカデミー施設利用者数：140,807人 （内訳） アカデミー文京：57,636人 地域アカデミー：83,171人	昨年度より多くの利用がありました。区民の自主的なサークル・団体への活動支援をすることができました。	アカデミー推進課
63	13	1－②－ア	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数800件 （内訳） 一般生涯学習活動団体　414件 スポーツ・野外活動団体　386件	登録団体数830件 （内訳） 一般生涯学習活動団体　410件 スポーツ・野外活動団体　420件	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、登録更新書類の提出を依頼し、団体の活動内容を把握をすることができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
64		1－②－ア	文京区生涯学習サークル連絡会の支援	文京区生涯学習サークル連絡会によって実施される公開講座、合同学習会、史跡・施設見学等の各種自主学習活動への支援を行います。	①代表者会議 都合つかず実施なし ②合同学習会 都合つかず実施なし ③公開講座 都合つかず実施なし ④バス見学会 実施なし	①代表者会議 【実施日】5/23 ②合同学習会 都合つかず実施なし ③公開講座 【実施日】11/7 ④バス見学会 実施なし	サークル連絡会の方々の都合がつかず、事業を実施することができませんでした。次年度は、事業実施に向け、サークル連絡会の方々と調整を行います。	アカデミー推進課
65		1－②－ア	サークル活動の広報	アカデミー文京・地域アカデミー等において、各団体の活動内容等を記載した社会教育関係団体名簿の閲覧ができます。	各施設で閲覧できる社会教育関係団体名簿について、今年度も随時内容の変更等を受け付け、定期的な名簿の更新（毎月）を行いました。あわせて、各サークルの会員募集や各種イベント・展示会等の周知を支援するため、施設内での広報チラシの配架や活動案内の掲出を継続して実施しました。	各施設等で閲覧できる社会教育関係団体名簿について、随時登録内容の変更を受け付けており、月に一度名簿に変更内容を追加しています。 また、生涯学習相談ほか、会員募集や展示会周知など、サークル活動の支援・紹介チラシ等を配架・掲出しました。	名簿を各施設に配架、ホームページに掲載することで、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動につなげることができました。 更に、各施設窓口で活動の支援や紹介をすることにより、生涯学習活動の活性や参加機会の提供等ができました。	アカデミー推進課
66		1－②－ア	男女平等センター資料コーナーの充実	関係機関との連携によって、男女平等参画に関する情報や資料を収集し提供します。	改修工事に伴い、令和7年3月から休館。蔵書等の増減なし。	蔵書　図書7,292冊、新聞1紙、雑誌13誌、ビデオ・DVD等　166本	実施事業のテーマや講師の著書、利用者の要望、関係機関・団体からの情報提供などを参考にし、男女平等参画に関する資料等の充実を図っています。	総務課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
67		1－②－ア	登録消費者団体との連携	必要とされる消費生活の情報提供を行い、消費者団体の活動促進を図ります。	・登録消費者団体　5団体 ・定例会開催（偶数月）6回 ・消費者団体を講師とした、子ども向け研修会（夏休み期間6回）、子ども向け出前講座（夏休み期間1回）、消費生活展手づくり体験コーナー（4団体延8回）を実施 ・見学会　2回（くすりミュージアム、JICA地球ひろば）	・登録消費者団体　5団体 ・定例会開催（偶数月）6回 ・消費者団体を講師とした、子ども向け研修会（夏休み期間9回）、子ども向け出前講座（夏休み期間2回）、消費生活展手づくり体験コーナー（4団体延8回）を実施 ・見学会　2回（お～いお茶ミュージアム、最高裁判所）	定例会において、消費者団体に対して情報提供を行いました。 夏休みのこどもの学習機会としての研修会・出前講座は、毎回多くの参加がありました。 消費生活展会場での手づくり体験コーナーも好評で、多くの参加がありました。 また、見学会をとおして消費生活に役立つ知識を習得し、啓発活動に活かしました。	経済課（消費生活センター）
68		1－②－ア	出前講座	区内各施設へ消費生活センターが出向き、若者や高齢者の消費者被害防止のための講義や相談を受け付けます。 「とびだせ！消費者きょういく」は感染症拡大防止のため事業を中断していましたが、令和5年度より消費生活出前講座と統合しました。	出前講座　5回	出前講座　3回	地域活動センターや町会、大学等の依頼に応じて消費生活相談員が講師となり、消費者被害防止に役立つ講座を行いました。	経済課（消費生活センター）
69		1－②－ア	ボランティア・市民活動についての情報提供・相談	ボランティア・市民活動についての情報収集を行い、活動に関する相談、ボランティアコーディネートを行います。	相談件数　1372件	相談件数　1,034件	ボランティア情報の収集を行い、希望に沿ったボランティアコーディネートを行いました。	福祉政策課
70		1－②－ア	団体への講師派遣制度の実施	団体の自主的な学習を促進するため、学習団体等が合同で講習会等行う場合に講師を派遣します。	○子育て広場しおみ　1回（1月） 参加者 7組 ○おひさま0・1・2　3回（6月・11月） 参加数：6月6組（13名）・11月6組（13名） ○ぴよぴよ広場　1回（2月）　13組（27名）	○東京富士クラブ1回（5月） 参加者14名 ○子育て広場しおみ　1回（12月） 参加者4組 ○おひさま0・1・2　3回（6月・10月・12月） 参加数：6月8組（16名）・10月12組（24名）・12月14組（28名） ○社会福祉協議会　1回（3月） 参加者11名	・熱中症予防やフレイル予防についての知識の提供や、地域資源の周知を行いました。 ・乳幼児の子育てをしている区民に対し、乳幼児の発育発達についての啓発、区で実施している事業の周知を行いました。 ・在宅福祉活動研修として保健サービスセンターのネウボラ事業について講義しました。	保健サービスセンター
1　学習活動　②　学び続けるための活動の支援　イ　活動の成果を披露できる場の充実（p.27）								
71	14	1－②－イ	生涯学習フェア	文京アカデミア講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくるとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。	開催日：令和8年3月4日（水）・5日（木） 開催場所：ギャラリーシビック、アートサロン、小ホール 参加団体：展示部門 10団体、発表部門15団体 来場者数：379人	開催日：令和7年3月4日（火）・5日（水） 開催場所：アートサロン、小ホール 参加団体：展示部門 15団体、発表部門19団体 展示：459人 発表：271人	ギャラリーシビック等の充実した会場にて、計25団体の参加のもと開催しました。参加団体及び来場者数は前年度を下回りましたが、日頃の学習成果の披露や区民同士の交流の機会を提供することができました。	アカデミー推進課
	15	1－②－イ	体験教室ウィーク	地域におけるコミュニティの育成と生涯学習活動の支援を目的として、各地域アカデミーで活動する生涯学習団体を区民に紹介するとともに、生涯学習団体の活動に区民が参加する機会を創出し、団体活動を支援します。	73団体の参加があった。	68団体の参加があった。	新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくなり、参加団体数もコロナ禍以前の数を上回る結果となりました。	アカデミー推進課
	16	1－②－イ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　20,612人	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　19,383人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 また単年度事業として開催した「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、かるた事業のパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、区内外に区の文化資源であるかるたの魅力を発信するとともに身近に感じられるよう機会を提供しました。	アカデミー推進課
72		1－②－イ	いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通じて、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図ります。	いきいきシニアの集い 令和7年11月28日～29日実施 参加人数（2日間総合計）：3,498人	いきいきシニアの集い 令和6年11月23日～24日実施 参加人数（2日間総合計）：3,116人	高齢者やその子世代など、多世代の来場がありました。発表の場を設けることで高齢者の作品づくりへの達成感につながり、高齢者の生きがい向上を図ることができました。	高齢福祉課
73		1－②－イ	「敬老の日施設開放」	高齢者の生活が健康で明るいものとなることを願って、福祉センター利用者と職員が一緒になって「敬老の日」を祝います。 内容は、敬老の日に高齢者自身が演芸大会で歌・踊り・手品等の特技を披露し合い、お茶会を催します。	「敬老会」参加（＊視聴覚室で開催） 延べ人数100人[シニア71人、リアン文京11人、一般+出演者18人]	「敬老会」参加（＊視聴覚室で開催） 延べ人数100人[シニア75人、リアン文京5人、一般+出演者20人]	ゲスト/サックス演奏による音楽鑑賞に加え、殺陣（たて）演舞・舞踊・歌唱披露など、多彩な演目を通じて来場者に楽しんでいただく機会を提供した。また、恒例となっている職員によるダンス披露では、会場が一体となって盛り上がり、参加者同士の交流促進や笑顔あふれる時間の創出につながった。 記念品を贈呈し、長年にわたり地域社会を支えてこられた高齢者への感謝と敬意を表した。	高齢福祉課（福祉センター）

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
74		1－②－イ	福祉センター祭り	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を通じて、地域社会との交流を図ります。また福祉センターを利用する自主的サークルの活動発表の場を提供します。	令和7年11月1日（土）、2日（日） 来場者(延べ)2,009人　ボランティア(延べ131人[障害者ボランティア団体32人、成人48人、町会10人、学生9人、手話会32人] イベント等参加人数(二日間延べ総合計):2,140人	令和6年11月2日（土）、3日（日） 来場者(延べ)2,112人　ボランティア(延べ147人[障害者ボランティア団体31人、成人12人、町会17人、学生54人、手話会33人] イベント等参加人数(二日間延べ総合計):2,259人	福祉センターを利用している高齢者、障がい者等が制作した作品の展示等を、同一フロア内で一体的に展示することで、利用者同士や関係団体とのつながりづくりを促進した。小日水町会によるボランティア協力や地域学校との連携、複合施設内の利用者・団体による発表等を通じて、地域全体で支え合う共生社会の実現に向けた機会づくりにつながった。	高齢福祉課（福祉センター）
75		1－②－イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための交流の場をつくります（作品展の実施）。	令和7年12月6日（土）～8日（月）ふれあいの集い実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数　2,501人。	令和6年12月7日（土）～9日（月）ふれあいの集い実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数　2,489人。	障害者に対する理解と認識を深め、また障害のある人もない人もともにふれあう交流の場となり、活気のある作品展を開催することができました。	障害福祉課
76		1－②－イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図ります（福祉作業所一歩いっぽ祭り）。	・小石川福祉作業所 開催日：令和7年12月13日(土) ・大塚福祉作業所 開催日：令和7年12月6日(土)	・小石川福祉作業所 開催日：令和6年11月2日(土) ・大塚福祉作業所 開催日：令和6年11月9日(土)	障害のある方とない方との交流の場となり、参加者全員が楽しめるお祭りとなりました。	障害福祉課
77		1－②－イ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供（本郷福祉センター）	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図ります（本郷福祉センターほんわか祭り）。	開催日：令和7年11月22日(土) 参加者：350名 内容：巨大ボウリング、ベガーボール、キックターゲット、輪投げ、お手玉投げ、アートワークショップ、カフェ、野菜販売、商品販売等	開催日：令和6年11月16日(土) 参加者：316名 内容：射的、輪投げ、段ボールパズル、バルーンアート、ボッチャ体験、車椅子体験、自主生産品の販売等	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課
78		1－②－イ	障害者とともに生きる社会をつくるための学習機会の設置	障害者の自立を促し、障害者に対する理解を深めるための学習機会を提供します（作品展の実施）。	令和7年12月6日（土）～8日（月）ふれあいの集い実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数　2,501人。	令和6年12月7日（金）～9日（月）ふれあいの集い実施。 作品展、手話体験、お茶席、障害者スポーツ体験等。 入場者数　2,489人。	障害者に対する理解と認識を深め、また障害のある人もない人もともにふれあう交流の場となり、活気のある作品展を開催することができました。	障害福祉課
79		1－②－イ	ステージ・エコ	リサイクル事業のひとつとして、各種資源を回収し、ゲスト団体のブースを併せて展開します。	各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収）、陶磁器製食器類の頒布、ゲスト団体の出展を計5回実施しました。来場者数は令和7年5月9日（金）は207名、7月12日（土）は355名、9月5日（金）は140名、11月8日（土）は640名、令和8年1月31日（土）は273名。	各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収）、陶磁器製食器類の頒布、ゲスト団体の出展を計5回実施しました。来場者数は令和6年5月10日（金）は169名、7月6日（土）は180名、9月7日（土）は215名、11月9日（土）は606名、令和7年2月1日（土）は238名。	多くの方が資源を持参され、2R推進の啓発を行うことができました。	リサイクル清掃課
80		1－②－イ	文京エコ・リサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図ります。	令和7年11月8日（土）にシビックセンター内にて開催しました。16団体が出展し、約1,121名が来場しました。	令和6年11月9日（土）にシビックセンター内にて開催しました。16団体が出展し、約1,195名が来場しました。	パネル展示とおもちゃ修理を通じて、地球環境に配慮した資源循環型社会の構築について啓発しました。	リサイクル清掃課
1　学習活動　②　学び続けるための活動の支援　ウ　学びを通じた交流・仲間づくりの推進（p.27）								
81	17	1－②－ウ	ふれあいサロン	地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。	親子向けの防災講座、スマホ講座、折り紙教室等　66事業実施	絵手紙教室、ボードゲーム、スマートフォン教室等　61事業実施	地域人材を活用したサロンの開催などにより、住民の相互交流の場を提供することができました。	区民課
82		1－②－ウ	交流館における交流事業の充実	世代間を越えて、広く区民同士が交流を図れるよう、交流館において、様々な交流事業を実施します。	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、映画会、カーレット教室等	軽体操教室、フラワーアレンジメント教室、映画会、カーレット教室等	指定管理者により区民同士の交流、多世代交流となる交流事業を多く実施しています。	区民課
83		1－②－ウ	各種サークル等の育成	区民の自主的な学習活動を促進するため、各種サークルの支援を行います。	・グループ活動助成　3回	・グループ活動助成　2回	消費生活展のパンフレットやポスターを通して、助成についての周知を行いました。 3団体に対して、消費生活に関する学習会に係る経費を助成しました。	経済課（消費生活センター）
84		1－②－ウ	ボランティア活動基盤づくり	ボランティア活動が円滑に行えるよう、ボランティア保険に関する案内や資機材の整備を行います。 ◎ボランティア活動室・機材の貸出し 印刷機、紙折り機、点字プリンター ◎ボランティア保険の加入受付	◎どっとフミコム登録団体数　174団体 ◎ボランティア保険の加入受付　4,942人	◎どっとフミコム登録団体数　157団体 ◎ボランティア保険の加入受付　3,573人	活動者の間接的な支援を行うことにより、活動の活性化をサポートしました。	福祉政策課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
85		1－②－ウ	ボランティアの交流・協働への支援	ボランティア・市民活動団体の交流を図り、活動しやすい環境をつくる。また、多様な協働を支援し、区内のボランティア活動がより活発化するように働きかけます。	ふみこむフェスタ　1回開催	活動見本市　1回開催	多様な主体が関わるイベントとして、文京つながるメッセが年に一度開催されています。	福祉政策課
86		1－②－ウ	いきいきシニアの集い	高齢者が地域社会や家庭等で幅広く培った、豊かな経験や技術・知識を活かし、作品展示などを通じて、他世代との交流を図るとともに高齢者の生きがいの推進を図ります。	いきいきシニアの集い 令和7年11月28日～29日実施 参加人数（2日間総合計）：3,498人	いきいきシニアの集い 令和6年11月23日～24日実施 参加人数（2日間総合計）：3,116人	高齢者やその子世代など、多世代の来場がありました。発表の場を設けることで高齢者の作品づくりへの達成感につながり、高齢者の生きがい向上を図ることができました。	高齢福祉課
87		1－②－ウ	文京区家族介護支援事業	認知症の本人やその家族等の介護者を対象に、認知症家族交流会、介護者教室等を実施します。また、認知症の本人やその家族、地域住民、介護事業者など、誰もが集い、話せる場として認知症カフェを実施します。 ※認知症家族交流会、介護者教室、認知症カフェのいずれも区内の高齢者あんしん相談センターへの委託による実施	①認知症家族交流会　開催数：8回　参加者数：58人 ②認知症介護者教室　開催数：8回　参加者数：192人 ③認知症カフェ　開催数：29回　参加者数：393人	①認知症家族交流会　開催数：8回　参加者数：53人 ②認知症介護者教室　開催数：8回　参加者数：159人 ③認知症カフェ　開催数：33回　参加者数：446人	認知症本人やその家族等の孤立や不安感に寄り添い、介護に係る情報交換や地域における交流の場を提供できました。	高齢福祉課
88		1－②－ウ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流の機会の提供	活動成果や施設の紹介、利用者と地域住民との交流を図ります（福祉作業所一歩いっぽ祭り）。	・小石川福祉作業所 開催日：令和7年12月13日（土） ・大塚福祉作業所 開催日：令和7年12月6日（土）	・小石川福祉作業所 開催日：令和6年11月2日（土） ・大塚福祉作業所 開催日：令和6年11月9日（土）	障害のある方とない方との交流の場となり、参加者全員が楽しめるお祭りとなりました。	障害福祉課
89		1－②－ウ	世代や立場の違いを超えた、さまざまな交流機会の提供（本郷福祉センター）	本郷福祉センター利用者の日常活動での成果の発表等を通じて地域との交流を図ります（本郷福祉センターほんわか祭り）。	開催日：令和7年11月22日（土） 参加者：350名 内容：巨大ボウリング、ベガーボール、キックターゲット、輪投げ、お手玉投げ、アートワークショップ、カフェ、野菜販売、商品販売等	開催日：令和6年11月16日（土） 参加者：316名 内容：射的、輪投げ、段ボールパズル、バルーンアート、ボッチャ体験、車椅子体験、自主生産品の販売等	祭りの開催を通じて、楽しみながら気軽に利用者と地域住民の交流を促進することができた。また、活動成果の発表は利用者の自己実現の場となっている。	障害福祉課
90		1－②－ウ	文京エコ・リサイクルフェア	地球環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指すため3R推進月間に合わせて、リサイクル・環境団体の活動の成果を紹介し地域住民との交流を図ります。	令和7年11月8日（土）にシビックセンター内にて開催しました。16団体が出展し、約1,121名が来場しました。	令和6年11月9日（土）にシビックセンター内にて開催しました。16団体が出展し、約1,195名が来場しました。	パネル展示とおもちゃ修理を通じて、地球環境に配慮した資源循環型社会の構築について啓発しました。	リサイクル清掃課
1　学習活動　③　学びの循環による地域づくり　ア　地域の学びを促進する人材育成の推進（p.28）								
91	18	1－③－ア	人材育成のための講座	区や公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。	2講座実施 認定者数：19人 文の京地域文化インタープリター養成講座 実施期間：令和7年10月11日（土）～令和8年2月21日（土）10：00～12：00（全15回） 実施会場：跡見学園女子大学文京キャンパス 受講者数：11人（定員20人／応募者数15人） 認定者数：11人 文京アカデミアサポーター養成講座 実施期間：令和7年6月12日（木）・16日（月）・19日（木）・26日（木）14：00～16：00（全4回） 実施会場：アカデミー文京　レクリエーションホールほか 受講者数：8人（定員10人／応募者数15人） 認定者数：8人	2講座実施 認定者数：23人 文の京生涯学習司養成講座 実施期間：令和6年10月10日（木）～令和6年12月19日（木） 木＝18：50～20：30　／土＝13：30～15：10（全12回） 実施会場：文京学院大学 受講者数：15人（定員24人／応募者数16人） 認定者数：15人 文京アカデミアサポーター養成講座 実施期間：令和6年6月13日（木）・17日（月）・20日（木）・24日（月）14：00～16：00（全4回） 実施会場：アカデミー文京　レクリエーションホールほか 受講者数：10人（定員10人／応募者数15人） 認定者数：8人	文の京地域文化インタープリターの活動を安定的に支援するとともに、文京アカデミアサポーター養成講座においては、現在の活動実情に合わせた講座メニューに見直して実施しました。受講者減という課題はあるものの、区や関係機関と協働して事業を支える新たな人材を育成し、地域の生涯学習の活性化に繋がる成果を得ることができました。	アカデミー推進課
92	19	1－③－ア	学習支援者スキルアップ講座	財団と協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。	2講座実施 受講者数数：52人 生成AIを学びの相棒に―調べて、まとめて、伝える力を磨こう 実施日時：令和7年9月25日（木）14：00～15：00 実施会場：アカデミー文京　学習室 講師：合同会社NFTオーケストラ　代表社員　勝沼　知世 受講者数：30人（定員40人／応募者数34人） 「人をつなげる情報の集め方・活かし方」 開催日時：令和8年3月16日（月）、25日（水）、27日（金）、15：00～16：30 実施会場：アカデミー文京　学習室ほか 講師：ハッピースマイル代表 地域イベントプロデューサー 皆川 未来ほか 受講者数：22人（定員30人／応募者数22人）	2講座実施 受講者数数：50人 AI時代を楽しもう！ゼロから始めるChatGPT入門講座 実施日時：令和6年9月26日（木）14：00～15：00 実施会場：アカデミー文京　学習室 講師：合同会社NFTオーケストラ　代表社員　勝沼　知世 受講者数：40人（定員40人／応募者数40人） 生涯学習講座のプランニングを学ぼう！ 開催日時：令和7年1月9日（木）、16日（木）、30日（木）、2月13日（木）18：30～20：30 実施会場：アカデミー文京　学習室ほか 講師：文京アカデミア生涯学習司の会会員 受講者数：10人（定員15人／応募者数11人）	学習支援者がより先駆的かつ多角的な活動を行えるよう、講師の掘り起こし等に注力しました。生成AIを活用し「調べて、まとめて、伝える力」を養う講座や、地域イベントプロデューサー等を講師に招いた「情報の集め方・活かし方」に関する講座を実施したことで、支援者のICT活用スキルの向上に加え、地域で人と人を繋ぐための多角的な視点や企画力の底上げに寄与しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
93		1－③－ア	社会福祉士相談援助技術現場実習	社会福祉士の資格を取得する為の実習生の受入れを行います。 毎年8月下旬～10月上旬までの期間で計180時間	令和7年度は8月21日～10月9日まで実施 日本社会事業大学 日本女子大学	令和6年度は8月22日～10月10日まで実施 日本社会事業大学 日本女子大学	社会福祉士の資格を取得するための実習となっているため、複数の大学より、学生の受入依頼があります。 実習指導者数が少なく、十分な学生の受入れができません。	福祉政策課
94		1－③－ア	ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進します。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成します。	なつぼら参加者　198名(延べ人数) 手話講習会修了者数　134名 音訳ボランティア講習会修了者数　23名	なつぼら参加者　230名(延べ人数) 手話講習会修了者数　130名	活動希望者がコロナ以前よりも増加している傾向にありました。	福祉政策課
95		1－③－ア	傾聴ボランティア講習会	傾聴の技術を学び、施設などで傾聴ボランティア活動を行うことを目的としたボランティア養成講座を開催します。	傾聴ボランティア講習会参加者　20名	傾聴ボランティア講習会参加者　16名	傾聴スキルを活かして、さまざまなボランティア活動で活躍できるベースの講習会として開催しました。	福祉政策課
96		1－③－ア	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識と理解を持って、地域や職域で認知症の本人やその家族を手助けするサポーターを養成します。 ※対象・・・区民・学校（小・中・高など）・区内企業	区民：141人 学校：311人 企業：287人 合計：739人	区民：211人 学校：326人 企業：220人 合計：757人	認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を行うとともに、地域で認知症の本人やその家族の見守り等を行うサポーターを養成しました。	高齢福祉課
97		1－③－ア	ボランティアの育成	ボランティアに関する理解を深めボランティア活動への参加を促進します。 また、専門的な知識を持ったボランティアを育成します。	4月、5月（2回）の計3回（新規登録者のみ） 5月、7月、9月、11月、1月、3月の計6回（全体） 合計9回　文京区登録手話通訳者27名に対し専門研修を実施した。	4月、5月（2回）の計3回（新規登録者のみ） 5月、7月、9月、11月、1月、3月の計6回（全体） 合計9回　文京区登録手話通訳者28名に対し専門研修を実施した。	専門的な知識を持ったボランティアを育成することができました。	障害福祉課
98		1－③－ア	子育てサポーター認定制度	地域における子育て支援の担い手を育成するため、全国共通の子育て支援員制度と文京区独自のカリキュラムで構成する子育てサポーター認定制度を実施します。子育てサポーターに認定された方は、社会福祉協議会がファミリー・サポート・センター事業を拡充して実施する訪問型保育事業の担い手として活動します。 今回、子育てサポーター認定制度における子育て支援員研修について、区内大学との事業連携により実施します。	○ベーシックサポーター認定研修 研修実施回数　3日×2回 （1・2日目：貞静学園短期大学） （3日目：社会福祉協議会） ○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数　4日×2回 （1・2日目：貞静学園短期大学） （3・4日目：全国保育サービス協会、社会福祉協議会） ○居場所サポーター認定研修 研修実施回数　3日×1回 （子育てひろば全国連絡協議会、社会福祉協議会）	○ベーシックサポーター認定研修 研修実施回数　3日×2回 （1・2日目：貞静学園短期大学） （3日目：社会福祉協議会） ○スタンダードサポーター認定研修 研修実施回数　4日×2回 （1・2日目：貞静学園短期大学） （3・4日目：全国保育サービス協会、社会福祉協議会） ○居場所サポーター認定研修 研修実施回数　3日×1回 （子育てひろば全国連絡協議会、社会福祉協議会）	ベーシックサポーター認定研修では計24名を、スタンダードサポーター認定研修では計10名を認定しました。 また、居場所サポーター認定研修では、計20名を認定しました。 受講者数をより増やすために、各研修について区報、B-ぐる、HP及び区設掲示板にて広報し、周知を行いました。 今後も関係団体と協力し、計画的な研修の実施に努め、地域における子育て支援の担い手の確保・育成に取り組んでいきます。	こども若者支援課
99		1－③－ア	環境ライフ講座	地域における環境保全の必要性を学び、自ら環境保全の意識啓発に取り組み活動する人材を育成することを目的とした講座を開催します。	全7講座開催 定員：15人 参加人数：15人（うち修了生13名）延べ93人参加 （平成12年度より事業開始）	全7講座開催 定員：15人 参加人数：15人（うち修了生11名）延べ74人参加 （平成12年度より事業開始）	令和6年度時により多くの方が参加しやすいよう、1日に2講座実施する日を設けたところ好評だったため、令和7年度も同様に実施を行い、全7講座を5日間で行いました。	環境政策課
100		1－③－ア	文京ecoカレッジ　リサイクル推進サポーター養成講座	廃棄物を減量し資源循環型社会の構築を目指すため、地域でのリサイクル推進活動及び区のリサイクル事業への区民参画を進め、3Rの推進の実践につながる人材の育成及び活用を図るための「リサイクル推進サポーター」を養成します。	令和7年5～6月計4回既存サポーター登録者を対象にサポータースキルアップ講座を開講しました。参加者は18名。	令和6年5～6月計5回新規サポーター登録予定者を対象にサポーター養成講座を開講しました。参加者は11名。（内3名既存サポーター）	講座には18名が参加されました。施設見学等を通じて、ごみの行方について理解が深まりました。今後も新規サポーターの養成と既存のサポーターのスキルアップを継続して実施し、一層3R推進活動に取り組んでいきます。	リサイクル清掃課
101		1－③－ア	PTA育成(PTA研修会)	PTAを育成するため、学習の場として、また、PTA相互の交流を図るため、研修会を開催します。	【広報研修会実施日（参加人数）】 5月27日（19名）	【広報研修会実施日（参加人数）】 5月23日（23名）	PTA広報誌作成の実践講座であり、初めて役員になったPTAに好評でした。テーマが広報誌作成で連続しているため、次回は異なる観点でのテーマを検討します。	教育総務課
102		1－③－ア	PTA育成(PTA連合会主催事業の支援)	PTA連合会事業を共催または支援することにより、PTAを育成します。PTA相互の連携強化、家庭教育力の向上を図ります。	①区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル ②区立小学校PTA連合会バレーボール大会 ③区立小学校PTA連合会卓球大会 ④区立小学校PTA連合会バスケットボール大会	①区立中学校PTA連合会スポーツフェスティバル ②区立小学校PTA連合会バレーボール大会 ③区立小学校PTA連合会卓球大会 ④区立小学校PTA連合会バスケットボール大会	PTA連合会事業を行うことにより、PTA相互の連携が強化され、PTA会員同士が交流出来る良い機会となりました。	教育総務課
103		1－③－ア	PTA育成（親子ふれあい教室）	PTAが実施する親子のふれあいを深めるための事業を支援し、経費の一部を負担します。	対象:区立幼稚園、小学校、中学校　全40校園 【実績】34校園	対象:区立幼稚園、小学校、中学校　全40校園 【実績】33校園	各学校園のPTAが、充実したPTA活動を計画し、親子の触れ合いを大切にした活動を行いました。	教育総務課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
104		1－③－ア	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	区内で非営利活動を行う団体（NPO等）が実施する、青少年の社会参加を推進する事業に対して、経費の一部を補助します。これにより、当該事業の充実を図り、青少年が主体的に社会と関わることができる機会や場を提供し、青少年の自立を促進することを目的とします。	3団体の各事業に対し経費の一部を補助しました。	3団体の各事業に対し経費の一部を補助しました。	雪遊びやサマーチャレンジスクール等の事業補助によって、青少年が社会と関わり、交流する機会を生み出すことができました。	こども若者支援課
105		1－③－ア	文京区青少年健全育成会活動支援	青少年の健全育成のため活動している文京区青少年健全育成会（9地区）を支援します。	各青少年健全育成会が文京区における青少年の健全育成を推進するための事業に要する費用を補助しました。	各青少年健全育成会が文京区における青少年の健全育成を推進するための事業に要する費用を補助しました。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により停滞していた活動の再開・活性化を後押しするため、追加補助（1地区200,000円）を粉に、活動の支援を図りました。	地域の特性を活かして実施する事業に対して補助を行うとともに、地区連絡会等の開催を通して情報交換を行い、活動の充実を図りました。 地域団体、PTAなど幅広い年代が連携して事業を実施することにより、多様なつながりが生まれ、地域の交流が促進されました。	こども若者支援課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり イ 人材活用の仕組みの構築（p.29）								
106	20	1－③－イ	区民プロデュース講座	区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。	前期 （5～7月） 5講座 72人（定員72人／応募者数168人） 後期 （9～12月） 5講座 82人（定員88人／応募者数115人） 後期Ⅱ（1～3月） 4講座 72人（定員82人／応募者数96人）	前期 （5～7月） 5講座 85人（定員85人／応募者数155人） 後期 （9～12月） 5講座 73人（定員73人／応募者数115人） 後期Ⅱ（1～3月） 5講座 152人（定員150人／応募者数178人）	学習推進委員会との連携や相談体制の継続により、新たな人材の掘り起こしに努め、宝生流能楽師の提案による能楽講座等、多彩なメニューを実施しました。受講者数は237人でしたが、各期を通じて定員を上回る応募があり、区民の関心の高さと学習ニーズを的確に捉えた講座運営を実施することができました。。	アカデミー推進課
107		1－③－イ	区民プロデュース講座の企画支援	区民プロデュース講座企画者の負担を軽減し、企画を支援するための取り組みを実施します。	原則、毎週水曜日・木曜日・金曜日：13：30～16：30 に実施 相談件数 104件（うち区民プロデュース企画相談・受付33件）	原則、毎週水曜日：10：30～13：30 木曜日・金曜日：13：30～16：30 に実施 相談件数 165件（うち区民プロデュース企画相談・受付48件）	相談受付時間を午後に統一し、安定した支援体制のもとで事前相談や企画内容の確認を実施しました。推進委員会との連携による複数名でのコーディネートを継続することで企画者の負担軽減を図るとともに、多角的な視点からのアドバイスを通じて、区民の思いを形にする魅力的な講座づくりを支援しました。	アカデミー推進課
108	21	1－③－イ	各種講座・展示会の企画への起用	インタープリターや生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業（企画展等）を展開していきます。	実施事業数：18件	実施事業数：28件	講座開催件数は減となったが、各団体の主体的な活動を支援する体制づくりに努めました。インタープリターや生涯学習司等の知見を活かした企画展や事業を連携して展開し、区民の学習ニーズに応える質の高い生涯学習機会の提供に繋げました。	アカデミー推進課
1 学習活動 ③ 学びの循環による地域づくり ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進（p.29）								
109		1－③－ウ	大学プロデュース特別公開講座（学長講演会）	大学の持つ高度で専門的な学習機能や人材を活用した事業として、大学プロデュース特別公開講座（大学学長の講演会）を実施します。	1講座実施 日本政治を「見える化する」－世界15か国との比較で考える、市民社会と政治－ 実施日：令和7年11月8日(土)13：00～14：30 受講者数：133人（定員270名／応募者数185人） 会場：東洋学園大学本郷キャンパス	2講座実施 受講者数：；321人 「膝の痛みに対する日常のケアと予防管理」 実施日：令和6年7月6日(土)14：00～15：00 受講者数：125人（定員150名／応募者数190人） 会場：文京学院大学本郷キャンパス 「AIは医療をどう変えるか」 実施日：令和7年1月18日(土)14：00～15：00 受講者数：196人（定員300名／応募者数317人） 会場：順天堂大学お茶の水キャンパス	大学の高度な専門性を活かした特別公開講座を1講座実施しました。時宜を得たテーマ設定により区民から高い関心が寄せられ、充実した学習機会の提供となりました。	アカデミー推進課
110		1－③－ウ	地域に関する講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミアの中で地域に関する講座を実施し、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	後期 （9～12月）3講座 94人（定員90人／応募者数147人） 後期Ⅱ（1～3月） 1講座 30人（定員30人／応募者数81人）	前期 （5～7月） 2講座 60人（定員60人／応募者数174人） 後期 （9～12月）1講座 30人（定員30人／応募者数60人） 後期Ⅱ（1～3月） 1講座 12人（定員30人／応募者数12人）	いきいきアカデミア等において、文京区の歴史や文化を学ぶ地域に関する講座を4講座実施しました。すべての講座で定員を上回る応募があり、区民の地域文化に対する学習ニーズの高さがうかがえました。今後も、区民が地域の魅力を再発見し、地域について考えることができる質の高い学習機会の提供に努めます。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
111		1－③－ウ	大学連携による各種事業	区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。	受講者数：921人 アカデミア講座：23講座　491人（定員560人／応募者数620人） 夏休みこどもアカデミア：11講座　165人（定員174人／応募者数359人） 文の京・最先端生命科学講座　3講座　132人（定員150人／応募者数269人） 学長講演会　133人（定員270名／応募者数185人）	受講者数：1,250人 アカデミア講座：28講座　650人（定員700人／応募者数514人） 夏休みこどもアカデミア：8講座　160人（定員199人／応募者数926人） 文の京・最先端生命科学講座　3講座　119人（定員150人／応募者数184人） 学長講演会　321人（定員450名／応募者数507人）	各大学との情報共有を図ることで、双方の強みを活かした講座企画を展開しました。今年度は「夏休みこどもアカデミア」を拡充して実施したほか、多くの講座において定員を超える多くの応募がありました。受講者数は減少したものの、大学の専門的知見を活かした多様な講座を提供し、区民の知的好奇心を満たす充実した学習機会の確保に繋がりました。	アカデミー推進課
112		1－③－ウ	区内大学学長懇談会の実施	区内大学学長懇談会を開催し、区と大学との連携の強化を図ります。	実施日：令和8年1月29日（木）10：30～13：00 場所：東京ドームホテル5階小宴会場「真砂」 参加大学：区内18大学 テーマ：「大学における生成AIの取扱いとその活用について」	実施日：令和6年12月23日（月）10：30～13：00 場所：東京ドームホテル5階小宴会場「真砂」 参加大学：区内18大学 テーマ：「大学における危機管理対策について」	対面で会食ありの方式で行い、区内18大学と大学における生成AIの取扱いとその活用についての意見交換ができました。	アカデミー推進課
113		1－③－ウ	区内大学等との連携の拡大	区民にとって大学を文化的資産ととらえ、区と大学が相互に協力することで、文化・教育の学びの場としての賑わいを図り、文京区の魅力を高め、地域社会の活性化を目指します。	相互協力協定締結大学　区内16大学 区内大学との連携事業数 7年度118件	相互協力協定締結大学　区内16大学 区内大学との連携事業数 6年度110件	令和6年度より連携事業数が8件増加しました。 幅広い分野の事業で大学との連携・協働ができています。	アカデミー推進課
114		1－③－ウ	大学の人材の起用	大学プロデュース講座・大学プロデュース特別公開講座（学長講演会）を充実させることで区内大学の人材を講師等として起用します。	受講者数：921人 アカデミア講座：23講座　491人（定員560人／応募者数620人） 夏休みこどもアカデミア：11講座　165人（定員174人／応募者数359人） 文の京・最先端生命科学講座　3講座　132人（定員150人／応募者数269人） 学長講演会　133人（定員270名／応募者数185人）	受講者数：1,250人 アカデミア講座：28講座　650人（定員700人／応募者数514人） 夏休みこどもアカデミア：8講座　160人（定員199人／応募者数926人） 文の京・最先端生命科学講座　3講座　119人（定員150人／応募者数184人） 学長講演会　321人（定員450名／応募者数507人）	大学担当者との継続的な協議を通じて、学長や専門領域の研究者など、大学の多様な人材を講師として起用しました。「夏休みこどもアカデミア」を拡充したほか、各講座において定員を上回る応募があり、大学人材による講義への関心の高さがうかがえました。引き続き大学の人材を有効に活用し、区民にとって魅力ある学習機会の提供に努めます。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
115	115	1－③－ウ	文京お届け講座	区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として職務に関する話をすることで、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。	計39件、参加者計 776 名 【実施日・講座名】 4月23日 「文京区の文化保護行政について」 5月10日 「健康に関すること」 /乳児期の歯の大切さについて①」 5月10日 「健康に関すること」 /乳児期の歯の大切さについて②」 5月11日 「子どもの権利について」 5月19日 「学校給食について」 6月24日 「個人向けサイバー犯罪被害防止講座」 6月26日 「健康に関すること」/乳児の夏の健康について] 6月27日 「障害に関する理解の促進について」 8月19日 「文京区の男女平等参画及びダイバーシティ推進施策」 8月30日 「文京区の緑と公園の現状等」(オリジナル講座) 9月5日 「わたしたちと都税」」 9月15日 「文京区の防災対策」 9月19日 「高齢者あんしん相談センターについて」 9月28日 「高齢者あんしん相談センターについて」 10月1日 「景観まちづくり」 10月1日 「健康に関すること /歯科衛生士に聞く乳児期の歯について」 10月8日 「文京区の防災対策」 10月25日 「フレイルチェック」～夏のフレイル～ 10月29日 「文京ふるさと歴史館について」 11月6日 「食品ロス削減・ごみと資源の分け方出し方講座」 11月12日 「介護保険制度について」 11月19日 「後期高齢者医療制度」 11月20日 「健康に関すること」/乳児の冬の健康について」 11月25日 「健康に関すること」 11月26日 「感染症の予防について」 11月27日 「土地と住まいの租税教室」～不動産と税金～ 12月13日 「親子関係がちょっとよくなる心理の知識 気持ちを育てるコツ(情動調律)」(オリジナル講座)① 12月13日 「親子関係がちょっとよくなる心理の知識 気持ちを育てるコツ(情動調律)」(オリジナル講座)② 12月15日 「社会保障論」外部講師による特別講義 12月16日 「文京区の防災対策」 12月22日 「社会保障論」外部講師による特別講義 1月14日 「文京区のジェンダー平等推進施策」 1月17日 「文京区の防災対策」 2月26日 「文京区の防災対策」・「福祉避難所について」 3月1日 「文京区の防災対策」 3月14日 「健康に関すること」 /乳児期の歯の大切さについて」① 3月14日 「健康に関すること」 /乳児期の歯の大切さについて」② 3月22日 文京区「避難所運営ガイドライン」の改訂のポイント（オリジナル講座） 3月24日 「衛生管理講習会」(オリジナル講座)	計20件、参加者計 464 名 【実施日・講座名】 4月17・18日 「介護予防の必要性」 6月8日 「スポーツ施設の現状について」(オリジナル講座) 6月19日 「健康に関すること」 7月3日 「生活困窮者自立支援について」 7月10日 「社会的孤立と地域の居場所づくり」 7月17日 「子育て支援について」 7月19日 「食中毒について」 8月5日 「文京区の避難所・独自の防災について」「発災時の民生委員の具体的な活動についての確認 他」 8月27日 「食中毒について」 8月27日 「文京区の図書館行政のあり方」 9月10日 「わたしたちと都税」 10月9日 「健康に関すること」 11月19日 「文京区のリサイクル・ごみ問題」「食品ロス削減・ごみと資源の分け方出し方講座」 11月22日 「健康に関すること」 11月28日 「健康に関すること」 11月28日 「文京区の児童相談所開設に向けて] 1月28日 「個人向サイバー犯罪被害防止講座」 2月6日 「個人向サイバー犯罪被害防止講座」 2月8日 「文京区のスポーツ振興について」 3月19日 「文京区の財政状況」	区の施策等に対する理解を深めることができました。引き続き、要望に応えつつ、区民の自主的な学習活動を支援していきます。また、今年度より申込方法にロゴフォームを取り入れました。	アカデミー推進課
116	24	1－③－ウ	「文京学」講座	文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し 、文京区の歴史・文化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。	後期 （9～12月）3講座 94人（定員90人／応募者数147人） 後期Ⅱ（1～3月） 1講座 30人（定員30人／応募者数81人）	前期 （5～7月） 2講座 60人（定員60人／応募者数174人） 後期 （9～12月）1講座 30人（定員30人／応募者数60人） 後期Ⅱ（1～3月） 1講座 12人（定員30人／応募者数12人）	文京区の歴史・文化や協定締結自治体に関する講座の充実を図った結果、多くの講座で定員を上回る応募がありました。区民の地域学習に対する高いニーズに的確に応えるとともに、文京区の歴史・文化やゆかりの自治体に対する理解を深める取り組みを行いました。	アカデミー推進課
117		1－③－ウ	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助39団体	地域広報紙発行補助37団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっています。	区民課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
118		1－③－ウ	お茶大こどもフォーラム	平成28年4月に開設した区立保育所型認定こども園の運営を、お茶の水女子大学に委託しており、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、お茶大こどもフォーラムを年に1回開催しています。	運営業務委託を行い、全年齢（0～5歳児）計93人を受け入れました。また、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、「こどもフォーラム」を開催し、全国から保育者が集い、実際の保育で得た知見を共有しました。	運営業務委託を行い、全年齢（0～5歳児）計93人を受け入れました。また、こども園の運営を通じた研究成果の還元として、「こどもフォーラム」を開催し、全国から保育者が参加し、保育について語りあいました。また、昨年度に引き続き地域の子育て支援の一環として、「のびのび子育てサロン」を開催しました。	「こどもフォーラム」は、毎回、区内の公私立保育園・幼稚園関係者はもちろんのこと、日本中の保育者や研究者が数多く参加し、好評を得ています。また、お茶の水女子大学内にある3園が連携して実践した研究成果を冊子にまとめ、広く保育施設や保護者に配布を行っています。	幼児保育課
119		1－③－ウ	木のクイズラリーイン東大	東大とその周辺にある複数の樹木を、地図を頼りにまわり、クイズに答えながらシールを集めてもらいます。全てのシールを集めた児童には記念品をプレゼントします。	11/16（日）10:00～15:00 参加人数：定員175組（うち児童206名）、参加者：129組（うち児童162名） 開催場所：東京大学本郷キャンパス	11/17（日）10:00～15:00 参加人数：定員175組（うち児童204名）、参加者：121組（うち児童148名） 開催場所：東京大学本郷キャンパス	毎年人気が高く多数の応募があり、定着した事業となっています。	みどり公園課
120		1－③－ウ	社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するため社会科副読本（小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」）を作成・購入します。	ふるさと学習副読本の作成 ・小学校版「わたしたちの文京区」の改訂 ・小学校版「わたしたちの文京区」デジタル版を新規作成 ・小学校版「わたしたちの文京区　指導の手引き」の改訂 ・「わたしたちの東京都」購入 ・中学校版「わがまち文京」の改訂	ふるさと学習副読本の作成（デジタル版も含む） 小学校版「わたしたちの文京区」の改訂 小学校版「わたしたちの文京区　指導の手引き」の改訂 「わたしたちの東京都」購入 「わがまち文京」中学校版の改訂	文京区内の身近な地域のことを児童・生徒の発達段階に即して作成することで、地域のことをより深く理解することにつなげることができました。区内の小・中学校の先生方に編集委員となっていただき、毎年の改訂を行うことにより、文京区の最新の取組や特徴について、児童・生徒の文京区への理解を深めることができました。	教育指導課
121		1－③－ウ	東京大学総合研究博物館スクール・モバイルミュージアム（地域大学等連携事業）	平成29年度からは地域大学等連携事業として、東京大学総合研究博物館の研究成果を教育センターで展示し、トークイベント等を実施します。	年間2テーマの展示を行い、トークイベントを8回実施しました。 小中学生1,187名、大人6,778名の来場がありました。	年間2テーマの展示を行い、トークイベントを8回実施しました。 小中学生733名、大人3,008名の来場がありました。	東京大学総合研究博物館と連携し、最先端の科学技術研究の成果をこども達に還元することができています。	教育センター
122		1－③－ウ	大学連携による附属図書館の区民開放	区内大学附属図書館の区民開放により、区民の学習活動を支援します。	区民開放対象大学：7大学 ・閲覧等申請者数　延274人	区民開放対象大学：7大学 ・閲覧等申請者数　延403人	区内7大学の協力による大学図書館の区民開放において、公共図書館では提供できない高度な学術書や専門書等の資料閲覧の機会を提供しました。	真砂中央図書館
2　スポーツ　①　だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充　ア　スポーツの楽しさを知る機会の創出（p.35）								
123	25	2－①－ア	初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	(1)初心者アーチェリー教室 実施回数：6回 会場：文京総合体育館 対象：高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延102人 (2)初心者弓道教室 実施回数：6回 会場：文京スポーツセンター 対象：高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延128人 (3)初心者テニス教室 実施回数：3期（1期につき5日間） 会場：文京スポーツセンター 対象：区内在住・在学の小学生 参加者数：延85人 (1)～(3)主催：スポーツ施設指定管理者	(1)初心者合気道教室 実施回数：6回 会場：文京総合体育館 対象：小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 80人 (2)初心者アーチェリー教室 実施回数：6回 会場：文京総合体育館 対象：高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 121人 (3)初心者弓道教室 実施回数：6回 会場：文京スポーツセンター 対象：高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 148人 (4)初心者テニス教室 実施回数：3期（1期につき5日間） 会場：文京スポーツセンター 対象：区内在住・在学の小学生 参加者数：延 83人 (1)～(4)主催：スポーツ施設指定管理者	新たな競技に挑戦する機会創出を目的として、個人では始めることが難しい3種目について初心者向け教室を実施し、多くの方にご参加いただきました。 種目：アーチェリー、弓道、テニス	スポーツ振興課
124		2－①－ア	小・中学生向けスポーツ教室	こどもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1)　ジュニアローラー教室 実施日：8月5日（火）、8月6日（水） 会場：東京ドームローラースケートアリーナ 対象：小中学生 参加者数：97人 主管：文京区ローラースポーツ連盟 (2)　ジュニアサッカー教室 実施日：12月6日（土） 会場：目白台運動公園 対象：小学3～6年生 参加者数：53人 主管：少年サッカー連盟、JFA	(1)　ジュニアローラー教室 実施日：8月6日（火）、8月7日（水） 会場：東京ドームローラースケートアリーナ 対象：小中学生 参加者数：80人 主管：文京区ローラースポーツ連盟 (2)　ジュニアサッカー教室 実施日：12月7日（土） 会場：小石川運動場 対象：小学3～6年生 参加者数：76人 主管：少年サッカー連盟、JFA	こどもたちの指導に精通している指導者によりスポーツを体験し、興味をもって取り組んでもらえました。地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができました。、	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
125		2－①－ア	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担うこどもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	⑴ 親子野球教室 実施日：4月19日（土）、5月11日（日） 会場：後楽公園少年野球場　対象：小学1～4年生親子 参加者数：222人　主管：ジャイアンツアカデミー ⑵ ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日：9月13日（土） 会場：文京スポーツセンター　対象：小学1～4年生の親子 参加者数：82人　主管：ヨネックス ⑶ アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：6月28日（土） 会場：文京総合体育館　対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：132人　主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス ⑷ フライングディスク教室　※雨天中止 実施日：11月9日（日） 会場：六義公園運動場　対象：4歳以上 参加者数：0人　主管：文化シヤッター ⑸ 親子フットサル教室 実施日：11月29日（土）、12月20日（土） 会場：文京スポーツセンター　対象：4歳以上～小学2年生の親子 参加者数：132人　主管：CLUB LB＆BRB ⑹ ブレイキン体験会 実施日：9月6日(土) 会場：文京学院大学　対象：未就学児（4歳以上）から小学6年生までとその保護者 参加者数：108人　主管：(株)IAM ⑺ チアダンス体験教室 実施日：5月18日(日) 会場：文京総合体育館　対象：未就学児（4歳以上）から小学3年生までとその保護者 参加者数：100人　主管：日本バスケットボール協会 ⑻ 親子バドミントン教室 実施日：7月13日(日) 会場：文京総合体育館　対象：未就学児（4歳以上）から小学4年生までとその保護者 参加者数：80人　主管：ヨネックス	⑴ 小学生ボール投げ＆走り方教室 実施日：4月14日（日）、4月21日（日） 5月12日（日）、5月19日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生親子 参加者数：272人 主管：ジャイアンツアカデミー ⑵ タグラグビー教室 雨天のため中止 主管：トヨタヴェルブリッツ ⑶ 親子ボウリング教室 実施日：8月27日（火）、8月28日（水） 会場：東京ドームボウリングセンター 対象：小学生の親子 参加者数：76人 主管：文京区ボウリング連盟 ⑷ ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日：11月17日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：92人 主管：ヨネックス ⑸ アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：10月26日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：126人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス ⑹ フライングディスク教室 実施日：11月24日（日） 会場：小石川運動場 対象：4歳以上 参加者数：78人 主管：文化シヤッター ⑺親子フットサル教室 実施日：11月23日（土）、11月30日（土） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：138人 主管：CLUB LB＆BRB	親子で気軽に楽しくスポーツを体験することができる機会を創出することができました。	スポーツ振興課
126		2－①－ア	スポーツの日事業	こどもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも　参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 ⑵体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	Bunkyo Sports Park 実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア ⑵体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球／サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	令和5年度までは区立スポーツ施設等の指定管理者による「スポーツの日事業」として実施してきましたが、令和6年度より「Bunkyo Sports Park」を実施しました。 Bunkyo Sports Parkでは、地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ等のパラスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供しました。延べ12,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課
127	26	2－①－ア	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	⑴スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,299日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延28,947人 ⑵プール一般開放 実施日数：5日間（8/7・8・9・10・11　午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延211人	⑴スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,323日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 26,869人 ⑵プール一般開放 実施日数：4日間（8/10・11・12・17　午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延185人	スポーツ交流ひろばは、引き続き、区立小・中学校18校で実施しました。学校改修工事が例年よりも多く、開放日が少なかった一方で、参加者数は増加傾向が続いています。プール一般開放は、区立中学校1校で5日間開催しました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
R5 新規	27	2－①－ア	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも　参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 ⑵体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア ⑵体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球/サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ、ブレイキン等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供するとともに、スポーツ分野におけるSDGsの概念を普及しました。昨年度を大幅に超える延べ11,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課
128		2－①－ア	各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場として、各種区民スポーツ大会を開催します。	⑴区民大会参加者数：延　8,269人 ⑵都民大会派遣人数：延　306人 ⑶スポーツ少年団交流事業 実施日：11月30日 会場：六義公園運動場 種目：キックベースボール 参加者数：180人	⑴区民大会参加者数：延　7,614人 ⑵都民大会派遣人数：延　438人 ⑶スポーツ少年団交流事業 実施日：11月24日 会場：スポーツセンター 種目：ビーチボール 参加者数：179人	各種区民スポーツ大会を開催し、区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場を増やすことができました。	スポーツ振興課
129		2－①－ア	アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	⑴　ファミリーハイキング教室 実施日：6月8日（日） 会場：宮ケ瀬湖周辺（神奈川） 対象：小学生以上 参加者数：55人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑵　ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（月・祝） 会場：シビックセンターから肥後細川庭園 対象：小学生以上 参加者数：78名 主管：文京区スポーツ推進委員会	⑴　ファミリーハイキング教室 実施日：6月2日（日） 会場：鋸山（千葉県） 対象：小学生以上 参加者数：64人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑵　ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（日・祝） 会場：渋沢栄一ゆかりの地（文京区～北区） 対象：小学生以上 参加者数：72名 主管：文京区スポーツ推進委員会	気軽かつ手軽に参加できるため、普段スポーツに馴染みがない人に対し、運動を身近に感じてもらえるきっかけになりました。	スポーツ振興課
130		2－①－ア	シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。	⑴高齢者水泳＋健康体操教室：延622人 ⑵シニア健康体操教室：延742人 ⑶高齢者水中ウォーキング教室：延1,257人 ⑴～⑶主催：スポーツ施設指定管理者	⑴高齢者水泳＋健康体操教室：延455人 ⑵シニア健康体操教室：延745人 ⑶高齢者水中ウォーキング教室：延923人 ⑴～⑶主催：スポーツ施設指定管理者	人気の高い高齢者水中ウォーキング教室など、気軽に参加できる教室として、高齢者の健康づくりの場を提供することができました。	スポーツ振興課
131		2－①－ア	着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。	⑴着衣泳講習会 実施日：7月6日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：34人 主催：スポーツ施設指定管理者	⑴着衣泳講習会 実施日：9月1日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：12人 主催：スポーツ施設指定管理者	水中での事故に対する知識や簡易救助法などの技術を習得してもらうことで、水辺の安全教育の一環に資することができました。	スポーツ振興課
132		2－①－ア	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	⑴おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延67人(体操・トレーニング)、28人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	⑴おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 90人(体操・トレーニング)、36人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
133		2－①－ア	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	こどもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1　あおぞらすくすく広場 →施設の無料開放。（個人向け、園庭のない保育園等向け） 2　親子すくすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3　園児すくすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数：59日 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延4,323人 主催：スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数：23日 会場：後楽公園少年野球場 対象：満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延68人 (3)園児すくすく教室 実施回数：37回（1日に複数回実施あり） 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上） 参加者数：延705人	(1)あおぞらすくすく広場 実施日数：69日 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延 5,376人 主催：スポーツ施設指定管理者 (2)親子すくすく教室 実施日数：22日 会場：後楽公園少年野球場 対象：満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延 116人 (3)園児すくすく教室 実施回数：28回（1日に複数回実施あり） 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上） 参加者数：延 568人	屋外スポーツ施設において、施設の開放や親子向けスポーツ教室を実施することで、未就学児童へ外遊びの機会を提供しました。	スポーツ振興課
134		2－①－ア	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	1　委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 実施日：6月8日（日）　会場：宮ケ瀬湖周辺（神奈川） 対象：小学生以上　参加者数：55人　主管：文京区スポーツ推進委員会 (2) ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（月・祝）　会場：シビックセンターから肥後細川庭園 対象：小学生以上　参加者数：78名　主管：文京区スポーツ推進委員会 (3)ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月1日(日)　会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上　参加者数：227人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (4)この指とまれクラブ 実施日：6月22日(日)、9月28日(日)、11月23日(日)、1月25日(日)、2月22日(日)、3月22日(日) ※5月25日(日)、10月26日(日)、12月21日(日)は中止 会場：文京スポーツセンター　対象：幼児・小学生　参加者数：187人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (5) 広報 1回広報誌を発行 2　共済事業 (1) スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3　研修 (1) 指導者講習会（普通救命講習）5月24日（土） (2) 実技講習会（ボッチャ審判勉強会）　10月16日（木） (3) 指導者講習会（障害者スポーツ）　2月19日（木） (4) 広域地区別研修会（2ブロ合同研修会）　9月27日（土）	1　委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 実施日：6月2日（日） 会場：鋸山（千葉県） 対象：小学生以上 参加者数：64人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (2) ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（日・祝） 会場：渋沢栄一ゆかりの地（文京区～北区） 対象：小学生以上 参加者数：72名 主管：文京区スポーツ推進委員会 (3) ニュースポーツ大会 ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月2日（日） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上 参加者数：191人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (4) この指とまれクラブ 実施日：5月26日（日）、6月23日（日）雨天中止、9月22日（日）雨天中止、10月27日（日）、11月24日（日）雨天中止、12月22日（日）、1月26日（日）、2月23日（日）、3月23日（日） 会場：教育の森公園 対象：幼児・小学生 参加者数：274人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (5) 広報 1回広報誌を発行 2　共催事業 (1) スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3　研修 (1) 指導者講習会（普通救命講習）5月25日（土） (3) 実技講習会（ボッチャ審判勉強会）　10月20日（木） (4) 指導者講習会（障害者スポーツ）　1月16日（木） (5) 広域地区別研修会（2ブロ合同研修会）　9月28日（土）	スポーツ推進委員会に多様なスポーツ事業を委託したことにより、委員会の活動が活性化しました。	スポーツ振興課
2　スポーツ　①　だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充　イ　ユニバーサルスポーツの普及振興（p.36）								
135	28	2－①－イ	ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッヂビーやボッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。	ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月1日(日)　会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上　参加者数：227人 主管：文京区スポーツ推進委員会	ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月2日（日） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上 参加者数：191人 主管：文京区スポーツ推進委員会	多様な年代の方々が大会に参加し、年齢、性別、体力、障害の有無等に関わらず、ボッチャを楽しむ機会を提供することができました。	スポーツ振興課
136		2－①－イ	スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	みんなのスポーツひろば（旧名称：スポ・レクひろば） 開催数：10回 対象：原則、区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所：文京総合体育館、文京江戸川橋体育館 参加者数：250人 内容：サッカーやバスケットボール等の各種スポーツ	スポ・レクひろば 開催数：9回 対象：原則、区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所：文京総合体育館 参加者数：238人 内容：サッカーやバスケットボール等の各種スポーツ	サッカーやバスケットボール、ゴルフ等のスポーツをアレンジし、どなたでも楽しむことができるプログラムを提供しました。事業を通して、スポーツをきっかけとした仲間づくりや社会参画の促進につながりました。また、区内のリゾート＆スポーツ専門学校等の学生がボランティアとして参加することで活気づき、安全面でもより安心な運営ができるようになりました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
137	29	2－①－イ	障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	(1) パラスポーツ体験会 実施日：2月28日(土) 会場：文京スポーツセンター 対象：区内在住・在勤・在学の小学生以上参加者数：40人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車 (2) ボッチャブースの出展 ①つつじまつり 実施日：4月26日(土)、会場：根津神社、参加者数：234人 ②あじさいまつり 実施日：6月14日(土) 会場：白山神社 参加者数：250人 ③朝顔・ほおずき市 実施日：7月19日(土) 会場：伝通院 参加者数：182人 ④菊まつり 実施日：11月15日(土) 会場：湯島天満宮 参加者数：184人 (3) スポ育（ブラインドサッカー） 実施校：18校 参加者：1,658名 会場：各学校	(1) パラスポーツ体験会 実施日：2月8日（土） 会場：文京スポーツセンター 対象：区40在住・在勤・在学者 参加者数：0人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車 (2) ボッチャブースの出展 ①あじさいまつり 実施日：6月8日（土） 会場：白山神社 参加者数：168名 ②朝顔・ほおずき市 実施日：7月21日（日） 会場：伝通院 参加者数：172人 ③菊まつり 実施日：11月9日（土） 会場：湯島天満宮 参加者数：89人 ④梅まつり 実施日：2月15日（土） 会場：湯島天満宮 参加者数：178人 (4)スポ育 実施校：19校 参加者：1,510名 会場：各学校	区内のまつり会場にボッチャブースを出展するなど、多くの方にパラスポーツを体験していただきました。 また、パラスポーツ体験会ではパラアスリートを講師に招き、参加者と交流する機会を提供することができました。	スポーツ振興課
138		2－①－イ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級パラスポーツ指導員養成講習会 日程：令和8年1月18日（日）、1月24日（土）、 1月31日（土）、2月8日（日） 会場：台東リバーサイドスポーツセンター 対象：文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容：障がいやパラスポーツ、安全管理等い関する基礎的な知識や障がい者に対する基本的な技術を学びます。 主催：文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区（令和7年度幹事区：台東区） 受講料：無料（テキスト代も無料）※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は3名申込み、3名資格を取得	4区合同初級パラスポーツ指導員養成講習会 日程：令和6年11月30日（土）、12月8日（日）、 12月21日（土）、12月22日（日） 会場：赤羽体育館 対象：文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容：(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催：文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区（令和6年度幹事区：北区） 受講料：無料（テキスト代も無料）※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は2名申込み、2名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課
R5 新規	30	2－①－イ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 (2)体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア (2)体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球/サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ、ブレイキン等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供するとともに、スポーツ分野におけるSDGsの概念を普及しました。延べ11,00012,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
139		2－①－イ	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	(1)おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延67人(体操・トレーニング)、28人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	(1)おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 90人(体操・トレーニング)、36人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充（p.36）								
140		2－①－ウ	スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	実績なし	パリ2024オリンピック男子バスケットボール日本代表戦 日時：８月２日(金) 会場：区民ひろば（文京シビックセンター地下２階） 参加者数：116名	実績なし	スポーツ振興課
141		2－①－ウ	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	(1) 2025読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：５月25日(日)、８月16日(土) 会場：東京ドーム　対象：小・中学生を含む区内在住・在勤・在学のご家族 参加者数：167人　主管：読売巨人軍 (2) 親子野球教室 実施日：４月19日（土）、５月11日（日） 会場：後楽公園少年野球場　対象：４歳以上～3年生親子 参加者数：222人　主管：ジャイアンツアカデミー	(1) 2024読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：６月30日(日)、８月４日(日) 会場：東京ドーム 対象：小中学生の親子 参加者数：160人 主管：読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ＆走り方教室 実施日：４月14日（日）、４月21日（日） ５月12日（日）、５月19日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学１～４年生親子 参加者数：276人 主管：ジャイアンツアカデミー	親子野球教室や読売巨人軍×文京区スペシャルイベントを通して、親子で野球とふれあう機会を提供することができました。	スポーツ振興課
142		2－①－ウ	文京LBレディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページにてチームを紹介し、より多くの区民が応援する動機付けを行いました。	スポーツ振興課
143		2－①－ウ	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	ジュニアサッカー教室 実施日：12月６日（土） 会場：目白台運動公園 対象：小学３～６年生 参加者数：53人 主管：少年サッカー連盟、JFA	ジュニアサッカー教室 実施日：12月７日（土） 会場：小石川運動場 対象：小学３～６年生 参加者数：76人 主管：少年サッカー連盟、JFA	初心者から経験者まで広く参加者を募集し、サッカーを通してスポーツを身近に感じる機会を提供することができました。	スポーツ振興課
144		2－①－ウ	講道館との協力に基づく事業の実施	講道館との協力により、スポーツに触れる機会を拡大するため、講習会等、各種事業を展開します。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
145	31	2－①－ウ	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	1 読売巨人軍 (1)2025読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：5月25日(日)、8月16日(土) 会場：東京ドーム 対象：小・中学生を含む区内在住・在勤・在学のご家族 参加者数：167人 (2) 親子野球教室 実施日：4月19日(土)、5月11日(日) 会場：後楽公園少年野球場 対象：小学1～4年生親子 参加者数：222人 主管：ジャイアンツアカデミー 2 CLUB LB ＆ BRB (1) 親子フットサル教室 実施日：11月29日(土)、12月20日(土)会場：文京スポーツセンター 対象：4歳以上～小学2年生の親子 参加者数：132人 主管：CLUB LB＆BRB (2) TOKYO UNITED CUP 実施日：令和7年10月4日～11月18日(土)のうち、6日間 場所：小石川運動場 対象：中学生のサッカーチーム 参加チーム数：7チーム 3 トヨタ自動車 (1) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：6月28日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：132人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス 4 日本サッカー協会 (1) ジュニアサッカー教室 実施日：12月6日（土） 会場：目白台運動公園 対象：小学3～6年生 参加者数：53人 主管：少年サッカー連盟、JFA 5 文化シヤッター (1) フライングディスク体験教室（雨天中止） 6 アルバルク東京 (1) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：6月28日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：132人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス (2) アルバルク東京試合応援ツアー 実施日：2月14日（土）、2月15日（日） 会場：TOYOTA ARENA TOKYO 対象：区内在住、在学の家族 参加者数：381人 7 ヨネックス テニピン体験会 実施日：9月13日（土） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：82人 8 スポーツ推進委員 1 委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 実施日：6月8日（日） 会場：宮ケ瀬湖周辺（神奈川） 対象：小学生以上 参加者数：55人 (2) ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（月・祝） 会場：シビックセンターから肥後細川庭園 対象：小学生以上 参加者数：78名 (3)ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月1日（日） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上 参加者数：227人 (4)この指とまれクラブ 実施日：6月22日(日)、9月28日(日)、11月23日(日)、1月25日(日)、2月22日(日)、3月22日(日) ※5月25日(日)、10月26日(日)、12月21日(日)は中止 会場：文京スポーツセンター 対象：幼児・小学生 参加者数：187人 (5) 広報 ※1回広報誌を発行 2 共済事業 (1) スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担	1 読売巨人軍 (1) 2024読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：6月30日(日)、8月4日(日) 会場：東京ドーム 対象：小中学生の親子 参加者数：160人 主管：読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ＆走り方教室 実施日：4月14日(日)、4月21日(日) 5月12日(日)、5月19日(日) 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生親子 参加者数：276人 主管：ジャイアンツアカデミー 2 CLUB LB ＆ BRB (1) 親子フットサル教室 実施日：11月23日(土)、11月30日(土) 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：138人 (2) TOKYO UNITED CUP 実施日：令和6年1月26日(日)、2月1日(土)、2月2日(日)、2月8日(土)、2月15日(土)、2月23日(日) 場所：小石川運動場 対象：中学生のサッカーチーム 参加チーム数：7チーム 3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 雨天のため中止 (2) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：10月26日(土) 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：126人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス 4 日本サッカー協会 (1) ジュニアサッカー教室 実施日：12月7日(土) 会場：小石川運動場 対象：小学3～6年生 参加者数：76人 主管：少年サッカー連盟、JFA 5 文化シヤッター フライングディスク体験教室 実施日：11月24日(日) 会場：小石川運動場 対象：4歳以上 参加者数：78人 6 アルバルク東京 (1) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：10月26日(土) 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：126人 (2) アルバルク東京試合応援ツアー 実施日：2月[illegible]日(土)、2月[illegible]日(日)	多様な協働団体と、様々な競技で教室やイベント等を実施でき、幅広い区民の興味・関心に加え、「する」「見る」スポーツを推進することができました。	スポーツ振興課
146		2－①－ウ	パラリンピアンと楽しむ障害者スポーツ事業	パラリンピアンを招き、ボッチャなどのだれもが楽しむことのできるスポーツ体験事業を開催します。	パラスポーツ体験会にてパラ陸上の佐藤圭太選手を招聘し、競技用義足の体験ブースを運営していただきました。佐藤選手に障害や義足に関する質疑応答の時間を設けることで、パラアスリートとの貴重な交流機会を提供することができました。	パラスポーツ体験会にてパラ陸上の池田樹生選手を招聘し、競技用義足の体験ブースを運営していただきました。池田選手に障害や義足に関する質疑応答の時間を設けることで、パラアスリートとの貴重な交流機会を提供することができました。	パラスポーツ体験会では、パラアスリートを講師に招き、競技用義足体験、車いすバスケ、ボッチャを体験する機会を提供しました。 参加者は障害のあるアスリートとの交流や質疑応答を通して、パラスポーツの理解を深めていました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 エ スポーツボランティア等の活動支援（p.37）								
147	32	2－①－エ	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	ホームページ等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	ホームページ等でスポーツボランティアの情報を発信することで、ボランティア登録者数を増やすことができました。	スポーツ振興課
148		2－①－エ	スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。	登録者数：77人 活動回数：31回 派遣者数：延べ132人	登録者数：71人 活動回数：32回 派遣者数：延べ202人	スポーツボランティアが活動できる事業を増やし、登録数を維持することができました。	スポーツ振興課
149		2－①－エ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級パラスポーツ指導員養成講習会 日程：令和8年1月18日（日）、1月24日（土）、 1月31日（土）、2月8日（日） 会場：台東リバーサイドスポーツセンター 対象：文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の１８歳以上の方 内容：障がいやパラスポーツ、安全管理等い関する基礎的な知識や障がい者に対する基本的な技術を学びます。 主催：文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区（令和7年度幹事区：台東区） 受講料：無料（テキスト代も無料）※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は3名申込み、3名資格を取得	4区合同初級パラスポーツ指導員養成講習会 日程：令和6年11月30日（土）、12月8日（日）、 12月21日（土）、12月22日（日） 会場：赤羽体育館 対象：文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容：(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催：文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区（令和6年度幹事区：北区） 受講料：無料（テキスト代も無料）※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は2名申込み、2名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備（p.38）								
150		2－②－ア	一般向けスポーツ教室	幅広い年齢層の区民の健康・体力づくりを推進するため、各種スポーツやレクリエーション教室を開催します。	(1)アクアエクササイズ教室 20回実施、延人数：744人 会場：総合体育館 (2)元気ニコニコ教室 48回実施、延人数：3,750人 会場：江戸川橋体育館 (1)・(2)主催：スポーツ施設指定管理者	(1)アクアエクササイズ教室 16回実施、延人数：569人 会場：総合体育館 (2)元気ニコニコ教室 48回実施、延人数：3,696人 会場：江戸川橋体育館 (1)・(2)主催：スポーツ施設指定管理者	幅広い年齢層に対して各種スポーツ教室を開催し、区民の健康・体力づくりの増進を支援できました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
151		2－②－ア	スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていきます。	小石川運動場グラウンドの照明設計委託を実施し、照明LED化及び人工芝張替工事に着手しました。 また、竹早テニスコート第3・第4コートの人工芝張替工事や総合体育館競技場の照明改修工事、江戸川橋体育館エントランス舗装工事を完了しました。	竹早テニスコート第4コートの人工芝補修工事及び総合体育館プール屋根改修工事を完了しました。	利用者にとって、快適且つ安心してスポーツ施設を利用してもらえるように、必要な整備を実施しました。	スポーツ振興課
152		2－②－ア	スポーツの日事業	こどもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも　参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 ⑵体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	Bunkyo Spors Park 実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア ⑵体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球/サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	令和5年度までは区立スポーツ施設等の指定管理者による「スポーツの日事業」として実施してきましたが、令和6年度おり「Bunkyo Sports Park」を実施しました。 Bunkyo Sports Parkでは、地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ等のパラスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供しました。延べ12,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課
153	33	2－②－ア	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	⑴スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,299日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延28,947人 ⑵プール一般開放 実施日数：5日間（8/7・8・9・10・11　午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延211人	⑴スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,323日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 26,869人 ⑵プール一般開放 実施日数：4日間（8/10・11・12・17　午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延185人	スポーツ交流ひろばは、引き続き、区立小・中学校18校で実施しました。学校改修工事が例年よりも多く、開放日が少なかった一方で、参加者数は増加傾向が続いています。プール一般開放は、区立中学校1校で5日間開催しました。	スポーツ振興課
154		2－②－ア	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	⑴おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延67人(体操・トレーニング)、28人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	⑴おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 90人(体操・トレーニング)、36人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
155	34	2－②－ア	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	こどもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。 1　あおぞらすくすく広場 →施設の無料開放。（個人向け、園庭のない保育園等向け） 2　親子すくすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3　園児すくすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	⑴あおぞらすくすく広場 実施日数：59日 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延4,323人 主催：スポーツ施設指定管理者 ⑵親子すくすく教室 実施日数：23日 会場：後楽公園少年野球場 対象：満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延68人 ⑶園児すくすく教室 実施回数：37回（1日に複数回実施あり） 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数：延705人	⑴あおぞらすくすく広場 実施日数：69日 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延 5,376人 主催：スポーツ施設指定管理者 ⑵親子すくすく教室 実施日数：22日 会場：後楽公園少年野球場 対象：満3歳以上の未就学児と文京区在住・在勤の保護者 参加者数：延 116人 ⑶園児すくすく教室 実施回数：28回（1日に複数回実施あり） 会場：六義公園運動場、後楽公園少年野球場 対象：園庭のない保育園等(参加園児の年齢制限は3歳以上) 参加者数：延 568人	屋外スポーツ施設について、空きの多い時間帯を有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提供することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備（p.39）								
156	35	2－②－イ	スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導者に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信します。	月1回の発行 ・開放日程の予定調査、事務連絡、用品購入調査など	月1回の発行 ・開放日程の予定調査、事務連絡、用品購入調査など	「スポーツ交流ひろば通信」を通じて、指導者や区立小中学校の連絡指導員と情報共有を図り、円滑な事業運営ができました。	スポーツ振興課
157		2－②－イ	地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供します。	事業実施時の様子などをホームページやSNS等で発信しました。	事業実施時の様子などをホームページやSNS等で発信しました。	区が主催している事業、支援している事業を周知することにより、区民が身近な場所でスポーツ事業が行われていることを知るきっかけになりました。	スポーツ振興課
158		2－②－イ	各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関等をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信します。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課
159	36	2－②－イ	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。	ホームページ等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	ホームページ等の発信にとどまらず、各種イベント等でスポーツボランティアの情報を発信しました。	ホームページ等でスポーツボランティアの情報を発信することで、ボランティア登録者数を増やすことができました。	スポーツ振興課
160		2－②－イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
161		2－②－イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	通常号（4月10日号～3月25日号）は141,200部［年23回（全戸配付）］、新春号（1月1日号）は 65,500部［年1回（新聞折込）］を配付しました。	4月10日 141,000部、4月25日～3月25日号 140,000部　計年23回 1月1日号　68,000部　年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
162		2－②－イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことからも、今後も広い発信に努めます。	広報戦略課
163		2－②－イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	転入者等に文の京わたしの便利帳（令和5年度発行）を配付し、生涯学習関連情報を提供しました。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布（令和5年度発行）	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
164		2－②－イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します（4カ国語併記　日本語・英語・中国語・ハングル）。	転入手続を行った外国人に外国語版生活便利帳［日本語・英語・韓国語・中国語を併記（令和6年度発行）］を配付しました。	外国語版生活便利帳の発行（4カ国語併記　日本語・英語・ハングル・中国語） 転入者等に配布（令和6年度発行）	4カ国語（日本語・英語・ハングル・中国語)を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
165		2－②－イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報（計24回）を多言語版アプリ「カタログポケット」（英語・中国語・韓国語を含む10言語に対応）で配信しました。	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
2 スポーツ ② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開（p.40）								
166		2－②－ウ	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数800件 （内訳） 一般生涯学習活動団体　414件 スポーツ・野外活動団体　386件	登録団体数830件 （内訳） 一般生涯学習活動団体　410件 スポーツ・野外活動団体　420件	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、登録更新書類の提出を依頼し、団体の活動内容を把握をすることができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
167	37	2－②－ウ	地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	・区民大会：27大会実施 ・文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金：申請8団体17事業	・区民大会：大会実施28／32大会実施 ・文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金：申請9団体17事業	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、地域でスポーツ事業を実施する団体に事業費の補助を行いました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
168	38	2－②－ウ	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。	(1)スポーツ施設一般公開 参加人数：7,089人(文京総合体育館)、12,156人(文京スポーツセンター)、4,466人(江戸川橋体育館) 主催：スポーツ施設指定管理者	(1)スポーツ施設一般公開 参加人数：8,348人(文京総合体育館)、10,995人(文京スポーツセンター)、4,305人(江戸川橋体育館) 主催：スポーツ施設指定管理者	引き続き、スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で各種競技の一般公開を実施し、スポーツを行う機会を提供することができました。	スポーツ振興課
169		2－②－ウ	文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模又は東京都の競技大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰します。	①溝橋嵐（全国少年少女選抜レスリング選手権大会） ②簑和田一洋（パラクライミング） ③坪井くらら・溝橋嵐（全国少年少女レスリング選手権大会） ④高橋麻里（全国障害者スポーツ大会1位） ⑤山田真樹（デフリンピック） ⑥溝橋嵐（2026全国少年少女選抜レスリング選手権大会）	①坪井くらら（第41回全国少年少女レスリング選手権大会　優勝） ②大泉堅（第78回国スポーツ大会カヌースプリントk-4　7位） ③宮尾佳帆（World Skate Games ITARIA2024）　パート優勝、パーク6位 ④瀧田朔乃介（第78回国民スポーツ大会相撲競技会）少年男子個人準優勝 ⑤美馬優甫（第23回全国障害者スポーツ大会）男子一般卓球優勝 ⑥森平蔵（第3回NAGASEカップ陸上競技大会）男子4×400mリレー優勝 ⑦斎藤航（第78回国民スポーツ大会ラグビーフットボール競技少年男子）準優勝 ⑧竹内利樹人（第103回全国高等学校サッカー選手権大会）ベスト8 ⑨木村敬一（パリ2024パラリンピック競技大会）水泳男子100mバタフライ、50m自由形　金メダル ⑩鬼谷慶子（パリ2024パラリンピック競技大会）陸上女子円盤投げ銀メダル	国民スポーツ大会等において優秀な成績を収めた選手の表彰を行いました。	スポーツ振興課
170		2－②－ウ	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	○派遣単位数 ・スポーツ推進委員会：139単位 ・スポーツリーダー：146単位 ※1団体につき年間12単位（1単位2時間）	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：94単位 ・スポーツリーダー：44単位 ※派遣回数：1団体につき年間12単位（1単位2時間）	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。	スポーツ振興課
171	39	2－②－ウ	スポーツの日事業	こどもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも　参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 (2)体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア (2)体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球/サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	令和5年度までは区立スポーツ施設等の指定管理者による「スポーツの日事業」として実施してきましたが、令和6年度より「Bunkyo Sports Park」を実施しました。 Bunkyo Sports Parkでは、地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ等のパラスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供しました。延べ12,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課
172		2－②－ウ	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,299日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延28,947人 (2)プール一般開放 実施日数：5日間（8/7・8・9・10・11　午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延211人	(1)スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,323日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 26,869人 (2)プール一般開放 実施日数：4日間（8/10・11・12・17　午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延185人	スポーツ交流ひろばは、引き続き、区立小・中学校18校で実施しました。学校改修工事が例年よりも多く、開放日が少なかった一方で、参加者数は増加傾向が続いています。プール一般開放は、区立中学校1校で5日間開催しました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
173		2－②－ウ	各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場として、各種区民スポーツ大会を開催します。	(1)区民大会参加者数：延　8,269人 (2)都民大会派遣人数：延　306人 (3)スポーツ少年団交流事業 実施日：11月30日 会場：六義公園運動場 種目：キックベースボール 参加者数：180人	(1)区民大会参加者数：延　7,614人 (2)都民大会派遣人数：延　438人 (3)スポーツ少年団交流事業 実施日：11月24日 会場：スポーツセンター 種目：ビーチボール 参加者数：179人	各種区民スポーツ大会を開催し、区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場を増やすことができました。	スポーツ振興課
174		2－②－ウ	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	1　委託事業 (1)　ファミリーハイキング教室 実施日：6月８日（日）　会場：宮ケ瀬湖周辺（神奈川） 対象：小学生以上　参加者数：55人　主管：文京区スポーツ推進委員会 (2)　ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月３日（月・祝）　会場：シビックセンターから肥後細川庭園 対象：小学生以上　参加者数：78名　主管：文京区スポーツ推進委員会 (3)ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月１日（日）　会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上　参加者数：227人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (4)この指とまれクラブ 実施日：6月22日（日）、9月28日（日）、11月23日（日）、1月25日（日）、2月22日（日）、3月22日（日） ※5月25日（日）、10月26日（日）、12月21日（日）は中止 会場：文京スポーツセンター　対象：幼児・小学生　参加者数：187人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (5)　広報 １回広報誌を発行 2　共済事業 (1)　スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3　研修 (1)　指導者講習会（普通救命講習）5月24日（土） (2)　実技講習会（ボッチャ審判勉強会）　10月16日（木） (3)　指導者講習会（障害者スポーツ）　2月19日（木） (4)　広域地区別研修会（2ブロ合同研修会）　9月27日（土）	1　委託事業 (1)　ファミリーハイキング教室 実施日：6月2日（日） 会場：鋸山（千葉県） 対象：小学生以上 参加者数：64人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (2)　ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（日・祝） 会場：渋沢栄一ゆかりの地（文京区～北区） 対象：小学生以上 参加者数：72名 主管：文京区スポーツ推進委員会 (3)　ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月2日（日） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上 参加者数：191人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (4)　この指とまれクラブ 実施日：5月26日（日）、6月23日（日）雨天中止、9月22日（日）雨天中止、10月27日（日）、11月24日（日）雨天中止、12月22日（日）、1月26日（日）、2月23日（日）、3月23日（日） 会場：教育の森公園 対象：幼児・小学生 参加者数：274人 主管：文京区スポーツ推進委員会 (5)　広報 １回広報誌を発行 2　共催事業 (1)　スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 3　研修 (1)　指導者講習会（普通救命講習）5月25日（土） (2)　実技講習会（ボッチャ審判勉強会）　10月20日（木） (3)　指導者講習会（障害者スポーツ）　1月18日（木） (4)　広域地区別研修会（2ブロ合同研修会）　9月28日（土）	スポーツ推進委員会に多様なスポーツ事業を委託したことにより、委員会の活動が活性化しました。	スポーツ振興課
2　スポーツ　②　いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり　エ　スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化（p.40）								
175		2－②－エ	スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱します。	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：１１９単位 ・スポーツリーダー：１６１単位 ※派遣回数：１団体につき年間12単位（１単位2時間）	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：94単位 ・スポーツリーダー：44単位 ※派遣回数：１団体につき年間12単位（１単位2時間）	経験豊富なスポーツ推進委員とスポーツリーダーが長年委嘱されるのに加え、新規の委員とリーダーが加わることで交流が活発になり、幅広く事業を展開しています。	スポーツ振興課
176	40	2－②－エ	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。	○派遣単位数 ・スポーツ推進委員会：139単位 ・スポーツリーダー：146単位 ※１団体につき年間12単位（１単位2時間）	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：94単位 ・スポーツリーダー：44単位 ※派遣回数：１団体につき年間12単位（１単位2時間）	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。スポーツリーダーの登録者数は前年度に比べ増加しました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
177		2－②－エ	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施します。	1　委託事業 ⑴　ファミリーハイキング教室 実施日：６月８日（日）　会場：宮ケ瀬湖周辺（神奈川） 対象：小学生以上　参加者数：55人　主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑵　ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月３日（月・祝）　会場：シビックセンターから肥後細川庭園 対象：小学生以上　参加者数：78名　主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑶ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：３月１日（日）　会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上　参加者数：227人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑷この指とまれクラブ 実施日：6月22日（日）、9月28日（日）、11月23日（日）、1月25日（日）、2月22日（日）、3月22日（日） ※5月25日（日）、10月26日（日）、12月21日（日）は中止 会場：文京スポーツセンター　対象：幼児・小学生　参加者数：187人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑸　広報 　１回広報誌を発行 ２　共済事業 ⑴　スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 ３　研修 ⑴　指導者講習会（普通救命講習）５月24日（土） ⑵　実技講習会（ボッチャ審判勉強会）　10月16日（木） ⑶　指導者講習会（障害者スポーツ）　２月19日（木） ⑷　広域地区別研修会（2ブロ合同研修会）　９月27日（土）	1　委託事業 ⑴　ファミリーハイキング教室 実施日：6月２日（日） 会場：鋸山（千葉県） 対象：小学生以上 参加者数：64人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑵　ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（日・祝） 会場：渋沢栄一ゆかりの地（文京区～北区） 対象：小学生以上 参加者数：72名 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑶　ニュースポーツ教室・大会 ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月2日（日） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上 参加者数：191人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑷　この指とまれクラブ 実施日：５月26日（日）、６月23日（日）雨天中止、９月22日（日）雨天中止、10月27日（日）、11月24日（日）雨天中止、12月22日（日）、１月26日（日）、２月23日（日）、３月23日（日） 会場：教育の森公園 対象：幼児・小学生 参加者数：274人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑸　広報 　１回広報誌を発行 ２　共催事業 ⑴　スキー教室 事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担 ３　研修 ⑴　指導者講習会（普通救命講習）５月25日（土） ⑶　実技講習会（ボッチャ審判勉強会）　10月20日（木） ⑷　指導者講習会（障害者スポーツ）　１月18日（木） ⑸　広域地区別研修会（2ブロ合同研修会）　９月28日（土）	各体操の地域会場運営や自主グループ指導に必要な知識と技術を提供する講習会を実施し、効果測定（終了試験）に合格した方を活動先に配置しました。 指導の標準化及び情報交換のため、フォロー講習や連絡会を実施しました。	高齢福祉課
178		2－②－エ	介護予防ボランティア指導者等養成事業	身近な地域において介護予防を推進するため、文の京介護予防体操や転倒骨折予防体操の指導及び普及啓発を行う区民ボランティアを養成するとともに、高齢者等の社会参加の場の推進を図っています。	養成講習及び研修会参加者数 ①文の京介護予防体操推進リーダー養成：56人 ②転倒骨折予防ボランティア指導員養成：28人	養成講習及び研修会参加者数 ①文の京介護予防体操推進リーダー養成：67人 ②転倒骨折予防ボランティア指導員養成：25人		
2　スポーツ　②　いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり　オ　心身の健康づくり（p.41）								
179	41	2－②－オ	小・中学生向けスポーツ教室	こどもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	⑴　ジュニアローラー教室 実施日：８月５日（火）、８月６日（水） 会場：東京ドームローラースケートアリーナ 対象：小中学生 参加者数：97人 主管：文京区ローラースポーツ連盟 ⑵　ジュニアサッカー教室 実施日：12月６日（土） 会場：目白台運動公園 対象：小学３～６年生 参加者数：53人 主管：少年サッカー連盟、JFA	⑴　ジュニアローラー教室 実施日：８月６日（火）、８月７日（水） 会場：東京ドームローラースケートアリーナ 対象：小中学生 参加者数：80人 主管：文京区ローラースポーツ連盟 ⑵　ジュニアサッカー教室 実施日：12月７日（土） 会場：小石川運動場 対象：小学３～６年生 参加者数：76人 主管：少年サッカー連盟、JFA	こどもたちの指導に精通している指導者によりスポーツを体験し、興味をもって取り組んでもらえました。地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができました。、	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
180	42	2－②－オ	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担うこどもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	⑴ 親子野球教室 実施日：4月19日（土）、5月11日（日） 会場：後楽公園少年野球場　対象：小学1～4年生親子 参加者数：222人　主管：ジャイアンツアカデミー ⑵ ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日：9月13日（土） 会場：文京スポーツセンター　対象：小学1～4年生の親子 参加者数：82人　主管：ヨネックス ⑶ アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：6月28日（土） 会場：文京総合体育館　対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：132人　主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス ⑷ フライングディスク教室　※雨天中止 実施日：11月9日（日） 会場：六義公園運動場　対象：4歳以上 参加者数：0人　主管：文化シヤッター ⑸ 親子フットサル教室 実施日：11月29日（土）、12月20日（土） 会場：文京スポーツセンター　対象：4歳以上～小学2年生の親子 参加者数：132人　主管：CLUB LB＆BRB ⑹ ブレイキン体験会 実施日：9月6日(土) 会場：文京学院大学　　対象：未就学児（4歳以上）から小学6年生までとその保護者 参加者数：108人　主管：(株)IAM ⑺ チアダンス体験教室 実施日：5月18日(日) 会場：文京総合体育館　対象：未就学児（4歳以上）から小学3年生までとその保護者 参加者数：100人　主管：日本バスケットボール協会 ⑻ 親子バドミントン教室 実施日：7月13日(日) 会場：文京総合体育館　対象：未就学児（4歳以上）から小学4年生までとその保護者 参加者数：80人　主管：ヨネックス	⑴ 小学生ボール投げ＆走り方教室 実施日：4月14日（日）、4月21日（日） 5月12日（日）、5月19日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生親子 参加者数：276人 主管：ジャイアンツアカデミー ⑵ タグラグビー教室 雨天のため中止 主管：トヨタヴェルブリッツ ⑶ 親子ボウリング教室 実施日：8月27日（火）、8月28日（水） 会場：東京ドームボウリングセンター 対象：小学生の親子 参加者数：76人 主管：文京区ボウリング連盟 ⑷ ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日：11月17日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：92人 主管：ヨネックス ⑸ アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日：10月26日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：126人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス ⑹ フライングディスク教室 実施日：11月24日（日） 会場：小石川運動場 対象：4歳以上 参加者数：78人 主管：文化シヤッター ⑺親子フットサル教室 実施日：11月23日（土）、11月30日（土） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：138人 主管：CLUB LB＆BRB	親子で気軽に楽しくスポーツを体験することができる機会を創出することができました。	スポーツ振興課
181	43	2－②－オ	スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。	⑴スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,299日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延28,947人 ⑵プール一般開放 実施日数：5日間（8/7・8・9・10・11　午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延211人	⑴スポーツ交流ひろば 年間開放日数：1,323日 会場：区立小中学校18校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 26,869人 ⑵プール一般開放 実施日数：4日間（8/10・11・12・17午後5時から午後7時まで） 会場：区立音羽中学校 対象：区内在住・在勤・在学者 参加者数：延185人	スポーツ交流ひろばは、引き続き、区立小・中学校18校で実施しました。学校改修工事が例年よりも多く、開放日が少なかった一方で、参加者数は増加傾向が続いています。プール一般開放は、区立中学校1校で5日間開催しました。	スポーツ振興課
182		2－②－オ	シニア向けスポーツ教室	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施します。	⑴高齢者水泳＋健康体操教室：延622人 ⑵シニア健康体操教室：延742人 ⑶高齢者水中ウォーキング教室：延1,257人 ⑴～⑶主催：スポーツ施設指定管理者	⑴高齢者水泳＋健康体操教室：延455人 ⑵シニア健康体操教室：延745人 ⑶高齢者水中ウォーキング教室：延923人 ⑴～⑶主催：スポーツ施設指定管理者	人気の高い高齢者水中ウォーキング教室など、気軽に参加できる教室として、高齢者の健康づくりの場を提供することができました。	スポーツ振興課
183		2－②－オ	着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施します。	⑴着衣泳講習会 実施日：7月6日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：34人 主催：スポーツ施設指定管理者	⑴着衣泳講習会 実施日：9月1日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：12人 主催：スポーツ施設指定管理者	水中での事故に対する知識や簡易救助法などの技術を習得してもらうことで、水辺の安全教育の一環に資することができました。	スポーツ振興課
184		2－②－オ	障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行います。	⑴おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延67人(体操・トレーニング)、28人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	⑴おでかけスポーツ 実施日数：13日(体操・トレーニング)、11日(水泳) 会場：文京総合体育館、文京スポーツセンター 対象：肢体および視覚障害がある区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 90人(体操・トレーニング)、36人(水泳) 主催：スポーツ施設指定管理者	障害の有無にかかわらず、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境整備を推進することができました。	スポーツ振興課
185		2－②－オ	介護予防普及啓発事業	高齢者が閉じこもりや要介護状態になることを予防するため、地域の身近な施設で文の京介護予防体操や転倒骨折予防教室等各種教室を実施しています。また、介護予防に関する知識とその重要性を理解してもらうため、講演会等を実施しています。	事業参加者数、実施回数 ①介護予防教室：1,810人、1198回 ②介護予防講演会：174人、2回 ③出前講座：32人、2回 ④介護予防展：895人、1回	事業参加者数、実施回数 ①介護予防教室：2,002人、1,806回 ②介護予防講演会：191人、2回 ③出前講座：10人、1回 ④介護予防展：1,414人、1回	各種介護予防啓発事業を実施し、元気で自立した生活を送るために必要な知識の普及啓発を行うとともに、取組の機会を提供しました。	高齢福祉課
186		2－②－オ	短期集中予防サービス	健康質問調査票（基本チェックリスト）により生活機能の低下がみられる高齢者を対象に要介護状態になることを予防するため、専門職による体操や講義等を行うプログラム事業を実施します。	事業参加者数、実施回数 ①複合型プログラム事業：194人、743回 ②訪問型プログラム事業：実施なし	事業参加者数、実施回数 ①複合型プログラム事業：170人、624回 ②訪問型プログラム事業：実施なし	運動をメインに栄養と口腔を合わせた複合型プログラムを短期間に集中して実施して生活機能の維持・向上を図りました。	高齢福祉課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
187		2－②－オ	からだコンディショニング事業（福祉センター江戸川橋・湯島）	高齢者の心肺機能や運動機能の低下を防ぎ、要介護及び要支援状態になることを予防するための健康維持事業を行います。 ※「すこやか体操」（音羽）「心もからだもいきいき体操」（湯島分館）の後継事業（平成28年度より）	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施しました。 【江戸川橋・湯島共通】（48回実施／48回予定） 1クール12回程度×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 615人・湯 島 513人	高齢者の食事(栄養・嚥下等)や健康維持に資する体操を実施しました。 【江戸川橋・湯島共通】（48回実施／48回予定） 1クール12回程度×年4クール実施 【年間延べ参加人数】 江戸川橋 601人・湯 島 516人	毎回テーマを変え、自分の身体に向き合えるようなプログラムに取り組み、参加者自身が身体機能や健康状態を把握できるよう、体力測定を実施し、呼吸や腰膝、食事、口腔、脳トレを行い、最後は体力測定を行った。専門職（理学療法士）の講義も設け、身体機能の維持・向上に関する専門的な知識を得る機会を提供することで、参加者の健康意識及び継続意欲の向上を図った。また、本事業への参加を契機として、福祉センター事業への継続的な参加や他サービス利用につながるケースも見られた。	高齢福祉課（福祉センター）
188		2－②－オ	スポーツ活動への参加機会の充実	区民の健康維持・増進のため、スポーツやレクリエーションに関する機会を提供します。	開催日：令和8年2月13日（金） 午前・午後の2部制 参加施設：10施設 （ノロウイルス感染症蔓延のため1施設当日不参加） 参加者数：344名	参加施設内での感染症の集団感染により、拡大予防のため中止 令和7年2月7日（金）事業中止	スポーツセンターを会場とし、午前・午後に参加施設を分けて開催しました。参加者、職員が一体となり、活気ある行事にすることができました。	障害福祉課
189		2－②－オ	健康・体力づくりのための事業の充実 （公害保健福祉・予防事業）	区民の健康・体力づくりを支援するための事業を実施します。	・ぜん息児水泳教室 5～6月（前期）、9～10月（後期） 前期：21名参加（定員25名） 後期：24名参加（定員25名） ・呼吸器健康講座 5月20日、6月11日、1月16日（全3回） 5月：22名参加（定員30名） 6月：14名参加（定員30名） 1月：8名参加（定員30名） ・水泳奨励事業 通年 参加延人数334名	・ぜん息児水泳教室 5～6月（前期）：22名参加（定員25名） 9～10月（後期）：プール故障により中止 ・呼吸器健康講座 5月27日、6月27日、10月18日（全3回） 5月：25名参加（定員30名） 6月：16名参加（定員30名） 10月：18名参加（定員30名） ・水泳奨励事業 通年 参加延人数295名	ぜん息児を対象とした水泳教室は、前期・後期ともに定員に近い参加があり、ぜん息児の心身の鍛錬及び呼吸機能の改善に寄与しています。 呼吸器健康講座は、年3回、違うテーマで講座を実施することにより、呼吸器疾患がある方の呼吸機能改善に様々な面からアプローチしています。 水泳奨励事業は、公害健康被害者等に対し、文京区立体育施設のプール利用券を支給して、呼吸器機能の改善に有効な水泳を奨励及び改善に寄与しています。	予防対策課
190		2－②－オ	健康教育	区民の健康の保持･増進を図るため、生活習慣病予防等の講演会を開催します。	○精神保健講演会 2回 ○健康教育講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 4回 ○カラダ改善プログラム 18回 ○ぶんきょう健康フェスタ 1回	○精神保健講演会 2回 ○健康教育講演会 2回 ○生活習慣病予防教室 5回 ○健康スキルアップ教室 48回 ○ウォーキング教室 39＋3回 ○個別運動相談 0回	こころの健康づくり、生活習慣病予防、運動のきっかけ作りと運動習慣の継続等を目的として実施しました。	保健サービスセンター
191		2－②－オ	健康・体力づくりのための事業の充実	区民の健康・体力づくりを支援するため、広く区民を対象にした講演会等を行います。	・文京区学校保健会特別講演（平成5年度～） タイトル：災害時のこころのケア ～子どものための心理的応急処置～ 実施時期：令和8年1月 文京区民チャンネル（文京区内CATV/YouTube）『文の京セレクション』で放送、動画配信	・文京区学校保健会特別講演（平成5年度～） タイトル：お子さんの食物アレルギー －基本から対応法まで－ 実施時期：令和6年11月 文京区民チャンネル（文京区内CATV/YouTube）『文の京セレクション』で放送、動画配信	いつでもどこでもだれでも視聴可能な動画配信で実施し、好評でした。	学校運営課
192		2－②－オ	健康・体力増進事業	体力アップトレーナーや体力向上アドバイザー、テクニカルトレーナー等の授業支援人材を学校に派遣します。また、区内大学や医療機関と連携した外部講師によるがんに関する出前授業を実施します。	・体力アップトレーナーの派遣 全小学校 各校週2日（児童数の少ない校は週1日） ・体力向上アドバイザーの派遣 小学校14校 各校年1回 ・体力向上イベント 年5回 ・テクニカルトレーナーの派遣 中学校全校 前年度の1・2年生の学級数×10時数 ・外部講師によるがんに関する出前授業 小学校14校 中学校10校 各校年1回	・体力アップトレーナーの派遣 全小学校 各校週1日（児童数の多い8校は週2日） ・体力向上アドバイザーの派遣 小学校10校 各校年1回 ・体力向上イベント 年4回 ・テクニカルトレーナーの派遣 中学校全校 前年度の1・2年生の学級数×10時数 ・外部講師によるがんに関する出前授業 小学校13校 中学校10校 各校年1回	外部の人材等を活用することで学校での体育の授業やがん教育の充実につながりました。 令和6年度から、体力アップトレーナーを2名増員し、大規模校に週2回派遣しました。 テクニカルトレーナーについては、令和5年度から全中学校に派遣しています。	教育センター

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり（p.42）								
193	44	2－③－ア	親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担うこどもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催します。	⑴ 親子野球教室 実施日：4月19日（土）、5月11日（日） 会場：後楽公園少年野球場 対象：小学1～4年生親子 参加者数：222人 主管：ジャイアンツアカデミー ⑵ ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日：9月13日（土） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：82人 主管：ヨネックス ⑶ アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：6月28日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：132人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス ⑷ フライングディスク教室 ※雨天中止 実施日：11月9日（日） 会場：六義公園運動場 対象：4歳以上 参加者数：0人 主管：文化シヤッター ⑸ 親子フットサル教室 実施日：11月29日（土）、12月20日（土） 会場：文京スポーツセンター 対象：4歳以上～小学2年生の親子 参加者数：132人 主管：CLUB LB＆BRB ⑹ ブレイキン体験会 実施日：9月6日(土) 会場：文京学院大学 対象：未就学児（4歳以上）から小学6年生までとその保護者 参加者数：108人 主管：(株)IAM ⑺ チアダンス体験教室 実施日：5月18日(日) 会場：文京総合体育館 対象：未就学児（4歳以上）から小学3年生までとその保護者 参加者数：100人 主管：日本バスケットボール協会 ⑻ 親子バドミントン教室 実施日：7月13日(日) 会場：文京総合体育館 対象：未就学児（4歳以上）から小学4年生までとその保護者 参加者数：80人 主管：ヨネックス	⑴ 小学生ボール投げ＆走り方教室 実施日：4月14日（日）、4月21日（日） 5月12日（日）、5月19日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生親子 参加者数：276人 主管：ジャイアンツアカデミー ⑵ タグラグビー教室 雨天のため中止 主管：トヨタヴェルブリッツ ⑶ 親子ボウリング教室 実施日：8月27日（火）、8月28日（水） 会場：東京ドームボウリングセンター 対象：小学生の親子 参加者数：76人 主管：文京区ボウリング連盟 ⑷ ヨネックスと学ぶ親子テニピン体験会 実施日：11月17日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：92人 主管：ヨネックス ⑸ アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 実施日：10月26日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：126人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス ⑹ フライングディスク教室 実施日：11月24日（日） 会場：小石川運動場 対象：4歳以上 参加者数：78人 主管：文化シヤッター ⑺親子フットサル教室 実施日：11月23日（土）、11月30日（土） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：138人 主管：CLUB LB＆BRB	親子で気軽に楽しくスポーツを体験することができる機会を創出することができました。	スポーツ振興課
194		2－③－ア	アウトドアスポーツ事業	東京近郊での軽登山やウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施します。	⑴ ファミリーハイキング教室 実施日：6月8日（日） 会場：宮ケ瀬湖周辺（神奈川） 対象：小学生以上 参加者数：55人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑵ ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（月・祝） 会場：シビックセンターから肥後細川庭園 対象：小学生以上 参加者数：78名 主管：文京区スポーツ推進委員会	⑴ ファミリーハイキング教室 実施日：6月4日（日） 会場：宝登山（埼玉県秩父郡） 対象：小学生以上 参加者数：64人 主管：文京区スポーツ推進委員会 ⑵ ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（日・祝） 会場：渋沢栄一ゆかりの地（文京区～北区） 対象：小学生以上 参加者数：72名 主管：文京区スポーツ推進委員会	気軽かつ手軽に参加できるため、普段スポーツに馴染みがない人に対し、運動を身近に感じてもらえるきっかけになりました。	スポーツ振興課
195	45	2－③－ア	スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。	みんなのスポーツひろば（旧名称：スポ・レクひろば） 開催数：10回 対象：原則、区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所：文京総合体育館、文京江戸川橋体育館 参加者数：250人 内容：サッカーやバスケットボール等の各種スポーツ	スポ・レクひろば 開催数：9回 対象：原則、区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所：文京総合体育館 参加者数：238人 内容：サッカーやバスケットボール等の各種スポーツ	サッカーやバスケットボール、ゴルフ等のスポーツをアレンジし、どなたでも楽しむことができるプログラムを提供しました。事業を通して、スポーツをきっかけとした仲間づくりや社会参画の促進につながりました。また、区内のリゾート＆スポーツ専門学校等の学生がボランティアとして参加することで活気づき、安全面でもより安心な運営ができるようになりました。	スポーツ振興課
196		2－③－ア	児童館合同卓球大会	スポーツを通じて各児童館の交流を図ります。	文京区児童館対抗卓球大会 令和8年3月26日（木）開催	文京区児童館対抗卓球大会 令和7年3月26日（水）開催	前年度と同様に、ブロックに分かれてのリーグ戦形式での卓球大会を開催しました。卓球対戦を通じて他児童館に通う児童との交流を持ち親睦を深めることが出来ました。	児童青少年課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり イ プロスポーツ団体等との連携・協働（p.43）								
197		2－③－イ	スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有します。	実績なし	パリ2024オリンピック男子バスケットボール日本代表戦 日時：8月2日(金) 会場：区民ひろば（文京シビックセンター地下2階） 参加者数：116名	実績なし	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
198		2－③－イ	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開します。	(1) 2025読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：5月25日(日)、8月16日(土) 会場：東京ドーム　対象：小・中学生を含む区内在住・在勤・在学のご家族 参加者数：167人　主管：読売巨人軍 (2) 親子野球教室 実施日：4月19日（土）、5月11日（日） 会場：後楽公園少年野球場　対象：小学1～4年生親子 参加者数：222人　主管：ジャイアンツアカデミー	(1) 2024読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：6月30日(日)、8月4日(日) 会場：東京ドーム 対象：小中学生の親子 参加者数：160人 主管：読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ＆走り方教室 実施日：4月14日（日）、4月21日（日） 5月12日（日）、5月19日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生親子 参加者数：276人 主管：ジャイアンツアカデミー	親子野球教室や読売巨人軍×文京区スペシャルイベントを通して、親子で野球とふれあう機会を提供することができました。	スポーツ振興課
199		2－③－イ	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開します。	ジュニアサッカー教室 実施日：12月6日（土） 会場：目白台運動公園 対象：小学3～6年生 参加者数：53人 主管：少年サッカー連盟、JFA	ジュニアサッカー教室 実施日：12月7日（土） 会場：小石川運動場 対象：小学3～6年生 参加者数：76人 主管：少年サッカー連盟、JFA	初心者から経験者まで広く参加者を募集し、サッカーを通してスポーツを身近に感じる機会を提供することができました。	スポーツ振興課
200	46	2－③－イ	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。	1 読売巨人軍 (1)2025読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：5月25日(日)、8月16日(土) 会場：東京ドーム 対象：小・中学生を含む区内在住・在勤・在学のご家族 参加者数：167人 (2) 親子野球教室 実施日：4月19日（土）、5月11日（日） 会場：後楽公園少年野球場 対象：小学1～4年生親子 参加者数：222人 主管：ジャイアンツアカデミー 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 実施日：11月29日（土）、12月20日（土） 会場：文京スポーツセンター 対象：4歳以上～小学2年生の親子 参加者数：132人 主管：CLUB LB＆BRB (2) TOKYO UNITED CUP 実施日：令和7年10月4日～11月18日(土)のうち、6日間 場所：小石川運動場 対象：中学生のサッカーチーム 参加チーム数：7チーム 3 トヨタ自動車 (1) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：6月28日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：132人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス 4 日本サッカー協会 (1) ジュニアサッカー教室 実施日：12月6日（土） 会場：目白台運動公園 対象：小学3～6年生 参加者数：53人 主管：少年サッカー連盟、JFA 5 文化シヤッター (1) フライングディスク体験教室（雨天中止） 6 アルバルク東京 (1) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：6月28日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：132人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス (2) アルバルク東京試合応援ツアー 実施日：2月14日（土）、2月15日（日） 会場：TOYOTA ARENA TOKYO 対象：区内在住、在学の家族 参加者数：381人 7 ヨネックス テニピン体験会 実施日：9月13日（土） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：82人 8 スポーツ推進委員 1 委託事業 (1) ファミリーハイキング教室 実施日：6月8日（日） 会場：宮ケ瀬湖周辺（神奈川） 対象：小学生以上 参加者数：55人 (2) ぶんきょうウォーキング教室 実施日：11月3日（月・祝） 会場：シビックセンターから肥後細川庭園 対象：小学生以上　参加者数：78名 (3)ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月1日（日） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上 参加者数：227人 (4)この指とまれクラブ 実施日：6月22日(日)、9月28日(日)、11月23日(日)、1月25日(日)、2月22日(日)、3月22日(日) ※5月25日(日)、10月26日(日)、12月21日(日)は中止 会場：文京スポーツセンター 対象：幼児・小学生 参加者数：187人 (5) 広報 ※1回広報誌を発行 2 共済事業 (1) スキー教室　事業共催協定書に基づき、区は経費の一部を負担	1 読売巨人軍 (1) 2024読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日：6月30日(日)、8月4日(日) 会場：東京ドーム 対象：小中学生の親子 参加者数：160人 主管：読売巨人軍 (2) 小学生ボール投げ＆走り方教室 実施日：4月14日（日）、4月21日（日） 5月12日（日）、5月19日（日） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生親子 参加者数：276人 主管：ジャイアンツアカデミー 2 CLUB LB & BRB (1) 親子フットサル教室 実施日：11月23日（土）、11月30日（土） 会場：文京総合体育館 対象：小学1～4年生の親子 参加者数：138人 (2) TOKYO UNITED CUP 実施日：令和6年1月26日（日）、2月1日（土）、2月2日（日）、2月8日（土）、2月15日（土）、2月23日（日） 場所：小石川運動場 対象：中学生のサッカーチーム 参加チーム数：7チーム 3 トヨタ自動車 (1) タグラグビー教室 雨天のため中止 (2) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：10月26日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：126人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車アンテロープス 4 日本サッカー協会 (1) ジュニアサッカー教室 実施日：12月7日（土） 会場：小石川運動場 対象：小学3～6年生 参加者数：76人 主管：少年サッカー連盟、JFA 5 文化シヤッター フライングディスク体験教室 実施日：11月24日（日） 会場：小石川運動場 対象：4歳以上 参加者数：78人 6 アルバルク東京 (1) アルバルク東京×トヨタ自動車アンテロープスによるバスケットボール教室 実施日：10月26日（土） 会場：文京総合体育館 対象：①4歳以上の未経験者②小学1～3年生未経験者の親子③小学4～6年生経験者 参加者数：126人 (2) アルバルク東京試合応援ツアー	多様な協働団体と、様々な競技で教室やイベント等を実施でき、幅広い区民の興味・関心に加え、「する」「見る」スポーツを推進することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用（p.44）								
R5 新規	47	2－③－イ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも　参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 ⑵体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア ⑵体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球/サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ等のパラスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供しました。延べ12,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課
201		2－③－ウ	スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させます。	○派遣単位数 ・スポーツ推進委員会：139単位 ・スポーツリーダー：146単位 ※1団体につき年間12単位（1単位2時間）	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：94単位 ・スポーツリーダー：44単位 ※派遣回数：1団体につき年間12単位（1単位2時間）	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。	スポーツ振興課
202		2－③－ウ	自治体交流ジュニアサッカー大会	スポーツ祭東京2013で、少年サッカーを開催した自治体等に協力を呼びかけ、各自治体と競技団体の協力により、各区の代表チームによるサッカー大会を開催し、広域的な交流をします。	文京区少年サッカー連盟主催で「第12回自治体交流ジュニアサッカー大会」東京U-10チャンピオンシップ～スポーツ祭東京2013記念～を実施し、区は共催の承認を行った。	文京区少年サッカー連盟主催で「第11回自治体交流ジュニアサッカー大会」東京U－10チャンピオンシップ～スポーツ祭東京2013記念～を実施し、区は共催の承認を行った。	実施主体が文京区少年サッカー連盟であることにより、事業の自主性が高まり、区市町間の選手の交流が一層深まる事業となっています。	スポーツ振興課
203		2－③－ウ	カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市（ドイツ）が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施しています。	日程： 1・2年生の部　12月7日（日）、1月25日（日） 3・5年生の部　1月12日（月・祝）、1月18日（日） 4・6年生の部　2月15日（日）、2月22日（日） 参加チーム： 小学1年生8チーム 小学2年生10チーム 小学3年生11チーム 小学4年生11チーム 小学5年生10チーム 小学6年生4チーム	日程： 1・2年生の部　12月1日（日）、12月8日（日） 3・5年生の部　1月11日（土）、1月13日（月・祝） 4・6年生の部　2月11日（火・祝）、2月16日（日） 参加チーム： 小学1年生8チーム 小学2年生11チーム 小学3年生9チーム 小学4年生11チーム 小学5年生6チーム 小学6年生7チーム	参加チームが交流を図ることができ、またサッカーを通して、姉妹都市であるカイザースラウテルン市に思いを馳せることで国際交流意識への喚起を行いました。	スポーツ振興課
204		2－③－ウ	ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッヂビーやボッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。	ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月1日（日）　会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上　参加者数：227人 主管：文京区スポーツ推進委員会	ニュースポーツ大会（ボッチャ大会） 実施日：3月2日（日） 会場：文京スポーツセンター 対象：小学生以上 参加者数：191人 主管：文京区スポーツ推進委員会	多様な年代の方々が大会に参加し、年齢、性別、体力、障害の有無等に関わらず、ボッチャを楽しむ機会を提供することができました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
205	48	2－③－ウ	障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。	(1) パラスポーツ体験会 実施日：2月28日(土) 会場：文京スポーツセンター 対象：区内在住・在勤・在学の小学生以上参加者数：40人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車 (2) ボッチャブースの出展 ①つつじまつり 実施日：4月26日(土)、会場：根津神社、参加者数：234人 ②あじさいまつり 実施日：6月14日(土) 会場：白山神社 参加者数：250人 ③朝顔・ほおずき市 実施日：7月19日(土) 会場：伝通院 参加者数：182人 ④菊まつり 実施日：11月15日(土) 会場：湯島天満宮 参加者数：184人 (3) スポ育（ブラインドサッカー） 実施校：18校 参加者：1,658名 会場：各学校	(1) パラスポーツ体験会 実施日：2月8日（土） 会場：文京スポーツセンター 対象：区40在住・在勤・在学者 参加者数：40人 主管：アルバルク東京、トヨタ自動車 (2) ボッチャブースの出展 ①あじさいまつり 実施日：6月8日（土） 会場：白山神社 参加者数：168名 ②朝顔・ほおずき市 実施日：7月21日（日） 会場：伝通院 参加者数：172人 ③菊まつり 実施日：11月9日（土） 会場：湯島天満宮 参加者数：89人 ④梅まつり 実施日：2月15日（土） 会場：湯島天満宮 参加者数：178人 (4)スポ育 実施校：19校 参加者：1,510名 会場：各学校	区内のまつり会場にボッチャブースを出展するなど、多くの方にパラスポーツを体験していただきました。 また、パラスポーツ体験会ではパラアスリートを講師に招き、参加者と交流する機会を提供することができました。	スポーツ振興課
206		2－③－ウ	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	4区合同初級パラスポーツ指導員養成講習会 日程：令和8年1月18日（日）、1月24日（土）、 1月31日（土）、2月8日（日） 会場：台東リバーサイドスポーツセンター 対象：文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の１８歳以上の方 内容：障がいやパラスポーツ、安全管理等い関する基礎的な知識や障がい者に対する基本的な技術を学びます。 主催：文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区（令和7年度幹事区：台東区） 受講料：無料（テキスト代も無料）※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は3名申込み、3名資格を取得	4区合同初級パラスポーツ指導員養成講習会 日程：令和6年11月30日（土）、12月8日（日）、 12月21日（土）、12月22日（日） 会場：赤羽体育館 対象：文京区・台東区・北区・荒川区に在住・在勤・在学の18歳以上の方 内容：(公財)日本パラスポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を取得するための養成講習会 主催：文京区・台東区教育委員会・北区・荒川区（令和6年度幹事区：北区） 受講料：無料（テキスト代も無料）※障がい者スポーツ指導員資格の登録費用は自己負担 文京区は2名申込み、2名資格を取得	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得する支援ができました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり エ 人材・組織（町会・地域クラブ）との連携・協働（p.45）								
R5 新規	49	2－③－ウ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 (2)体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース (1)ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア (2)体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球/サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ等のパラスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供しました。延べ12,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
207		2－③－エ	地域スポーツクラブの育成	地域のスポーツクラブを育成・支援するとともに、新たな地域スポーツクラブの可能性を探ります。	実績なし	実績なし	実績なし	スポーツ振興課
208		2－③－エ	文京LBレディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整えます。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページ等で活動の紹介を行っています。	ホームページにてチームを紹介し、より多くの区民が応援する動機付けを行いました。	スポーツ振興課
209	50	2－③－エ	地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。	・区民大会：27大会実施 ・文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金：申請8団体17事業	・区民大会：大会実施28／32大会実施 ・文京区インクルーシブスポーツ推進事業等補助金：申請9団体17事業	地域・生涯スポーツの普及・発展のため、地域でスポーツ事業を実施する団体に事業費の補助を行いました。	スポーツ振興課
210	51	2－③－エ	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。	○派遣単位数 ・スポーツ推進委員会：139単位 ・スポーツリーダー：146単位 ※1団体につき年間12単位（1単位2時間）	○派遣件数： ・スポーツ推進委員会：94単位 ・スポーツリーダー：44単位 ※派遣回数：1団体につき年間12単位（1単位2時間）	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援しました。	スポーツ振興課
2 スポーツ ③ スポーツの力を活用した地域づくり オ スポーツの魅力を体感する機会の充実（p.45）								
R5 新規	52	2－③－エ	Bunkyo Sports Park	メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。	Bunkyo Sports Park2026 実施日：10月13日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも　参加延べ人数：12,774人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント チア、手話ダンス、パルクール、BMX、ブレイクダンス、パラ陸上、お笑いパフォーマンス、演劇 ⑵体験ブース等 野球、サッカー、フライングディスク、セパタクロー、国連UNHCR協会、環境政策課、義足体験、デフ陸上、ハンマー投げ、ジャベリックスロー、パルクール、ラグビー、柔道、バスケットボール、デフバドミントン、パラバドミントン、ボッチャ、モルック、バレーボール、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、デジタル競技（HADO）、オンテナ、ウエイトリフティング、色々測定、明治安田生命、文京区立図書館、デフリンピックパネル展示	実施日：10月14日（月・祝） 会場：教育の森公園、文京スポーツセンター 対象：どなたでも 参加延べ人数：11,253人 内容：ステージイベントと体験ブース ⑴ステージイベント ・BMX ・ブレイクダンス ・手話ダンス ・ろう空手道 ・パルクール ・チア ⑵体験ブース等 ・野球 ・サッカー ・BMX ・デフ陸上 ・フライングディスク ・セパタクロー ・国連UNHCR協会 ・環境政策課 ・ラグビー ・パルクール ・卓球/サウンドテーブルテニス ・義足体験 ・バスケットボール＆チア ・ゴルフ ・バドミントン＆パラバドミントン ・東京スポーツドック2024 ・モルック ・ボッチャ ・オンテナ ・ブレイクダンス ・柔道 ・HADO ・アーチェリー	地域のスポーツ団体等と連携し、野球やサッカーといった定番スポーツから、ボッチャ等のパラスポーツといった多様なスポーツを体験できる機会を提供しました。延べ12,000人以上の方が来場されました。	スポーツ振興課
211	53	2－③－オ	初心者向けスポーツ教室	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。	⑴初心者アーチェリー教室 実施回数：6回 会場：文京総合体育館 対象：高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延102人 ⑵初心者弓道教室 実施回数：6回 会場：文京スポーツセンター 対象：高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延128人 ⑶初心者テニス教室 実施回数：3期（1期につき5日間） 会場：文京スポーツセンター 対象：区内在住・在学の小学生 参加者数：延85人 ⑴～⑶主催：スポーツ施設指定管理者	⑴初心者合気道教室 実施回数：6回 会場：文京総合体育館 対象：小学生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 80人 ⑵初心者アーチェリー教室 実施回数：6回 会場：文京総合体育館 対象：高校生以上の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 121人 ⑶初心者弓道教室 実施回数：6回 会場：文京スポーツセンター 対象：高校生～65歳の区内在住・在勤・在学者 参加者数：延 148人 ⑷初心者テニス教室 実施回数：3期（1期につき5日間） 会場：文京スポーツセンター 対象：区内在住・在学の小学生 参加者数：延 83人 ⑴～⑷主催：スポーツ施設指定管理者	新たな競技に挑戦する機会創出を目的として、個人では始めることが難しい3種目について初心者向け教室を実施し、多くの方にご参加いただきました。 種目：アーチェリー、弓道、テニス	スポーツ振興課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
212	54	2－③－オ	小・中学生向けスポーツ教室	こどもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。	(1) ジュニアローラー教室 実施日：8月5日（火）、8月6日（水） 会場：東京ドームローラースケートアリーナ 対象：小中学生 参加者数：97人 主管：文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日：12月6日（土） 会場：目白台運動公園 対象：小学3～6年生 参加者数：53人 主管：少年サッカー連盟、JFA	(1) ジュニアローラー教室 実施日：8月6日（火）、8月7日（水） 会場：東京ドームローラースケートアリーナ 対象：小中学生 参加者数：80人 主管：文京区ローラースポーツ連盟 (2) ジュニアサッカー教室 実施日：12月7日（土） 会場：小石川運動場 対象：小学3～6年生 参加者数：76人 主管：少年サッカー連盟、JFA	こどもたちの指導に精通している指導者によりスポーツを体験し、興味をもって取り組んでもらえました。地域のスポーツ団体・講師と密に連携し、初心者でも気軽に楽しむことのできる教室にすることができました。、	スポーツ振興課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】 ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実（p.50）								
213	55	3－①－ア	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計： 20,612人	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計： 19,383人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 また単年度事業として開催した「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、かるた事業のパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、区内外に区の文化資源であるかるたの魅力を発信するとともに身近に感じられるよう機会を提供しました。	アカデミー推進課
214	56	3－①－ア	事業提携楽団によるコンサート	区及び（公財）文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。	・東京フィルハーモニー交響楽団 「響きの森クラシック・シリーズ」 Vol.84：令和7年8月2日開催 来場：1619人 Vol.85：令和7年11月29日開催 来場：1655人 Vol.87：令和8年3月7日開催 来場：1,618人 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 「BUNKYO SIENA POPS 2025 わが青春のポピュラーミュージック！ Part.7」 令和7年8月23日開催 来場：1,638人	・東京フィルハーモニー交響楽団 「響きの森クラシック・シリーズ」 Vol.80：令和6年6月8日開催 来場：1,701人 Vol.81：令和6年10月5日開催 来場：1,669人 Vol.82：令和7年1月11日開催 来場：1,605人 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 「BUNKYO SIENA POPS 2023 わが青春のポピュラーミュージック！ Part.6」 令和6年6月15日開催 来場：1,225人	令和7年度は、セット券の販売が好調でシリーズすべての公演が完売し、多くのお客様にお楽しみいただきました。	アカデミー推進課
215		3－①－ア	カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を活かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークル等によるコンサートを実施します。	カレッジコンサート 令和7年9月28日（日） 【参加団体】（8団体） 東邦音楽大学大学院／東洋大学（3団体）／東京科学大学/東京大学（2団体）／東京音楽大学 【華道サークルによる生け花】 立教大学（6名） 【舞台技術ワークショップ】 参加者：6人 入場者数：182人	カレッジコンサート 令和6年9月15日（日） 【参加団体】（4団体） 東邦音楽大学大学院／東洋大学／立教大学/東京音楽大学 【華道サークルによる生け花】 立教大学（5名） 【舞台技術ワークショップ】 参加者：10人 観覧者数：188人	参加団体がなかなか集まらず試行錯誤しましたが、最終的には新たに参加する団体もあり、8団体となりました。 また、当日の照明と舞台転換は舞台技術ワークショップ参加者が行い、普段体験できない経験をしていただきました。 さらに、ホールステージ及びロビーを立教大学華道サークルによる生け花が彩りました。	アカデミー推進課
216		3－①－ア	まるキャンマーケット	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施します。	実績なし	実績なし	令和2年度以降事業を中止しています。	アカデミー推進課
3 文化芸術 ① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】 イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供（p.51）								
217	57	3－①－イ	小・中学生のための出前コンサート	こどもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び（公財）文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。	・東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサート 令和7年9月4日 誠之小学校 令和7年9月16日 根津小学校 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 令和7年4月16日 文林中学校 令和7年4月18日 第十中学校 ・鼓童 令和7年6月11日 窪町小学校 令和7年9月12日 本郷小学校	・東京フィルハーモニー交響楽団出前コンサート 令和6年9月26日 明化小学校 令和6年10月7日 駒本小学校 ・シエナ・ウインド・オーケストラ 令和6年4月18日 第八中学校 令和6年4月19日 第九中学校 ・鼓童 令和6年9月11日 汐見小学校 令和6年9月12日 青柳小学校	令和7年度においても、区立の小・中学校各2校で予定通り開催しました。プロのアーティストによる生演奏に触れる機会を提供することができ、児童・生徒のほか、担当教諭からも高い評価をいただきました。	アカデミー推進課
218	58	3－①－イ	文の京コミュニティコンサート	文京ミューズネット等、区内文化施設において、施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。	・肥後細川庭園松聲閣 令和7年10月10日 31人 ・文京ガーデン地下広場 令和7年11月10日 87人	・野球殿堂博物館 令和6年12月25日 64人 ・日中友好会館美術館 令和7年2月27日 140人	令和7年度は、肥後細川庭園松聲閣及び文京ガーデン地下広場（春日再開発ビル）にて実施しました。 区民にとって身近な施設において、プロのアーティストの演奏を気軽に楽しむ機会を提供することができました。	アカデミー推進課
219		3－①－イ	「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行い、同時に区民が身近に芸術に触れる機会とします。	参加団体数 10団体 出品者数 77人 出品点数 529点	参加団体数 11団体 出品者数 63人 出品点数 510点	令和7年度は10団体から申し込みがありました。 また、交流都市であるイスタンブール市ベイオウル区友好都市提携10周年記念の写真パネル展示と水戸市との協定締結を記念した写真パネル展示を行いました。	アカデミー推進課
220	59	3－①－イ	朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	令和7年度は「作家になった教師たち」をテーマとして、熊本県・熊本市・新宿区・文京区ゆかりの文人の作品を課題としました。 本選：11月2日 出場者：15人 観覧者：84人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	令和6年度は石川県金沢市友好交流都市協定締結5周年として金沢市ゆかりの文人の作品を課題としました。 本選：11月3日 出場者：15人 観覧者：115人 会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	応募者は298人に増加しました。今後も主管の跡見学園女子大学との打ち合わせに基づき、期間、周知先、募集方法についてよりよい方法を策定します。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
221	60	3－①－イ	シビックコンサート	クラッシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	日時　毎月１回開催（原則第４水曜日）12:15～12:45 会場　区民ひろば 観覧者数　延べ2，709人	日時　毎月１回開催（原則第４水曜日）12:15～12:45 会場　区民ひろば 観覧者数　延べ2，378人	令和7年度は2,709人のお客様にご来場いただきました。 東邦音楽大学が学校機能を埼玉県川越市に集約することに伴い、２月の出演が最後となりました。令和８年度から実施校が2校となることを受け、今後のシビックコンサートの実施のあり方について多角的に検討を行いました。課題であるお客様の固定化、出演校サイドの授業スケジュールの調整等の負担などの考慮し、各校2回出場いただく形で調整を行いました。	アカデミー推進課
222		3－①－イ	新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開します。	朗読体験ワークショップ「『舞姫』を朗読する」（2回講座） ９月７日、14日 参加者16名 定員16名　応募46名	新・観潮楼歌会 ・「「対決！観潮楼歌会に集うスター達」」 ９月29日 参加者32名 定員50名　応募39名	要望の多い体験型のイベントとして鷗外外の小説『舞姫』『舞姫』（抜粋）を声に出して朗読する全2回の講座、最終日は個人発表を行いました。	アカデミー推進課
223		3－①－イ	文学散歩	観潮楼跡地以外での広域な鷗外縁の地を巡り、その功績を改めて感じる事業を実施します。	建築家と歩く「鷗外のさんぽみち―道すがらの風景・建築をたどる」 ３月28日（参加15名　定員15名　応募27名）	・「文学散歩」 これより図書館へゆかばや ６月15日（参加12名　定員15名　応募51名）	鷗外がこどもたちと散歩した千駄木、日暮里などを建築家の方と一緒に歩きました。変わって行くまちの成り立ちに触れながら、文学に触れる企画として好評です。	アカデミー推進課
224	61	3－①－イ	夜能動画配信事業	公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。	応募数　694人 当選者数　694人	応募数　837人 当選者数　837人	９月から12月の４月連続で募集を行いました。１公演あたり約170人の申し込みがありました。	アカデミー推進課
3　文化芸術　①　だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】　ウ　活動につながる契機としての鑑賞機会の提供（p.51）								
225	62	3－①－ウ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　20,612人	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　19,383人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 また単年度事業として開催した「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、かるた事業のパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、区内外に区の文化資源であるかるたの魅力を発信するとともに身近に感じられるよう機会を提供しました。	アカデミー推進課
3　文化芸術　②　だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】　ア　文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実（p.52）								
226	63	3－②－ア	かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　2件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　3件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	令和7年度は、児童館・育成室・小中学校への講師派遣を行いました。また、大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し16校が参加しました。	アカデミー推進課
227		3－②－ア	文の京ワークショップ	「現代の観潮楼＝交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開します。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信します。	・文の京ワークショップ ふみの日イベント　3回実施 8月23日「ベルリン記念館へエアメールを書こう」2名 ９月23日「切手アート」21名 11月23日「なつかしの芋版でカード作り」24名	・文の京ワークショップ ふみの日イベント　3回実施 ６月23日「ベルリン記念館へエアメールを書こう」4名 ９月23日「切手アート」20名 11月23日「なつかしの芋版でカード作り」38名	エントランスで実施する体験型の無料イベント。定着しつつあり、リピーターも増え好評です。	アカデミー推進課
228		3－②－ア	鷗外講座	森鷗外の生涯や作品について、多角的に分かりやすく紹介・解説します。	・鷗外講座　基礎編1 第１回　6月8日　参加者52名　定員50名　応募57名 第２回　6月22日　参加者45名　定員50名　応募57名 第３回　7月6日　参加者55名　定員50名　応募64名 ・鷗外講座　基礎編2 第1回　7月20日　参加者53名　定員50名　応募65名 第2回　8月3日　参加者53名　定員50名　応募68名	・鴎外講座　応用編 「鷗外をとりまく人々―友、師、家族」 第１回　１月26日　参加者41名　定員50名　応募49名 第２回　２月９日　参加者40名　定員50名　応募47名 第３回　２月23日　参加者39名　定員50名　応募50名 第４回　３月９日　参加者46名　定員50名　応募54名 第５回　３月22日　参加者50名　定員50名　応募67名	毎年実施している鴎外講座は、今年度はの基礎編に続を実施し、ボランティアガイドの養成講座を兼ねて実施、テーマを変えた2部構成として実施しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
229	64	3－②－ア	記念日イベント	鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持てる取り組みを行います。	・鷗外忌　早朝開館 7月9日　9時開館(通常10時開館、13名） ・鷗外忌7月9日　しおりプレゼント　参加者85名 ・鷗外忌特別講演会7月13日「鴎外が見たドイツ」 参加49名募集50名応募101名 ・開館記念日11月1日観覧者ポストカードプレゼント 参加者81人 ・開館記念日講演会11月8日「学芸の自由を護るために」 参加44名定員50応募48名 ・鷗外誕生日記念事業　無料観覧日1月19日244名	・鷗外忌　早朝開館 7月9日　9時開館(通常10) 3名） ・鷗外忌7月9日　しおりプレゼント　参加者65名 ・鷗外忌特別講演会7月8日 「140年前のドイツ留学と森鷗外」 参加55名募集50名応募97名 ・開館記念日11月1日観覧者ポストカードプレゼント 参加者79人 ・開館記念日講演会11月3日「森鷗外と源氏物語」 参加46名定員50応募52名 ・鷗外誕生日記念事業　無料観覧日1月19日321名 ・誕生日記念日講演会1月19日「回想の中野森鷗外『鷗外追想』を編んで」 参加52名定員50応募62名	各イベントとも参加者多数、観覧者増へ貢献しました。	アカデミー推進課
230		3－②－ア	朗読会	鷗外作品の魅力を、朗読という形で訴求するプログラムを展開します。	・誕生日記念朗読会「『ドイツ日記と並べて読む『普請中』の東京」 1月18日 会場　不忍通りふれあい開館ホール 参加114人、定員100人、応募123人	・朗読会 「阿部一族」をよむ ・令和6年8月31日　参加44名　定員50名　応募81名	声優による朗読会と作品解説を実施、応募者多数を見込んで外部会場にて開催しました。	アカデミー推進課
231		3－②－ア	まるキャンマーケット	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施します。	実績なし	実績なし	令和2年度以降事業を中止しています。	アカデミー推進課
232	65	3－②－ア	朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。	令和7年度は「作家になった教師たち」をテーマとして、熊本県・熊本市・新宿区・文京区ゆかりの文人の作品を課題としました。 本選：11月2日　出場者：15人　観覧者：84人　会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	令和6年度は石川県金沢市友好交流都市協定締結5周年として金沢市ゆかりの文人の作品を課題としました。 本選：11月3日　出場者：15人　観覧者：115人　会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール	応募者は298人に増加しました。今後も主管の跡見学園女子大学との打ち合わせに基づき、期間、周知先、募集方法についてよりよい方法を策定します。	アカデミー推進課
3　文化芸術　② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】 イ 市民団体等の活動に対する支援の充実（p.53）								
233	66	3－②－イ	社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。	登録団体数800件 （内訳） 一般生涯学習活動団体　414件 スポーツ・野外活動団体　386件	登録団体数830件 （内訳） 一般生涯学習活動団体　410件 スポーツ・野外活動団体　420件	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホームページの更新で、最新情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、登録更新書類の提出を依頼し、団体の活動内容を把握をすることができました。	アカデミー推進課 スポーツ振興課
3　文化芸術　② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】 ウ 文化芸術活動の場の提供（p.53）								
234	67	3－②－ウ	舞台芸術創造事業（大ホール）	区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	講習会：9月～3月　参加者：119人 公演：ヴェルディ／歌劇「アイーダ」 令和8年3月15日開催 入場者数：1486人	講習会：8月～2月　参加者：127人 公演：プッチーニ／歌劇「トゥーランドット」 令和7年2月16日開催 観覧車数：1,504人	令和7年度も多くの区民に参加していただきました。 また、公演チケットは完売し、多くのお客様にお楽しみいただけました。	アカデミー推進課
235	68	3－②－ウ	舞台芸術創造事業（小ホール）	区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。	ワークショップ：11月～2月　参加者：16人 公演：文京で！探して・創って・演じる！区民参加演劇ワークショップ 令和8年2月23日開催 入場者数：302人	ワークショップ：11月～2月　参加者：14人 公演：文京で！探して・創って・演じる！区民参加演劇ワークショップ 令和7年2月24日開催 観覧車数：286人	令和7年度は、「もしも若かりし日の文豪たちが現代の文京区に転生したら」というテーマで文京区らしさを存分に取り入れながらコミカルで温かいお芝居が仕上がりました。	アカデミー推進課
236		3－②－ウ	カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を活かし、区内の音楽文化の充実・発展や学生間の交流を目的に、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークル等によるコンサートを実施します。	カレッジコンサート 令和7年9月28日（日） 【参加団体】（8団体） 東邦音楽大学大学院／東洋大学（3団体）／東京科学大学/東京大学（2団体）／東京音楽大学 【華道サークルによる生け花】 立教大学（6名） 【舞台技術ワークショップ】 参加者：6人 入場者数：182人	カレッジコンサート 令和6年9月15日（日） 【参加団体】（4団体） 東邦音楽大学大学院／東洋大学／立教大学/東京音楽大学 【華道サークルによる生け花】 立教大学（5名） 【舞台技術ワークショップ】 参加者：10人 観覧者数：188人	参加団体がなかなか集まらず試行錯誤しましたが、最終的には新たに参加する団体もあり、8団体となりました。 また、当日の照明と舞台転換は舞台技術ワークショップ参加者が行い、普段体験できない経験をしていただきました。 さらに、ホールステージ及びロビーを立教大学華道サークルによる生け花が彩りました。	アカデミー推進課
3　文化芸術　③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる（普及・継承・指導等）】 ア 次代を担う層が文化芸術への関心を持つきっかけとなる機会の充実（p.54）								
237		3－③－ア	I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト」～	公益社団法人宝生会と連携し、こどもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数　357人 当選者数　299人 参加者数　191人	応募数　514人 当選者数　291人 参加者数　178人	応募者数は前年度と比較し減少しましたが、参加者数は増加しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
238	69	3－③－ア	親子向けコンサート	幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。	・「東京フィル　親子で楽しむはじめてのオーケストラ」 令和7年8月23日・24日 開催　545人 ・「フルーツの国のおんがくパーティー♪」 令和7年10月25日・26日 開催　522人	・「フルーツの国のおんがくパーティー♪」 令和7年3月1日・2日開催　514人 ・「東京フィル　親子で楽しむはじめてのオーケストラ」 令和6年8月24日・25日開催　545人	「親子で楽しむはじめてのオーケストラ」は、こどもたちの情操教育の一環として、オーケストラやオペラ歌手による演奏で生のクラシック音楽に触れる機会を提供し、多くの親子連れに楽しんでいただきました。 「フルーツの国のおんがくパーティー♪」は、フルート、クラリネット、パーカッションのアンサンブルによる生の音楽を楽しんでいただくほか、楽器の面白さが伝わるプログラムで高評価を得ました。	アカデミー推進課
239		3－③－ア	小・中学生のための歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深めてもらいます。	「ミリョクを発見！　～お気に入りをオススメしよう～」というテーマで7月19日から8月31日まで行いました。参加者は139人でした。	「プンタとタイムトラベル　昔のくらしをのぞいてみよう！」というテーマで7月20日から9月1日まで行いました。参加者は234人でした。	多くの小中学生に、展示物を注意深く見て知識が増える機会を提供できました。	アカデミー推進課
240	70	3－③－ア	観客参加型公演	区及び（公財）文京アカデミーと事業提携を結ぶ、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。	文京シビックに“鼓童”がやってくる！ 「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」・「ぶんきょう交流公演2025」 令和7年9月13日開催　273人	文京シビックに“鼓童”がやってくる！ 「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」・「ぶんきょう交流公演2024」 令和6年9月14日開催　288人	公演前に「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」を開催し、10組20人の親子が参加しました。 また、公演は273人が迫力ある太鼓演奏を鑑賞し、公演の中でも実施する「太鼓演奏体験」を再開することができました。	アカデミー推進課
241		3－③－ア	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　20,612人	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　19,383人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 また単年度事業として開催した「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、かるた事業のパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、区内外に区の文化資源であるかるたの魅力を発信するとともに身近に感じられるよう機会を提供しました。	アカデミー推進課
242	71	3－③－ア	かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　2件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　3件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	令和7年度は、児童館・育成室・小中学校への講師派遣を行いました。また、大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し16校が参加しました。	アカデミー推進課
3　文化芸術　③　文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる（普及・継承・指導等）】　イ　文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成（p.55）								
243	72	3－③－イ	子ども俳句大会	区内中学校在学生を対象に、日本の伝統的文化のひとつである俳句を通じて自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。	中学生俳句大会 募集期間：10月4日（土）～11月17日（金） 投句：738句	中学生俳句大会 募集期間：10月5日（土）～11月15日（金） 投句：1,176句	学校生活等の自由なテーマを設定し、中学生が伝統文化に触れる機会として実施しました。学校単位での応募減により全体の応募数は減少したものの、感性豊かな作品が多数寄せられました。特選・入選作品を広報誌スクエアや区報等で周知し、生徒の創作意欲向上と区民に成果を還元することができました。	アカデミー推進課
244		3－③－イ	吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。	・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙﾚｯｽﾝ　令和7年11月15日、16日、22日、23日、24日、29日、30日実施 23団体　144人 ・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙｺﾝﾃｽﾄ 令和7年12月6日開催 363人	・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙﾚｯｽﾝ　令和6年11月11日、12日、13日、14日、30日実施 24団体　155人 ・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙｺﾝﾃｽﾄ 令和6年12月7日開催 462人	出場団体は、シエナメンバーによる2時間の事前レッスンでプロからの直接指導を受けられることができ、高い評価を得ることができました。	アカデミー推進課
245	73	3－③－イ	楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。	・令和7年7月3日～7月29日 区立中学校10校計30回実施	・令和6年7月1日～8月1日 区立中学校10校計30回実施	全ての区立中学校においてシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を行い、プロからの指導が受けられる貴重な機会となり、好評を得ました。	アカデミー推進課
246	74	3－③－イ	文京ふるさと歴史館収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。	昨年度中止した収蔵品展を出張パネル展「近代の女子高等教育と文京」としてシビックセンターアートサロンで開催しました。 会期　2月17日～23日 入場者数　1,559人	「近代の女子高等教育と文京」というテーマで予定していましたが、展示環境整備のため中止しました。	文京区にある又は過去にあった多くの女子高等教育機関の幅広い調査とまとめられた展示に対して高く評価されました。	アカデミー推進課
247	75	3－③－イ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　20,612人	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　19,383人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 また単年度事業として開催した「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、かるた事業のパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、区内外に区の文化資源であるかるたの魅力を発信するとともに身近に感じられるよう機会を提供しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
248	76	3－③－イ	I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト」～	公益社団法人宝生会と連携し、こどもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数　357人 当選者数　299人 参加者数　191人	応募数　514人 当選者数　291人 参加者数　178人	応募者数は前年度と比較し減少しましたが、参加者数は増加しました。	アカデミー推進課
249		3－③－イ	技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	技能名匠認定者　2名	技能名匠認定者　3名	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図り、技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図っていく必要がある。	経済課
3　文化芸術　③　文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる（普及・継承・指導等）】　ウ　多様な主体との連携・協力による文化資源の継承（p.55）								
250		3－③－ウ	文の京地域文化インタープリターの活動支援	地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役を養成します。また、インタープリターの活動を支援します。	文の京地域文化インタープリター養成講座 実施期間：令和7年10月11日（土）～令和8年2月21日（土） 10：00～12：00（全15回） 実施会場：跡見学園女子大学文京キャンパス 受講者数：11人（定員20人／応募者数15人） 認定者数：11人	隔年実施のため実績なし	区内大学の協力を得て、「文の京地域文化インタープリター養成講座」実施し、新たに11名を認定しました。	アカデミー推進課
251	77	3－③－ウ	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭（華道展、茶会、書道展、絵画展）、各種つどい・大会事業（民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊）企画展、区民能楽鑑賞会等の文化事業を実施します。	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　20,612人	文化事業係の事業への参加者及び来場者の合計：　19,383人	秋の文化祭や伝統芸能のつどい・大会を開催しました。 また単年度事業として開催した「かるた謎解き展」では、謎解きをメインに、かるた事業のパネル展示や動画の放映、競技かるた体験などを実施し、区内外に区の文化資源であるかるたの魅力を発信するとともに身近に感じられるよう機会を提供しました。	アカデミー推進課
252	78	3－③－ウ	かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　2件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　3件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	令和7年度は、児童館・育成室・小中学校への講師派遣を行いました。また、大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し16校が参加しました。	アカデミー推進課
253		3－③－ウ	I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト」～	公益社団法人宝生会と連携し、こどもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数　357人 当選者数　299人 参加者数　191人	応募数　514人 当選者数　291人 参加者数　178人	応募者数は前年度と比較し減少しましたが、参加者数は増加しました。	アカデミー推進課
254	79	3－③－ウ	吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行います。プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。	・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙﾚｯｽﾝ　令和7年11月15日、16日、22日、23日、24日、29日、30日実施 23団体　144人 ・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙｺﾝﾃｽﾄ 令和7年12月6日開催 363人	・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙﾚｯｽﾝ　令和6年11月11日、12日、13日、14日、30日実施 24団体　155人 ・ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙｺﾝﾃｽﾄ 令和6年12月7日開催 462人	出場団体は、シエナメンバーによる2時間の事前レッスンでプロからの直接指導を受けられることができ、高い評価を得ることができました。	アカデミー推進課
255		3－③－ウ	楽器演奏指導	区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。	・令和7年7月3日～7月29日 区立中学校10校計30回実施	・令和6年7月1日～8月1日 区立中学校10校計30回実施	全ての区立中学校においてシエナ・ウインド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を対象とした個別演奏指導を行い、プロからの指導が受けられる貴重な機会となり、好評を得ました。	アカデミー推進課
256		3－③－ウ	シビックコンサート	クラッシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。	日時　毎月1回開催（原則第4水曜日）12：15～12：45 会場　区民ひろば 観覧者数　延べ2，709人	日時　毎月1回開催（原則第4水曜日）12：15～12：45 会場　区民ひろば 観覧者数　延べ2，378人	令和7年度は2,709人のお客様にご来場いただきました。 東邦音楽大学が学校機能を埼玉県川越市に集約することに伴い、2月の出演が最後となりました。令和8年度から実施校が2校となることを受け、今後のシビックコンサートの実施のあり方について多角的に検討を行いました。課題であるお客様の固定化、出演校サイドの授業スケジュールの調整等の負担などの考慮し、各校2回出場いただく形で調整を行いました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
3　文化芸術　④　地域の資源を活かしたまちづくりの推進　ア　文化資源を活用した事業の推進（p.56）								
257	80	3－④－ア	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級　参加者221人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ　参加者87人 金沢市 かなざわ講座　参加者41人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演　参加者454人	盛岡市 啄木学級　参加者213人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ　参加者86人 金沢市 かなざわ講座　参加者25人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演　参加者522人	啄木学級では、岩手県出身の作家を講師として招き講演を開催しました。また、かなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。昨年度に引き続き開催した石見神楽公演を開催しました。	アカデミー推進課
258		3－④－ア	コンピューターによる館内閲覧システム	文京ふるさと歴史館の館内閲覧システムにより、本区の豊富な文化遺産の情報を発信し、区民や研究者の調査・研究活動に資することを目指します。	定点観測で収集した写真でデジタル化されていないものをネガフィルムから高精細なデジタルデータに変換しました。また誤って登録されていた写真データについて見直しを行い修正を行いました。	区内の定点観測画像を閲覧しやすくするよう、プルダウンメニューなどを改良しました。	今後とも来館者の利便性を考えて改良を進めます。	アカデミー推進課
259		3－④－ア	夜能動画配信事業	公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。	応募数　694人 当選者数　694人	応募数　837人 当選者数　837人	９月から12月の４月連続で募集を行いました。１公演あたり約170人の申し込みがありました。	アカデミー推進課
260		3－④－ア	かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　2件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　3件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	令和7年度は、児童館・育成室・小中学校への講師派遣を行いました。また、大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し16校が参加しました。	アカデミー推進課
261		3－④－ア	I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト」～	公益社団法人宝生会と連携し、こどもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数　357人 当選者数　299人 参加者数　191人	応募数　514人 当選者数　291人 参加者数　178人	応募者数は前年度と比較し減少しましたが、参加者数は増加しました。	アカデミー推進課
3　文化芸術　④　地域の資源を活かしたまちづくりの推進　イ　特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信（p.57）								
262		3－④－イ	文京ミューズフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介します。	開催期間　１日 参加施設数　28施設 来場者数　延べ413人	開催期間　１日 参加施設数　27施設 来場者数　延べ446人	28施設が参加し、413人が来場されました。	アカデミー推進課
263		3－④－イ	紙媒体による情報提供	区報や指定管理者の発行する情報紙により、文化芸術関連情報を提供します。	・文京アカデミー広報紙「スクエア」 発行：年12回　100,000部発行　新聞折込および区内拠点配布	・文京アカデミー広報紙「スクエア」 発行：年12回　100,000部発行　新聞折込および区内拠点配布	新聞折込および区内拠点にて配布し、文化芸術および生涯学習関連等の情報を提供しています。	アカデミー推進課
264		3－④－イ	史跡めぐり	地域の歴史・文化財をガイドの解説を聞きながら歩いて実見することにより、文京区の歴史・文化の普及・啓発を図ります。文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として行います。	①10/30　文京の女子教育の足跡を辿る①　参加41人 ②2/19　文京の女子教育の足跡を辿る②　参加42人 ③3/19　お茶の水界隈の近代建築を巡る　参加45人	①10/31　神田上水を辿る（前編）　参加29人 ②12/5　神田上水を辿る（後編）　参加41人 ③3/6　大塚、雑司ヶ谷を巡る　参加48人	文京ふるさと歴史館友の会のガイドは参加者アンケートで好評であり、地域を紹介することで文京区への親しみを深める成果が得られました。	アカデミー推進課
265	81	3－④－イ	文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。	朗読コンテスト（跡見学園女子大学主管） 応募総数274人　本選出場15人　本選11/2　跡見学園女子大学ブロッサムホール　課題作家：金沢ゆかりの文人　観覧者数115人 歴史講演会「夏目漱石と文京区の関わりについて」 講師　松下浩幸氏（明治大学教授）　2/1区民センター参加者数152人 史跡めぐり「文京ゆかりの文化人の足跡を巡る　夏目漱石と東京大学」　参加者数　50人	朗読コンテスト（跡見学園女子大学主管） 応募総数274人　本選出場15人　本選11/3　跡見学園女子大学ブロッサムホール　課題作家：金沢ゆかりの文人　観覧者数115人 歴史講演会「竹久夢二が暮らした文京」 講師　石川桂子氏（竹久夢二美術館学芸員）　1/19　男女平等センター　参加者　90人 史跡めぐり「金沢ゆかりの文人たち」参加17人	申込受付方法、募集方法、会場の収容人数などを関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工夫を行います。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
266	82	3－④－イ	文京ふるさと歴史館特別展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催します。	館内環境整備のため特別展を休止しました。 次年度以降の特別展開催のための基礎調査・研究を行いました。	生活に身近な水道の歴史をテーマに「川と人と水道と一神田上水・千川上水と文京」を開催しました。 会期　10月26日～12月８日 入館者数　3,009人 類似のテーマを取り扱った近隣の博物館（新宿区立歴史博物館、東京都水道歴史館）と合同で実施したスタンプラリーの効果もあり、入館者数が増加しました。 講演会「法制史からみた江戸上水の管理」 講師　坂誥智美氏（専修大学法学部教授）11/30男女平等センター　参加者68人	展示の重要な根幹となる地域資料の整理、調査研究を継続して行います。	アカデミー推進課
267	83	3－④－イ	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。	「鷗外の妹・喜美子の家族 ―森家と小金井家―」 １月18日～４月７日（６日間）観覧者3,386名 「本を捧ぐ―鷗外と献呈本」 ４月12日～６月29日（74日間）観覧者4,644名 「小説『舞姫』をよんでみよう！」 ７月４日～９月30日（83日間）観覧者4,352名 「鷗外、最後の4年間―帝室博物館総長兼図書頭・森林太郎」 10月11日～１月12日（85日間）観覧者5,665名 「鷗外と子どもたち―於菟、茉莉、杏奴、類が語るパッパ」 １月18日～3月31日（66日間）観覧者4,010名	「近所のアトリエ　動坂の画家・長原孝太郎と鷗外」 １月19日～４月７日（７日間）観覧者3,578名 「教壇に立った鷗外先生」 ４月13日～６月30日（79日間）観覧者4,278名 「鴎外の『意地』のはなし」 ７月５日～10月６日（88日間）観覧者3,459名 「111枚のはがきの世界」 10月12日～１月13日（83日間）観覧者4,853名 「鷗外の妹・喜美子の家族 ―森家と小金井家―」 １月18日～４月７日（72日間）観覧者3,144名	宮内庁宮内公文書館との共催企画や他自治体、文学館との連携で展示内容、関連イベント等を充実させることができました。	アカデミー推進課
268		3－④－イ	フィルムライブラリー	映像資料を収集・保存し、調査研究や鑑賞会を行います。	新規購入本数：13本（DVD） 資料所蔵状況：2,603本 16ミリフィルム：935本 ビデオ（VHS）：1,288本 DVD：380本	新規購入本数：20本（DVD） 資料所蔵状況：2,586本 16ミリフィルム：935本 ビデオ（VHS）：1,288本 DVD：363本	各団体等に対する貸出を継続したほか、支援者団体の意見も取り入れた新規資料を購入をしました。また、フィルム外装の掃除など、適正な保管に努めました。	アカデミー推進課
269		3－④－イ	まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	あなたの名所ものがたり　大原編 ワークショップ　2/15　参加者数2名　大原地域活動センター	あなたの名所ものがたり　湯島・向丘編 第１回ワークショップ　1/26　参加者数2名　湯島地域活動センター 第2回ワークショップ　2/9　参加者数1名　向丘地域活動センター	東京大学との協働事業として平成28年度から実施し、東京大学のホームページでアーカイブとして公開しています。参加者が地域の良いところを発表・共有するという成果が得られました。	アカデミー推進課
270	84	3－④－イ	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミューズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議の開催 文京ミューズフェスタの開催 文京ミューズネットマップの作成　日本語版35,000部、英語版7,000部	全体会議の開催 文京ミューズフェスタの開催 文京ミューズネットマップの作成　日本語版35,000部、英語版7,000部	28施設が参加し、413人が来場されました。	アカデミー推進課
271		3－④－イ	文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知します。	文京ふるさと歴史館だより（年１回発行） 第32号　令和7年６月27日発行 年報第28号　令和6年度（令和7年11月28日発行）	文京ふるさと歴史館だより（年１回発行） 第31号　令和６年６月28日発行 年報第27号　令和5年度（令和６年９月27日発行）	区内施設、関係機関、来館者などに事業の周知ができました。	アカデミー推進課
272		3－④－イ	森鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知します。	森鷗外記念館ニュース（年4回発行） No.51号　令和7年６月 No.52号　令和7年９月 No.53号　令和7年12月 No.54号　令和8年３月 年報第13号　令和6年度（令和7年８月31日発行）	森鷗外記念館ニュース（年4回発行） No.47号　令和6年６月 No.48号　令和6年９月 No.49号　令和6年12月 No.50号　令和7年３月 年報第12号　令和5年度（令和６年８月31日発行）	区内施設、関係機関、来館者などに事業の周知ができました。	アカデミー推進課
273		3－④－イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
274		3－④－イ	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	通常号（4月10日号～3月25日号）は141,200部［年23回（全戸配付）］、新春号（1月1日号）は 65,500部［年1回（新聞折込）］を配付しました。	4月10日 141,000部、4月25日～3月25日号 140,000部　計年23回 1月1日号　68,000部　年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
275		3－④－イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことからも、今後も広い発信に努めます。	広報戦略課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
276		3－④－イ	生活情報誌の発行	わたしの便利帳により生涯学習関連情報を提供します。	転入者等に文の京わたしの便利帳（令和5年度発行）を配付し、生涯学習関連情報を提供しました。	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布（令和5年度発行）	区民に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
277		3－④－イ	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します（4カ国語併記　日本語・英語・中国語・ハングル）。	転入手続を行った外国人に外国語版生活便利帳［日本語・英語・韓国語・中国語を併記（令和6年度発行）］を配付しました。	外国語版生活便利帳の発行（4カ国語併記　日本語・英語・ハングル・中国語） 転入者等に配布（令和6年度発行）	4カ国語（日本語・英語・ハングル・中国語）を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
278		3－④－イ	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報（計24回）を多言語版アプリ「カタログポケット」（英語・中国語・韓国語を含む10言語に対応）で配信しました。	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
279		3－④－イ	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助39団体	地域広報紙発行補助37団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっています。	区民課
280		3－③－イ	「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力をものづくりに関心のある区民や国内外からの観光客等に発信するため、販売、実演、体験ができるイベントを定期的に実施します。	月2回、年14回開催 会場：不忍通りふれあい館 体験参加人数：423人 【イン　シビック】 年2回開催 会場：文京シビックセンター1F　アートサロン　体験参加人数：259人	月2回、年14回開催 会場：不忍通りふれあい館 体験参加人数：392人 【イン　シビック】 年2回開催 会場：文京シビックセンター1F　アートサロン　体験参加人数：135人	ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客と伝統工芸の魅力発信をすることができました。	経済課
281		3－④－イ	技能名匠認定事業	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ります。技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図ります。	技能名匠者　2名	技能名匠者　3名	ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図り、技術者の地位向上と後継者を確保することにより、区内産業の振興及び発展を図っていく必要がある。	経済課
282		3－④－イ	まち並みウォッチング	坂、緑、史跡など文京区の景観特性に着目しながら講師と一緒にまち歩きを行い、景観形成の視点を学びます。	実施日：令和7年5月16日（金） 参加者数：26人　応募者：40名（32組） コース：白山～向丘界隈	実施日：令和6年4月19日（金） 参加者数：23人　応募者：64名（52組） コース：根津～千駄木界隈	文京区の景観を学びながらまち歩きする機会を提供でき、参加者から好評でした。 今後も多くの方に参加いただくため、コースや内容がマンネリ化しないよう工夫していく必要があります。	住環境課
283		3－④－イ	文の京景観賞	区内の景観を形成している建築物等や景観づくりに貢献している活動、また、児童が撮影した景観に係る写真を公募し、優れたものを表彰します。	実施なし（休止）	募集期間：6月24日～8月16日 ・都市景観部門 受賞数：1件　応募数：36件 ・景観づくり活動部門 受賞数：1件　応募数：1件 ・こども景観写真部門 受賞数：1件　応募数：22件	令和7年度及び8年度は休止となりますが、事業の認知度を高め、応募者数を増やすため、部門や周知方法などの見直しを検討します。	住環境課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
284		3－④－イ	指定文化財等の保護・保存と管理	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行います。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付します。 ②区内の文化財を調査・記録し、保護に努めます。 ③区内の文化財を広く周知するとともに、文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設、文化財講演会・考古学教室等の事業を行います。	①補助金の交付申請：17件　205,105千円 奨励金の交付申請：75件　1,270千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付：35件 ③文化財・坂道標示板：新設１基（心城院） 子ども考古学教室： 【実施日】令和7年8月7日（木） 【参加者数】43名 東京 文化財ウィーク： ⑴「村川家住宅」の特別公開と建物解説（主催） 【実施日】令和7年10月26日(日) 【参加者数】41名 ⑵文京区指定文化財「心城院版木」「木造義山豪栄坐像」の特別公開（主催） 【実施日】令和7年10月18日(金) 【参加者数】125名 ⑷「旧磯野家住宅（銅御殿）」特別公開（協力） 【実施日】令和7年10月25日(土) 【参加者数】212名 ⑸「松井家住宅」特別公開（協力） 【実施日】令和7年10月28日（火） 【参加者数】166名 文化財講演会「発掘された笠森稲荷信仰―考古学と民俗学の出会い―」 【実施日】令和7年11月15日(土) 【参加者数】136名	①補助金の交付申請：17件　15,459千円 奨励金の交付申請：74件　1,260千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付：35件 ③文化財・坂道標示板：再設置２基 子ども考古学教室： 【実施日】令和6年7月30日（火） 【参加者数】45名 東京 文化財ウィーク： ⑴「村川家住宅」の特別公開と建物解説（主催） 【実施日】令和6年10月27日(日) 【参加者数】43名 ⑵西岸寺「木造阿弥陀如来立像」の特別　公開（主催） 【実施日】令和6年10月18日(金) 【参加者数】56名 ⑶吉祥寺「経蔵」の特別公開（主催） 【実施日】令和6年10月３日(木) 【参加者数】81名 ⑷「旧磯野家住宅（銅御殿）」特別公開（協力） 【実施日】令和6年10月26日(土) 【参加者数】263名 ⑸「梅村家住宅」特別公開（協力） 【実施日】令和6年10月30日(水)・31日（木） 【参加者数】225名 文化財講演会「文京の弥生時代を探る」 【実施日】令和6年11月９日(土) 【参加者数】86名	①補助金の交付申請があったところに対しては、補助金の支払いを行いました。奨励金の交付申請があったところに対しては、奨励金の支払いを行いました。 ②事業計画を送付したところ、６件の補助金申請の希望がありました。 ③文化財標示板を２基新たに設置しました。考古学教室や文化財ウィーク、文化財講演会等の事業を行い、区内の文化財を広く周知するとともに、文化財に対する理解と認識を促しました。	教育総務課
3　文化芸術　④　地域の資源を活かしたまちづくりの推進　ウ　地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進（p.58）								
285	85	3－④－ウ	文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。	月１回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。ガイドになることを希望する方を友の会担当者に紹介しました。	月１回の友の会役員会に同席し、情報共有を行いました。区の事業（史跡めぐり）への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの連絡を行いました。	情報共有をすることにより、継続して活動支援を行います。	アカデミー推進課
286		3－④－ウ	文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。	月2回から毎週へと実施回数を増やしました。また新規ボランティアガイドを募集、研修を行いガイドを12人から23人へ増員しました。	令和5年度に引続き、月２回のペースで行うほか、特別展期間中など、来館者の多く見込まれる時期は毎日曜日と祝日に解説するようにしました。	７年度からは毎週日曜日にガイドを行い、ガイドの回数を増やし、より多くの来館者をご案内できるよう計画しています。	アカデミー推進課
287		3－④－ウ	森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進します。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図ります。	毎週土日と祝日の定期解説を１日１回、団体やイベントでの解説を実施ししました。	毎週土日と祝日の定期解説を１日１回、団体やイベントでの解説を実施ししました。	土日祝の定期解説と、団体やイベントでの解説を実施しました。	アカデミー推進課
288		3－④－ウ	文の京ゆかりの文人等支援事業	文京ゆかりの文人等を顕彰し、もって地域と文化の振興を図るため、地域の民間団体等が行う事業の運営を補助します。	文京ゆかりの文人等支援事業補助金交付実績：2件（補助事業：令和7年度文京一葉忌、令和7年度春日忌）	文京ゆかりの文人等支援事業補助金交付実績：2件（補助事業：令和6年度文京一葉忌、令和6年度春日忌）	文京ゆかりの「樋口一葉」や「春日局」の命日に行われる催しに補助金を交付し、文人等の顕彰に向けた事業を支援しています。	アカデミー推進課
289		3－④－ウ	かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施します。	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　2件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	大学生大会の開催　1件 競技かるた名人・クイーンによるエキジビションマッチの開催（会場及び同時配信）　1件 小・中学校への講師派遣　5校 児童館・育成室への講師派遣　3件 高校生大会の共催　1件 小・中学生大会の後援　2件	令和7年度は、児童館・育成室・小中学校への講師派遣を行いました。また、大学対抗試合「文の京アゼリアカップ」を開催し16校が参加しました。	アカデミー推進課
290		3－④－ウ	I don't know（能）…NO（能）problem!～みんなで親しむ「能（Noh）プロジェクト」～	公益社団法人宝生会と連携し、こどもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えたプログラムで実施します。	応募数　357人 当選者数　299人 参加者数　191人	応募数　514人 当選者数　291人 参加者数　178人	応募者数は前年度と比較し減少しましたが、参加者数は増加しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
291	86	3－④－ウ	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級　参加者221人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ　参加者87人 金沢市 かなざわ講座　参加者41人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演　参加者454人	盛岡市 啄木学級　参加者213人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ　参加者86人 金沢市 かなざわ講座　参加者25人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演　参加者522人	啄木学級では、岩手県出身の作家を講師として招き講演を開催しました。また、かなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。昨年度に引き続き開催した石見神楽公演を開催しました。	アカデミー推進課
292		3－④－ウ	まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	あなたの名所ものがたり　大原編 ワークショップ　2/15　参加者数2名　大原地域活動センター	あなたの名所ものがたり　湯島・向丘編 第1回ワークショップ　1/26　参加者数2名　湯島地域活動センター 第2回ワークショップ　2/9　参加者数1名　向丘地域活動センター	東京大学との協働事業として平成28年度から実施し、東京大学のホームページでアーカイブとして公開しています。参加者が地域の良いところを発表・共有するという成果が得られました。	アカデミー推進課
293		3－④－ウ	地域に関する学習機会の充実	町会の発行する地域広報紙によって地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供します。	地域広報紙発行補助39団体	地域広報紙発行補助37団体	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課
4　観光　①　区内まるごと周遊の促進　ア　観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出（p.64）								
294		4－①－ア	歴史的建造物の活用	歴史的建造物（文京区登録有形文化財）であり、樋口一葉にもゆかりのある旧伊勢屋質店について、所有者である跡見学園女子大学と協働して、建物内部の公開事業を行います。あわせて周辺の観光・まちあるき情報などを提供します。	旧伊勢屋質店公開事業 年間公開日数：59日 ※企画展「調べ、扱い、遺す―現代の私たちと旧伊勢屋質店―」の実施（2/21（土）～2/26（木））	・旧伊勢屋質店公開事業 年間公開日数：60日 ※企画展示「質屋と女性～一葉も通った伊勢屋質店」の実施（11/16（土）、11/23（土）、11/30（土）、12/7（土）、12/14（土））	所有者である跡見学園女子大学の学生がパンフレットの制作や企画展等に参画し、大学連携の促進に資する事業となっています。	アカデミー推進課
295	87	4－①－ア	観光写真コンクール	文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。	・観光写真コンクール応募者数：166名（作品：561点） ・写真展来場者数：662名	・観光写真コンクール応募者数：156名（作品：494点） ・写真展来場者数：855名	令和7年度で第63回を迎え、毎年区民の方を中心に多くのご応募をいただいています。 本コンクールの受賞作品については、観光PRポスターを始めとする本区の様々な観光PRの機会で使用しています。	アカデミー推進課
296		4－①－ア	石川啄木終焉の地歌碑・顕彰室設置・運営	文京区ゆかりの文人（歌人）である石川啄木を顕彰するため、その終焉の地である小石川五丁目に啄木の歌碑及び顕彰室を設置・運営します。	顕彰室年間来場者数：2,058名	・顕彰室年間来場者数：2,251名	年末年始を除き年間通して開館し、啄木の足跡、とりわけ本区との関わりを中心に写真等で紹介しています。	アカデミー推進課
297		4－①－ア	展望ラウンジ観光拠点化事業	文京シビックセンター25階展望ラウンジという区の魅力的な施設の新たな活用方法を見出し、観光スポットとしてのプレゼンスを向上することを目的としたイベント等を実施します。	工事のため閉鎖	日英表記の観光PRパネルを製作し、展望ラウンジに設置するとともに、夜景とともにお酒を楽しむことができるイベント「Sky View Lounge BAR」を令和元年以来5年振りに実施しました。 ※Sky View Lounge BAR ・実施期間：8/23（金）～8/24（土）、11/15（金）～11/16（土） ・来場者数：8月 2,143名、11月 1,616名	令和7年度は工事のため閉鎖	アカデミー推進課
298		4－①－ア	文の京ゆかりの文人銘菓	平成24年度に「森鷗外生誕150年記念事業」として区内の菓子店に文京区ゆかりの文人にちなんだお菓子を創作していただき、文京区の文人銘菓として販売しています。	文京グルメマップに掲載していた「文の京ゆかりの文人銘菓」の内容を文京区観光ガイドブックに移行しました。観光ガイドブックは、日本語版65,000部、英語版10,000部、中国語版（簡体字）1,000部、中国語版（繁体字）1,000部、韓国語版500部制作し、観光施設等で配布しました。	文京グルメマップを日本語55,000部制作し、観光施設等で配布を行いました。また、日本語・英語・中国語のWeb版を制作しました。	文京区観光ガイドブックの配布・Web掲載により、本事業の情報を広く発信しています。	アカデミー推進課
299	88	4－①－ア	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	花の五大まつり等助成実績：7件（つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり）	・花の五大まつり等助成実績：7件（つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり） ・まつり復興事業補助金交付実績：1件（さくらまつり）	文京花の五大まつり等について、担い手の確保に繋がる経費を新たに助成し、まつりの持続化を推進しました。 また、3年目を迎えた「まつりの街、文京」プロジェクトでは、「関わる」をテーマに、小中学生がまつりの取材と記事作成を行うワークショップや、オリジナル紙芝居の口演等を実施しました。	アカデミー推進課
300		4－①－ア	SNSによる写真投稿キャンペーン	TwitterやInstagramに区内の魅力が詰まった写真を投稿してもらいます。観光写真コンクールと同時開催することにより、若年層等の関心を高め、新たな参加者の獲得につなげます。	実施なし	実施なし	令和4年度で事業終了	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
301		4－①－ア	文京区観光土産品開発事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域活力の復興を図るため、区民参画による観光土産品をつくり、文京区の新たな魅力を創出・発信します。	文京区観光協会が販売する「花咲菓石けん～文京花の五大まつり～」の製作に係る経費への補助を通じて、花の五大まつりのPRや本区の魅力発信を図りました。	文京区観光協会が販売する「花咲菓石けん～文京花の五大まつり～」の製作に係る経費への補助を通じて、花の五大まつりのPRや本区の魅力発信を図りました。	ふるさと納税の返礼品に採用されているほか、区内観光施設等による販売も好調であり、本区の魅力発信に寄与しています。	アカデミー推進課
R5 新規		4－①－ア	全国藩校サミット文京大会記念事業「時代まつりin文京」	区民が歴史に触れる機会を創出し、全国藩校サミット文京大会の機運醸成を図るとともに、区の魅力を内外に発信するため、「於大の方」ゆかりの傳通院を起点とした区民参画による「時代まつり行列」や関連自治体等と連携した物産展を開催します。	令和5年度の記念事業のため実施なし	令和5年度の記念事業のため実施なし	令和5年度の記念事業のため実施なし	アカデミー推進課
R6 新規		4－①－ア	区内周遊促進事業	コロナ禍による影響を受けた観光事業の復興、周遊促進を図るため、区内全域を対象とするクイズラリーイベントを実施します。実施に当たっては、東大発の知識集団「QuizKnock」とのコラボレーションにより、事業効果の拡大を図ります。	令和6年度の単発事業のため実施なし	区内周遊促進事業「文京区×QuizKnockクイズラリー ～文の京をクイズ旅～」 ・実施期間：10/1～11/30 ・場所：区内全域（対象スポット：全25か所） ・参加者数：1,950名	令和6年度の単発事業のため実施なし	アカデミー推進課
R7 新規		4－①－ア	肥後細川庭園春のライトアップイベントの実施	国内外から来訪する観光客の満足度向上を図るとともに、熊本県・熊本市・新宿区との「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」の締結10周年を記念し、肥後細川庭園において、春のライトアップイベントを開催します。	肥後細川庭園春のライトアップイベント「肥後春景」 開催期間：3/25（水）～3/29（日） 来場者数：4,864名		肥後細川庭園において、レーザー演出や光と音を連動させたショータイム演出等を盛り込んだライトアップを行い、同庭園の新たな魅力を創出しました。 また、イベント実施に当たっては、覚書締結10周年を迎えた熊本県・熊本市・新宿区の観光PRも併せて実施し、自治体間交流を促進するとともに、近辺で桜のライトアップを実施する新宿区等との広報連携により、地域全体の魅力向上を図りました。	アカデミー推進課
4　観光　①　区内まるごと周遊の促進　イ　マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上（p.65）								
302	89	4－①－イ	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。	・観光ガイドツアー参加者数：984名 ・新規観光ガイド登録者数：8名	・観光ガイドツアー参加者数：910名	文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。 また、ガイドの増員とスキル向上を図るため、観光ガイド養成講座を実施し、新たに8名のガイドを登録しました。	アカデミー推進課
R6 新規		4－①－イ	区内周遊促進事業	コロナ禍による影響を受けた観光事業の復興、周遊促進を図るため、区内全域を対象とするクイズラリーイベントを実施します。実施に当たっては、東大発の知識集団「QuizKnock」とのコラボレーションにより、事業効果の拡大を図ります。	令和6年度の単発事業のため実施なし	区内周遊促進事業「文京区×QuizKnockクイズラリー ～文の京をクイズ旅～」 ・実施期間：10/1～11/30 ・場所：区内全域（対象スポット：全25か所） ・参加者数：1,950名	令和6年度の単発事業のため実施なし	アカデミー推進課
303		4－①－イ	コミュニティバス「B－ぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。	令和7年度利用客数 千駄木・駒込ルート：456,708人（増減率：－12%） 目白台・小日向ルート：435,171人（増減率：－10%） 本郷・湯島ルート：211,152人（増減率：－3%）	令和6年度利用客数 千駄木・駒込ルート：517,744人（増減率：+7%） 目白台・小日向ルート：483,688人（増減率：+8%） 本郷・湯島ルート：218,187人（増減率：+35%）	【令和4年度】 本郷・湯島ルートが運行開始後一年を経過したことから、各路線の利用状況を把握するため、コミュニティバスの利用実態調査を実施しました。 【令和5年度】 コミュニティバスの利用促進のため、花の五大まつり等の区内イベント会場にてPRを行いました。 【令和6年度】 利便性の向上を図るため、令和7年4月1日からの運用開始に向け、3か月定期券の販売および無料乗継停留所の拡大に取り組みました。 また、バスの老朽化により、千駄木・駒込ルートの車両を更新しました。 【令和7年度】 利便性の向上を図るため、令和8年4月1日からの運用開始に向け、一日乗車券・回数券・定期券について、従来の紙券に加えて、アプリから購入・利用できるデジタル乗車券の導入に向けた取り組みを行いました。	区民課
304		4－①－イ	肥後細川庭園周辺地域の魅力創出事業	観光拠点施設として、近隣の文化・観光施設等と連携し、目白台・関口地域の観光客誘致を図り、地域の活性化に寄与するため、歴史性のある肥後細川庭園及び松聲閣の魅力や情報を発信するとともに、地域周遊事業を企画します。	●ボランティアガイドツアーの実施 松聲閣の歴史や見どころ、周辺施設の情報や庭園の四季の見どころを取り入れたガイドを実施。（3/7、3/14、3/21、3/28 計62名参加） ●永青文庫と連携した呈茶割引 永青文庫での企画展に合わせ、チケットの提示で呈茶100円割引を実施。	令和6年度実績なし	豊かな緑と水を湛える目白台地域の魅力のPRを行い、また周辺施設と連携することによる周遊機会の創出ができました。	みどり公園課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
4　観光　②　いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有　ア　観光情報の収集・発信力の充実と共有促進（p.66）								
305	90	4－②－ア	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。	・観光インフォメーション来所人数：10,851人 ・観光情報等問い合わせ件数：1,621件	・観光インフォメーション来所人数：11,538人 ・観光情報等問い合わせ件数：1,901件	本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図りました。	アカデミー推進課
306		4－②－ア	フィルムコミッション事業	映像製作者を誘致し、ロケーション撮影を行うことで、メディアを活用した区の情報発信を行い知名度の向上を図るとともに、ロケ地見学などの観光客を誘致し観光振興を図ります。	・撮影受入件数：2件	・撮影受入件数：1件	撮影受入れにより、本区の観光PRやイメージアップを図りました。	アカデミー推進課
307		4－②－ア	観光情報の一元化	文京区観光協会のホームページの掲載コンテンツの充実を図るとともにSNSの運用を促進し、観光情報発信におけるプラットフォームとしての基盤を整備します。	ホームページやSNS（X・LINE）による積極的な情報発信に努めました。	ホームページやSNS（X・LINE）による積極的な情報発信に努めました。	観光協会ホームページのほか、SNSでの情報発信を積極的に行っており、各媒体を特性に応じて使い分けながら、様々な観光情報を迅速に発信しています。	アカデミー推進課
308		4－②－ア	Googleﾏｲﾋﾞｼﾞﾈｽ整備事業	Googleの検索画面で表示される区内観光施設情報を充実させ検索の優位性を向上させることにより、本区の情報が多くの人の目に触れる機会を増やし、誘客につなげます。	令和4年度で事業終了	令和4年度で事業終了	令和4年度で事業終了	アカデミー推進課
309	91	4－②－ア	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドブック：日本語：65,000部／英語：10,000部／中国語（簡）：1,000部／中国語（繁）：1,000部／韓国語：500部 ※特集ページの追加や店舗情報の修正を実施 ・デジタルマップ：観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のマップをWeb上で公開	・観光ガイドマップ：日本語：60,000部／英語：10,000部／中国語（簡）：1,000部／中国語（繁）：1,000部／韓国語：500部 ・グルメマップ：日本語：55,000部／日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※いずれも最新情報の提供のため、店舗情報等を修正	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。	アカデミー推進課
310		4－②－ア	インバウンド対策事業	新型コロナウイルス感染症で影響を受けたインバウンドの回復を見据え、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも入手可能な情報発信に取り組むとともに、外国人観光客のニーズを捉えた事業を実施し、来訪や誘客につなげます。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」において、留学生が作成した多言語でのリーフレットを区内観光施設等で配布し、外国人目線での情報発信に取り組みました。 また、インバウンド需要の喚起に向け、ナイトライフ観光特設サイトの運用や、海外旅行会社への情報発信等を実施するとともに、区の認知度向上や魅力発信のため、観光PR動画を制作しました。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」において、留学生が作成した多言語でのリーフレットを区内観光施設等で配布し、外国人目線での情報発信に取り組みました。 また、インバウンド需要の喚起に向け、ナイトライフ観光特設サイトの開設や、海外旅行会社への情報発信等を実施しました。	訪日・訪都外国人観光客が増加する中、「旅マエ」「旅ナカ」の情報発信を多角的に実施することで、区の認知度向上や魅力の発信に努めました。	アカデミー推進課
311		4－②－ア	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
312		4－②－ア	区報の発行	区報により生涯学習関連情報を提供します。	通常号（4月10日号～3月25日号）は141,200部［年23回（全戸配付）］、新春号（1月1日号）は 65,500部［年1回（新聞折込）］を配付しました。	4月10日 141,000部、4月25日～3月25日号 140,000部　計年23回 1月1日号　68,000部　年1回	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
313		4－②－ア	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことからも、今後も広い発信に努めます。	広報戦略課
314		4－②－ア	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報（計24回）を多言語版アプリ「カタログポケット」（英語・中国語・韓国語を含む10言語に対応）で配信しました。	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
4　観光　②　いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有　イ　情報発信環境の整備（p.67）								
315	92	4－②－イ	観光インフォメーション	シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。	・観光インフォメーション来所人数：10,851人 ・観光情報等問い合わせ件数：1,621件	・観光インフォメーション来所人数：11,538人 ・観光情報等問い合わせ件数：1,901件	本区の観光に関する情報収集を行うとともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図りました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
316		4－②－イ	観光情報の一元化	文京区観光協会のホームページの掲載コンテンツの充実を図るとともにSNSの運用を促進し、観光情報発信におけるプラットフォームとしての基盤を整備します。	ホームページやSNS（X・LINE）による積極的な情報発信に努めました。	ホームページやSNS（X・LINE）による積極的な情報発信に努めました。	観光協会ホームページのほか、SNSでの情報発信を積極的に行っており、各媒体を特性に応じて使い分けながら、様々な観光情報を迅速に発信しています。	アカデミー推進課
317		4－②－イ	Googleﾏｲﾋﾞｼﾞﾈｽ整備事業	Googleの検索画面で表示される区内観光施設情報を充実させ検索の優位性を向上させることにより、本区の情報が多くの人の目に触れる機会を増やし、誘客につなげます。	令和4年度で事業終了	令和4年度で事業終了	令和4年度で事業終了	アカデミー推進課
318	93	4－②－イ	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドブック：日本語：65,000部／英語：10,000部／中国語（簡）：1,000部／中国語（繁）：1,000部／韓国語：500部 ※特集ページの追加や店舗情報の修正を実施 ・デジタルマップ：観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のマップをWeb上で公開	・観光ガイドマップ：日本語：60,000部／英語：10,000部／中国語（簡）：1,000部／中国語（繁）：1,000部／韓国語：500部 ・グルメマップ：日本語：55,000部／日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※いずれも最新情報の提供のため、店舗情報等を修正	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。	アカデミー推進課
319		4－②－イ	CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	文京区民チャンネル「ナイスキャッチぶんきょう」「発見！Bスイッチ」「ぶんきょう浪漫紀行」「Let'sスポーツ」「Myストーリー」「文の京セレクション」「文京インフォメーション」ほか	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができます。	広報戦略課
320		4－②－イ	ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・X（ツイッター）・LINE、パブリシティ等で発信	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことからも、今後も広い発信に努めます。	広報戦略課
4　観光　③　つながりから生まれる観光の推進　ア　他分野（スポーツ、文化芸術等）との融合（p.68）								
321		4－③－ア	文京ミューズフェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など36施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介します。	開催期間　1日 参加施設数　28施設 来場者数　延べ413人	開催期間　1日 参加施設数　27施設 来場者数　延べ446人	28施設が参加し、413人が来場されました。	アカデミー推進課
322	94	4－③－ア	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミューズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議の開催 文京ミューズフェスタの開催 文京ミューズネットマップの作成　日本語版35,000部、英語版7,000部	全体会議の開催 文京ミューズフェスタの開催 文京ミューズネットマップの作成　日本語版35,000部、英語版7,000部	28施設が参加し、413人が来場されました。	アカデミー推進課
323		4－③－ア	「来て見て体験」文京の伝統工芸	伝統工芸品の魅力をものづくりに関心のある区民や国内外からの観光客等に発信するため、販売、実演、体験ができるイベントを定期的に実施します。	月2回、年14回開催 会場：不忍通りふれあい館 体験参加人数：423人 【イン　シビック】 年2回開催 会場：文京シビックセンター1F　アートサロン　体験参加人数：259人	月2回、年14回開催 会場：不忍通りふれあい館 体験参加人数：392人 【イン　シビック】 年2回開催 会場：文京シビックセンター1F　アートサロン　体験参加人数：135人	ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客と伝統工芸の魅力発信をすることができました。	経済課
324	95	4－③－ア	文京博覧会 （ ぶんぱく ）	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和7年11月14日～15日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン 8大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、順天堂大学、中央大学、東京大学、東洋学園大学 来場者数：13,542人	令和6年11月15日～16日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：14,256人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
325		4－③－ア	自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業（一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム）	複数事業者と協定を締結しており、サイクルポートの拡充により、利便性の向上を図っております。	令和2年4月より本格実施を行っています。 複数事業者と協定を締結しており、サイクルポートの拡充により、利便性の向上を図っております。	複数事業者との協定締結など、シェアサイクルの利便性向上を図りました。 今後も更なる利便性向上に向け、ポートの設置等を増設していきます。	管理課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
R5 新規		4－③－ア	全国藩校サミット文京大会記念事業「時代まつりin文京」	区民が歴史に触れる機会を創出し、全国藩校サミット文京大会の機運醸成を図るとともに、区の魅力を内外に発信するため、「於大の方」ゆかりの傳通院を起点とした区民参画による「時代まつり行列」や関連自治体等と連携した物産展を開催します。	令和5年度の記念事業のため実施なし	令和5年度の記念事業のため実施なし	令和5年度の記念事業のため実施なし	アカデミー推進課
4　観光　③　つながりから生まれる観光の推進　イ　国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力（p.68）								
326		4－③－イ	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	花の五大まつり等助成実績：7件（つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり）	・花の五大まつり等助成実績：7件（つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり） ・まつり復興事業補助金交付実績：1件（さくらまつり）	文京花の五大まつり等について、担い手の確保に繋がる経費を新たに助成し、まつりの持続化を推進しました。 また、3年目を迎えた「まつりの街、文京」プロジェクトでは、「関わる」をテーマに、小中学生がまつりの取材と記事作成を行うワークショップや、オリジナル紙芝居の口演等を実施しました。	アカデミー推進課
327		4－③－イ	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	実施なし	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始：平成31年度 チラシ発行数：1,000部（5月、1回） 交付申請受付期間：令和6年5月27日～6月28日 料理提供期間：令和6年10月1日～12月31日 ・申請件数 11店舗 ・交付決定数 10店舗 ・支払実績（1店舗辞退） 9店舗　653,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和6年10月1日～12月31日 事業開始：令和2年度 パンフレット発行数：6,000部（9月、1回） ・スタンプラリー参加店舗数 13店舗 ・スタンプラリー応募件数（重複含む） 118件 ・当選者数 44名	実施なし	アカデミー推進課
328		4－③－イ	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつりへの交流自治体物産展の出店により、周知を図ります。	文京博覧会　8自治体×2日 さくらまつり　1自治体×2日 あじさいまつり　1自治体×2日、1自治体×1日 朝顔・ほおずき市　3自治体×2日、1自治体×1日 根津・千駄木下町まつり　3自治体×2日 春日忌　3自治体×1日 梅まつり　1自治体×3日、7自治体×2日、1自治体×1日 肥後細川庭園春のライトアップイベント　3自治体×5日 都市交流フェスタ　7自治体×2日、9自治体×1日 秋の紅葉ライトアップひごあかり　1自治体×2日間 その他（啄木学級、モリハチ祭り）　1自治体×1日、1自治体×3日	文京博覧会　9自治体×2日 あじさいまつり　1自治体×2日、1自治体×1日 梅まつり　2自治体×3日、4自治体×2日 朝顔ほおずき市　4自治体×2日 根津・千駄木下町まつり　4自治体×2日 春日忌　2自治体×2日 1自治体×1日 都市交流フェスタ　5自治体×2日、10自治体×1日 さくらまつり　1自治体×2日 石川復興応援物産展　1自治体×2日 現代版組踊「肝高の阿麻和利」バックステージツアー　1自治体×2日 Sky View Lounge Bar 4自治体×2日 その他（啄木学級など）1自治体×5日、1自治体×2日、3自治体×1日	交流自治体関係と連携し、各事業にて物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体の魅力を発信し触れる機会を提供することが出来ました。	アカデミー推進課
329	96	4－③－イ	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和8年3月6日・7日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：　140部 ・ポスター：　40部 ・パンフレット：23,000部 ・のぼり：　22枚 ・その他、交流都市紹介パネル、カッティングクロスなど ・来場者数 14,110人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 61団体	令和7年3月7日・8日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：320部 ・ポスター：224部 ・パンフレット：23,300部 ・のぼり：13枚 ・その他、横断幕やカッティングクロスなど ・来場者数 6,079人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 65団体	開催会場を3か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約3,000人増加しました。初日には、昨年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。 2日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティ ラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力の発信をすることができました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
330	97	4－③－イ	文京博覧会 （ ぶんぱく ）	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和7年11月14日～15日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン 8大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、順天堂大学、中央大学、東京大学、東洋学園大学 来場者数：13,542人	令和6年11月15日～16日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：14,256人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
331		4－③－イ	文京区観光土産品開発事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域活力の復興を図るため、区民参画による観光土産品をつくり、文京区の新たな魅力を創出・発信します。	文京区観光協会が販売する「花咲菓石けん～文京花の五大まつり～」の製作に係る経費への補助を通じて、花の五大まつりのPRや本区の魅力発信を図りました。	文京区観光協会が販売する「花咲菓石けん～文京花の五大まつり～」の製作に係る経費への補助を通じて、花の五大まつりのPRや本区の魅力発信を図りました。	ふるさと納税の返礼品に採用されているほか、区内観光施設等による販売も好調であり、本区の魅力発信に寄与しています。	アカデミー推進課
R5 新規		4－③－イ	全国藩校サミット文京大会記念事業「時代まつりin文京」	区民が歴史に触れる機会を創出し、全国藩校サミット文京大会の機運醸成を図るとともに、区の魅力を内外に発信するため、「於大の方」ゆかりの傳通院を起点とした区民参画による「時代まつり行列」や関連自治体等と連携した物産展を開催します。	令和5年度の記念事業のため実施なし	令和5年度の記念事業のため実施なし	令和5年度の記念事業のため実施なし	アカデミー推進課
R7 新規		4－③－イ	肥後細川庭園春のライトアップイベントの実施	国内外から来訪する観光客の満足度向上を図るとともに、熊本県・熊本市・新宿区との「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」の締結10周年を記念し、肥後細川庭園において、春のライトアップイベントを開催します。	肥後細川庭園春のライトアップイベント「肥後春景」 開催期間：3/25（水）～3/29（日） 来場者数：4,864名		肥後細川庭園において、レーザー演出や光と音を連動させたショータイム演出等を盛り込んだライトアップを行い、同庭園の新たな魅力を創出しました。 また、イベント実施に当たっては、覚書締結10周年を迎えた熊本県・熊本市・新宿区の観光PRも併せて実施し、自治体間交流を促進するとともに、近辺で桜のライトアップを実施する新宿区等との広報連携により、地域全体の魅力向上を図りました。	アカデミー推進課
4　観光　④　何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備　ア　観光客の受入基盤整備（p.69）								
	98	4－④－ア	観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。	・観光ガイドブック：日本語：65,000部/英語：10,000部/中国語（簡）：1,000部/中国語（繁）：1,000部/韓国語：500部 ※特集ページの追加や店舗情報の修正を実施 ・デジタルマップ：観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のマップをWeb上で公開	・観光ガイドマップ：日本語：60,000部/英語：10,000部/中国語（簡）：1,000部/中国語（繁）：1,000部/韓国語：500部 ・グルメマップ：日本語：55,000部/日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※いずれも最新情報の提供のため、店舗情報等を修正	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。	アカデミー推進課
	99	4－④－ア	文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」（文京ミューズネット）として連携し、各施設の特色や個性を発信します。	全体会議の開催 文京ミューズフェスタの開催 文京ミューズネットマップの作成　日本語版35,000部、英語版7,000部	全体会議の開催 文京ミューズフェスタの開催 文京ミューズネットマップの作成　日本語版35,000部、英語版7,000部	28施設が参加し、413人が来場されました。	アカデミー推進課
332		4－④－ア	観光協会振興助成	文京区観光協会の事業経費等の補助を行い、観光振興の発展と地域の活性化を図ります。	観光協会が実施する観光PR事業等に対して、事業費補助や必要な助言等を行いました。	観光協会が実施する観光PR事業等に対して、事業費補助や必要な助言等を行いました。	本区の観光振興のより一層の発展のため、引き続き観光協会が積極的に事業実施を行うために必要な補助等を行います。	アカデミー推進課
333		4－④－ア	無料公衆無線LANの整備	国内外の観光客や施設利用者へ文京区の情報を発信するとともに、災害時の情報提供や区民サービス向上につながる通信手段として、文京区内に無料公衆無線LANを整備します。	・文京ふるさと歴史館、森鴎外記念館、松聲閣、江戸川公園、教育の森公園、目白台運動公園、文京総合体育館、文京スポーツセンター、江戸川橋体育館、小石川運動場、六義公園運動場、文京区教育センター、区民センター、文京シビックセンター B2～3Fアトリウム周辺にOpenroamin対応の公衆無線LANを導入	・元町ウェルネスパークの新規設置 ・根津地活、駒込地活、シビックセンター、図書館のOpenroamingに対応した公衆無線LANの導入	施設利用者が手軽にインターネット接続ができ、文京区の情報発信や利便性の向上へつながりました。	情報政策課
334		4－④－ア	コミュニティバス「Bーぐる」運行事業	コミュニティバスを運行し、区民等の利便性向上や地域の魅力・活力を引き出します。	令和7年度利用客数 千駄木・駒込ルート：456,708人（増減率：−12%） 目白台・小日向ルート：435,171人（増減率：−10%） 本郷・湯島ルート：211,152人（増減率：−3%）	令和6年度利用客数 千駄木・駒込ルート：517,744人（増減率：+7%） 目白台・小日向ルート：483,688人（増減率：+8%） 本郷・湯島ルート：218,187人（増減率：+35%）	【令和4年度】 本郷・湯島ルートが運行開始後一年を経過したことから、各路線の利用状況を把握するため、コミュニティバスの利用実態調査を実施しました。 【令和5年度】 コミュニティバスの利用促進のため、花の五大まつり等の区内イベント会場にてPRを行いました。 【令和6年度】 利便性の向上を図るため、令和7年4月1日からの運用開始に向け、3か月定期券の販売および無料乗継停留所の拡大に取り組みました。 また、バスの老朽化により、千駄木・駒込ルートの車両を更新しました。 【令和7年度】 利便性の向上を図るため、令和8年4月1日からの運用開始に向け、一日乗車券・回数券・定期券について、従来の紙券に加えて、アプリから購入・利用できるデジタル乗車券の導入に向けた取り組みを行いました。	区民課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
335		4－④－ア	バリアフリー基本構想の推進	高齢者、障害者や外国人観光客等が安全・快適に過ごせるよう、道路、公共施設、スポーツ施設等のバリアフリーを進めるため、文京区バリアフリー基本構想を推進します。	文京区バリアフリー基本構想は、令和7年度に目標年次を迎えたため、策定以降のバリアフリー法の改正、関連法の制定や社会情勢の変化を踏まえ、改定しました。	地区別計画に基づく特定事業の進捗状況を調査し、ホームページにて公表を行いました。	文京区バリアフリー基本構想は、令和7年度に目標年次を迎えたため、最終評価を実施しました。目標年次までの実施を位置づけられた特定事業は、概ね計画通り進捗しました。	都市計画課
336		4－④－ア	自転車シェアリング事業	自転車シェアリング事業（一定の地域内に複数設置されたサイクルポートにおいて、専用の自転車を自由に貸出・返却できるネットワーク型自転車共有システム）	複数事業者と協定を締結しており、サイクルポートの拡充により、利便性の向上を図っております。	令和2年4月より本格実施を行っています。 複数事業者と協定を締結しており、サイクルポートの拡充により、利便性の向上を図っております。	複数事業者との協定締結など、シェアサイクルの利便性向上を図りました。 今後も更なる利便性向上に向け、ポートの設置等を増設していきます。	管理課
4 観光 ④ 何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備 イ 多様な人材の育成・活用（p.70）								
337		4－④－イ	インバウンド対策事業	新型コロナウイルス感染症で影響を受けたインバウンドの回復を見据え、旅マエ・旅ナカ・旅アトのいつでも入手可能な情報発信に取り組むとともに、外国人観光客のニーズを捉えた事業を実施し、来訪や誘客につなげます。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」において、留学生が作成した多言語でのリーフレットを区内観光施設等で配布し、外国人目線での情報発信に取り組みました。 また、インバウンド需要の喚起に向け、ナイトライフ観光特設サイトの運用や、海外旅行会社への情報発信等を実施するとともに、区の認知度向上や魅力発信のため、観光PR動画を制作しました。	「留学生人材を活用した旅マエ情報発信事業」において、留学生が作成した多言語でのリーフレットを区内観光施設等で配布し、外国人目線での情報発信に取り組みました。 また、インバウンド需要の喚起に向け、ナイトライフ観光特設サイトの開設や、海外旅行会社への情報発信等を実施しました。	訪日・訪都外国人観光客が増加する中、「旅マエ」「旅ナカ」の情報発信を多角的に実施することで、区の認知度向上や魅力の発信に努めました。	アカデミー推進課
338	100	4－④－イ	観光ガイド事業	区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。	・観光ガイドツアー参加者数：984名 ・新規観光ガイド登録者数：８名	・観光ガイドツアー参加者数：910名	文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。 また、ガイドの増員とスキル向上を図るため、観光ガイド養成講座を実施し、新たに8名のガイドを登録しました。	アカデミー推進課
339		4－④－イ	花の五大まつり等助成	文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を行い、まつりの振興と発展を図ります。	花の五大まつり等助成実績：7件（つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり）	・花の五大まつり等助成実績：7件（つつじ/あじさい/菊/梅/さくら/朝顔・ほおずき市/根津・千駄木下町まつり） ・まつり復興事業補助金交付実績：1件（さくらまつり）	文京花の五大まつり等について、担い手の確保に繋がる経費を新たに助成し、まつりの持続化を推進しました。 また、3年目を迎えた「まつりの街、文京」プロジェクトでは、「関わる」をテーマに、小中学生がまつりの取材と記事作成を行うワークショップや、オリジナル紙芝居の口演等を実施しました。	アカデミー推進課
340		4－④－イ	英語観光ガイド	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後楽園、おりがみ会館・湯島天満宮等、東京大学・根津神社 ・合計参加人数 76人	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後楽園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 96人	外国人の参加は前年度と同程度と比較し減少しましたが、参加者アンケートでの満足度評価にて高評価をいただいています。また、復帰された英語観光ガイドの方も加わり、ガイド中に参加者からの質問に答えるなど、区の歴史や魅力をより多く伝える機会となりました。	アカデミー推進課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 ア 交流自治体の魅力発信とPRの充実（p.76）								
341	101	5－①－ア	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	実施なし	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始：平成31年度 チラシ発行数：1,000部（5月、1回） 交付申請受付期間：令和6年5月27日～6月28日 料理提供期間：令和6年10月1日～12月31日 ・申請件数 11店舗 ・交付決定数 10店舗 ・支払実績（1店舗辞退） 9店舗　653,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和6年10月1日～12月31日 事業開始：令和2年度 パンフレット発行数：6,000部（9月、1回） ・スタンプラリー参加店舗数 13店舗 ・スタンプラリー応募件数（重複含む） 118件 ・当選者数 44名	実施なし	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
	102	5－①－ア	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和8年3月6日・7日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ： 140部 ・ポスター： 40部 ・パンフレット：23,000部 ・のぼり： 22枚 ・その他、交流都市紹介パネル、カッティングクロスなど ・来場者数 14,110人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 61団体	令和7年3月7日・8日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：320部 ・ポスター：224部 ・パンフレット：23,300部 ・のぼり：13枚 ・その他、横断幕やカッティングクロスなど ・来場者数 6,079人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 65団体	開催会場を3か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約3,000人増加しました。初日には、昨年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。 ２日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティ ラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力の発信をすることができました。	アカデミー推進課
342		5－①－ア	交流自治体主催の区民向け事業への協力	熊本県、熊本市、新宿区とのシンポジウムや、盛岡市のモリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。	【「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」締結10周年記念シンポジウム（共催）】 ・会期：令和7年11月18日 ・会場：新宿区立牛込箪笥区民ホール ・関係自治体：熊本県、熊本市、新宿区 【モリハチ祭り（共催）】 ・会期：令和7年12月10日～12日 ・会場：シビックセンター地下2階区民ひろば ・関係自治体：盛岡市外	【モリハチ祭り（共催）】 ・会期：令和6年11月20日～23日 ・会場：シビックセンター地下2階区民ひろば ・関係自治体：盛岡市外	熊本県、熊本市、新宿区との「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」締結10周年記念シンポジウムを開催し、今後の連携の深化について意見交換をしました。また、盛岡市とモリハチ祭りを共催し、物産展等を通じて交流都市の魅力を発信するなど、交流自治体に係る事業の共催等を行うことで、区民に他自治体の文化に触れる機会を提供することができました。	アカデミー推進課
343		5－①－ア	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつりへの交流自治体物産展の出店により、周知を図ります。	文京博覧会 8自治体×2日 さくらまつり 1自治体×2日 あじさいまつり 1自治体×2日、1自治体×1日 朝顔・ほおずき市 3自治体×2日、1自治体×1日 根津・千駄木下町まつり 3自治体×2日 春日忌 3自治体×1日 梅まつり 1自治体×3日、7自治体×2日、1自治体×1日 肥後細川庭園春のライトアップイベント 3自治体×5日 都市交流フェスタ 7自治体×2日、9自治体×1日 秋の紅葉ライトアップひごあかり 1自治体×2日間 その他（啄木学級、モリハチ祭り） 1自治体×1日、1自治体×3日	文京博覧会 9自治体×2日 あじさいまつり 1自治体×2日、1自治体×1日 梅まつり 2自治体×3日、4自治体×2日 朝顔ほおずき市 4自治体×2日 根津・千駄木下町まつり 4自治体×2日 春日忌 2自治体×2日 1自治体×1日 都市交流フェスタ 5自治体×2日、10自治体×1日 さくらまつり 1自治体×2日 石川復興応援物産展 1自治体×2日 現代版組踊「肝高の阿麻和利」バックステージツアー 1自治体×2日 Sky View Lounge Bar 4自治体×2日 その他（啄木学級など）1自治体×5日、1自治体×2日、3自治体×1日	交流自治体関係と連携し、各事業にて物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体の魅力を発信し触れる機会を提供することが出来ました。	アカデミー推進課
344		5－①－ア	防災フェスタ協力	防災フェスタに交流自治体PRブースを設置します。	防災フェスタ（参加者3,136人）に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタ（参加者3,062人）に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタへの参加協力を通じて、防災対策の面からも、交流都市との連携体制の充実に取り組みました。災害発生時において、災害の規模に応じた適切な支援要請ができるよう、引き続き連携体制の強化に取り組んでいきます。	防災危機管理課
345		5－①－ア	文京博覧会 （ ぶんぱく ）	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和7年11月14日～15日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン 8大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、順天堂大学、中央大学、東京大学、東洋学園大学 来場者数：13,542人	令和6年11月15日～16日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：14,256人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課
5 国内・国際交流 ① 国内交流自治体との交流促進と相互発展 イ 交流自治体との交流の活性化（p.78）								
346		5－①－イ	全国各自治体主催事業への周知協力	日帰りバスツアー等の周知に協力します。	【石岡区民ツアー】 ・実施日：令和7年11月8日 ・対象：文京区民40名（参加者37名）	【石岡区民ツアー】 ・実施日：令和6年11月9日 ・対象：文京区民40名	文京区民40名を対象とした石岡市主催のバスツアーについて、区報掲載にて広報協力をしました。	アカデミー推進課
347		5－①－イ	交流自治体との文化交流	交流自治体の伝統文化を区民に紹介する事業。かなざわ講座（金沢市）、啄木学級（盛岡市）、石見神楽（津和野町）等の主催・共催	盛岡市 啄木学級 参加者221人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者87人 金沢市 かなざわ講座 参加者41人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演 参加者454人	盛岡市 啄木学級 参加者213人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ 参加者86人 金沢市 かなざわ講座 参加者25人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演 参加者522人	啄木学級では、岩手県出身の作家を講師として招き講演を開催しました。また、かなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。昨年度に引き続き開催した石見神楽公演を開催しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
348		5－①－イ	国内交流自治体食材購入費補助事業	協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施することで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。	実施なし	【国内交流自治体食材購入費補助事業】 事業開始：平成31年度 チラシ発行数：1,000部(5月、1回) 交付申請受付期間：令和6年5月27日～6月28日 料理提供期間：令和6年10月1日～12月31日 ・申請件数 11店舗 ・交付決定数 10店舗 ・支払実績（1店舗辞退） 9店舗　653,000円 【食めぐりスタンプラリー】令和6年10月1日～12月31日 事業開始：令和2年度 パンフレット発行数：6,000部(9月、1回) ・スタンプラリー参加店舗数 13店舗 ・スタンプラリー応募件数（重複含む） 118件 ・当選者数 44名	実施なし	アカデミー推進課
349	103	5－①－イ	交流自治体主催の区民向け事業への協力	熊本県、熊本市、新宿区とのシンポジウムや、盛岡市のモリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。	【「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」締結10周年記念シンポジウム（共催）】 ・会期：令和7年11月18日 ・会場：新宿区立牛込箪笥区民ホール ・関係自治体：熊本県、熊本市、新宿区 【モリハチ祭り（共催）】 ・会期：令和7年12月10日～12日 ・会場：シビックセンター地下2階区民ひろば ・関係自治体：盛岡市外	【モリハチ祭り（共催）】 ・会期：令和6年11月20日～23日 ・会場：シビックセンター地下2階区民ひろば ・関係自治体：盛岡市外	熊本県、熊本市、新宿区との「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」締結10周年記念シンポジウムを開催し、今後の連携の深化について意見交換をしました。また、盛岡市とモリハチ祭りを共催し、物産展等を通じて交流都市の魅力を発信するなど、交流自治体に係る事業の共催等を行うことで、区民に他自治体の文化に触れる機会を提供することができました。	アカデミー推進課
350	104	5－①－イ	区事業における物産展等の出店	文京博覧会、花の5大まつり等への交流自治体物産展の出店により、周知を図ります。	文京博覧会　8自治体×2日 さくらまつり　1自治体×2日 あじさいまつり　1自治体×2日、1自治体×1日 朝顔・ほおずき市　3自治体×2日、1自治体×1日 根津・千駄木下町まつり　3自治体×2日 春日忌　3自治体×1日 梅まつり　1自治体×3日、7自治体×2日、1自治体×1日 肥後細川庭園春のライトアップイベント　3自治体×5日 都市交流フェスタ　7自治体×2日、9自治体×1日 秋の紅葉ライトアップひごあかり　1自治体×2日間 その他（啄木学級、モリハチ祭り）　1自治体×1日、1自治体×3日	文京博覧会　9自治体×2日 あじさいまつり　1自治体×2日、1自治体×1日 梅まつり　2自治体×3日、4自治体×2日 朝顔ほおずき市　4自治体×2日 根津・千駄木下町まつり　4自治体×2日 春日忌　2自治体×2日 1自治体×1日 都市交流フェスタ　5自治体×2日、10自治体×1日 さくらまつり　1自治体×2日 石川復興応援物産展　1自治体×2日 現代版組踊「肝高の阿麻和利」バックステージツアー　1自治体×2日 Sky View Lounge Bar 4自治体×2日 その他（啄木学級など）1自治体×5日、1自治体×2日、3自治体×1日	交流自治体関係と連携し、各事業にて物産展を開催することで、幅広く区民に交流自治体の魅力を発信し触れる機会を提供することが出来ました。	アカデミー推進課
351		5－①－イ	宿泊施設事業及び山村体験宿泊施設の運営	区民の健康増進と福祉の向上を図るため、区民が一般料金より低廉な宿泊料金で利用できる宿泊施設と各種サービス条件等について協定を締結しています。 区民と魚沼市民との交流や体験の場として、やまびこ荘の運営を湯之谷薬師スキー場管理組合に運営を委託し、山村体験宿泊施設として、区民に都会では得られない人や自然とのふれあいの機会を提供しています。	やまびこ荘については、利用促進期間の終了に伴い、宿泊者補助金の交付額が減少しました。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業15回、魚沼市観光協会主催事業7回の計22回開催しました。	協定宿泊施設については、魚沼市内の宿泊施設1施設と協定を解消し、11施設から10施設となりました。 やまびこ荘については、宿泊料金値上げに伴う区民の負担を軽減するため、宿泊者補助金を増額しました。また、経過措置として令和6年度中を利用促進期間とし、宿泊者補助金をさらに増額しました。 山村体験交流事業については、やまびこ荘主催事業15回、魚沼市観光協会主催事業7回の計22回開催となりました。	やまびこ荘の宿泊者数は、利用促進期間の終了に伴い、区民利用者は前年度比約80%となりました。 山村体験交流事業の参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準に回復しました。	区民課
352		5－①－イ	魚沼移動教室	区立小学校6年生の移動教室を魚沼市とその周辺で実施します。	区立小学校全20校にて6月から10月にかけて実施。	区立小学校全20校にて6月から10月にかけて実施。	相互協力協定を締結している新潟県魚沼市の文化等について区立小学校の小学生が実感を持って学ぶことができました。	学校運営課
5　国内・国際交流　①　国内交流自治体との交流促進と相互発展　ウ　横断的な交流事業の展開（p.79）								
	105	4－③－ア	文京博覧会 （ ぶんぱく ）	区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連携事業も紹介します。	令和7年11月14日～15日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン 8大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、順天堂大学、中央大学、東京大学、東洋学園大学 来場者数：13,542人	令和6年11月15日～16日開催 会場：区民ひろば、通路、ギャラリーシビック、アートサロン、シビックホール小ホール 6大学 お茶の水女子大学、拓殖大学、東洋大学、跡見学園女子大学、日本薬科大学、中央大学 来場者数：14,256人	区内の中小企業や産業団体等による展示、実演、研究発表、物販などを行い、区内産業を広く区内外に情報発信することができました。	経済課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
	106	3－④－ア	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働（共催）により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。	盛岡市 啄木学級　参加者221人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ　参加者87人 金沢市 かなざわ講座　参加者41人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演　参加者454人	盛岡市 啄木学級　参加者213人 盛岡さんさ踊り体験ワークショップ　参加者86人 金沢市 かなざわ講座　参加者25人 百万石まつりへの参加（盆正月） 氷室の氷贈呈 津和野町 石見神楽公演　参加者522人	啄木学級では、岩手県出身の作家を講師として招き講演を開催しました。また、かなざわ講座では、加賀宝生流を題材にした講演を開催しました。昨年度に引き続き開催した石見神楽公演を開催しました。	アカデミー推進課
353		5－①－ウ	国内交流・連携事業補助事業	住民同士の交流の活性化を目的とし、区内で活動する地域団体等が交流事業を行う際の費用の一部を補助します。	実施なし	申請期間：令和6年4月25日～5月22日 事業実施期間：令和6年6月26日～令和7年2月28日 申請件数：6件 交付決定数：5団体 交付実績数：4団体（1団体辞退） ポスター・チラシ発行数：662部	実施なし	アカデミー推進課
354		5－①－ウ	防災フェスタ協力	防災フェスタに交流自治体PRブースを設置します。	防災フェスタ（参加者3,136人）に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタ（参加者3,062人）に新潟県南魚沼市の食品製造業者、島根県津和野町の東京事務所がそれぞれブースを設置してPRを行いました。	防災フェスタへの参加協力を通じて、防災対策の面からも、交流都市との連携体制の充実に取り組みました。災害発生時において、災害の規模に応じた適切な支援要請ができるよう、引き続き連携体制の強化に取り組んでいきます。	防災危機管理課
355		5－①－ウ	学校給食における食材・料理提供	交流自治体のメニュー（芋煮）や食材（みかん）を提供し、あわせて交流自治体の紹介を行います。	・10月～12月の給食で、日本三大芋煮（津和野町、大洲市、中山町）の中から1つを全校で1回実施し、3地域からは1校ずつ里芋の提供を受けました。（H31年度開始事業） ・9月～10月の「交流自治体の旅」給食では、甲州市のシャインマスカットを購入し、全校で提供しました。（R2年度開始事業）	・10月～12月の給食で、日本三大芋煮（津和野町、大洲市、中山町）の中から1つを全校で1回実施し、3地域からは1校ずつ里芋の提供を受けました。（H31年度開始事業） ・1月～2月の「交流自治体の旅」給食では、上天草市の湯島大根を購入し、全校で大根料理を実施しました。（R2年度開始事業）	区と交流のある自治体の地域の特色や、農産物への理解が深まりました。	学校運営課
5　国内・国際交流　②　国際理解を育み定着に向けた機会づくり　ア　海外都市との交流の活性化（p.80）								
356		5－②－ア	姉妹都市等との交流	姉妹都市のカイザースラウテルン市（ドイツ）や友好都市のベイオウル区（トルコ）北京市通州区（中国）と公式訪問団の派遣・受入をはじめ、様々な交流を通じて区民の国際理解を促進しています。	【派遣①】 ・派遣先：大韓民国ソウル特別市松坡区 ・日程：令和7年9月26日～28日 ・内容：区民ツアー 【派遣②】 ・派遣先：中華人民共和国北京市通州区 ・日程：令和7年9月25日～27日 ・内容：通州区長表敬訪問、区内視察等 【受入れ①】 ・受入れ先：中華人民共和国北京市通州区 ・日程：令和7年11月6日 ・内容：文京区長表敬訪問、区内視察等 【受入れ②】 ・受入れ先：大韓民国ソウル特別市松坡区 ・日程：令和8年2月5日 ・内容：区内女子チームとのサッカー交流 【受入れ③】 ・受入れ先：大韓民国ソウル特別市松坡区 ・日程：令和8年3月7日～8日 ・ 内容：都市交流フェスタブース出展	【派遣】 ・派遣先：大韓民国ソウル特別市松坡区 ・日程：令和6年12月20日～21日 ・内容：姉妹都市提携式、区内視察等 【受入れ】 ・受入れ先：大韓民国ソウル特別市松坡区 ①日程：令和6年4月26日～27日 　内容：覚書調印式、区内視察等 ②日程：令和6年11月7日～9日 　内容：韓国文化講座登壇、区内視察等 ③日程：令和7年3月7日～8日 　内容：都市交流フェスタブース出展等	松坡区との姉妹都市提携(令和7年12月)を記念し、9月に区民30名が松坡区及びソウル市内を訪問する区民ツアーを実施しました。3月には文京区都市交流フェスタのため松坡区職員が来日・ブース出展しました。 また、通州区とは首長の相互訪問があり、9月に文京区長による通州区訪問、11月に通州区長による文京区長訪問があり、相互訪問を通して互いの区への理解を深め、今後の交流事業を検討しました。	アカデミー推進課
357	107	5－②－ア	海外都市との交流の活性化	これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を深めるとともに、行政間の交流を区民にも広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。	【パリ市5区】 ・オンライン協定締結式 日付：令和7年7月7日 内容：文京区とパリ市5区の友好交流に関する覚書の締結 ・表敬訪問及び音楽交流 日付：令和7年4月17日、19日 内容：音楽学校の生徒及び教師の表敬訪問及び区内の高校生との音楽交流	【派遣】 ・派遣先：大韓民国ソウル特別市松坡区 ・日程：令和6年12月20日～21日 ・内容：姉妹都市提携式、区内視察等 【受入れ】 ・受入れ先：大韓民国ソウル特別市松坡区 ①日程：令和6年4月26日～27日 　内容：覚書調印式、区内視察等 ②日程：令和6年11月7日～9日 　内容：韓国文化講座登壇、区内視察等 ③日程：令和7年3月7日～8日 　内容：都市交流フェスタブース出展等	4月に、パリ市5区の音楽学校の生徒及び教師が区長を表敬訪問し、区内の高校生と音楽交流を実施しました。 また、7月には友好交流に関する覚書を締結しました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
358	108	5－②－ア	ホームステイ生徒交換事業	姉妹都市のカイザースラウテルン市と交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。	・受入れ期間：令和7年7月25日～8月8日 ・受入れ人数：4人 ・区公式行事日程表 7月25日　空港出迎え及び家庭への引き渡し 7月30日　区内案内(区長表敬訪問、昼食会及び文化体験等) 8月4日　都内案内(豊洲エリア訪問) 8月8日　空港見送り	・派遣期間：令和6年7月26日～8月8日 ・派遣人数：4人 ・カイザースラウテルン市行程表： 7月28日　カイザースラウテルン市の日本庭園訪問 7月29日　公式歓迎会 7月31日　ドイツ観光(ハンバッハ城、ハイキング)	令和6年度に派遣した生徒が、令和7年度は受入れ側として、カイザースラウテルン市生徒を迎え入れました。各家庭でのホームステイ並びに区公式行事として実施した区内案内及び都内案内を通して、姉妹都市間の学生同士及び家庭同士の交流を深めました。	アカデミー推進課
359		5－②－ア	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和8年3月6日・7日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：　140部 ・ポスター：　40部 ・パンフレット：23,000部 ・のぼり：　22枚 ・その他、交流都市紹介パネル、カッティングクロスなど ・来場者数 14,110人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 61団体	令和7年3月7日・8日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：320部 ・ポスター：224部 ・パンフレット：23,300部 ・のぼり：13枚 ・その他、横断幕やカッティングクロスなど ・来場者数 6,079人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 65団体	開催会場を3か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約3,000人増加しました。初日には、昨年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。 ２日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティ ラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力の発信をすることができました。	アカデミー推進課
5　国内・国際交流　②　国際理解を育み定着に向けた機会づくり　イ　国際理解に向けた情報の収集・発信・共有（p.81）								
360	109	5－②－イ	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期　（5～7月）　13講座　452人（定員318人／応募者数452人） 後期　（9～12月）7講座 174人（定員184人／応募者数321人） 後期Ⅱ（1～3月）　5講座　140人（定員134人／応募者数231人）	前期　（5～7月）　7講座　149人（定員148人／応募者数339人） 後期　（9～12月）14講座　333人（定員348人／応募者数499人） 後期Ⅱ（1～3月）　5講座　108人（定員108人／応募者数161人）	各期において、諸外国の歴史や文化、外国語によるコミュニケーション能力向上等、多くのメニューの提供が叶いました。	アカデミー推進課
361	110	5－②－イ	都市交流交流フェスタ	外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて友好交流及び相互理解を推進する事業を実施します。	令和8年3月6日・7日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：　140部 ・ポスター：　40部 ・パンフレット：23,000部 ・のぼり：　22枚 ・その他、交流都市紹介パネル、カッティングクロスなど ・来場者数 14,110人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 61団体	令和7年3月7日・8日開催 事業開始：平成21年度 制作物 ・チラシ：320部 ・ポスター：224部 ・パンフレット：23,300部 ・のぼり：13枚 ・その他、横断幕やカッティングクロスなど ・来場者数 6,079人 ・出展団体数（物産・ステージパフォーマンス含む） 65団体	開催会場を3か所に増やしたことで、来場者数が前回比で約3,000人増加しました。初日には、昨年度に引き続き交流自治体の熊本県縁の竹あかりによるライトアップ装飾を実施し、来場者にはキッチンカー等でご当地グルメや交流自治体の物産展を楽しんでいただきました。 ２日目には、文京シビックセンター、礫川公園に加え、東京ドームシティ ラクーアを新たな会場として追加し、規模を拡大しました。特にステージプログラムでは交流自治体に関連する内容を多く盛り込み、より多角的に交流都市の魅力の発信をすることができました。	アカデミー推進課
362		5－②－イ	英語観光ガイド	区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後楽園、おりがみ会館・湯島天満宮等、東京大学・根津神社 ・合計参加人数 76人	・開催件数 8回 ・開催場所 小石川後楽園、湯島エリア、護国寺 ・合計参加人数 96人	外国人の参加は前年度と同程度と比較し減少しましたが、参加者アンケートでの満足度評価にて高評価をいただいています。また、復帰された英語観光ガイドの方も加わり、ガイド中に参加者からの質問に答えるなど、区の歴史や魅力をより多く伝える機会となりました。	アカデミー推進課

P319

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
363	111	5－②－イ	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	・韓国文化講座 開催日：6月14日(土)午前・午後2回開催 参加人数：43人（合計） ・やさしい日本語で留学生と交流会【基礎編・発展編】 開催日：7月19日(土)、8月2日（土） 参加人数：43人 ・アートウォールシビック　写真展（ベイオウル区） 期間：8月1日（金）から31日（日）まで ・ 文京区・ベイオウル区友好都市提携10周年記念事業「トルコフェスタ」 開催日:8月31日（日） 参加人数：3,016人 ・やさしい日本語で留学生と文京区すごろくを作って交流しよう 開催日：12月20日(土)、1月17日（土） 参加人数：16人 ・能楽鑑賞会（外国人枠） 開催日：2月1日(日) 参加人数：9人	・トルコ古典音楽コンサート東京公演 開催日：5月10日（金） 参加人数：151人 ・ドイツ文化講座 開催日：7月4日(木) 参加人数：85人 ・やさしい日本語で留学生と交流会【基礎編・発展編】 開催日：7月20日(土)、8月3日（土） 参加人数：47人 ・トルコ文化講座～伝統的なフォークダンスを習って踊ってみよう～ 開催日：10月5日（土） 参加人数：24人 ・韓国文化講座～ソウル特別市松坡区とK-POPダンスの紹介～ 開催日：11月9日（土） 参加人数：21人 ・中国伝統芸能セミナー「変面の世界～伝統から現代へ～」 開催日：11月17日（日） 参加人数：245人 ・文京区・ベイオウル区交流事業　～トルコ人によるイスタンブールおすすめスポット紹介～ 開催日：12月18日（水） 参加人数：80人 ・やさしい日本語で留学生と区内おすすめスポットを紹介しよう！ 開催日：12月21日(土)、1月18日（土） 参加人数：34人 ・トルコ文化体験 in ユヌス・エムレ インスティトゥート東京 開催日：1月30日（木）、2月1日（土） 合計参加人数：56人 ・能楽鑑賞会（外国人枠） 開催日：2月2日(日) 参加人数：10人	韓国文化講座の新規実施等区民が国際文化に触れる機会を創出しました。 また、周年の記念事業であるトルコフェスタをトルコ大使館等と協働実施しました。前年度から事業実施回数が増加し、姉妹都市等海外交流自治体に関連する事業によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することができました。 さらに、昨年度に引き続き、やさしい日本語を学び留学生との交流の中で実践する交流会を実施し、区内のおすすめスポット等地域に根差した話題を活用した国際交流機会及び相互理解を深める機会を提供することができました。	アカデミー推進課
5　国内・国際交流　②　国際理解を育み定着に向けた機会づくり　ウ　横断的な交流事業の展開（p.82）								
364	112	5－②－ウ	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	・韓国文化講座 開催日：6月14日(土)午前・午後2回開催 参加人数：43人（合計） ・やさしい日本語で留学生と交流会【基礎編・発展編】 開催日：7月19日(土)、8月2日（土） 参加人数：43人 ・アートウォールシビック　写真展（ベイオウル区） 期間：8月1日（金）から31日（日）まで ・ 文京区・ベイオウル区友好都市提携10周年記念事業「トルコフェスタ」 開催日:8月31日（日） 参加人数：3,016人 ・やさしい日本語で留学生と文京区すごろくを作って交流しよう 開催日：12月20日(土)、1月17日（土） 参加人数：16人 ・能楽鑑賞会（外国人枠） 開催日：2月1日(日) 参加人数：9人	・トルコ古典音楽コンサート東京公演 開催日：5月10日（金） 参加人数：151人 ・ドイツ文化講座 開催日：7月4日(木) 参加人数：85人 ・やさしい日本語で留学生と交流会【基礎編・発展編】 開催日：7月20日(土)、8月3日（土） 参加人数：47人 ・トルコ文化講座～伝統的なフォークダンスを習って踊ってみよう～ 開催日：10月5日（土） 参加人数：24人 ・韓国文化講座～ソウル特別市松坡区とK-POPダンスの紹介～ 開催日：11月9日（土） 参加人数：21人 ・中国伝統芸能セミナー「変面の世界～伝統から現代へ～」 開催日：11月17日（日） 参加人数：245人 ・文京区・ベイオウル区交流事業　～トルコ人によるイスタンブールおすすめスポット紹介～ 開催日：12月18日（水） 参加人数：80人 ・やさしい日本語で留学生と区内おすすめスポットを紹介しよう！ 開催日：12月21日(土)、1月18日（土） 参加人数：34人 ・トルコ文化体験 in ユヌス・エムレ インスティトゥート東京 開催日：1月30日（木）、2月1日（土） 合計参加人数：56人 ・能楽鑑賞会（外国人枠） 開催日：2月2日(日) 参加人数：10人	韓国文化講座の新規実施等区民が国際文化に触れる機会を創出しました。 また、周年の記念事業であるトルコフェスタをトルコ大使館等と協働実施しました。前年度から事業実施回数が増加し、姉妹都市等海外交流自治体に関連する事業によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することができました。 さらに、昨年度に引き続き、やさしい日本語を学び留学生との交流の中で実践する交流会を実施し、区内のおすすめスポット等地域に根差した話題を活用した国際交流機会及び相互理解を深める機会を提供することができました。	アカデミー推進課
365		5－②－ウ	国際理解教育の推進	全区立小・中学校の全学年にALT（外国語指導助手）を派遣して、進展する国際化に対応する教育を行います。	ALTは全小中学校に派遣をしています。年間で延べ小学校では3,736日、中学校では823日、ALTを派遣しました。 幼稚園5園でALT配置トライアルを2回ずつ実施し、本実施に向けた準備を行いました。	ALTは全小中学校に派遣をしています。年間で延べ小学校では3,478日、中学校では786日、ALTを派遣しました。	児童・生徒が外国人との会話や外国の文化等に触れる機会を増やし、英語を積極的に使おうとする態度を育成することができました。また、小学校はALTを配置する一日の時間が延びたことで、外国人と触れ合う機会がより増えました。中学校でも4校が長時間配置を実施しました。 幼児についてもALTと歌や簡単なやり取りを通して、国際理解を育むことができました。	教育指導課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
366		5－②－ウ	日本語指導員の派遣	日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣しています。	児童172名、生徒107名に対し、延べ279人の児童生徒へ日本語指導員を派遣し指導を行いました。	児童154名、生徒75名に対し、延べ229人の児童生徒へ日本語指導員を派遣し指導を行いました。	日本語指導が必要な児童、生徒に母国語の日本語指導員を派遣することで、学校生活への適応を支援することができました。また、東京都教育支援機構を活用することにより、多様な言語に対応できるようになりました。	教育指導課
5 国内・国際交流 ③ 外国人が活躍できる環境づくり ア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実（p.83）								
367		5－③－ア	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のためのリレー専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。 また、Bチャレ事業の一環として区内団体と協働し、区内在住外国人と日本人がともに日本文化を体験する会等を実施して交流機会創出に取り組みます。	・外国人のためのリレー専門家相談会(共催) 開催日：8月31日（日） 開催方式：対面、オンライン 参加人数：12人 相談件数：20件 ・(Bチャレ事業・共催)日本語交流会 開催回数：5回（区内在住在学外国人と日本語で交流会） 開催方式：対面 ・(Bチャレ事業・共催)日本語交流のための講座 開催回数：3回(外国人支援に興味がある区民向けの講座) 開催方式：対面	・外国人のためのリレー専門家相談会(共催) 開催日：9月2日（日） 開催方式：対面、オンライン 参加人数：20人 相談件数：18件 ・多文化コミュニティプロジェクト「にほんご交流inぶんきょう」(共催) 開催回数：3回（日本語交流会） 開催方式：対面	前年度に引き続き外国人のためのリレー専門家相談会を共催し、12人の参加がありました。 また、Bチャレ事業の一環として「多文化コミュニティプロジェクト『にほんご交流inぶんきょう』」に加えて在住外国人を支援する人材の発掘事業を新規実施し、共催しました。区内団体と協働し、日本文化の体験を通じ区内在住外国人と日本人が交流する機会及び外国人支援に関心のある人材を具体的な活動につなげる機会を創出することができました。	アカデミー推進課
368	113	5－③－ア	外国人の日常生活支援のための多言語化	外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、区窓口での手続きの効率化を図っています。	・行政文書の多言語化 翻訳文書数：51 翻訳言語：8	・行政文書の多言語化 翻訳文書数：32 翻訳言語：英語、中国語（簡体字・繁体字）、 韓国語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、ミャンマー語	令和6年度から各課でそれぞれ多言語化を実施しています。令和7年度は、14課において、新たに8言語、51文書の翻訳を実施し、行政文書を多言語化しました。また、各課が翻訳を実施する際には、実施方法等について希望に応じて必要な支援を行いました。 また、全庁の行政文書の多言語化を推進するために、各課の行政文書の翻訳について、必要な支援を行いました。	アカデミー推進課
369	114	5－③－ア	国際理解促進事業	外国人が地域との連携を高め、日本文化への理解を深める事業や地域の行事や団体と連携して、区民と外国人が交流することで国際理解を促進します。 中国文化「変面」・やさしい日本語交流会、能楽鑑賞、英語落語等	・韓国文化講座 開催日：6月14日(土)午前・午後2回開催 参加人数：43人（合計） ・やさしい日本語で留学生と交流会【基礎編・発展編】 開催日：7月19日(土)、8月2日（土） 参加人数：43人 ・アートウォールシビック　写真展（ベイオウル区） 期間：8月1日（金）から31日（日）まで ・ 文京区・ベイオウル区友好都市提携10周年記念事業「トルコフェスタ」 開催日:8月31日（日） 参加人数：3,016人 ・やさしい日本語で留学生と文京区すごろくを作って交流しよう 開催日：12月20日(土) 、1月17日（土） 参加人数：16人 ・能楽鑑賞会（外国人枠） 開催日：2月1日(日) 参加人数：9人	・トルコ古典音楽コンサート東京公演 開催日：5月10日（金） 参加人数：151人 ・ドイツ文化講座 開催日：7月4日(木) 参加人数：85人 ・やさしい日本語で留学生と交流会【基礎編・発展編】 開催日：7月20日(土)、8月3日（土） 参加人数：47人 ・トルコ文化講座～伝統的なフォークダンスを習って踊ってみよう～ 開催日：10月5日（土） 参加人数：24人 ・韓国文化講座～ソウル特別市松坡区とK-POPダンスの紹介～ 開催日：11月9日（土） 参加人数：21人 ・中国伝統芸能セミナー「変面の世界～伝統から現代へ～」 開催日：11月17日（日） 参加人数：245人 ・文京区・ベイオウル区交流事業　～トルコ人によるイスタンブールおすすめスポット紹介～ 開催日：12月18日（水） 参加人数：80人 ・やさしい日本語で留学生と区内おすすめスポットを紹介しよう！ 開催日：12月21日(土) 、1月18日（土） 参加人数：34人 ・トルコ文化体験 in ユヌス・エムレ インスティトゥート東京 開催日：1月30日（木）、2月1日（土） 合計参加人数：56人 ・能楽鑑賞会（外国人枠） 開催日：2月2日(日) 参加人数：10人	韓国文化講座の新規実施等区民が国際文化に触れる機会を創出しました。 また、周年の記念事業であるトルコフェスタをトルコ大使館等と協働実施しました。前年度から事業実施回数が増加し、姉妹都市等海外交流自治体に関連する事業によって、各国の文化や歴史、伝統を広く周知することができました。 さらに、昨年度に引き続き、やさしい日本語を学び留学生との交流の中で実践する交流会を実施し、区内のおすすめスポット等地域に根差した話題を活用した国際交流機会及び相互理解を深める機会を提供することができました。	アカデミー推進課
369		5－③－ア	観光リーフレット作成	区内観光施設及び名所・旧跡を紹介する日本語版及び外国語版のリーフレットを作成し、積極的に観光客を誘致します。	・観光ガイドブック：日本語：65,000部／英語：10,000部／中国語（簡）：1,000部／中国語（繁）：1,000部／韓国語：500部 ※特集ページの追加や店舗情報の修正を実施 ・デジタルマップ：観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のマップをWeb上で公開	・観光ガイドマップ：日本語：60,000部／英語：10,000部／中国語（簡）：1,000部／中国語（繁）：1,000部／韓国語：500部 ・グルメマップ：日本語：55,000部／日本語版・英語版・中国語版をWebに掲載 ※いずれも最新情報の提供のため、店舗情報等を修正	観光ガイドブックの作成・配布・Web掲載を継続するとともに、観光施設やイベント、コミュニティバス等の情報をカテゴリ別に掲載した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図りました。	アカデミー推進課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
370		5－③－ア	配布物の多言語化（スポーツ振興課）	スポーツセンター及び総合体育館のトレーニングルームとプールの利用案内を英訳した英語版を配布します。	スポーツセンター及び総合体育館で、外国人の施設利用に資するため、英語版利用案内を配架しています。	スポーツセンター及び総合体育館で、外国人の施設利用に資するため、英語版利用案内を配架しています。	区内在住・在勤・在学の外国人に、スポーツ施設の利用を推進することができています。	スポーツ振興課
371		5－③－ア	文京区紹介映像及び文京区公式PR動画　多言語版の公開	文京区紹介映像「ようこそ文の京へ」 約12分及び文京区公式PR動画「文京区～つながりが見つかるまち～」10分。 英語、中国語、ハングル版を作成し、ホームページでも公開しています。	継続してホームページでの公開を行っています。	継続してホームページでの公開を行っています。	国内外からの来訪者に対し、文京区を知っていただくツールとなっています。	広報戦略課
372		5－③－ア	通訳クラウドサービス活用による外国人相談等	区民相談員が行政情報センターにてタブレット端末での通訳クラウドサービスを活用して、外国人相談を行います。	通訳タブレット、ポケトークを設置し外国人相談に活用しています。また、他課に貸出もしており外国人対応に利用しています。	通訳タブレット、ポケトークを設置し外国人相談に活用しています。また、他課に貸出もしており外国人対応に利用しています。	R6年度は外国人相談件数は49件、ポケトーク等他課への貸出し件数は51件でした。	広報戦略課
373		5－③－ア	わかりやすいホームページの構築	インターネットによる情報提供の一層の充実を図るとともに、自動翻訳機能を使った多言語での情報提供を行います。	英語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字）に加え、ほか127言語に対応	英語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字）に加え、ほか127言語に対応	月間で約1,900～2,000件程度の閲覧数があり、外国人の方にも区の情報を提供できています。	広報戦略課
374		5－③－ア	「区報ぶんきょう」の多言語化	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信します。（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信（英語・中国語・韓国語を含む10言語に対応）	区報を多言語版アプリ「カタログポケット」で配信（英語・中国語・ハングルを含む10言語に対応）	区報を10言語で読むことができ拡大機能表示や音声読み上げ機能があり、広く区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
375		5－③－ア	外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳を発行します（4カ国語併記　日本語・英語・中国語・ハングル）。	転入手続を行った外国人に外国語版生活便利帳［日本語・英語・韓国語・中国語を併記（令和6年度発行）］を配付しました。	外国語版生活便利帳の発行（4カ国語併記　日本語・英語・ハングル・中国語） 転入者等に配布（令和6年度発行）	4カ国語（日本語・英語・ハングル・中国語）を併記しており、外国の方に各種サービスや区政情報をお知らせすることができます。	広報戦略課
376		5－③－ア	防災対策での多言語対応	避難所プレート、防災啓発パンフレット及びハザードマップ、防災情報一斉通知アプリ等の多言語化や災害時専門ボランティアの通訳ボランティアの登録推進等により、防災対策における多言語対応を進めます。	防災ポータルの翻訳言語数を5か国語から131か国語に増加しました。	防災用品配付事業においては、「文の京そなえて安心BOOK」をやさしい日本語に配慮した内容とするとともに、専用の特設サイトにおいては10か国語、コールセンターは22言語に対応しました。	防災アプリ及び防災ポータルにやさしい日本語機能を追加することで、外国人避難者への支援の充実を図りました。	防災危機管理課
377		5－③－ア	わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	令和8年4月版Bーぐるマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和7年4月版Bーぐるマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和3年9月に運行を開始した本郷・湯島ルートに対応した英語版マップを作成し、配布しました。	区民課
378		5－③－ア	資料の多言語化	在住外国人の方が窓口でスムーズに手続きができるよう、窓口案内システム、国保制度・年金制度の案内ちらし、出産育児一時金等の給付申請案内ちらし、前年中の所得状況申告書を多言語対応するとともに、窓口対応の際に通訳タブレット等を活用し相談に応じています。	日本語での会話が難しい外国人には、通訳タブレットを使用して国保制度等を説明しました。対応できる言語数が多く、様々な国の外国人とのやり取りがスムーズにできました。	日本語での会話が難しい外国人には、通訳タブレットを使用して国保制度等を説明した。対応できる言語数が多く、様々な国の外国人とのやり取りがスムーズにできた。	窓口案内システム、通訳タブレットの活用により、受付から窓口対応までスムーズに対応することができました。	国保年金課
379		5－③－ア	外国語併記母子健康手帳の交付	英語、韓国語、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語の10カ国語の母子健康手帳を交付します。	外国語併記母子健康手帳の交付 英語17、韓国語0、中国語11、タイ語1、タガログ語0、ポルトガル語0、インドネシア語4、スペイン語0、ベトナム語11、ネパール語2 計46冊	外国語版母子健康手帳の配布 英語20,ハングル語3,中国語23,タイ語0,タガログ語0,ポルトガル語0,インドネシア語2,スペイン語0,ベトナム語5,ネパール語1 計54冊	外国語併記の手帳を交付することにより、区内在住の外国人の妊婦や乳幼児の健康管理などに役立っています。	健康推進課
380		5－③－ア	看板の多言語化	外国人向けに駐輪場の利用方法及び放置自転車禁止区域の案内を行うため、看板の多言語化を行います。	実績なし	実績なし	放置自転車禁止区域の看板については、既に多言語化を行っています。 今後は駐輪場の利用方法等について多言語対応を行います。	管理課
381		5－③－ア	わかりやすいまちの表示	案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。	令和8年4月版Bーぐるマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和7年4月版Bーぐるマップの英語版を5,000部作成し、配布しました。	令和3年9月に運行を開始した本郷・湯島ルートに対応した英語版マップを作成し、配布しました。	区民課

整理番号	No.	体系No.	事業名	事業概要	令和7年度実績	（参考）令和6年度実績	成果等	担当課
382		5－③－ア	配布物の多言語化（リサイクル清掃課）	「ごみと資源の分け方・出し方」の英語版、中国語版、ハングル版を作成して配布します。	令和7年4月改定版の「ごみと資源の分け方・出し方」を戸籍住民課での転入者への配布並びにリサイクル清掃課及び文京清掃事務所窓口において希望者への配布を行った。	例年と同様に、戸籍住民課での転入者への配布、リサイクル清掃課や文京清掃事務所において希望者への配布を実施しました。また、プラスチック分別回収を令和7年4月から開始するに当たり、「ごみと資源の分け方・出し方」の改訂版を作成しました。	窓口にも海外の方や大家さんが外国語版を求めてくることがあり、ごみの分別を周知することに役立っています。 また、電話等での問い合わせや相談の際に、外国語版の活用を積極的にPRしています。	リサイクル清掃課
383		5－③－ア	外国語資料の充実	外国語資料の収集や利用案内の多言語化等により、日本語を母国語としない利用者へのサービス向上を図ります。	・外国語図書 貸出数： 4,954冊 新規受入れ冊数： 148冊 ・外国語絵本 貸出数： 11,623冊 新規受入れ冊数： 340冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 24 回	・外国語図書 貸出数：4,307冊 新規受入れ冊数： 160冊 ・外国語絵本 貸出数：12,629冊 新規受入れ冊数： 82冊 ・英語による読み聞かせ行事実績 27回	多様な言語の資料の収集に努めるとともに、英語による読み聞かせの回数を増やし、外国語に接する機会を提供しました。	真砂中央図書館
5 国内・国際交流 ③ 外国人が活躍できる環境づくり イ 外国人の活躍できる場の提供支援（p.84）								
384		5－③－イ	生涯学習講座での国際理解推進	アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い国際理解の機会を提供していきます。	前期 （5～7月） 13講座 316人（定員318人／応募者数452人） 後期 （9～12月）7講座 174人（定員184人／応募者数321人） 後期Ⅱ（1～3月） 5講座 140人（定員134人／応募者数231人）	前期 （5～7月） 7講座 149人（定員148人／応募者数339人） 後期 （9～12月）14講座 333人（定員348人／応募者数499人） 後期Ⅱ（1～3月） 5講座 108人（定員108人／応募者数161人）	友好都市を含む諸外国の歴史や文化、語学など多彩な講座を引き続き実施し、区民から高い関心が寄せられ、多数の応募がありました。目標にはわずかに届かなかったものの、受講者数は前年度を上回り、国際理解を深める機会を広く提供することができました。	アカデミー推進課
385	115	5－③－イ	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。 また、Bチャレ事業の一環として区内団体と協働し、区内在住外国人と日本人がともに日本文化を体験する会等を実施して交流機会創出に取り組みます。	・外国人のためのリレー専門家相談会(共催) 開催日：8月31日（日） 開催方式：対面、オンライン 参加人数：12人 相談件数：20件 ・(Bチャレ事業・共催)日本語交流会 開催回数：5回（区内在住在学外国人と日本語で交流会） 開催方式：対面 ・(Bチャレ事業・共催)日本語交流のための講座 開催回数：3回(外国人支援に興味がある区民向けの講座) 開催方式：対面	・外国人のための専門家相談会(共催) 開催日：9月2日（日） 開催方式：対面、オンライン 参加人数：20人 相談件数：18件 ・多文化コミュニティプロジェクト「にほんご交流inぶんきょう」(共催) 開催回数：3回（日本語交流会） 開催方式：対面	前年度に引き続き外国人のためのリレー専門家相談会を共催し、12人の参加がありました。また、Bチャレ事業の一環として「多文化コミュニティプロジェクト『にほんご交流inぶんきょう』」に加えて在住外国人を支援する人材の発掘事業を新規実施し、共催しました。区内団体と協働し、日本文化の体験を通じ区内在住外国人と日本人が交流する機会及び外国人支援に関心のある人材を具体的な活動につなげる機会を創出することができました。	アカデミー推進課